

国立国会図書館所蔵「宗家文書」目録

田代 和生 解説
古典籍資料室 編

目次

解説	
田代 和生 著 国立国会図書館所蔵『宗家文書』の特色……………	(3)
目録	
古典籍資料室 編 国立国会図書館所蔵「宗家文書」目録……………	(17)
凡例……………	(18)
1 館守毎日記関係	
(1) 館守毎日記……………	(21)
(2) 『旧事編集』……………	(103)
(3) 『惣目録』……………	(107)
(4) 『分類事考』……………	(125)
2 裁判記録関係……………	(135)
3 送使記録	
(1) 兎名送使……………	(165)
(2) 漂着使……………	(169)
(3) 告還使……………	(173)
(4) 吊礼使……………	(177)
(5) 告喪使……………	(181)
(6) 告訃使……………	(185)
(7) 退休使・給仮使・体情使……………	(189)
4 両国往復書関係	
(1) 『両国往復書牒』……………	(193)
(2) 書式・目録……………	(219)
(3) 跡留……………	(223)
5 倭館改修記録……………	(231)
6 貿易関係記録……………	(237)
7 『分類紀事大綱』……………	(245)
8 そのほか……………	(265)
あとがき —編集の経緯—……………	(268)

【解説】

国立国会図書館所蔵『宗家文書』の特色

田代 和生

はじめに

対馬藩宗家が残した『宗家文書』は、内容が国際色に富み、作成された総点数は数十万点といわれるほど膨大なことで知られている。とくに宗家が独占していた朝鮮国との外交や貿易は、「鎖国」時代にあっても対馬を東アジア国際社会に開かれた重要な窓口のひとつにした。

ところが藩政時代が終わると、これらの特徴が裏目に出た。たとえば戦前は、日本の朝鮮半島における植民地政策のもと、約6万点におよぶ『宗家文書』が朝鮮総督府によって買い上げられ、海外に流出してしまった。また国内に残る宗家文書も、その点数の膨大さゆえ一所でまとめて保管することができず、各所へ分散される原因となった。

現在、『宗家文書』は、国内6カ所（①九州国立博物館・②長崎県立対馬歴史民俗資料館・③国立国会図書館・④東京大学史料編纂所・⑤慶應義塾図書館・⑥東京国立博物館）、および国外1カ所（⑦韓国国史編纂委員会）の計7カ所に分轄保管されている。このうち③国立国会図書館所蔵のものは、朝鮮釜山に置かれていた倭館わかんの記録類を引き継いでおり、他所にはない極めて貴重な特色を有している。

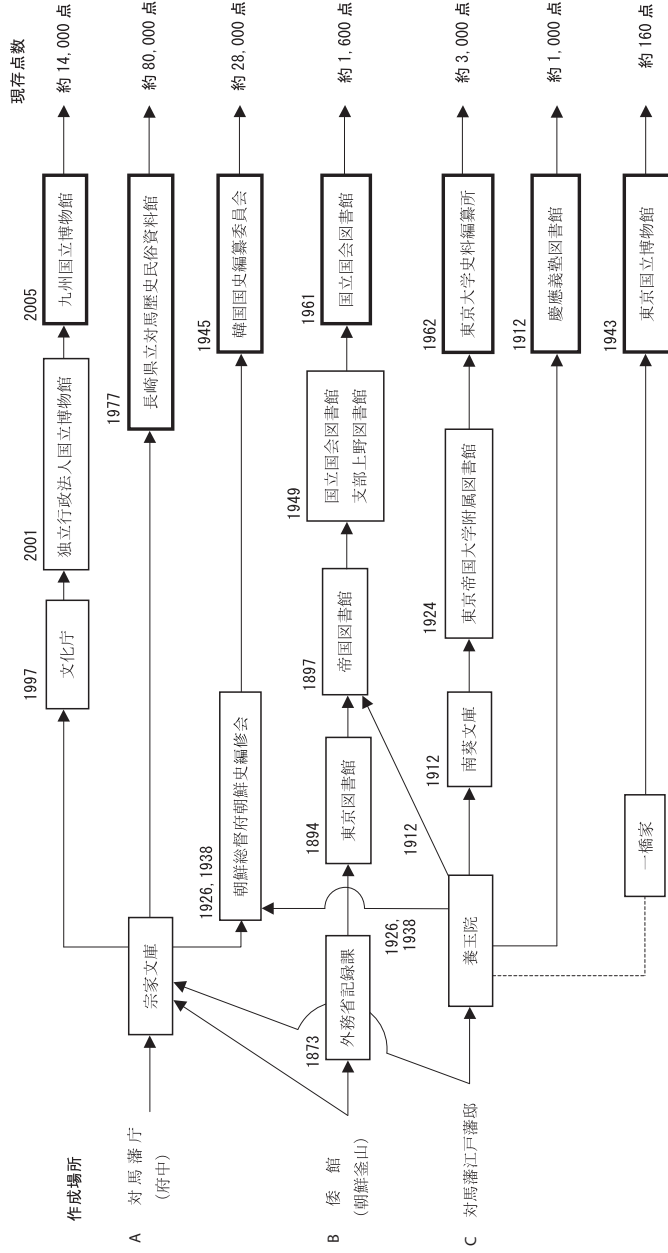
本稿では、『宗家文書』が国立国会図書館の所蔵となるまでの保管所の変遷と、記録を伝えた倭館の概要について触れるとともに、他所に複本のない国立国会図書館本の代表ともいえる『館守毎日記』と『分類紀事大綱』の成立過程・内容・特色などを明らかにしていきたい。

1 『宗家文書』保管所の変遷

江戸時代に『宗家文書』が作成された主な場所は、【図1】「対馬宗家文書保管所の変遷」に示したように、A対馬藩庁、B倭館（朝鮮釜山）、C江戸藩邸、の3カ所である。場所は異なるが、もとは対馬藩宗家という一大名家に所属していたため、作成された記録や文書が互いに入出入りし、あるいは他所で記録・保存されていたものの控えや写しの類が多く作成され保管されている。ただしこれらが作成された場所の性格上、それぞれの文書群には明らかな特徴がみられる。まずA対馬藩庁で記録されたものは、領内治世に関す

【図1】

対馬宗家文書保管所の変遷



るものが大部分を占め、また藩の中枢機関として朝鮮や江戸、その他各地への通達事項や関連記録、各地で記録されたものの写しなどが多い。B倭館のものは、ここで展開された朝鮮との交流関係の記録が大半を占め、C江戸藩邸は対幕府関係や通信使関係の記録が多い⁽¹⁾。

藩政時代を終えた後、『宗家文書』は様々な事情により、分散保管されることになった。このうち国立国会図書館所蔵本を辿ってみると、明治6年(1873)にB倭館で記録されたものが外務省記録課に入り、その後明治27年(1894)東京図書館(帝国図書館の前身)へ移管され、ここに明治45年(1912、大正元年)C江戸藩邸記録の一部が加わっている。前者の倭館記録の系統には「外務省引継本」印が、また後者の江戸藩邸系統本には「明治45・2・24購求」の文字がある楕円形の印が、それぞれ冊子ごとに押印されており、伝来の識別は容易である。やがて帝国図書館を引き継いだ国立図書館が、昭和24年(1949)支部上野図書館として国立国会図書館に併合されることになるとその所蔵となり、さらに昭和36年(1961)現在の永田町庁舎の第一期工事竣工(完成は昭和44年)に伴い、上野庁舎からここへ移動された。このように国立国会図書館所蔵本は、倭館で記録・保管されていたいわゆる「倭館記録」(1,496冊〔現在1,562冊に分冊〕)と、対馬藩の江戸藩邸に保管されていた「江戸藩邸記録」(33冊〔現在31冊に合冊・分冊〕)の二系統本からなり、量的には「倭館記録」が全体の98%を占めていて中核をなしていることがわかる。

ところで明治初期、「倭館記録」が宗家に戻されずに、外務省の保管とされたことには理由がある。明治新政府は、しばらくの間、朝鮮との外交を旧来通り宗家に委託していたが、やがて明治6年(1873)に外務省が専管するところとなった⁽²⁾。ところがこれまで行われていた宗家による外交慣例をあらため、近代外交へ転回させるためには、かなりの期間が必要とされた。本来、英語のdiplomacy(外交)とdiploma(古文書の古語)は同じ語源からきているように、国際関係は口約束で終わるのではなく、必ず文書にして記録に留める行為を伴う。外交は故事先例が重んじられ、先例はやがて国際間の慣習となって法として定着する。したがって過去の記録を充実させることは、今後の外交運営上、必要不可欠なことであり、宗家はこのためにも記録の充実・保管・活用に余念がなかった。その集約されたものが「倭館記録」であり、明治新政府が近代外交への路線を確実にするまでに、旧来の外交慣例を知るための唯一無二の資料がこれであった。

かくして「倭館記録」は、外務省が日朝外交を接収すると同時にその記録

課に保管されることになった。やがて20年を経過した後、近代外交の資料蓄積が充実された明治27年（1894）、役割を終えた記録は「歴史資料」となって帝国図書館の前身である東京図書館へと移管されたものである。すなわち国立国会図書館所蔵本の多くを占める「倭館記録」は、近代日朝外交の船出の時期を支える貴重な教科書としての役割を担っていたといっても過言ではない。

2 倭館の概要

倭館は、15世紀初め、日本人使節を接待するための客館として、朝鮮の都（ソウル）と三ヶ所の港（浦所）に設置されたことに始まる⁽³⁾。近世の倭館は、文禄・慶長の役後の慶長12年（1607）に釜山の豆毛浦に設置され、ここが手狭になったことから延宝6年（1678）草梁に移転した。新たな草梁倭館の敷地面積は約10万坪あり、これより明治政府が日朝外交を接収するときまでの200年間余り、日朝実務外交の最前線として、あるいは対馬藩宗家が独占する日朝貿易のための一大拠点となった。

草梁倭館の【図2】をみると、中央の龍頭山をはさんで左右に建物群が配備されている。向かって右側の「西館」は、倭館本来の目的ともいうべき客館としての機能を持つ。画一的な西館と異なり、左側の「東館」一帯は諸種の任務を帯びた役人の住居が大部分を占め、海側に貿易会所（開市大庁）、倉庫、船舶施設など、山側には神社が多く点在する。ここの住民は400～500人位で、総て対馬藩から派遣された者達である。そのころの対馬の総人口は約3万人で、女性や幼児、老人の居住は許されなかったことから、壮年男子に限ると5%、つまり20人に一人が倭館に居たことになる⁽⁴⁾。「鎖国」といわれる時代、これだけの者が海外の一地点に滞在していたという事実は注目すべきことである。

しかし倭館には、対馬藩以外の日本人、たとえばそれが漂流民であっても、内部への立ち入りは許されなかった。かれらは倭館近くの定められた係留場所へ移送され、帰国まで船上生活を強いられることになっており⁽⁵⁾、外交や貿易についての情報が外部に漏れないよう細心の注意が払われていた。秘匿の対象は幕府に対しても同様で、このため幕府内部における倭館についての認知度は極めて低かった。幕末期の著名な『通航一覧』に、編者の大学頭林樵は倭館の広さについて、かつて対馬へ派遣した巡検使の報告文を引用しながら次のような按文を載せている⁽⁶⁾。

按するに、対馬国記、天和元年巡検使に答へし箇條中に、倭館の広さ北南百間余、西東五十間程とあり、対藩政治問答、宝永七年巡検使に答へしは、和館間数東西四百間程、南北二百五十間程と載せられたれば、前後符合せず、また異本朝鮮物語に、日本館の広さ五百間に三百間程の屋敷とあれば、前は宅地をいひ、後は館邸の惣数をあけしものにや、今詳に弁しかたし、

まず倭館の土地について、近世前期の記録を引用して「北南百間余 西東五十間」あるいは「東西四百間 南北二百五十間」と、かなり開きのある数値を示している。実は倭館は東西南北の長さが総て異なっており、宗家記録⁽⁷⁾によって正確な数値を示すと次のようになる。

東面 約280間 (560m) 西面 約225間 (450m)

北面 約290間 (580m) 南面 約375間 (750m)

これを『通航一覽』の表示に合わせると、東西290～375間、南北225～280間となり、林燿の示した数値のうち後者は大凡該当するが、前者はかなりの開きがあるといわざるを得ない。さらに「日本館の広さ五百間に三百間程の屋敷」とあり、これを「館邸の惣数」(敷地合計数)と理解していることからみて、建物の配置など詳細なことは不明だったと理解される。ともあれ『通航一覽』に掲載される基礎的な数値の開きは、逆に幕府が倭館情報からいかに遮断されていたかを暗示している。

3 倭館館守と『館守毎日記』

倭館での情報管理を含め、総てを統轄したのが館守である。館守は寛永14年(1637)派遣の内野権兵衛(平成連)を初代とし、約230年後の明治期第105代深見六郎の時まで連綿と続く。任期は原則として2年で、対馬藩の馬廻(上士)格の者が選ばれている。屋敷は、【図2】にあるように東館の石垣を築いた高台の上に建てられ、あたかも城郭のごとき悠然とした佇まいをみせている。職務は一口でいえば館内統制であるが、担当家老から令達された「館守条書」⁽⁸⁾の内容を列記すれば、館内の規約遵守、外交・貿易の円滑運営、朝鮮や中国の情報収集、役人の勤務や報酬管理、渡航者・往来物資・漂流民・船の管理、館内の掃除、建物・外構(石垣)の管理、宴席場の監督、朝鮮側との交換文書(書契・真文・短簡・私信など)の管理、等々実に広範囲に及ぶ。

館守の活動はもとより、厚いベールに包まれた倭館の実態を知るには、国

立国会図書館所蔵の『館守毎日記』を読み解くことが肝要である。館守が日記仕立てで記録を残すようになったのは、倭館が草梁に移転してから7年目にあたる貞享2年（1685）以降である。後の宝暦2年（1752）、『館守毎日記』の目録編集に初めて着手した館守の樋口勘吾（第57代、平致信）は、『旧事編集』（後出）の序文の中で次のように述べている。

館守日記は何某代より連続すると言事を不知ゆへ、其始を穿鑿するに、貞享二乙丑平田斎宮再勤（第20代）までハ日記と言事もなく、惟覚書と言ふ一冊あり、継司幾度何かし（幾度弟右衛門、第21代）、吉田何かし（吉田作右衛門、第22代）代より日記各一冊ツ、被残置候といへとも、是その後証と可成事稀也、繼て深見何かし（深見弾右衛門、第23代）の代より漸々事を記、冊を増、代々日記致連続候と相見候、

ここにいう日記に先立つ覚書とは、『旧事編集』に収録された「御年寄中御連判御書附東萊え訓導下僉知別差韓判事并朴僉知を以相渡覚」のことで、平田斎宮の再勤時に問題となった留意事項22カ条（朝市、炭薪や米の入給、船参着、潜商、制札、返簡箱等々）を日本語通事（倭学訳官）を介して東萊府使へ通達したメモ書き程度のもので、日付はもとより事の経緯などは一切不明である。また樋口勘吾の頃には存在したという幾度弟右衛門（第21代、貞享2年8月23日館着）の日記は現存せず、『旧事編集』の抜粋記事から概要を窺うほかない。

現存する『館守毎日記』は、吉田作右衛門（第22代、橘雪勝）が倭館赴任のため対馬鰐浦港を出港した貞享4年（1687）9月23日より、番縫殿介（第104代、高麗造）が館守を勤めていた明治3年（1870）閏10月5日までの184年間、総計811冊（現在865冊に分冊）からなる。この間の欠本・錯簡期間は全体の僅か1%余りに過ぎず⁽⁹⁾、草梁倭館設置時代のうち移転直後の9ヶ年間を除いたほぼ全年にわたる膨大な記録群である。ここには館守がその任務を拝命した日から、交代の時期がきて一切の館務を後任館守に引き継ぎ倭館を出港するその日まで、毎日の気象、対馬と倭館の間を往来する船・人・書簡、時には貿易品の受け渡し、朝鮮との諸交渉、館内の種々の出来事などが克明に記録されている。実際には書役（祐筆）である日帳付役人がこれを務めたが、倭館の統轄役である館守は館内の総てを記録に留め、正確なデータを後世に引き継ぐことが重要な任務であった。

新しく倭館に着任した館守は、前代までの業務内容を具体的に知るために、まず日記の通読から始めなければならない。何か事が起きたとき、正確な情報に裏づけられた的確な判断を下す必要があり、あるいは交渉の進め方、時

宜に適った必要な知識を得るためでもある。しかし現実問題として、年代が降るにしたがい膨大な数量に膨れあがった『館守毎日記』と対峙し、そこから知りたいことだけを採り出すのは至難の業であった。過去の出来事を、できるだけ短時間に把握したい。この要望が、歴代館守たちに創意工夫を迫ることになり、目録や事項索引などが新たに作成されていくことになった。

現在、国立国会図書館に所蔵される『館守毎日記』関連の目録類は、以下の通りである。

- ① 『旧事編集』 5冊 内容年:貞享2年(1685)～寛延3年(1750)
- ② 『惣目録』 51冊(現在54冊に分冊) 内容年:寛延3年(1750)～明治3年(1870)
- ③ 『分類事考』 17冊(現在21冊に分冊) 内容年:貞享2年(1685)～慶応3年(1867)

①『旧事編集』は、先述したように館守の樋口勘吾が編纂した初めての目録として注目される。そのころ倭館に保管されていた日記の総てを対象とし、重要記事を抜粋して編年体で集成している。この①を後代の館守が引き継いだものが②『惣目録』である。作成者名と印記から、館守が一代ごとに自身の日記の目録を編纂しており、後代の館守が作成したものは僅か2冊のみである。体裁は初め①と同じであったが、天明元年(1781)に倭館に着任した幾度主膳(第71代、平圓)の代から記事の内容を項目を立てて分類し、それを編年体で編集していく方針へと転換している。この項目のことを「惣目録の呼出覚」と称しているところからみて、より早く確実に原本の記事へ辿り着けるよう考案されたものと考えられる。項目別分類は、その後多田左膳(第75代)と小川縫殿介(第76代)の代に行われなかったことから、第77代館守となった戸田頼母(三任、源暢明)は、再度、項目別編集にもどし、それも抽出項目の統一性をはかるなどさらなる改善がなされた。

こうした経緯をふまえて寛政7年(1795)に新たに誕生したのが、③『分類事考』である。これは現存する『館守毎日記』全体をあらためて項目別に分類し直したいわば総合索引であり、編纂者は前出戸田頼母(三任)である。その序文に次のようにある。

館守方日記惣目録年々冊数相増、差掛事例を考候ニは殊外手入ニ在之、依之旧事編集より拙者三任之節惣目録迄分類して此節編集し、後考ニ便り在之如くいたし置候、尔今以後御代々惣目録出来之上、右分類之通御仕継被成度希存候、

これによると作成者戸田頼母⁽¹⁰⁾は、①『旧事編集』の流れの上に③『分類

事考』があるとし、一代ごとの②『惣目録』と共にこの編纂事業を歴代館守が受け継ぐよう願っている。館守役を4期にわたって勤めた戸田頼母は、その任期中総計65冊（内訳、第70代15冊・第74代15冊・第77代12冊・第79代23冊）の『館守毎日記』を世に送り出し、4期目の任務終了後も通信使の対馬易地聘礼の下準備のため倭館に滞在して『古館守日記』⁽¹¹⁾ 1冊を残している。『分類事考』は、『館守毎日記』全体を鳥瞰できるよう創意工夫されており、まさに他の誰よりも記録の重要性を認知し、名館守とうたわれた戸田頼母だからこそ成し遂げられた、活用のための至便の書である。

4 『分類紀事大綱』の魅力

『館守毎日記』が倭館の出来事を知るための不可欠な書とすれば、『分類紀事大綱』は日朝交流の全体像を把握するための珠玉の書である。

国立国会図書館が保管する『分類紀事大綱』は、本編36冊・附録2冊・別記録2冊の全40冊（現在43冊に分冊）からなる。本編は、慶安4年（1651）將軍徳川家光の逝去により家綱への代替わりを朝鮮国へ告げる「大慶使」（関白承襲差倭）の記事に始まり、その他送使、訳官使、通信使、漂流民、進上物、公私貿易、倭館（役員・施設・移転・朝市・紛争・事件など）、要請・通達事項等々、寛永11年（1634）～正徳3年（1713）までの記事を細目111件に分類して収録する⁽¹²⁾。

本書は、対馬藩の越常右衛門が個人的に始めた史料収集を基に編纂された記録である。越常右衛門の生年は不明であるが、没年は享保18年（1733）で45歳前後、日朝貿易を取り仕切る一代官の勤務中に倭館で病死している。実父である塩川伊右衛門（政親）の跡を継いで、藩士の初等教育の場「小学校」の師範となるところ、朝鮮方の佐役^{すけやく}を勤めていた儒者の雨森芳洲^{あめのもり}（東五郎）に才能を見いだされ、正徳3年（1713）ごろから日朝関係に関する史料集「紀事大綱」の編纂に着手した。これを事項別に分類した『分類紀事大綱』へと再編集し、最終的に附録までを含めて藩へ提出したのは享保12年（1727）のことで、実に14年の歳月をかけてこの一大編纂事業を成し遂げている。その間、將軍徳川吉宗の推進する朝鮮人参の国産化政策に協力し、長期にわたる倭館での薬材調査と人参生草の入手を実現させて吉宗から時服を賜うなど、様々な分野での調査・収集・処理能力に長けていたことを実証している⁽¹³⁾。

『分類紀事大綱』は、同書の重要性に着目した雨森芳洲の提唱により、そ

の後も朝鮮方に「紀事大綱取立役」を特設して、最終的には明治期まで事業が継承されている。その結果、『分類紀事大綱』は7期分のセットが完成され、本編・附録ともに総計157巻という膨大な史料全集となった。収録された記事の最終は天保9年（1838）で、200年間というほぼ江戸時代全期間にわたる日朝交流の全体像を事項別に知ることができる。このうち年代的に最も古い1期目のセット（以下、越常右衛門本と称す）のみが国立国会図書館に保管され、残り6期分のセットが現在、韓国国史編纂委員会に保管されている。越常右衛門本が、韓国ではなく、国立国会図書館に現存する理由は、江戸時代の“どこかの時点”で、他のセット本と引き離されて倭館へ移されていたからに他ならない。各冊子の一枚目に、「外務省引継本」印と「明治三九・一〇・二三・製本」の文字がある丸印が押されており、このことから明治45年（1912）に購求する江戸藩邸本よりも以前から帝国図書館所蔵になっていたことがわかる。すなわち本書は、『館守毎日記』と同様、藩政時代から倭館で保管・管理されていた「倭館記録」のひとつであったことは明白である。

越常右衛門本のみが倭館所属となった理由は、歴代館守が渴望してやまない近世前期のことが一目瞭然であったためと考えられる。前記のように、『館守毎日記』が作成され始めたのは貞享2年（1685）以降であり、特に古倭館（豆毛浦）時代71年間の出来事が完全に抜け落ちている。常右衛門は、この編纂事業にとりかかるころ藩の「書物方」という部署に配属されており、藩が管理する和書・漢籍はもちろん、日朝間にかかわる書状や諸記録に直接接する機会に恵まれていた。常右衛門が特に注目したのが、藩庁内に残る各役所別の執務記録『毎日記』と、そこに添付された書状綴・書状跡留である。とりわけ倭館と国元との往復書状には、現場と指揮系統とのやりとりを日付を追って辿ることができる。いま『分類紀事大綱』の記事をみると、最後に必ず日付とともに「日帳」、あるいはそれが書状であれば「誰方へ申遣」といった形で出典が明記されている。これに該当する原文の方には、抽出された記事の書き出し部分に△印などの符号が書き込まれており、語句修正や記事の脱漏防止に備えていたことが窺える。

越常右衛門本のさらなる魅力は、本編完成後6年の歳月をかけて仕上げられた附録2冊にある。ここには30細目に総計100点の記事が収録されており、本編から洩れた近世初頭のものやそれ以前のものも多く含まれている。例えば附録一に収められた「尾崎村給人早田源右衛門差出候書付」は4通からなるが、そのうちの1通は、朝鮮の成化18年（1482）3月対馬の「皮古

三甫羅」(彦三郎)なる者へ「宣略將軍虎賁衛司猛」という朝鮮の武官の官職を賜ったときの告身(辞令書)の写しで、これが『分類紀事大綱』に収録された記事としては最古のものとなっている。このほか告身は、弘治16年(1503)、嘉靖34年(1555)(2通)、隆慶3年(1569)、萬曆25年(1597)、天啓3年(1623)、崇禎元年(1628)の計7通が写し取られ、あるいは16世紀の朝鮮の書契(公文書)・別幅・伝令・短書・覚書・目録・日記(天文8年・1539、僧尊海の朝鮮紀行日記)など、なかには原本が失われてここでしか見ることのできないものが多く含まれている。常右衛門はこれらの史料を、「御用長持之内ニ有之真文」「御印箱ニ入有之御書物」といった文庫内に保管される重要古文書から探し出し、時には先の「尾崎村給人早田……」をはじめ、「伊奈郡草使桜木源兵衛所持之書物」「伊奈郡小野十右衛門所持之冊符」などといったように、自ら対馬島内の旧家を探訪して得た収集文書であることを明記している。越常右衛門本は、中世から近世初頭にかけて、史料の希薄な時代を物語る貴重な史料集として、さらなる活用が期待されている。

おわりに

国立国会図書館には、本稿で触れた「倭館記録」以外に、点数は少ないが「江戸藩邸記録」も含まれており、そのほとんどが先述した対幕府関係の記録で占められている。しかしその中であって唯一異彩を放っているのが、貞享元年(1684)～正徳元年(1711)の私貿易内容を年次別に記録した単式帳簿『御商売御利潤并御銀鉄物渡并御代物朝鮮より出高積立之覚書』⁽¹⁴⁾である。この期間、倭館で行われる私貿易(朝鮮商人との相対取引)は、「元方役」という対馬藩の貿易商人に委託されており、商人ならではの才覚から、取引品目・数量・価格・貿易額・利潤・売掛・買掛について、詳細かつ正確な原簿を作成していた。この帳簿を使えば、長崎における中国・オランダ貿易を凌駕するような慶長銀輸出の実態、中国産白糸・絹織物の大量輸入など、鎖国時代の日朝貿易の常識を覆す多くの史実を明らかにすることができる。

だがいっぽうで、幕府へ貿易額を過小申告して、収益の多さをひた隠してきたのが対馬藩である。例えば、「江戸藩邸記録」のひとつで『日本より差渡候諸色朝鮮より差越候品々覚書』によると、貞享3年(1686)老中の阿部正武へ申告した銀輸出額、および朝鮮人参と中国産白糸(生糸)の輸入額を次のように記録している。

銀1,020貫目 人参1,500斤 白糸100丸(5,000斤)

ところが、これと同年の元方役の帳簿に照らし合わせると、

銀2,887貫目余 人参3,265斤 白糸77,265斤

とあり、比較すると相当な虚偽申告がなされていたことは疑う余地がない。つまり元方役の帳簿とは、幕府側からみればいわゆる裏帳簿にあたり、この存在が公になれば藩の面目は失われる。しかしそれにしてもこれがなぜ倭館や国元に留め置かれることなく、よりによって幕府のお膝元である「江戸藩邸記録」となったのか。あるいは明治期になって持ち込まれたものなのか。記録の出入りの時期を含めて、国立国会図書館所蔵の『宗家文書』には、まだまだ解明されていない謎が多く秘められているといわざるをえない。

【註】

- (1) 『宗家文書』の各保管所別の内容については、田代和生「改訂『対馬宗家文書』について」(『対馬宗家文書、第三期、倭館館守日記・裁判記録、別冊下』ゆまに書房、2006年)を参照。
- (2) 明治初期の日朝外交については石川寛「明治維新と朝鮮・対馬関係」(明治維新史学会編『明治維新とアジア』吉川弘文館、2001年)、同「倭館接收後の日朝交渉と対馬」(『九州史学』139号、2004年)、石田徹『近代移行期の日朝関係』(溪水社、2013年)、牧野雅司「明治初期外務省の対朝鮮外交と近世日朝関係」(『朝鮮学報』230輯、2014年)、倭館記録の継承については長正統「日鮮関係における記録の時代」(『東洋学報』50巻4号、1968年)を参照。
- (3) 倭館の歴史・景観・機能・文化交流など、倭館についての基礎的なことは田代和生『新・倭館—鎖国時代の日本人町』(ゆまに書房、2011年)を参照。
- (4) 田代和生『近世日朝通交貿易史の研究』(創文社、1981年)176-177頁。
- (5) 李薫(池内敏訳)『朝鮮後期漂流民と日朝関係』(法政大学出版局、2008年)116-119頁。
- (6) 『通航一覽』刊本第三、451頁。
- (7) 『(倭館絵図)』番号u-a-6(長崎県立対馬歴史民俗資料館所蔵)。
- (8) 長崎県立対馬歴史民俗資料館所蔵。解説は、田代和生『近世日朝通交貿易史の研究』(前掲註4)178-180頁。
- (9) 長正統「日鮮関係における記録の時代」(前掲註2)91頁。
- (10) 館守戸田頼母については、許芝銀「近世倭館館守の役割と戸田頼母」(『韓日関係史研究』48輯、2014年、原文ハンゲル)を参照。なお本論文では『贅言試集』を戸田頼母の著作として分析するが、こちらは対馬藩朝鮮語通詞が著述したものである(田代和生『日朝交易と対馬藩』創文社、2007年、143頁注35)。

- (11) 韓国国史編纂委員会所蔵。同書が韓国に保管されているということは、倭館に留め置かれずに戸田頼母が帰国時に持ち帰ったものと考えられる。
- (12) 『分類紀事大綱』については、田代和生『日朝交易と対馬藩』（創文社、2007年）第五章宗家文書『分類紀事大綱』について、に詳しい。
- (13) 田代和生『江戸時代朝鮮薬材調査の研究』（慶應義塾大学出版会、1999年）表3-3 越常右衛門の経歴。
- (14) 本記録は、元方役の在職中に取引された私貿易の全商品について、輸入品の利潤項目のみ正徳2年（1712）～同5年の京都相場の平均値より算出して書き加え、享保元年（1716）冊子に仕立てられたものである。現在、同書名の写しが長崎県立対馬歴史民俗資料館と韓国国史編纂委員会に所蔵されており、またこれを底本に作成された『貞享三年より元禄十年迄之内御商売御利潤積帳』が東京大学史料編纂所に所蔵されている。詳しくは、田代和生『近世日朝通交貿易史の研究』（前掲註4）第十章貿易帳簿からみた私貿易の数量的考察、を参照。

（たしろ かずい 慶應義塾大学名誉教授）

【目録】

凡例

一、本目録は、国立国会図書館が所蔵する「宗家文書」（対馬宗家倭館関係資料）の目録である。

一、以下のとおり分類したうえで、原則として年代順に配列した。複数冊からなる資料、分冊されている資料は、最初の年代にあわせた。「館守毎日記」「裁判記録」（裁判記録関係に収められている）は、記主毎にまとめたうえで、年代順に配列した。

1 館守毎日記関係

- (1) 館守毎日記
- (2) 『旧事編集』
- (3) 『物目録』
- (4) 『分類事考』

2 裁判記録関係

3 送使記録

- (1) 児名送使
- (2) 漂着使
- (3) 告還使
- (4) 吊礼使
- (5) 告喪使
- (6) 告訃使
- (7) 退休使・給仮使・体情使

4 両国往復書関係

- (1) 『両国往復書牋』
- (2) 書式・目録
- (3) 跡留

5 倭館改修記録

6 貿易関係記録

7 『分類紀事大綱』

8 そのほか

一、記載事項は、原題、作成者、内容年、当館書名・冊番号、当館請求記号、冊数、大きさ、丁数、備考である。

一、原題は、原則として原表紙に墨書された書名と巻表示を、表記のまま記載した。原表紙に書名が無い場合は内表紙から採録した。

なお、本目録では、「原表紙」は帝国図書館や国立国会図書館で付したのなど後補の表紙や遊紙を除く最も外側の表紙、「内表紙」は原表紙より本文側に綴じられた表紙の意味で用いた。そのため、たとえば共紙で作成された表紙であっても、その外側に表紙がかけられているか否かで、「原表紙」と表記する場合と「内表紙」と表記する場合がある。本の構成上の区切りを示す中表紙については、「中扉」とした。中扉については、本の構成を判断する材料になる場合や別書名が記された場合など、有用と思われる場合に限り記載した。

- 一、原本の巻表示は多様であるが、巻表示部分のみを原題欄に記した。たとえば、尾題の位置に「共五冊之内三」と割書きされているもの、尾題の位置には「三」とのみ記され「共五冊之内」は書名とは異なる部分に記されているものなどがある。本目録では、いずれの場合も「三」のみを巻表示として原題の項目に記入し、「共五冊之内」は備考欄に示した。
- 一、合冊されたものと推定される資料には、①②③等の番号を付して合冊された順に記したものがある。
- 一、作成者は、原則として原表紙または内表紙に墨書されたものを、表記のまま記載した。職名や「再勤」等の語は残し、「館守毎日記」については館守としての代数を補った。
- 一、内容年は、原則として本文の記載内容の年月日を記した。ただし、『分類事考』、『惣目録』、『分類紀事大綱』（第1冊～第33冊）は、引用元の文献等の年月を記した。
- 一、内容年は、補記した場合や推定した場合も、原則として[]は付さなかった。改元年などは新年号に統一した。
- 一、内容年は、「元年」「正月」「朔日」等の表記も含め、和暦・算用数字に統一した。「晦日」についても、すべて30日に当ることが確認できたので、30日に改めた。なお、朝鮮側の文書の場合、干支により記載されているものがあるが、この場合も同様に和暦で表記した。そのため、閏月等の関係で、日本国内では存在しない年月が記載されている場合がある。明国の元号が用いられている場合は、そのまま用い、和暦を補記した。
- 一、大きさは、縦×横で示した。単位はセンチメートルである。
- 一、丁数は、原表紙、内表紙、中扉を除く墨付の丁数を数えた。
- 一、備考には、原題、作成者を除く原表紙に記された文言、印記、分冊、内容細目、資料の成立事情等を記した序跋、そのほか有益と思われる情報

を記載した。原表紙と内表紙の情報が内容的に重複する場合は、文言の異同に関わらず、原表紙の文言のみを記載した。

- 一、冊数は、現在の冊数を記した。帝国図書館で合冊されたものは元の冊数を併記した。
 - 一、資料中の文言を備考欄に転記する場合、適宜読点を補った。
 - 一、角書や割書などは、本文と区別しなかった。
 - 一、文字は現在通行の文字を用いた。ただし、原題と作成者の欄に関しては、使用されている漢字の形と現在通行の漢字の形が大きく異なる場合に限り、使用されている漢字の形を用いた。
 - 一、「夕」は「より」、「冫」は「事」と記した。助詞として用いられる「者」、「江」、「茂」などは、漢字形のまま表記した。
 - 一、挟みこまれた紙片などについては、原則的には記載していないが、古文書の原本である場合や資料の成立等に関係すると思われるものについては、記載したものもある。
 - 一、破損等により判読できない字は□または〔 〕を用いて表した。
 - 一、補記した場合は、上記の例外を除き〔 〕で囲んだ。
-
- 一、「分類紀事大綱」の細目は、「『分類紀事大綱』総合目録」（田代和生『日朝交易と対馬藩』創文社、2007年）を参考にして作成しました。記して感謝いたします。

1 館守毎日記関係

(1) 館守毎日記

1 館守毎日記関係 (1) 館守毎日記 811冊 [現在865冊に分冊]

朝鮮釜山に設置された倭館館守の執務記録。倭館は日朝外交・貿易の最前線基地として慶長12年(1607)釜山豆毛浦に設置されたが、手狭になったことから延宝6年(1678)草梁に移転した。ここを統轄する館守は、寛永14年(1637)派遣の内野権兵衛を初代とし、234年後の明治4年(1871)第105代深見六郎の時まで続く。館内の任期は原則として2年で、任務は館内の規約遵守、日朝外交・貿易の円滑運営、渡航者・往来物資・漂流民・船の管理、役人の勤務や報酬管理、館内の掃除、建物・外構(石垣)の管理、宴席場の監督、朝鮮側との交換文書(書契・真文・短簡・私信)の記録と管理など、実に広範囲にわたる。

『旧事編集』序文によると、館守が日記を残した始まりは第21代館守幾度弟右衛門の時とするが、現存するのは次の代の館守吉田作右衛門からである。倭館赴任のため対馬鰐浦港を出港した貞享4年(1687)9月23日の記事以降、番縫殿介(第104代)が館守を勤めた明治3年(1870)閏10月5日までの184年間、総計811冊からなる。この間の欠本・錯簡期間は全体の僅か1%余りに過ぎず、草梁倭館設置時代のうち移転直後の9ヶ年間を除いたほぼ全年にわたる膨大な記録群である。ここには館守がその任務を拝命

した日から、交代の時期がきて一切の館務を後任館守に引き継ぎ倭館を出港するその日まで、毎日の気象、対馬と倭館の間を往来する船・人・書簡、時には貿易品の受け渡し、朝鮮との諸交渉、事件を含む館内の種々の出来事などが克明に記録されている。倭館内部のことは幕府に対しても秘匿事項とされており、館守の日記は写本も存在しない。「鎖国時代」の希有な日本人町、倭館の実態を伝える貴重な記録である。

倭館については田代和生『新・倭館—鎖国時代の日本人町』(ゆまに書房、2011年)、館守と倭館記録については長正統「日鮮関係における記録の時代」(『東洋学報』50-4、1968年)を参照。
(田代和生)

原題	作成者	内容年	当館書名. [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
毎日記	吉田作右衛門 (22代)	貞享4年9月23日～ 元禄1年3月19日	毎日記 [1]	WA1-6-34	1冊	26.2×20.8	25	原表紙に「参番」「貞享四丁卯年九月廿三日」の墨書あり。 印記：「源姓戸田暢明」
毎日記一	深見弾右衛門 (23代)	元禄1年8月1日～ 元禄1年12月29日	毎日記 [2]	WA1-6-34	1冊	27.5×21.3	106	原表紙に「四番」「五ノ内」「貞享五戊辰年八月朔日」の墨書あり。 印記：「源姓戸田暢明」
毎日記二	深見弾右衛門 (23代)	元禄2年1月1日～ 元禄2年6月29日	毎日記 [3]	WA1-6-34	1冊	28.2×21.1	151	原表紙に「四番」「五之内」「元禄二己巳年正月吉日」の墨書あり。 印記：「源姓戸田暢明」
毎日記三	深見弾右衛門 (23代)	元禄2年7月1日～ 元禄2年12月29日	毎日記 [4]	WA1-6-34	1冊	27.5×19.6	134	原表紙に「四番」「五ノ内」「元禄二己巳年七月吉日」の墨書あり。 印記：「源姓戸田暢明」
毎日記四	深見弾右衛門 (23代)	元禄3年1月1日～ 元禄3年5月29日	毎日記 [5]	WA1-6-34	1冊	27.0×19.6	116	原表紙に「四番」「五之内」「元禄三庚午年正月朔日」の墨書あり。 印記：「源姓戸田暢明」
毎日記五	深見弾右衛門 (23代)	元禄3年6月1日～ 元禄3年9月16日	毎日記 [6]	WA1-6-34	1冊	27.7×19.3	85	原表紙に「四番」「五ノ内」「元禄三庚午年六月朔日」の墨書あり。 印記：「源姓戸田暢明」
毎日記一	嶋雄八左衛門 (24代)	元禄3年9月15日～ 元禄3年12月30日	毎日記 [7]	WA1-6-34	1冊	25.5×20.8	70	原表紙に「五番」「四冊之内」「元禄三庚午年九月十五日より十二月晦日迄」の墨書あり。内表紙に「外和漂船記一冊」の墨書あり。印記：「源姓戸田暢明」
毎日記二	嶋雄八左衛門 (24代)	元禄4年1月1日～ 元禄4年6月29日	毎日記 [15]	WA1-6-34	1冊	28.2×18.2	133	原表紙に「五番」「四冊之内」「元禄四辛未年正月元日より六月廿九日迄」「外二和漂船記一冊」の墨書あり。印記：「源姓戸田暢明」
毎日記三	嶋雄八左衛門 (24代)	元禄4年7月1日～ 元禄4年12月30日	毎日記 [9]	WA1-6-34	1冊	28.2×18.1	142	原表紙に「五番」「四冊之内」「元禄四辛未年七月朔日より十二月晦日迄」「外二和漂船記一冊」の墨書あり。印記：「源姓戸田暢明」
毎日記四	嶋雄八左衛門 (24代)	元禄5年1月1日～ 元禄5年7月11日	毎日記 [10]	WA1-6-34	1冊	25.5×20.3	117	原表紙に「五番」「四冊之内」「元禄五壬申年正月元日より七月十一日迄」「外二和漂船記一冊」の墨書あり。印記：「源姓戸田暢明」

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
毎日記一	仁位助之進 (25代)	元禄5年7月9日～ 元禄5年12月30日	毎日記 [8]	WA1-6-34	1冊	28.8×20.5	108	原表紙に「六番」「元禄五壬申歲七月 日より」「十月十八日 館守茶礼、万松院大茶礼同日ニ有之」の墨書あり。印記：「源 姓戸田暢明」
毎日記二	仁位助之進 (25代)	元禄6年1月1日～ 元禄6年4月30日	毎日記 [11]	WA1-6-34	1冊	28.4×20.8	69	原表紙に「六番」「四冊之内」「元禄六癸酉年正月元日より四 月晦日迄」「正月廿五日参判使中宴席之節日本躍有之」の墨 書あり。印記：「源姓戸田暢明」
毎日記三	仁位助之進 (25代)	元禄6年5月1日～ 元禄6年8月3日	毎日記 [12]	WA1-6-34	1冊	28.5×20.1	65	原表紙に「六番」「元禄六癸酉年五月朔日より八月三日迄」 の墨書あり。印記：「源姓戸田暢明」
毎日記四	仁位助之進死後跡	元禄6年8月4日～ 元禄6年11月1日	毎日記 [13]	WA1-6-34	1冊	28.9×19.3	41	原表紙に「六番」「元禄六癸酉年自八月四日乃至十一月朔日」 の墨書あり。8月4日桑冒頭に「助之進死後裁判新館守御渡 海迄ハ一代官高崎仙右衛門支配被仕候」とあり。印記：「源 姓戸田暢明」
毎日記一	幾度六右衛門 (26代)	元禄6年11月1日～ 元禄6年12月29日	毎日記 [14]	WA1-6-34	1冊	26.9×21.3	75	原表紙に「七番」「共二七冊 第二卷亡」「元禄六癸酉年十一月 十二月」の墨書あり。
毎日記三	幾度六右衛門 (26代)	元禄7年4月1日～ 元禄7年5月28日	毎日記 [16]	WA1-6-34	1冊	27.2×21.5	35	原表紙に「七番」「七冊之内」「元禄七甲戌年四月五月」の墨 書あり。2枚目の内表紙に「八冊之内一冊不足」「元禄七年甲 戌四月より五月廿八日迄、其先切テ不見」の墨書あり。後欠。 印記：「源姓戸田暢明」
毎日記四	幾度六右衛門 (26代)	元禄7年閏5月1日～ 元禄7年7月29日	毎日記 [17]	WA1-6-34	1冊	26.7×21.4	50	原表紙に「七番」「共七冊」「元禄七甲戌年閏五月六月七月」 の墨書あり。2枚目の内表紙に「八冊之内一冊不足」の墨書 あり。印記：「源姓戸田暢明」
毎日記五	幾度六右衛門 (26代)	元禄7年8月1日～ 元禄7年9月29日	毎日記 [18]	WA1-6-34	1冊	26.7×21.6	46	原表紙に「七番」「共七冊」「元禄七甲戌年八月九月」の墨書 あり。2枚目の内表紙に「八冊之内一冊不足」の墨書あり。 印記：「源姓戸田暢明」

毎日記 六	幾度六右衛門 (26代)	元禄7年10月1日～ 元禄7年12月29日	毎日記 [19]	WA1-6-34	1冊	26.4×21.5	42	原表紙に「七番」「共七冊」「元禄七甲戌年十月十一月十二月」の墨書あり。2枚目の内表紙に「八冊之内 一冊不足」の墨書あり。印記：「源姓戸田暢明」
毎日記 七	幾度六右衛門 (26代)	元禄8年1月1日～ 元禄8年3月30日	毎日記 [20]	WA1-6-34	1冊	26.8×21.6	44	原表紙に「七番」「共七冊」「元禄八乙亥年正月二月三月」の墨書あり。2枚目の内表紙に「八冊之内 一冊不足」の墨書あり。印記：「源姓戸田暢明」
毎日記 八	幾度六右衛門 (26代)	元禄8年4月1日～ 元禄8年6月23日	毎日記 [21]	WA1-6-34	1冊	26.8×20.0	46	原表紙に「七番」「共七冊」「元禄八乙亥年四月五月六月」の墨書あり。2枚目の内表紙に「元禄八乙亥年四月五月六月廿四日迄」「八冊之内 一冊不足」の墨書あり。印記：「源姓戸田暢明」
毎日記 巻	内野権兵衛 (27代)	元禄8年6月19日～ 元禄8年9月29日	毎日記 [22]	WA1-6-34	1冊	26.1×20.1	128	原表紙に「八番」「七冊之内」「元禄八乙亥年六月七月八月九月」の墨書あり。内表紙に「八冊之内」の墨書あり。
毎日記 式	内野権兵衛 (27代)	元禄8年10月1日～ 元禄8年12月27日	毎日記 [23]	WA1-6-34	1冊	25.9×20.3	89	原表紙に「八番」「七冊之内」「元禄八乙亥年十月十一月十二月廿七日迄」の墨書あり。内表紙に「八冊之内」の墨書あり。本文は後欠か。裏内表紙に「代々日記 巻」「平田所左衛門」「八冊之内」「享保九丙子年八月九月」の墨書あり。
毎日記 三	内野権兵衛 (27代)	元禄9年1月1日～ 元禄9年3月30日	毎日記 [24]	WA1-6-34	1冊	26.2×20.6	96	原表紙に「八番」「七冊之内」「元禄九丙子年正月二月三月四月五月六月」の墨書あり。「六月廿七日迄」「三月末ヨリ記録 入礼居候付味吟難相成候事、四月より六月迄何ノ年ト事不相知」の墨書あり。内表紙によれば「札」は「乱」、「年ト事」は「年ト申事」。内表紙に「八冊之内」の墨書あり。「毎日記 [25]」と分冊したもの。
[毎日記 三]	[内野権兵衛] (27代)	元禄9年4月1日～ 元禄9年6月27日	毎日記 [25]	WA1-6-34	1冊	26.1×20.5	76	原表紙、内表紙欠。後表紙に「此冊三月廿三日之処より混雑致し居、旧事編集与引合可申候事 毎日記」の墨書あり。原表紙、内表紙を欠く。「毎日記 [24]」と分冊したもの。

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
毎日記四	内野権兵衛 (27代)	元禄9年4月1日～ 元禄9年6月30日	毎日記 [26]	WA1-6-34	1冊	26.8×20.6	106	原表紙に「八番」「七冊之内」「元禄九丙子年四月五月六月」の墨書あり。内表紙に「八冊之内」の墨書あり。
毎日記五	内野権兵衛 (27代)	元禄9年7月1日～ 元禄9年9月29日	毎日記 [27]	WA1-6-34	1冊	25.6×21.0	127	原表紙に「八番」「七冊之内」「元禄九丙子年七月八月」の墨書あり。内表紙に「八冊之内」「元禄九丙子年七月八月九月」(九月は朱筆追記)の墨書あり。裏内表紙に「毎日記 巻」「内野権兵衛 茂太郎書之」「八冊之内」「元禄九丙子年七月八月」の墨書あり。
毎日記六	内野権兵衛 (27代)	元禄9年10月1日～ 元禄9年12月30日	毎日記 [28]	WA1-6-34	1冊	26.5×21.5	101	原表紙に「八番」「七冊之内」「元禄九丙子年十月十一月十二月」の墨書あり。内表紙に「八冊之内」の墨書あり。
毎日記七	内野権兵衛[衛] (27代)	元禄10年1月1日～ 元禄10年閏2月29日	毎日記 [29]	WA1-6-34	1冊	24.7×18.5	98	原表紙に「八番」「七冊之内」「元禄十丁丑年正月二月閏[二]月」の墨書あり。
毎日記 巻	唐坊新五郎 (28代)	元禄10年6月12日～ 元禄10年7月29日	毎日記 [30]	WA1-6-34	1冊	27.3×19.9	70	原表紙に「九番」「八冊之内」「元禄十丁丑歳六月十二日より七月」の墨書あり。印記：「源姓戸田暢明」
毎日記 式	唐坊新五郎 (28代)	元禄10年8月1日～ 元禄10年10月29日	毎日記 [31]	WA1-6-34	1冊	27.1×20.0	98	原表紙に「九番」「八冊之内」「元禄十丁丑年八月九月十月」の墨書あり。印記：「源姓戸田暢明」
毎日記 参	唐坊新五郎 (28代)	元禄10年11月1日～ 元禄10年12月30日	毎日記 [32]	WA1-6-34	1冊	27.0×21.2	65	原表紙に「九番」「八冊之内」「元禄十丁丑年十一月十二月」の墨書あり。印記：「源姓戸田暢明」
毎日記 四	唐坊新五郎 (28代)	元禄11年1月7日～ 元禄11年4月29日	毎日記 [33]	WA1-6-34	1冊	27.7×20.7	121	原表紙に「九番」「八冊之内」「元禄十一戊寅年正月二月三月四月」の墨書あり。1月7日条の前に「一平山九左衛門殿へ夜廻案内」の1行あり。前次か。印記：「源姓戸田暢明」
毎日記 五	唐坊新五郎 (28代)	元禄11年5月1日～ 元禄11年6月29日	毎日記 [34]	WA1-6-34	1冊	27.7×20.5	90	原表紙に「九番」「八冊之内」「元禄十一戊寅年五月六月七月八月」の墨書あり。「毎日記 [35]」と分冊したもの。印記：「源姓戸田暢明」
[毎日記 五]	[唐坊新五郎] (28代)	元禄11年7月1日～ 元禄11年8月30日	毎日記 [35]	WA1-6-34	1冊	27.7×20.4	66	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [34]」と分冊したもの。

毎日記 六	唐坊新五郎 (28代)	元禄11年9月1日～ 元禄11年12月30日	毎日記 [36]	WA1-6-34	1冊	26.7×20.2	138	原表紙に「九番」「八冊之内」「元禄十一戊寅年九月十月十一月十二月」の墨書あり。
毎日記 七	唐坊新五郎 (28代)	元禄12年1月1日～ 元禄12年4月29日	毎日記 [37]	WA1-6-34	1冊	26.8×20.5	114	内表紙に「九番」「八冊之内」「元禄十二己卯年正月二月三月四月」の墨書あり。印記：「源姓戸田暢明」
毎日記 八	唐坊新五郎 (28代)	元禄12年5月2日～ 元禄12年8月16日	毎日記 [38]	WA1-6-34	1冊	26.6×20.3	137	原表紙に「九番」「八冊之内」「元禄十二己卯年五月六月七月」の墨書あり。末尾に「七月十六日迄」とあるが、8月16日まで記載。印記：「源姓戸田暢明」
毎日記 一	寺田一郎兵衛 (29代)	元禄12年8月23日～ 元禄12年閏9月29日	毎日記 [39]	WA1-6-34	1冊	24.6×18.3	66	原表紙に「拾番」「九冊之内」「元禄十二己卯年八月九月閏九月」の墨書あり。
毎日記 式	寺田市郎兵衛 (29代)	元禄12年10月1日～ 元禄12年12月29日	毎日記 [40]	WA1-6-34	1冊	26.8×20.0	76	原表紙に「拾番」「九冊之内」「元禄十二己卯年十月十一月十二月」の墨書あり。
毎日記 参	寺田一郎兵衛 (29代)	元禄13年1月1日～ 元禄13年3月30日	毎日記 [41]	WA1-6-34	1冊	26.1×20.0	66	原表紙に「拾番」「九冊之内」「元禄十三庚辰年正月二月三月」の墨書あり。内表紙上の作成者名は「寺田市郎兵衛」。
毎日記 四	寺田一郎兵衛 (29代)	元禄13年4月1日～ 元禄13年6月30日	毎日記 [42]	WA1-6-34	1冊	25.7×19.9	70	原表紙に「拾番」「九冊之内」「元禄十三庚辰年四月五月六月」の墨書あり。内表紙上の作成者名は「寺田市郎兵衛」。
毎日記 五	寺田市郎兵衛 (29代)	元禄13年7月1日～ 元禄13年9月30日	毎日記 [43]	WA1-6-34	1冊	25.6×20.0	64	原表紙に「拾番」「九冊之内」「元禄十三庚辰年七月八月九月」の墨書あり。
毎日記 六	寺田一郎兵衛 (29代)	元禄13年10月1日～ 元禄13年12月30日	毎日記 [44]	WA1-6-34	1冊	26.6×19.8	63	内表紙に「拾番」「九冊之内」「元禄十三庚辰年十月十一月十二月」の墨書あり。
毎日記 七	寺田市郎兵衛 (29代)	元禄14年1月1日～ 元禄14年3月30日	毎日記 [45]	WA1-6-34	1冊	27.1×19.8	51	原表紙に「拾番」「九冊之内」「元禄十四辛巳年正月二月三月」の墨書あり。
毎日記 八	寺田一郎兵衛 (29代)	元禄14年4月1日～ 元禄14年6月29日	毎日記 [46]	WA1-6-34	1冊	26.6×19.7	63	原表紙に「拾番」「九冊之内」「元禄十四辛巳年四月五月六月」の墨書あり。内表紙上の作成者名は「寺田市郎兵衛」。
毎日記 九	寺田市郎兵衛 (29代)	元禄14年7月1日～ 元禄14年9月22日	毎日記 [47]	WA1-6-34	1冊	27.0×19.8	64	原表紙に「拾番」「九冊之内」「元禄十四辛巳年七月八月九月廿二日迄」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
毎日記一	再勤 嶋雄八左衛門 (30代)	元禄14年9月22日～ 元禄14年12月30日	毎日記 [48]	WA1-6-34	1冊	27.2×20.1	74	原表紙に「拾苕番」「八冊之内」「元禄十四辛巳年九月ヨリ十二月マテ」の墨書あり。内表紙に「元禄十四辛巳年九月廿二日より十月十一月十二月」の墨書あり。
毎日記二	再勤 嶋雄八左衛門 (30代)	元禄15年1月1日～ 元禄15年3月30日	毎日記 [49]	WA1-6-34	1冊	26.8×19.9	84	原表紙に「拾苕番」「八冊之内」「元禄十五壬午年正月ヨリ六月マテ」の墨書あり。内表紙に「元禄十五壬午年正月二月三月」の墨書あり。「毎日記 [50]」と分冊したものの。
[毎日記二]	[再勤 嶋雄八左衛門] (30代)	元禄15年4月10日～ 元禄15年6月30日	毎日記 [50]	WA1-6-34	1冊	26.8×19.0	108	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [49]」と分冊したもの。10日条の直前の記載から始まる。前欠。5月28日から6月5日の記事を欠く。「九月朔日」とあるが、誤りか。
毎日記三	再勤 嶋雄八左衛門 (30代)	元禄15年7月1日～ 元禄15年閏8月29日	毎日記 [56]	WA1-6-34	1冊	25.8×19.3	100	原表紙に「拾苕番」「八冊之内」「元禄十五壬午年七月ヨリ閏八月迄」の墨書あり。
毎日記四	再勤 嶋雄八左衛門 (30代)	元禄15年9月1日～ 元禄15年10月30日	毎日記 [51]	WA1-6-34	1冊	24.9×18.9	106	原表紙に「拾苕番」「八冊之内」「元禄十五壬午年九月ヨリ十月マテ」の墨書あり。「毎日記 [52]」と分冊したもの。
[毎日記四]	[再勤 嶋雄八左衛門] (30代)	元禄15年11月1日～ 元禄15年12月30日	毎日記 [52]	WA1-6-34	1冊	25.0×19.0	127	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [51]」と分冊したもの。
毎日記五	再勤 嶋雄八左衛門 (30代)	元禄16年1月1日～ 元禄16年3月30日	毎日記 [53]	WA1-6-34	1冊	25.9×18.2	167	内表紙に「拾一番」「八冊之内」「元禄十六癸未年正月ヨリ三月迄」の墨書あり。
毎日記六	再勤 嶋雄八左衛門 (30代)	元禄16年4月1日～ 元禄16年6月30日	毎日記 [54]	WA1-6-34	1冊	26.3×19.2	113	内表紙に「拾一番」「八冊之内」「元禄十六癸未年四月ヨリ六月迄」の墨書あり。
毎日記七	再勤 嶋雄八左衛門 (30代)	元禄16年7月1日～ 元禄16年8月30日	毎日記 [55]	WA1-6-34	1冊	26.1×20.0	99	原表紙に「拾苕番」「八冊之内」「元禄十六癸未年七月ヨリ九月マテ」の墨書あり。「毎日記 [57]」と分冊したもの。
[毎日記七]	[再勤 嶋雄八左衛門] (30代)	元禄16年9月1日～ 元禄16年9月29日	毎日記 [57]	WA1-6-34	1冊	26.2×20.0	45	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [55]」と分冊したもの。
毎日記八	再勤 嶋雄八左衛門 (30代)	元禄16年10月1日～ 元禄16年12月21日	毎日記 [58]	WA1-6-34	1冊	26.2×19.3	134	原表紙に「十一番」「八冊之内」「元禄十六癸未年十月ヨリ十一月至」の墨書あり。

毎日記 巻	小川又三郎 (31代)	元禄16年12月21日 ～宝永1年5月30日	毎日記 [59]	WA1-6-34	1冊	26.6×19.8	146	原表紙に「拾貳番」「貳冊之内」「元禄十六癸未年ヨリ至同十七年十二月廿一日ヨリ翌甲申五月マテ 宝永改元」の墨書あり。中扉が4枚あり、それぞれに「毎日記 一 從元禄十六癸未年至同十七年十二月廿一日ヨリ正月晦日迄 五冊之内」(「五冊之内」は見消)、「毎日記 二 元禄十七甲申年二月 小川又三郎五冊之内」「宝永元甲申年三月四月 毎日記 三 小川又三郎」「宝永元甲申年五月 小川又三郎 五冊之内」の墨書あり。もと4冊を合冊か。
毎日記 貳	小川又三郎 (31代)	宝永1年6月1日～ 宝永1年9月30日	毎日記 [60]	WA1-6-34	1冊	26.6×20.5	92	原表紙に「拾貳番」「貳冊ノ内」「宝永元甲申年六月ヨリ九月迄」の墨書あり。内表紙に「同十月ヨリ翌乙酉年九月迄之記 録無之」の墨書あり。
毎日記 参	俵五郎左衛門 (32代)	宝永2年9月7日～ 宝永2年12月29日	毎日記 [61]	WA1-6-34	1冊	26.8×20.0	115	原表紙に「拾三番」「共四冊」「宝永乙酉年從九月七日至十二月廿九日」の墨書あり。内表紙に「七冊之内」の墨書あり。
毎日記 肆	俵五郎左衛門 (32代)	宝永3年1月1日～ 宝永3年4月30日	毎日記 [62]	WA1-6-34	1冊	26.7×20.0	104	原表紙に「拾三番」「共四冊」「宝永三丙戌年從正月八月二日至」の墨書あり。「毎日記 [63]」と分冊したもの。
毎日記 伍	俵五郎左衛門 (32代)	宝永3年5月1日～ 宝永3年8月30日	毎日記 [63]	WA1-6-34	1冊	26.8×20.5	100	巻の「三」は追記されたもの。原表紙に「宝永三丙戌年五月ヨリ八月晦日迄」の墨書あり。「毎日記 [62]」と分冊したもの。
毎日記 六	俵五郎左衛門 (32代)	宝永3年9月1日～ 宝永3年12月30日	毎日記 [64]	WA1-6-34	1冊	27.7×20.5	83	原表紙に「拾三番」「共四冊」「宝永三丙戌年從九月丁亥四月二日至」の墨書あり。過去に「毎日記 [65]」と合冊し、再分冊したものか。
毎日記 七	俵五郎左衛門 (32代)	宝永4年1月1日～ 宝永4年4月29日	毎日記 [65]	WA1-6-34	1冊	27.7×20.5	81	巻次の「五」は「四」を訂正したもの。原表紙に「宝永四丁亥年正月より四月迄」の墨書あり。過去に「毎日記 [64]」と合冊し再分冊したものか。
毎日記 八	俵五郎左衛門 (32代)	宝永4年5月1日～ 宝永5年1月15日	毎日記 [67]	WA1-6-34	1冊	27.1×20.1	122	原表紙に「拾三番」「共二四冊」「宝永四丁亥年從五月九月至」の墨書あり。
毎日記 九	樋口久米右衛門 (33代)	宝永4年2月15日～ 宝永4年12月30日	毎日記 [66]	WA1-6-34	1冊	26.0×19.6	134	原表紙に「拾四番」「六冊ノ内」「宝永四丁亥歳二月ヨリ十二月マテ」の墨書あり。内表紙に「宝永四丁亥歳二月十五日ヨリ十二月迄」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
毎日記式	樋口久米右衛門 (33代)	宝永5年1月1日～ 宝永5年4月29日	毎日記 [68]	WA1-6-34	1冊	26.4×20.1	91	原表紙に「拾四番」「六冊ノ内」「宝永五戊子歳正月ヨリ四月マテ」の墨書あり。
毎日記三	樋口久米右衛門 (33代)	宝永5年5月1日～ 宝永5年8月30日	毎日記 [69]	WA1-6-34	1冊	26.9×19.9	94	原表紙に「拾四番」「六冊ノ内」「宝永五戊子歳五月ヨリ八月迄」の墨書あり。
毎日記四	樋口久米右衛門 (33代)	宝永5年9月1日～ 宝永5年12月30日	毎日記 [70]	WA1-6-34	1冊	26.9×20.0	94	原表紙に「拾四番」「六冊ノ内」「宝永五戊子歳九月ヨリ十二月マテ」の墨書あり。
毎日記五	樋口久米右衛門 (33代)	宝永6年1月1日～ 宝永6年4月29日	毎日記 [71]	WA1-6-34	1冊	26.2×20.4	69	原表紙に「拾四番」「六冊内」「宝永六己丑歳正月ヨリ四月マテ」の墨書あり。
毎日記六	樋口久米右衛門 (33代)	宝永6年5月1日～ 宝永6年8月29日	毎日記 [73]	WA1-6-34	1冊	26.4×20.1	83	原表紙に「拾四番」「六冊ノ内」「宝永六己丑歳五月ヨリ十二月マテ」の墨書あり。内表紙に「宝永六己丑歳五月ヨリ十一月廿六日迄」の墨書あり。「毎日記 [74]」と分冊したものの。
[毎日記六]	[樋口久米右衛門 (33代)]	宝永6年9月1日～ 宝永6年11月26日	毎日記 [74]	WA1-6-34	1冊	26.4×20.1	64	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [73]」と分冊したものの。
毎日記巻	平田所左衛門 (34代)	宝永6年2月8日～ 宝永6年12月30日	毎日記 [72]	WA1-6-34	1冊	26.9×19.8	66	原表紙に「拾五番」「共参册」「宝永六己丑年同七庚寅年己丑二月ヨリ額月迄 翌庚寅正月ヨリ四月迄」の墨書あり。2月分は1丁分のみで次丁は9月20日条から始まる。「毎日記 [75]」と分冊したものの。
毎日記二	平田所左衛門 (34代)	宝永7年1月1日～ 宝永7年4月29日	毎日記 [75]	WA1-6-34	1冊	26.9×19.8	129	原表紙 (共紙) に「宝永七庚寅年正月二月三月四月」の墨書あり。「毎日記 [72]」と分冊したものの。
毎日記式	平田所左衛門 (34代)	宝永7年5月1日～ 宝永7年7月30日	毎日記 [76]	WA1-6-34	1冊	27.0×20.0	78	原表紙に「共参册」「宝永七庚寅年從五月至九月」の墨書あり。内表紙に「毎日記 三」「六冊之内」「宝永七庚寅年五月六月七月」の墨書あり。「毎日記 [77]」と分冊したものの。
毎日記四	平田所左衛門 (34代)	宝永7年8月1日～ 宝永7年9月30日	毎日記 [77]	WA1-6-34	1冊	27.0×20.1	79	原表紙 (共紙) に「宝永七庚寅年八月閏八月九月」「六冊之内」の墨書あり。「毎日記 [76]」と分冊したものの。

毎日記 参	平田所左衛門 (34代)	宝永7年10月1日～ 宝永7年12月29日	毎日記 [78]	WA1-6-34	1冊	27.2×20.1	81	原表紙に「共参册」「宝永七庚寅年同辛卯年 庚寅十月ヨリ十二月迄 辛卯正月ヨリ三月廿五日迄」の墨書あり。内表紙に「毎日記 五」「六册之内」「宝永七庚寅年同辛卯年十月十一月十二月」の墨書あり。「毎日記 [79]」と分册したもの。
毎日記 六	平田所左衛門 (34代)	正徳1年1月1日～ 正徳1年3月25日	毎日記 [79]	WA1-6-34	1冊	27.1×20.1	70	原表紙 (共紙) に「毎日記 六」「六册之内」「宝永八辛卯歳正月二月三月廿五日迄」の墨書あり。「毎日記 [78]」と分册したもの。
毎日記 卷	樋口内記 (35代)	正徳1年3月25日～ 正徳1年7月30日	毎日記 [80]	WA1-6-34	1冊	27.2×19.8	96	原表紙に「拾六番」「共ニ武册」「宝永八辛卯年從三月至十二月」の墨書あり。内表紙に「宝永八辛卯年三月より七月迄」の墨書あり。「毎日記 [81]」と分册したもの。
毎日記 式	樋口内記 (35代)	正徳1年8月1日～ 正徳1年12月30日	毎日記 [81]	WA1-6-34	1冊	27.4×19.9	92	原表紙 (共紙) に「五ノ内」「正徳元辛卯年八月ヨリ十二月迄」の墨書あり。「毎日記 [80]」と分册したもの。
毎日記 式	樋口内記 (35代)	正徳2年1月1日～ 正徳2年4月29日	毎日記 [82]	WA1-6-34	1冊	27.4×19.7	90	原表紙に「十六番」「共武册」「改元正徳二壬辰年從正月十二月至」の墨書あり。内表紙に「毎日記 参」「五ノ内」「正徳二壬辰年正月ヨリ四月迄」の墨書あり。「毎日記 [83]」「毎日記 [84]」と分册したもの。
毎日記 四	樋口内記 (35代)	正徳2年5月1日～ 正徳2年8月30日	毎日記 [83]	WA1-6-34	1冊	27.5×19.7	82	原表紙 (共紙) に「五ノ内」「正徳二壬辰年五月ヨリ八月迄」の墨書あり。「毎日記 [82]」「毎日記 [84]」と分册したもの。
毎日記 五	樋口内記 (35代)	正徳2年9月1日～ 正徳2年12月23日	毎日記 [84]	WA1-6-34	1冊	27.5×19.7	61	原表紙 (共紙) に「五ノ内」「正徳式壬辰年九月より十二月迄」の墨書あり。「毎日記 [82]」「毎日記 [83]」と分册したもの。
毎日記 卷	吉川六郎左衛門 (36代)	正徳2年5月5日～ 正徳3年2月29日	毎日記 [85]	WA1-6-34	1冊	26.8×19.4	118	原表紙に「拾七番」「六册之内」「正徳二壬辰年同三癸巳年 [辰ノ從五月十二月迄巴ノ從正月四月迄]」の墨書あり。内表紙に「七册之内」の墨書あり。「毎日記 [86]」と分册したもの。
[毎日記 卷]	[吉川六郎左衛門] (36代)	正徳3年3月1日～ 正徳3年4月29日	毎日記 [86]	WA1-6-34	1冊	26.8×19.4	79	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [85]」と分册したもの。
毎日記 式	吉川六郎左衛門 (36代)	正徳3年5月1日～ 正徳3年閏5月29日	毎日記 [88]	WA1-6-34	1冊	26.9×20.4	75	原表紙に「十七番」「六册之内」「正徳三癸巳年從五月七月二月至」の墨書あり。内表紙に「毎日記 参」の墨書あり。「毎日記 [87]」と分册したもの。

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
[毎日記 貳]	[吉川六郎左衛門 (36代)]	正徳3年6月1日～ 正徳3年7月30日	毎日記 [87]	WA1-6-34	1冊	26.9×20.4	91	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [88]」と分冊したもの。
毎日記 参	吉川六郎左衛門 (36代)	正徳3年8月1日～ 正徳3年10月30日	毎日記 [89]	WA1-6-34	1冊	26.6×19.4	105	原表紙に「十七番」「六冊之内」「正徳三癸巳年從八月十二月二至」の墨書あり。内表紙に「毎日記 四」(四は三に訂正)「七冊之内」の墨書あり。「毎日記 [91]」と分冊したもの。
[毎日記 参]	[吉川六郎左衛門 (36代)]	正徳3年11月1日～ 正徳3年12月30日	毎日記 [91]	WA1-6-34	1冊	26.5×19.3	68	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [89]」と分冊したもの。
毎日記 四	吉川六郎左衛門 (36代)	正徳4年1月1日～ 正徳4年2月29日	毎日記 [92]	WA1-6-34	1冊	27.0×20.1	76	原表紙に「十七番」「六冊之内」「正徳四甲午年從正月四月二至」の墨書あり。内表紙に「毎日記 五」「七冊之内」の墨書あり。「毎日記 [93]」と分冊したもの。
[毎日記 四]	[吉川六郎左衛門 (36代)]	正徳4年3月1日～ 正徳4年4月29日	毎日記 [93]	WA1-6-34	1冊	27.0×19.3	97	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [92]」と分冊したもの。
毎日記 五	吉川六郎左衛門 (36代)	正徳4年5月1日～ 正徳4年6月29日	毎日記 [95]	WA1-6-34	1冊	27.4×19.9	81	原表紙に「十七番」「六冊之内」「正徳四甲午年從五月八月二至」の墨書あり。内表紙に「毎日記 六」(六は五に訂正)の墨書あり。「毎日記 [94]」と分冊したもの。
[毎日記 五]	[吉川六郎左衛門 (36代)]	正徳4年7月1日～ 正徳4年8月30日	毎日記 [94]	WA1-6-34	1冊	27.5×29.9	114	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [95]」と分冊したもの。
毎日記 六	吉川六郎左衛門 (36代)	正徳4年9月1日～ 正徳4年11月12日	毎日記 [96]	WA1-6-34	1冊	26.1×19.7	106	原表紙に「十七番」「六冊之内」「正徳四甲午年從九月十一月十二日迄」の墨書あり。内表紙に「毎日記 七」「七冊之内」の墨書あり。
毎日記 卷	吉田兵左衛門 (37代)	正徳3年9月2日～ 正徳4年12月29日	毎日記 [90]	WA1-6-34	1冊	26.0×19.3	57	原表紙に「拾八番」「十冊之内」「正徳三癸巳年より同四甲午年癸巳九月より翌甲午十二月迄」の墨書あり。巻頭の正徳3年9月2日条の次は同4年8月5日条。
毎日記 貳	吉田兵左衛門 (37代)	正徳5年1月1日～ 正徳5年3月29日	毎日記 [97]	WA1-6-34	1冊	25.8×19.7	130	原表紙に「十八番」「十冊ノ内」「正徳五乙未年正月より三月迄」の墨書あり。

毎日記 参	吉田兵左衛門 (37代)	正徳5年4月1日～ 正徳5年6月29日	毎日記 [98]	WA1-6-34	1冊	25.6×19.5	135	原表紙に「十八番」「十冊ノ内」「正徳五乙未年四月より六月迄」の墨書あり。
毎日記 四	吉田兵左衛門 (37代)	正徳5年7月1日～ 正徳5年8月14日	毎日記 [99]	WA1-6-34	1冊	25.8×19.3	78	原表紙に「十八番」「十冊ノ内」「正徳五乙未年七月より九月迄」の墨書あり。「毎日記 [100]」と分冊したもの。
毎日記 四	[吉田兵左衛門] (37代)	正徳5年8月15日～ 正徳5年9月29日	毎日記 [100]	WA1-6-34	1冊	25.8×19.3	98	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [99]」と分冊したもの。
毎日記 五	吉田兵左衛門 (37代)	正徳5年10月1日～ 正徳5年12月30日	毎日記 [101]	WA1-6-34	1冊	25.8×19.7	112	原表紙に「十八番」「十冊ノ内」「正徳五乙未年十月より十二月迄」の墨書あり。
毎日記 六	吉田兵左衛門 (37代)	享保1年1月1日～ 享保1年2月30日	毎日記 [102]	WA1-6-34	1冊	26.0×19.5	63	原表紙に「十八番」「十冊ノ内」「正徳六丙申年正月より三月迄」の墨書あり。「毎日記 [103]」と分冊したもの。
毎日記 六	[吉田兵左衛門] (37代)	享保1年閏2月1日～ 享保1年3月27日	毎日記 [103]	WA1-6-34	1冊	26.0×19.4	76	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [102]」と分冊したもの。
毎日記 七	吉田兵左衛門 (37代)	享保1年4月1日～ 享保1年6月29日	毎日記 [104]	WA1-6-34	1冊	24.2×18.7	123	原表紙に「十八番」「拾冊之内」「正徳六丙申年四月より六月迄」の墨書あり。「右日記本書雨漏ニ相成、難用立候付、此節書改置候、尤朽損し字性難相分り所者鬺字いたし置候事、文化元甲子年十一月」と奥書あり。
毎日記 八	吉田兵左衛門 (37代)	享保1年7月1日～ 享保1年9月10日	毎日記 [105]	WA1-6-34	1冊	24.0×18.6	105	原表紙に「十八番」「拾冊之内」「正徳六丙申年七月より九月迄」の墨書あり。「右日記本書雨漏ニ相成、難用立候ニ付、此節書改置候、尤字性不相分所者鬺字いたし置候、自是奥者全ク閉じ合居、字性不分明候ニ付、相除置候事、文化元甲子年十二月」と奥書あり。
毎日記 九	吉田兵左衛門 (37代)	享保1年10月1日～ 享保1年12月29日	毎日記 [106]	WA1-6-34	1冊	26.5×19.8	136	原表紙に「十八番」「十冊ノ内」「享保元丙申年十月より十二月迄」の墨書あり。
毎日記 拾	吉田兵左衛門 (37代)	享保2年1月1日～ 享保2年4月23日	毎日記 [108]	WA1-6-34	1冊	26.8×20.2	86	原表紙に「十八番」「十冊ノ内」「享保二丁酉年正月より四月迄」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
毎日記一	井田四兵衛 (38代)	享保1年9月8日～ 享保2年6月29日	毎日記 [107]	WA1-6-34	1冊	27.1×20.2	117	原表紙に「拾九番」「七冊之内」「享保元丙申年九月より同式丁酉年六月迄」の墨書あり。
毎日記二	井田四兵衛 (38代)	享保2年7月1日～ 享保2年9月29日	毎日記 [109]	WA1-6-34	1冊	27.1×20.2	115	原表紙に「十九番」「七冊之内」「享保二丁酉年七月より九月迄」の墨書あり。
毎日記三	井田四兵衛 (38代)	享保2年10月1日～ 享保2年12月29日	毎日記 [110]	WA1-6-34	1冊	26.8×20.2	118	原表紙に「十九番」「七冊之内」「享保二丁酉年十月より十二月迄」の墨書あり。
毎日記四	井田四兵衛 (38代)	享保3年1月1日～ 享保3年2月30日	毎日記 [111]	WA1-6-34	1冊	26.9×20.1	72	原表紙に「十九番」「七冊之内」「享保三戊戌年正月より四月迄」の墨書あり。「毎日記 [112]」と分冊したもの。
{毎日記四}	[井田四兵衛] (38代)	享保3年3月1日～ 享保3年4月30日	毎日記 [112]	WA1-6-34	1冊	26.8×20.2	89	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [111]」と分冊したもの。
毎日記五	井田[四兵衛] (38代)	享保3年5月1日～ 享保3年8月29日	毎日記 [113]	WA1-6-34	1冊	26.8×20.3	174	原表紙に「拾九番」「七冊之内」「享保三戊戌年五月より八月迄」の墨書あり。
毎日記六	井田四兵衛 (38代)	享保3年9月1日～ 享保3年12月30日	毎日記 [114]	WA1-6-34	1冊	26.7×19.7	146	原表紙に「拾九番」「七冊之内」「享保三戊戌年九月自十月閏十月十二月迄」の墨書あり。本文には11月中の記事もあり。
毎日記 終七	井田四兵衛 (38代)	享保4年1月1日～ 享保4年2月19日	毎日記 [116]	WA1-6-34	1冊	26.6×19.9	58	原表紙に「十九番」「七冊之内」「享保四己亥年正月より二月迄」の墨書あり。
毎日記一	館守 浅井與左衛門 (39代)	享保3年3月11日～ 享保4年4月30日	毎日記 [115]	WA1-6-34	1冊	23.9×18.5	181	原表紙に「式十番」「拾三冊之内」「享保三戊戌年三月十一日より同四己亥年二月より四月迄」の墨書あり。「右日記本書雨漏二相成難用立候付、此節書改置候、尤朽損し字性難相分り所者鬮字いたし置候事、文化元年甲子年十一月」と奥書あり。
毎日記二	館守 浅井與左衛門 (39代)	享保4年5月1日～ 享保4年6月30日	毎日記 [117]	WA1-6-34	1冊	26.9×20.6	152	原表紙に「式拾番」「拾三冊之内」「享保四己亥年五月より六月迄」の墨書あり。
毎日記三	館守 浅井與左衛門 (39代)	享保4年7月1日～ 享保4年8月29日	毎日記 [118]	WA1-6-34	1冊	26.3×20.4	145	原表紙に「式拾番」「拾三冊之内」「享保四己亥年七月より八月迄」の墨書あり。

毎日記 四	館守 浅井興左衛門 (39代)	享保4年9月1日～ 享保4年10月29日	毎日記 [119]	WA1-6-34	1冊	26.6×20.3	117	原表紙に「貳拾番」「拾三冊之内」「享保四己亥年九月より十月迄」の墨書あり。
毎日記 五	館守 浅井興左衛門 (39代)	享保4年11月1日～ 享保4年12月29日	毎日記 [120]	WA1-6-34	1冊	26.6×20.5	98	原表紙に「貳拾番」「拾三冊之内」「享保四己亥年十一月より十二月迄」の墨書あり。
毎日記 六	館守 浅井興左衛門 (39代)	享保5年1月1日～ 享保5年2月30日	毎日記 [121]	WA1-6-34	1冊	27.1×20.2	126	原表紙に「貳拾番」「拾三冊之内」「享保五庚子年正月より二月迄」の墨書あり。
毎日記 七	館守 浅井興左衛門 (39代)	享保5年3月1日～ 享保5年4月30日	毎日記 [122]	WA1-6-34	1冊	27.2×20.2	128	原表紙に「貳拾番」「拾三冊之内」「享保五庚子年三月より四月迄」の墨書あり。
毎日記 八	館守 浅井興左衛門 (39代)	享保5年5月1日～ 享保5年6月29日	毎日記 [123]	WA1-6-34	1冊	27.0×20.0	111	原表紙に「貳拾番」「拾三冊之内」「享保五庚子年五月より六月迄」の墨書あり。
毎日記 九	館守 浅井興左衛門 (39代)	享保5年7月1日～ 享保5年8月29日	毎日記 [124]	WA1-6-34	1冊	26.8×20.5	104	原表紙に「貳拾番」「拾三冊之内」「享保五庚子年七月より八月迄」の墨書あり。
毎日記 十	浅井興左衛門 (39代)	享保5年9月1日～ 享保5年10月30日	毎日記 [125]	WA1-6-34	1冊	27.0×20.0	128	原表紙に「貳拾番」「拾三冊之内」「享保五庚子年九月より十月迄」の墨書あり。
毎日記 十一	館守 浅井興左衛門 (39代)	享保5年11月1日～ 享保5年12月30日	毎日記 [126]	WA1-6-34	1冊	26.9×20.3	121	原表紙に「貳拾番」「拾三冊之内」「享保五庚子年十一月より十二月迄」の墨書あり。
毎日記 十二	館守 浅井興左衛門 (39代)	享保6年1月1日～ 享保6年2月30日	毎日記 [128]	WA1-6-34	1冊	27.2×19.9	122	原表紙に「貳拾番」「拾三冊之内」「享保六辛丑年正月より二月迄」の墨書あり。
毎日記 十三	館守 浅井興左衛門 (39代)	享保6年3月1日～ 享保6年5月15日	毎日記 [129]	WA1-6-34	1冊	27.2×20.3	102	原表紙に「拾三冊之内」「貳拾番」「享保六辛丑年三月より五月十五日迄」の墨書あり。
毎日記 巻	館守 樋口弥五左衛門 (40代)	享保5年5月15日～ 享保6年閏7月29日	毎日記 [127]	WA1-6-34	1冊	24.3×18.3	168	原表紙に「二十一番」「享保五庚子年五月十五日より同六年閏七月迄」の墨書あり。内表紙に「六冊之内」の墨書あり。「右日記本書雨漏ニ相成、難用立候付、此節書改置候、尤朽損し、字性難相分り所者、闕字いたし置候事、文化元年十一月」と奥書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名 【冊番号】	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
毎日記式	館守 樋口弥五左衛門 (40代)	享保6年8月1日～ 享保6年12月30日	毎日記. [130]	WA1-6-34	1冊	24.0×19.0	164	原表紙に「二十一番」「六冊之内」「享保六辛丑年自八月至十二月」の墨書あり。「右日記本書雨漏ニ相成、難用立候付、此節書改置候、尤朽損し、字性難相分り所者、鬨字いたし置候事、文化元甲子年十一月」と奥書あり。
毎日記参	館守 樋口弥五左衛門 (40代)	享保7年1月1日～ 享保7年4月30日	毎日記. [131]	WA1-6-34	1冊	23.8×18.8	142	原表紙に「二十一番」「六冊之内」「享保七壬寅年自正月至二月」の墨書あり。内表紙に「享保七壬寅年自正月至四月」の墨書あり。「右日記本書雨漏ニ相成、難用立候付、此節書改置候、尤朽損し、字性難相分り所者、鬨字いたし置候事、文化元甲子年十一月」と奥書あり。
毎日記四	館守 樋口弥五左衛門 (40代)	享保7年5月1日～ 享保7年8月29日	毎日記. [132]	WA1-6-34	1冊	24.2×19.0	207	原表紙に「二十一番」「六冊之内」「享保七壬寅年自五月至八月」の墨書あり。「右日記本書雨漏ニ相成、難用立候付、此節書改置候、尤朽損し字性難相分り所者、鬨字いたし置候事、文化元甲子年十一月」と奥書あり。
毎日記五	館守 樋口弥五左衛門 (40代)	享保7年9月1日～ 享保7年12月29日	毎日記. [133]	WA1-6-34	1冊	24.0×18.6	188	原表紙に「二十一番」「六冊之内」「享保七壬寅年自九月至十二月」の墨書あり。「右日記本書雨漏ニ相成、難用立候付、此節書改置候、尤朽損し字性難相分り所は鬨字いたし置候事、文化元甲子年十二月」と奥書あり。
毎日記六	館守 樋口弥五左衛門 (40代)	享保8年1月1日～ 享保8年7月2日	毎日記. [134]	WA1-6-34	1冊	23.9×18.3	235	原表紙に「二十一番」「六冊之内」「享保八癸卯年正月より七月迄」の墨書あり。「右日記本書雨漏ニ相成、難用立候付、此節書改置候、尤朽損し字性難相分り所八鬨字いたし置候事、文化元甲子年十一月」と奥書あり。
毎日記初	仁位孫右衛門 (41代)	享保8年5月25日～ 享保8年8月29日	毎日記. [135]	WA1-6-34	1冊	27.2×20.8	108	原表紙に「二拾二番」「五冊」「享保八癸卯歳五月ヨリ八月迄」の墨書あり。
毎日記式	仁位孫右衛門 (41代)	享保8年9月1日～ 享保8年12月30日	毎日記. [136]	WA1-6-34	1冊	26.3×20.7	172	原表紙に「式拾貳番」「享保八癸卯歳九月より十二月迄」の墨書あり。

毎日記 三	仁位孫右衛門 (41代)	享保9年1月1日～ 享保9年3月29日	毎日記 [137]	WA1-6-34	1冊	27.7×20.2	121	原表紙に「貳拾貳番」「五冊内」「享保九甲辰歳正月より三月迄」の墨書あり。
毎日記 四	仁位孫右衛門 (41代)	享保9年4月1日～ 享保9年閏4月29日	毎日記 [139]	WA1-6-34	1冊	27.7×20.0	93	原表紙に「貳拾貳番」「五冊内」「享保九甲辰歳四月ヨリ六月マテ」の墨書あり。「毎日記 [138]」と分冊したもの。
{毎日記 四}	[仁位孫右衛門] (41代)	享保9年5月1日～ 享保9年6月30日	毎日記 [138]	WA1-6-34	1冊	27.7×19.9	78	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [139]」と分冊したもの。
毎日記 五	仁位孫右衛門 (41代)	享保9年7月1日～ 享保9年10月17日	毎日記 [140]	WA1-6-34	1綴	27.2×20.1	101	原表紙に「貳拾貳番」「五冊内」「享保九甲辰歳七月より十月迄」の墨書あり。内表紙に「但孫右衛門死後老頭古川伊右衛門一代官中原伝藏館守之御用奉之候付、帳巻冊共ニ」の墨書あり。9月6日条後に別冊を合冊。別冊内表紙に「館守仁位孫右衛門死去ニ付、新館守到着迄老頭一代官御用奉之候毎日記」「老頭古川伊右衛門・一代官中原伝藏」「享保九甲辰年九月四日より十月十六日迄」の墨書あり。別冊は9月4日条から10月17日条まで。
毎日記 卷	平田所左衛門 (42代)	享保9年7月2日～ 享保9年12月30日	毎日記 [141]	WA1-6-34	1冊	24.0×18.4	113	原表紙に「二十三番」「八冊之内」「享保九甲辰年七月より十一月迄」の墨書あり。「右日記本書雨漏ニ相成、難用立候付、此節書改置候、尤朽損し字性難相分り所ハ、罫字いたし置候事、文化元甲子年十一月」と奥書あり。
毎日記 二	平田所左衛門 (42代)	享保10年1月1日～ 享保10年3月29日	毎日記 [142]	WA1-6-34	1冊	26.1×19.9	111	原表紙に「廿三番」「九冊之内」「享保十乙巳年正月二月三月」の墨書あり。内表紙には「八冊之内」の墨書あり。
毎日記 三	平田所左衛門 (42代)	享保10年4月1日～ 享保10年6月29日	毎日記 [143]	WA1-6-34	1冊	23.8×18.4	155	原表紙に「貳拾三番」「八冊之内」「享保拾乙巳年四月より六月迄」の墨書あり。「右日記本書雨漏ニ相成、難用立候付、此節書改置候、尤朽損し字性難相分り所ハ、罫字いたし置候事、文化元甲子年十一月」と奥書あり。
毎日記 四	平田所左衛門 (42代)	享保10年7月1日～ 享保10年9月30日	毎日記 [144]	WA1-6-34	1冊	26.2×19.8	173	原表紙に「貳拾三番」「八冊ノ内」「享保十乙巳歳七月ヨリ九月マテ」の墨書あり。内表紙に「九冊之内」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
毎日記五	平田所左衛門 (42代)	享保10年10月1日～ 享保10年12月30日	毎日記 [145]	WA1-6-34	1冊	26.7×20.2	126	原表紙に「武治三番」「八冊ノ内」「享保十乙巳歲十月ヨリ十二月マテ」の墨書あり。冒頭の遊紙に「享保年」「平田所左分」「九冊之内」の朱書あり。
毎日記六	平田所左衛門 (42代)	享保11年4月1日～ 享保11年6月29日	毎日記 [146]	WA1-6-34	1冊	26.4×20.5	130	原表紙に「武治三番」「八冊ノ内」「享保十一丙午歲四月ヨリ六月マテ、正月ヨリ三月マテ之日記七」の墨書あり。
毎日記七	平田所左衛門 (42代)	享保11年7月8日～ 享保11年8月30日	毎日記 [148]	WA1-6-34	1冊	26.6×20.6	99	原表紙に「武治三番」「八冊之内」「享保十一丙午年七月八月」の墨書あり。7月8日条の前に2行記述あり。前欠か。
毎日記八	平田所左衛門 (42代)	享保11年9月1日～ 享保11年11月22日	毎日記 [147]	WA1-6-34	1冊	26.2×20.6	119	原表紙に「武治三番」「八冊ノ内」「享保十一丙午歲九月ヨリ十一月マテ」の墨書あり。
館守日記 卷	吉川内藏允 (43代)	享保11年2月15日～ 享保11年12月30日	館守日記 [1]	WA1-6-8	1冊	27.7×20.3	68	原表紙に「武治四番」「享保十一丙午年二月より十二月ニ至」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。
館守日記 二	吉川内藏允 (43代)	享保12年1月1日～ 享保12年2月29日	館守日記 [2]	WA1-6-8	1冊	27.1×20.5	97	原表紙に「廿四番」「享保十二丁未年正月より二月至」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。
館守日記 三	吉川内藏允 (43代)	享保12年3月2日～ 享保12年5月30日	館守日記 [3]	WA1-6-8	1冊	27.2×20.5	90	原表紙に「廿四番」「享保十二丁未年三月より五月至」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。
館守日記 四	吉川内藏允 (43代)	享保12年6月1日～ 享保12年8月30日	館守日記 [4]	WA1-6-8	1冊	27.2×20.0	114	原表紙に「廿四番」「享保十二丁未年六月より八月ニ至」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。
館守日記 五	吉川内藏允 (43代)	享保12年9月2日～ 享保12年12月30日	館守日記 [5]	WA1-6-8	1冊	27.3×20.9	98	原表紙に「廿四番」「享保十二丁未年九月より十二月至」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。
館主日記 六	吉川内藏允 (43代)	享保13年1月8日～ 享保13年3月30日	館守日記 [6]	WA1-6-8	1冊	26.9×20.7	93	原表紙に「廿四番」「享保十三戊申年正月より三月至」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。
毎日記 七	吉川内藏允 (43代)	享保13年4月7日～ 享保13年7月29日	館守日記 [7]	WA1-6-8	1冊	27.4×21.0	116	原表紙に「廿四番」「享保十三戊申年四月より七月至」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。
館守日記 八	吉川内藏允 (43代)	享保13年8月1日～ 享保13年10月29日	館守日記 [8]	WA1-6-8	1冊	27.5×20.7	83	原表紙に「廿四番」「享保十三戊申年八月より十月至」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。

毎日記 老番	館守 平田内膳 (44代)	享保13年1月16日～ 享保13年12月29日	毎日記 [149]	WA1-6-34	1冊	26.5×20.5	92	原表紙に「二十五番」「七冊之内」「享保拾三戊申年正月より十二月迄」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 3丁あり。
毎日記 二番	館守 平田内膳 (44代)	享保14年1月1日～ 享保14年4月30日	毎日記 [150]	WA1-6-34	1冊	26.8×20.8	104	原表紙に「廿五番」「七冊之内」「享保拾四己酉年正月より四月迄」の墨書あり。冒頭に目次3丁あり。
毎日記 三番	館守 平田内膳 (44代)	享保14年5月1日～ 享保14年8月30日	毎日記 [151]	WA1-6-34	1冊	27.0×20.5	123	原表紙に「貳拾五番」「七冊之内」「享保拾四己酉年五月より八月迄」の墨書あり。冒頭に目次3丁あり。
毎日記 四番	館守 平田内膳 (44代)	享保14年9月1日～ 享保14年12月29日	毎日記 [152]	WA1-6-34	1冊	27.3×21.2	117	原表紙に「廿五番」「七冊之内」「享保拾四己酉年九月より閏九月十二月迄」の墨書あり。冒頭に目次3丁あり。
毎日記 五番	館守 平田内膳 (44代)	享保15年1月1日～ 享保15年4月29日	毎日記 [153]	WA1-6-34	1冊	26.9×20.6	95	原表紙に「廿五番」「七冊之内」「享保拾五庚戌年正月より四月迄」の墨書あり。冒頭に目次2丁あり。
毎日記 六番	館守 平田内膳 (44代)	享保15年5月1日～ 享保15年7月29日	毎日記 [155]	WA1-6-34	1冊	26.5×20.7	112	原表紙に「二十五番」「七冊之内」「享保拾五庚戌年五月より七月迄」の墨書あり。冒頭に目次3丁あり。
毎日記 七番	館守 平田内膳 (44代)	享保15年8月1日～ 享保15年9月9日	毎日記 [156]	WA1-6-34	1冊	26.8×20.6	87	原表紙に「廿五番」「七冊之内」「享保拾五庚戌年八月より九月九日迄」の墨書あり。冒頭に目次1丁あり。
毎日記 老番	[杉] 村帯刀 (45代)	享保15年3月1日～ 享保15年9月29日	毎日記 [154]	WA1-6-34	1冊	26.5×19.5	124	原表紙に「〔 〕三月至九」「老番」の墨書あり。原表紙破損大。冒頭に「毎日記目録 老番」(目次) 3丁あり。印記あり。
日記 貳番	館司 杉村帯刀 (45代)	享保15年10月1日～ 享保15年10月30日	毎日記 [157]	WA1-6-34	1冊	26.6×21.5	87	原表紙に「廿六番」「享保十五年庚戌十月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 貳番」(目次) 6丁あり。印記あり。
日記 参番	館司 杉村帯刀 (45代)	享保15年11月1日～ 享保15年11月29日	毎日記 [158]	WA1-6-34	1冊	26.2×19.9	96	原表紙に「廿六番」「享保十五年庚戌十一月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 参番」(目次) 5丁あり。印記あり。
日記 四番	館司 杉村帯刀 (45代)	享保15年12月1日～ 享保15年12月30日	毎日記 [159]	WA1-6-34	1冊	26.1×19.8	105	原表紙に「廿六番」「享保十五年庚戌十二月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 四番」(目次) 8丁あり。印記あり。
日記 五番	館司 杉村帯刀 (45代)	享保16年1月1日～ 享保16年1月29日	毎日記 [160]	WA1-6-34	1冊	26.4×19.6	69	原表紙に「廿六番」「享保十六年辛亥正月至二月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 五番」(目次) 4丁あり。「毎日記 [161]」と分冊したもの。印記あり。

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
日記 五番	[杉村帯刀] (45代)	享保16年2月1日～ 享保16年2月30日	毎日記 [161]	WA1-6-34	1冊	26.5×206	98	原表紙・内表紙欠。冒頭に「毎日記目録」7丁あり。「毎日記 [160]」と分冊したもの。印記あり。
日記 六	館司 杉村帯刀 (45代)	享保16年3月1日～ 享保16年3月29日	毎日記 [162]	WA1-6-34	1冊	26.2×196	82	原表紙に「廿六番」「享保十六年辛亥三月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 六番」(目次) 7丁あり。印記あり。
日記 七	館司 杉村帯刀 (45代)	享保16年4月1日～ 享保16年4月29日	毎日記 [163]	WA1-6-34	1冊	26.4×205	95	原表紙に「廿六番」「享保十六年辛亥四月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 七番」(目次) 4丁あり。印記あり。
日記 八	館司 杉村帯刀 (45代)	享保16年5月1日～ 享保16年5月29日	毎日記 [164]	WA1-6-34	1冊	26.4×215	86	原表紙に「廿六番」「享保十六年辛亥五月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 八番」(目次) 6丁あり。印記あり。
日記 九	館司 [杉村帯刀] (45代)	享保16年6月1日～ 享保16年6月30日	毎日記 [165]	WA1-6-34	1冊	26.5×193	107	原表紙に「廿六番」「享保十六年辛亥六月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 九番」(目次) 7丁あり。印記あり。
日記 十	館司 杉村帯刀 (45代)	享保16年7月1日～ 享保16年7月29日	毎日記 [166]	WA1-6-34	1冊	26.3×195	84	原表紙に「廿六番」「享保十六年辛亥七月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 十番」(目次) 5丁あり。印記あり。
日記 十一	館司 杉村帯刀 (45代)	享保16年8月1日～ 享保16年8月30日	毎日記 [167]	WA1-6-34	1冊	26.3×198	75	原表紙に「廿六番」「享保十六年辛亥八月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 十一番」(目次) 5丁あり。印記あり。
日記 十二	館司 杉村帯刀 (45代)	享保16年9月1日～ 享保16年9月30日	毎日記 [168]	WA1-6-34	1冊	26.0×196	90	原表紙に「廿六番」「享保十六年辛亥九月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 十二番」(目次) 10丁あり。印記あり。
日記 十三	館司 杉村帯刀 (45代)	享保16年10月1日～ 享保16年10月29日	毎日記 [169]	WA1-6-34	1冊	26.0×195	76	原表紙に「廿六番」「享保十六年辛亥十月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 十三番」(目次) 7丁あり。印記あり。
日記 十四	館司 杉村帯刀 (45代)	享保16年11月1日～ 享保16年12月29日	毎日記 [170]	WA1-6-34	1冊	26.0×193	141	原表紙に「廿六番」「享保十六年辛亥十一月至十二月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 十四番」(目次) 7丁あり。印記あり。
日記 十五	館司 杉村帯刀 (45代)	享保17年1月1日～ 享保17年2月16日	毎日記 [172]	WA1-6-34	1冊	25.7×194	120	原表紙に「廿六番」「享保十七年壬子正月至二月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 十五番」(目次) 6丁あり。印記あり。

毎日記 一	館司 幾度六右衛門 (46代)	享保16年9月2日～ 享保17年2月29日	毎日記 [171]	WA1-6-34	1冊	26.4×20.1	76	原表紙に「貳拾七番」「享保十六年辛亥年九月より同十七壬子年十二月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 老番」(目次) 2丁あり。印記:「福」
毎日記 二	館司 幾度六右衛門 (46代)	享保17年3月1日～ 享保17年4月29日	毎日記 [173]	WA1-6-34	1冊	26.5×20.2	128	原表紙に「廿七番」「享保十七壬子三月より至四月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 貳番」(目次) 5丁あり。印記:「福」
毎日記 三	館司 幾度六右衛門 (46代)	享保17年5月1日～ 享保17年閏5月30日	毎日記 [174]	WA1-6-34	1冊	26.4×20.0	85	原表紙に「廿七番」「享保十七壬子年五月至閏五月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 参番」(目次) 3丁あり。印記:「福」
毎日記 四	館司 幾度六右衛門 (46代)	享保17年6月1日～ 享保17年7月30日	毎日記 [175]	WA1-6-34	1冊	26.3×20.1	139	原表紙に「廿七番」「享保十七壬子年六月より至七月晦日」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 四番」(目次) 5丁あり。7月13日条の後に幾度六右衛門宛浜田孫三郎・斎藤林平書状綴込。印記:「福」
毎日記 五	館司 幾度六右衛門 (46代)	享保17年8月1日～ 享保17年10月29日	毎日記 [176]	WA1-6-34	1冊	26.5×20.2	140	原表紙に「廿七番」「享保十七壬子八月より至十月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 五番」(目次) 7丁あり。印記:「福」
毎日記 六	館司 幾度六右衛門 (46代)	享保17年11月1日～ 享保17年12月29日	毎日記 [177]	WA1-6-34	1冊	26.7×20.2	126	原表紙に「廿七番」「享保十七壬子年十一月より十二月至廿七日」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 六番」(目次) 7丁あり。印記:「福」
毎日記 七	幾度六右衛門 (46代)	享保18年1月1日～ 享保18年2月29日	毎日記 [178]	WA1-6-34	1冊	26.7×20.0	104	原表紙に「廿七番」「享保十八癸丑年正月より同二月二日」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 七番」(目次) 7丁あり。印記:「福」
毎日記 八	館守 幾度六右衛門 (46代)	享保18年3月1日～ 享保18年3月30日	毎日記 [179]	WA1-6-34	1冊	26.6×20.0	79	原表紙に「廿七番」「享保十八癸丑年三月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 八番」(目次) 5丁あり。印記:「福」
毎日記 九	館守 幾度六右衛門 (46代)	享保18年4月1日～ 享保18年5月29日	毎日記 [180]	WA1-6-34	1冊	26.6×20.2	128	原表紙に「廿七番」「享保十八癸丑年四月至五月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 九番」(目次) 7丁あり。印記:「福」
毎日記 十	館守 幾度六右衛門 (46代)	享保18年6月1日～ 享保18年7月29日	毎日記 [181]	WA1-6-34	1冊	25.9×20.2	142	原表紙に「廿七番」「享保十八癸丑自六月至七月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 拾番」(目次) 12丁あり。印記:「福」

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
毎日記 十一	館守 幾度六右衛門 (46代)	享保18年2月1日～ 享保18年8月30日	毎日記 [182]	WA1-6-34	1冊	26.5×19.7	76	原表紙に「廿七番」「享保十八癸丑年八月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 拾巻番」(目次) 4丁あり。印記:「福」
毎日記 十二	館守 幾度六右衛門 (46代)	享保18年9月1日～ 享保18年10月22日	毎日記 [183]	WA1-6-34	1冊	26.3×20.1	111	原表紙に「廿七番」「享保十八癸丑自九月至十月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 拾巻番」(目次) 7丁あり。
毎日記 一	館守 松尾奎 (47代)	享保18年6月30日～ 享保18年11月30日	毎日記 [184]	WA1-6-34	1冊	25.5×20.0	81	原表紙に「二十八番」「享保十八癸丑年自六月至十一月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 6丁あり。
毎日記 二	館守 松尾奎 (47代)	享保18年12月1日～ 享保18年12月30日	毎日記 [185]	WA1-6-34	1冊	25.7×20.0	65	原表紙に「廿八番」「享保十八癸丑年十二月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 5丁あり。
毎日記 三	館守 松尾奎 (47代)	享保19年1月1日～ 享保19年2月30日	毎日記 [186]	WA1-6-34	1冊	25.8×19.5	90	原表紙に「廿八番」「享保十九甲寅年自正月至二月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 7丁あり。
毎日記 四	館守 松尾奎 (47代)	享保19年3月1日～ 享保19年3月29日	毎日記 [187]	WA1-6-34	1冊	26.0×21.6	45	原表紙に「廿八番」「享保十九甲寅年三月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 3丁あり。
毎日記 五	館守 松尾奎 (47代)	享保19年4月1日～ 享保19年5月29日	毎日記 [188]	WA1-6-34	1冊	25.3×20.1	97	原表紙に「廿八番」「享保十九甲寅年自四月至五月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 7丁あり。
毎日記 六	館守 松尾奎 (47代)	享保19年6月1日～ 享保19年7月30日	毎日記 [189]	WA1-6-34	1冊	25.9×21.7	73	原表紙に「廿八番」「享保十九甲寅年自六月至七月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 5丁あり。
毎日記 七	館守 松尾奎 (47代)	享保19年8月1日～ 享保19年9月30日	毎日記 [190]	WA1-6-34	1冊	25.8×19.8	62	原表紙に「式拾八番」「享保十九甲寅年自八月至九月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 3丁あり。
毎日記 八	館守 松尾奎 (47代)	享保19年10月1日～ 享保19年11月30日	毎日記 [191]	WA1-6-34	1冊	25.5×20.0	74	原表紙に「廿八番」「享保十九甲寅年自十月至十一月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 2丁あり。
毎日記 九	館守 松尾奎 (47代)	享保19年12月1日～ 享保20年1月13日	毎日記 [192]	WA1-6-34	1冊	25.7×20.1	44	原表紙に「廿八番」「享保十九甲寅年自十二月同二月乙卯年至正月」の墨書あり。冒頭に目次2丁あり。

館守方 毎日記 十	裁判より兼帯 浅井興 左衛門	享保20年1月14日～ 享保20年3月20日	毎日記 [193]	WA1-6-34	1冊	24.9×20.4	114	原表紙に「二十八番之内」「享保二十乙卯年自正月至三月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 7丁あり。1月14日の館守松尾左衛門をうけて、裁判浅井与左衛門が館守兼勤した時のもの。
毎日記 一	館守 嶋雄八左衛門 (48代)	享保20年1月13日～ 享保20年閏3月29日	毎日記 [194]	WA1-6-34	1冊	26.3×20.1	95	原表紙に「式拾九番」「共十一冊」「享保二十乙卯年自正月至閏三月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 巻番」(目次) 3丁あり。
毎日記 二	館守 嶋雄八左衛門 (48代)	享保20年4月1日～ 享保20年5月29日	毎日記 [195]	WA1-6-34	1冊	26.4×20.1	94	原表紙に「廿九番」「共十一冊」「享保二十乙卯年自四月至五月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 式番」(目次) 5丁あり。
毎日記 三	館守 嶋雄八左衛門 (48代)	享保20年6月1日～ 享保20年7月30日	毎日記 [196]	WA1-6-34	1冊	26.3×20.2	99	原表紙に「廿九番」「共十一冊」「享保二十乙卯年自六月至七月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 参番」(目次) 7丁あり。
毎日記 四	館守 嶋雄八左衛門 (48代)	享保20年8月1日～ 享保20年9月30日	毎日記 [197]	WA1-6-34	1冊	26.4×20.1	83	原表紙に「廿九番」「共十一冊」「享保二十乙卯年自八月至九月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 四番」(目次) 6丁あり。
毎日記 五	館守 嶋雄八左衛門 (48代)	享保20年10月1日～ 享保20年12月30日	毎日記 [198]	WA1-6-34	1冊	26.3×20.0	101	原表紙に「廿九番」「共十一冊」「享保二十乙卯年自十月至十二月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 五番」(目次) 6丁あり。
毎日記 六	館守 嶋雄八左衛門 (48代)	元文1年1月1日～ 元文1年3月30日	毎日記 [199]	WA1-6-34	1冊	26.5×19.7	138	原表紙に「廿九番」「共十一冊」「享保二十一丙辰年自正月至三月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 六番」(目次) 10丁あり。
毎日記 七	館守 嶋雄八左衛門 (48代)	元文1年4月1日～ 元文1年5月30日	毎日記 [200]	WA1-6-34	1冊	26.4×20.1	98	原表紙に「廿九番」「享保二十一丙辰年自四月至五月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 七番」(目次) 9丁あり。
毎日記 八	館守 嶋雄八左衛門 (48代)	元文1年6月1日～ 元文1年7月29日	毎日記 [201]	WA1-6-34	1冊	26.2×19.9	103	原表紙に「廿九番」「共十一冊」「享保二十一丙辰年自六月至七月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 八番」(目次) 7丁あり。
毎日記 九	館守 嶋雄八左衛門 (48代)	元文1年8月1日～ 元文1年9月29日	毎日記 [202]	WA1-6-34	1冊	26.5×20.3	86	原表紙に「廿九番」「共十一冊」「元文元丙辰年自八月至九月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 九番」(目次) 5丁あり。
毎日記 十	館守 嶋雄八左衛門 (48代)	元文1年10月1日～ 元文1年12月30日	毎日記 [203]	WA1-6-34	1冊	26.2×20.0	104	原表紙に「廿九番」「共十一冊」「元文元丙辰年自十月至十二月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 十番」(目次) 5丁あり。

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
毎日記 十一	館守 嶋雄八左衛門 (48代)	元文2年1月1日～ 元文2年4月16日	毎日記 [204]	WA1-6-34	1冊	26.6×19.9	144	原表紙に「廿九番」「共拾貳冊」「元文二丁巳年自正月至同四五月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録 十一番」(目次) 9丁あり。
毎日記 一	館守再勤 平田直右衛 門 (49代)	元文1年2月7日～ 元文2年5月29日	毎日記 [205]	WA1-6-34	1冊	27.4×19.6	131	原表紙に「参拾番」「共拾貳冊」「元文二丁巳年自四月至同五五月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 4丁あり。
毎日記 二	館守再勤 平田直右衛 門 (49代)	元文2年6月1日～ 元文2年7月29日	毎日記 [206]	WA1-6-34	1冊	27.4×19.8	131	原表紙に「参拾番」「共拾貳冊」「元文二丁巳年自六月至同七月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 6丁あり。
毎日記 三	館守再勤 平田直右衛 門 (49代)	元文2年8月1日～ 元文2年9月30日	毎日記 [207]	WA1-6-34	1冊	27.4×19.5	97	原表紙に「参拾番」「共拾貳冊」「元文二丁巳年自八月至同九月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 4丁あり。
毎日記 四	館守再勤 平田直右衛 門 (49代)	元文2年10月1日～ 元文2年11月30日	毎日記 [208]	WA1-6-34	1冊	27.1×19.5	102	原表紙に「三十番」「共拾貳冊」「元文二丁巳年自十月至同十一月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 7丁あり。
毎日記 五	館守再勤 平田直右衛 門 (49代)	元文2年閏11月1日～ 元文2年12月30日	毎日記 [209]	WA1-6-34	1冊	27.4×19.7	76	原表紙に「三十番」「共拾貳冊」「元文二丁巳年自閏十一月至同十二月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 4丁あり。
毎日記 六	館守再勤 平田直右衛 門 (49代)	元文3年1月1日～ 元文3年2月30日	毎日記 [210]	WA1-6-34	1冊	27.3×20.1	95	原表紙に「三十番」「共拾貳冊」「元文三戊午年自正月至同二月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 6丁あり。
毎日記 七	館守再勤 平田直右衛 門 (49代)	元文3年3月1日～ 元文3年4月29日	毎日記 [211]	WA1-6-34	1冊	27.5×19.9	88	原表紙に「三十番」「共拾貳冊」「元文三戊午年自三月至同四月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 6丁あり。
毎日記 八	館守再勤 平田直右衛 門 (49代)	元文3年5月1日～ 元文3年6月29日	毎日記 [212]	WA1-6-34	1冊	27.3×19.9	118	原表紙に「三十番」「共拾貳冊」「元文三戊午年自五月至同六月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 6丁あり。
毎日記 九	館守再勤 平田直右衛 門 (49代)	元文3年7月1日～ 元文3年8月29日	毎日記 [213]	WA1-6-34	1冊	27.4×19.5	110	原表紙に「三十番」「共拾貳冊」「元文三戊午年自七月至同八月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 6丁あり。
毎日記 十	館守再勤 平田直右衛 門 (49代)	元文3年9月1日～ 元文3年10月29日	毎日記 [214]	WA1-6-34	1冊	27.3×19.5	105	原表紙に「三十番」「共拾貳冊」「元文三戊午年自九月至同十月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 7丁あり。
毎日記 十一	館守再勤 平田直右衛 門 (49代)	元文3年11月1日～ 元文3年12月29日	毎日記 [215]	WA1-6-34	1冊	27.1×20.0	92	原表紙に「三十番」「共拾貳冊」「元文三戊午年自十一月至同十二月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 6丁あり。

毎日記 十二	館守再勤 平田直右衛門 (49代)	元文4年1月1日～ 元文4年2月29日	毎日記 [216]	WA1-6-34	1冊	27.3×19.4	83	原表紙に「三十番」[共拾志冊]「元文四己未年自正月至四月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 6丁あり。「毎日記 [217]」と分冊したもの。
[毎日記 十二]	[館守再勤 平田直右衛門] (49代)	元文4年3月1日～ 元文4年4月10日	毎日記 [217]	WA1-6-34	1冊	27.3×19.4	60	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [216]」と分冊したもの。
毎日記 一	館守 彼主膳 (50代)	元3年6月4日～ 元文4年5月30日	毎日記 [218]	WA1-6-34	1冊	28.1×20.1	83	原表紙に「参拾一番」[共拾志冊]「元文四己未年自四月至五月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 3丁あり。
毎日記 二	館守 彼主膳 (50代)	元文4年6月1日～ 元文4年7月29日	毎日記 [219]	WA1-6-34	1冊	27.5×20.2	70	原表紙に「参拾一番」[共拾志冊]「元文四己未年自六月至七月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 2丁あり。
毎日記 三	館守 彼主膳 (50代)	元文4年8月1日～ 元文4年9月29日	毎日記 [220]	WA1-6-34	1冊	27.6×20.2	67	原表紙に「参拾志冊」[共拾志冊]「元文四己未年自八月至九月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 3丁あり。
毎日記 四	館守 彼主膳 (50代)	元文4年10月1日～ 元文4年12月30日	毎日記 [221]	WA1-6-34	1冊	27.5×20.2	96	原表紙に「三十一番」[共拾志冊]「元文四己未年自十月至十二月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 3丁あり。
毎日記 五	館守 彼主膳 (50代)	元文5年1月1日～ 元文5年2月30日	毎日記 [222]	WA1-6-34	1冊	27.8×20.3	56	原表紙に「三十一番」[共拾志冊]「元文五庚申年自正月至二月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 3丁あり。
毎日記 六	館守 彼主膳 (50代)	元文5年3月1日～ 元文5年5月30日	毎日記 [223]	WA1-6-34	1冊	27.4×20.2	114	原表紙に「三十一番」[共拾志冊]「元文五庚申年自三月至五月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 3丁あり。
毎日記 七	館守 彼主膳 (50代)	元文5年6月1日～ 元文5年7月29日	毎日記 [224]	WA1-6-34	1冊	27.9×20.4	87	原表紙に「三十一番」[共拾志冊]「元文五庚申年自六月至七月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 3丁あり。
毎日記 八	館守 彼主膳 (50代)	元文5年閏7月1日～ 元文5年8月30日	毎日記 [225]	WA1-6-34	1冊	27.6×20.4	75	原表紙に「三十一番」[共拾志冊]「元文五庚申年自閏七月八月二至」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 3丁あり。
毎日記 九	館守 彼主膳 (50代)	元文5年9月1日～ 元文5年10月30日	毎日記 [226]	WA1-6-34	1冊	27.9×20.5	63	原表紙に「三十一番」[共拾志冊]「元文五庚申年自九月至十月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 3丁あり。
毎日記 十	館守 彼主膳 (50代)	元文5年11月1日～ 元文5年12月30日	毎日記 [227]	WA1-6-34	1冊	27.3×20.2	71	原表紙に「三十一番」[共拾志冊]「元文五庚申年自十一月至十二月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 3丁あり。

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
毎日記 十一	館守 彼主膳 (50代)	寛保1年1月1日～ 寛保1年5月7日	毎日記 [229]	WA1-6-34	1冊	27.2×19.1	153	原表紙に「三十一番」「共拾壹冊」「元元六辛酉正月至改元寛保元年四月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 6丁あり。
毎日記 一	館守再勤 浅井興左衛門 (51代)	元文5年2月16日～ 寛保1年5月30日	毎日記 [228]	WA1-6-34	1冊	26.8×20.3	103	原表紙に「拾拾式番」「共九冊」「元文五庚申年二月より寛保元辛酉年五月至、三月三日年号寛保と相改ル」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 5丁あり。
毎日記 二	館守再勤 浅井興左衛門 (51代)	寛保1年6月1日～ 寛保1年7月30日	毎日記 [230]	WA1-6-34	1冊	26.8×20.2	105	原表紙に「三十二番」「共九冊」「寛保元辛酉年自六月七月至」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 5丁あり。
毎日記 三	館守再勤 浅井興左衛門 (51代)	寛保1年8月1日～ 寛保1年9月29日	毎日記 [231]	WA1-6-34	1冊	26.7×19.9	93	原表紙に「三十三番」「共九冊」「寛保元辛酉年自八月九月至」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 4丁あり。
毎日記 四	館守再勤 浅井興左衛門 (51代)	寛保1年10月1日～ 寛保1年12月29日	毎日記 [232]	WA1-6-34	1冊	26.8×20.0	108	原表紙に「三十三番」「共九冊」「寛保元辛酉年自十一月十二月至」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 5丁あり。
毎日記 五	館守再勤 浅井興左衛門 (51代)	寛保2年1月1日～ 寛保2年2月29日	毎日記 [233]	WA1-6-34	1冊	26.7×20.1	111	原表紙に「三十二番」「共九冊」「寛保二壬戌年自正月二月至」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 4丁あり。
毎日記 六	館守再勤 浅井興左衛門 (51代)	寛保2年3月1日～ 寛保2年4月29日	毎日記 [234]	WA1-6-34	1冊	26.9×20.3	140	原表紙に「三十三番」「共九冊」「寛保二壬戌年自三月四月至」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 4丁あり。
毎日記 七	館守再勤 浅井興左衛門 (51代)	寛保2年5月1日～ 寛保2年6月30日	毎日記 [235]	WA1-6-34	1冊	26.8×20.1	169	原表紙に「三十三番」「共九冊」「寛保二壬戌年自五月六月至」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 6丁あり。
毎日記 八	館守再勤 浅井興左衛門 (51代)	寛保2年7月1日～ 寛保2年8月30日	毎日記 [236]	WA1-6-34	1冊	26.7×20.0	117	原表紙に「三十三番」「共九冊」「寛保二壬戌年自七月八月至」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 4丁あり。
毎日記 九	館守再勤 浅井興左衛門 (51代)	寛保2年9月1日～ 寛保2年11月12日	毎日記 [237]	WA1-6-34	1冊	26.6×20.6	153	原表紙に「三十三番」「共九冊」「寛保二壬戌年自九月十月十一月至」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 5丁あり。
毎日記 一	館守 内野市郎左衛門 (52代)	寛保2年1月12日～ 寛保2年12月30日	毎日記 [238]	WA1-6-34	1冊	26.8×20.0	101	原表紙に「拾拾参番」「共五冊」「寛保二壬戌年自十一月十二月迄」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 3丁あり。

毎日記二	館守 内野市郎左衛門 (52代)	寛保3年1月1日～ 寛保3年2月30日	毎日記 [239]	WA1-6-34	1冊	26.7×20.0	67	原表紙に「三十三番」「共五冊」「寛保三癸亥年自正月二月迄」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 4丁あり。
毎日記三	館守 内野市郎左衛門 (52代)	寛保3年3月1日～ 寛保3年4月30日	毎日記 [240]	WA1-6-34	1冊	26.6×20.0	83	原表紙に「三十三番」「共五冊」「寛保三癸亥年自三月四月迄」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 3丁あり。
毎日記四	館守 内野市郎左衛門 (52代)	寛保3年閏4月1日～ 寛保3年5月29日	毎日記 [241]	WA1-6-34	1冊	26.7×20.2	106	原表紙に「三十三番」「共五冊」「寛保三癸亥年自閏四月五月迄」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 5丁あり。
毎日記五	館守 内野市郎左衛門 (52代)	寛保3年6月1日～ 寛保3年8月9日	毎日記 [242]	WA1-6-34	1冊	26.7×20.0	127	原表紙に「三十三番」「共五冊」「寛保三癸亥年自六月八月迄」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 7丁あり。8月9日条に内野市郎左衛門病死の記事あり。
毎日記一	館守再勤 平田所左衛門 (53代)	寛保3年6月17日～ 寛保3年8月29日	毎日記 [243]	WA1-6-34	1冊	26.7×20.0	53	原表紙に「参拾四番」「共七冊」「寛保三癸亥年自六月八月至」の墨書あり。冒頭に目次2丁あり。
毎日記二	館守再勤 平田所左衛門 (53代)	寛保3年9月1日～ 寛保3年9月30日	毎日記 [244]	WA1-6-34	1冊	26.7×20.1	58	原表紙に「三十四番」「共七冊」「寛保三癸亥年自九月至」の墨書あり。冒頭に目次2丁あり。
毎日記三	館守再勤 平田所左衛門 (53代)	寛保3年10月1日～ 寛保3年12月30日	毎日記 [245]	WA1-6-34	1冊	26.9×19.6	97	原表紙に「三十四番」「共七冊」「寛保三癸亥年自十月十一月十二月至」の墨書あり。冒頭に目次1丁あり。
毎日記四	館守再勤 平田所左衛門 (53代)	延享1年1月1日～ 延享1年2月30日	毎日記 [246]	WA1-6-34	1冊	26.8×19.9	95	原表紙に「三十四番」「共七冊」「寛保四甲子年自正月二月至」の墨書あり。冒頭に目次2丁あり。
毎日記五	館守再勤 平田所左衛門 (53代)	延享1年3月1日～ 延享1年4月30日	毎日記 [247]	WA1-6-34	1冊	26.7×20.1	96	原表紙に「三十四番」「共七冊」「寛保四甲子年三月より延享元甲子年四月至、二月廿九日延享ト相改ル」の墨書あり。冒頭に目次2丁あり。
毎日記六	館守再勤 平田所左衛門 (53代)	延享1年5月1日～ 延享1年6月29日	毎日記 [248]	WA1-6-34	1冊	26.7×20.1	92	原表紙に「三十四番」「共七冊」「延享元甲子年自五月六月至」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 2丁あり。
毎日記七	館守再勤 平田所左衛門 (53代)	延享1年7月1日～ 延享1年8月13日	毎日記 [249]	WA1-6-34	1冊	26.9×19.9	66	原表紙に「三十四番」「共七冊」「延享元甲子年自七月八月至」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 4丁あり。

原題	作成者	内容年	当館書名 【冊番号】	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
毎日記入	館守兼帯裁判人 平田直右衛門	延享1年8月13日～ 延享1年10月19日	毎日記. [250]	WA1-6-34	1冊	27.0×19.7	117	原表紙に「参拾四番之内」「延享元甲子年自八月至十一月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 5丁あり。末尾に8月27日付(佐護)式左衛門宛かわむら(川村)久右衛門書状1通を付す。
毎日記一	館守 幾度治左衛門(54代)	延享1年2月27日～ 延享1年12月29日	毎日記. [252]	WA1-6-34	1冊	26.6×20.0	88	原表紙に「参拾五番」「十冊之内」「延享元甲子年二月廿七日〔 〕同十月十二迄」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 2丁あり。
毎日記二	館守 幾度治左衛門(54代)	延享2年1月1日～ 延享2年5月30日	毎日記. [253]	WA1-6-34	1冊	26.6×19.6	145	原表紙に「三十五番」「十冊之内」「延享二乙丑年自正月至于五月」の墨書あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 4丁あり。
毎日記三	館守 幾度治左衛門(54代)	延享2年6月1日～ 延享2年8月30日	毎日記. [254]	WA1-6-34	1冊	25.9×19.5	137	原表紙に「三十五番」「十冊之内」「延享二乙丑年自六月至于八月」の墨書あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 4丁あり。
毎日記四	館守 幾度治左衛門(54代)	延享2年9月1日～ 延享2年11月30日	毎日記. [255]	WA1-6-34	1冊	25.6×19.7	119	原表紙に「三十五番」「十冊之内」「延享二乙丑年自九月至于十一月」の墨書あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 4丁あり。
毎日記五	館守 幾度治左衛門(54代)	延享2年12月1日～ 延享2年閏12月29日	毎日記. [256]	WA1-6-34	1冊	25.9×19.9	84	原表紙に「三十五番」「十冊之内」「延享二乙丑年自十二月閏十二月至」の墨書あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 4丁あり。
毎日記六	館守 幾度治左衛門(54代)	延享3年1月1日～ 延享3年2月30日	毎日記. [257]	WA1-6-34	1冊	25.9×20.0	84	原表紙に「三十五番」「十冊之内」「延享三丙寅年自正月至二月」の墨書あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 4丁あり。
毎日記七	館守 幾度治左衛門(54代)	延享3年3月1日～ 延享3年4月30日	毎日記. [258]	WA1-6-34	1冊	25.9×19.9	101	原表紙に「三十五番」「十冊之内」「延享三丙寅年自三月至四月」の墨書あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 5丁あり。
毎日記八	館守 幾度治左衛門(54代)	延享3年5月1日～ 延享3年6月30日	毎日記. [259]	WA1-6-34	1冊	24.9×19.6	117	原表紙に「三十五番」「十冊之内」「延享三丙寅年自五月至六月」の墨書あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 5丁あり。
毎日記九	館守 幾度治左衛門(54代)	延享3年7月1日～ 延享3年8月30日	毎日記. [260]	WA1-6-34	1冊	26.0×19.7	105	原表紙に「三十五番」「延享三丙寅年自七月至于八月」の墨書あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 5丁あり。
毎日記十	館守 幾度治左衛門(54代)	延享3年9月1日～ 延享3年10月28日	毎日記. [261]	WA1-6-34	1冊	25.9×19.8	83	原表紙に「三十五番」「十冊之内」「延享三丙寅年自九月至十月」の墨書あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 4丁あり。

毎日記一	館守 内野権兵衛 (55代)	延享2年12月19日～ 延享3年12月30日	毎日記 [251]	WA1-6-34	1冊	25.9×20.3	65	原表紙に「参拾六番」「十三冊之内」「延享貳乙丑年從十二月 至丙寅十二月」の墨書あり。目次1丁あり。
毎日記二	館守 内野権兵衛 (55代)	延享4年1月1日～ 延享4年2月30日	毎日記 [264]	WA1-6-34	1冊	25.9×19.5	83	原表紙に「三十六番」「十三冊之内」「延享四丁卯年從正月 至二月」の墨書あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 4丁あり。
毎日記三	館守 内野権兵衛 (55代)	延享4年3月1日～ 延享4年4月30日	毎日記 [265]	WA1-6-34	1冊	26.0×19.5	79	原表紙に「三十六番」「十三冊之内」「延享四丁卯年從三月 至四月」の墨書あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 3丁あり。
毎日記四	館守 内野権兵衛 (55代)	延享4年5月1日～ 延享4年6月29日	毎日記 [266]	WA1-6-34	1冊	26.1×21.8	98	原表紙に「三十六番」「延享四丁卯年從五月至六月」の墨書 あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 3丁あり。
毎日記五	館守 内野権兵衛 (55代)	延享4年7月1日～ 延享4年8月29日	毎日記 [267]	WA1-6-34	1冊	26.2×21.8	80	原表紙に「三十六番」「十三冊之内」「延享四丁卯年從七月 至八月」の墨書あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 4丁あり。
毎日記六	館守 内野権兵衛 (55代)	延享4年9月1日～ 延享4年10月29日	毎日記 [262]	WA1-6-34	1冊	26.0×21.6	89	原表紙に「三十六番」「十三冊之内」「延享四丁卯年從九月至 十月」の墨書あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 3丁あり。
毎日記七	館守 内野権兵衛 (55代)	延享4年11月1日～ 延享4年12月29日	毎日記 [263]	WA1-6-34	1冊	26.1×19.7	96	原表紙に「三十六番」「十三冊之内」「延享四丁卯年從十一月 至十二月」の墨書あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 4丁あり。
毎日記八	館守 内野権兵衛 (55代)	寛延1年1月1日～ 寛延1年2月30日	毎日記 [268]	WA1-6-34	1冊	25.8×19.4	152	原表紙に「三十六番」「十三冊之内」「延享五戊辰年從正月 至二月」の墨書あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 7丁あり。
毎日記九	館守 内野権兵衛 (55代)	寛延1年3月1日～ 寛延1年4月29日	毎日記 [269]	WA1-6-34	1冊	26.0×19.8	81	原表紙に「三十六番」「十三冊之内」「延享五戊辰年從三月至 四月」の墨書あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 4丁あり。
毎日記十	館守 内野権兵衛 (55代)	寛延1年5月1日～ 寛延1年6月29日	毎日記 [275]	WA1-6-34	1冊	26.1×19.7	100	原表紙に「三十六番」「延享[五戊辰年從五月至六月」の墨書 あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 4丁あり。
毎日記拾壹	館守 内野権兵衛 (55代)	寛延1年7月1日～ 寛延1年8月30日	毎日記 [270]	WA1-6-34	1冊	25.8×19.5	136	原表紙に「三十六番」「十三冊之内」「延享五戊辰年從七月至 八月」の墨書あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 6丁あり。
毎日記十二	館守 内野権兵衛 (55代)	寛延1年9月1日～ 寛延1年10月30日	毎日記 [271]	WA1-6-34	1冊	26.0×19.5	81	原表紙に「三十六番」「十三冊之内」「寛延元戊辰年從九月至 十月」の墨書あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 4丁あり。

原題	作成者	内容年	当館書名 【冊番号】	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
毎日記十三	館司 内野権兵衛 (56代)	寛延1年閏10月1日～ 寛延1年11月12日	毎日記 [272]	WA1-6-34	1冊	26.0×19.2	48	原表紙に「三十六番」「十三冊之内」「寛延元戊辰年從閏十月 至十一月」の墨書あり。冒頭に「日帳目録」(目次) 4丁あり。
毎日記巻	館司 多田平左衛門 (56代)	寛延1年1月9日～ 寛延1年12月29日	毎日記 [273]	WA1-6-34	1冊	26.5×20.2	95	原表紙に「参拾七番」「共九冊」「寛延元戊辰年正月より四十 月廿八日館着十一月十二月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目 録」(目次) 3丁あり。
毎日記式	館司 多田平左衛門 (56代)	寛延2年1月1日～ 寛延2年3月29日	毎日記 [274]	WA1-6-34	1冊	26.0×19.9	170	原表紙に「三十七番」「共九冊」「寛延己巳年正月二月三月」 の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 5丁あり。
毎日記三	館司 多田平左衛門 (56代)	寛延2年4月1日～ 寛延2年6月30日	毎日記 [276]	WA1-6-34	1冊	26.5×20.2	145	原表紙に「三十七番」「共九冊」「寛延二己巳年四月五月六月」 の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 4丁あり。
毎日記四	館司 多田平左衛門 (56代)	寛延2年7月1日～ 寛延2年9月30日	毎日記 [277]	WA1-6-34	1冊	26.6×20.3	118	原表紙に「三十七番」「共九冊之内」「寛延二己巳年七月八月 九月」の墨書あり。冒頭に「毎日記」(目次) 4丁あり。
毎日記五	館司 多田平左衛門 (56代)	寛延2年10月1日～ 寛延2年12月30日	毎日記 [278]	WA1-6-34	1冊	26.5×20.3	90	原表紙に「三十七番」「共九冊之内」「寛延二己巳年十月十一月 十二月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 4丁あり。
毎日記六	館司 多田平左衛門 (56代)	寛延3年1月1日～ 寛延3年3月29日	毎日記 [280]	WA1-6-34	1冊	26.5×20.0	84	原表紙に「三十七番」「共九冊」「寛延三庚午年正月二月三月」 の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 3丁あり。
毎日記七	館司 多田平左衛門 (56代)	寛延3年4月1日～ 寛延3年6月29日	毎日記 [281]	WA1-6-34	1冊	26.7×20.0	137	原表紙に「三十七番」「共九冊」「寛延三庚午年四月五月六月」 の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 7丁あり。
毎日記八	館司 多田平左衛門 (56代)	寛延3年7月1日～ 寛延3年8月29日	毎日記 [282]	WA1-6-34	1冊	26.5×19.9	68	原表紙に「三十七番」「共九冊」「寛延三庚午年七月八月」の 墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 4丁あり。
毎日記九	館司 多田平左衛門 (56代)	寛延3年9月1日～ 寛延3年9月20日	毎日記 [283]	WA1-6-34	1冊	26.4×19.9	39	原表紙に「三十七番」「共九冊」「寛延三庚午年九月廿日迄」 の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」(目次) 3丁あり。
館守日記	樋口勘吾 (57代)	寛延2年11月9日～ 寛延3年10月30日	館守日記 [9]	WA1-6-8	1冊	26.5×19.7	102	原表紙に「参拾八番」「共拾五冊」「寛延三庚午九月十月」の 墨書あり。内表紙に「寛延二己巳年十一月至同三庚午年十月」 の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。冒頭に「毎日記目録」 5丁あり。印記：「平峯真印」

館守日記 式	樋口勸吾 (57代)	寛延3年11月1日～ 寛延3年12月29日	館守日記 [10]	WA1-6-8	1冊	26.6×19.7	78	原表紙に「三十八番」「共拾五冊」「寛延三庚午十一月十二月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」5丁あり。印記：「平峯真印」
館守日記 参	樋口勸吾 (57代)	宝暦1年1月1日～ 宝暦1年2月29日	館守日記 [11]	WA1-6-8	1冊	26.5×19.6	88	原表紙に「三十八番」「共拾五冊」「寛延四辛未二月二月」の墨書あり。内表紙に「未ノ正月二月清書相済」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」5丁あり。印記：「平峯真印」
館守日記 四	樋口勸吾 (57代)	宝暦1年3月1日～ 宝暦1年4月29日	館守日記 [12]	WA1-6-8	1冊	26.2×19.2	115	原表紙に「三十八番」「共拾五冊」「寛延四辛未三月四月」の墨書あり。冒頭の遊紙に「四月中」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」5丁あり。印記：「平峯真印」
館守日記 五	樋口勸吾 (57代)	宝暦1年5月1日～ 宝暦1年6月30日	館守日記 [13]	WA1-6-8	1冊	26.3×19.5	112	原表紙に「三十八番」「共拾五冊」「寛延四辛未五月六月」の墨書あり。冒頭の遊紙に「五月六月中二而候也」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」5丁あり。印記：「平峯真印」
館守日記 六	樋口勸吾 (57代)	宝暦1年閏6月1日～ 宝暦1年7月30日	館守日記 [14]	WA1-6-8	1冊	26.5×19.5	140	原表紙に「三十八番」「共拾五冊」「寛延四辛未閏六月七月」の墨書あり。第1丁に「閏六月七月ノ両月之分、初六月分は清書仕、幸右衛門へ遣申候、都合三ヶ月分」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」7丁あり。印記：「平峯真印」
館守日記 七	樋口勸吾 (57代)	宝暦1年8月1日～ 宝暦1年9月30日	館守日記 [15]	WA1-6-8	1冊	26.5×19.9	91	原表紙に「三十八番」「共拾五冊」「寛延四辛未八月九月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。冒頭に「毎日記目録」6丁あり。印記：「平峯真印」
館守日記 八	樋口勸吾 (57代)	宝暦1年10月1日～ 宝暦1年10月30日	館守日記 [16]	WA1-6-8	1冊	26.5×19.5	72	原表紙に「三十八番」「共拾五冊」「寛延四辛未十月」の墨書あり。内表紙に「未ノ十月中清書」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」3丁あり。印記：「平峯真印」
館守日記 九	樋口勸吾 (57代)	宝暦1年11月1日～ 宝暦1年12月30日	館守日記 [17]	WA1-6-8	1冊	26.3×19.4	100	原表紙に「三十八番」「共拾五冊」「寛延四辛未十一月十二月」の墨書あり。遊紙に「未十一月十二月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」4丁あり。印記：「平峯真印」
館守日記 十	樋口勸吾 (57代)	宝暦2年1月1日～ 宝暦2年2月29日	館守日記 [18]	WA1-6-8	1冊	26.4×19.7	164	原表紙に「三十八番」「共拾五冊」。「宝暦二壬申正月二月」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」7丁あり。印記：「平峯真印」

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
館守日記 十一	樋口勘吾 (57代)	宝暦2年3月1日～ 宝暦2年4月29日	館守日記 [19]	WA1-6-8	1冊	26.4×19.2	132	原表紙に「三十八番」「共拾五冊」「宝暦二壬申三月四月」の墨書あり。内表紙に「三月中四月中毎日記」と墨書あり。冒頭に「目録」7丁あり。印記：「平峯真印」
館守日記 十二	樋口勘吾 (57代)	宝暦2年5月1日～ 宝暦2年6月30日	館守日記 [20]	WA1-6-8	1冊	26.7×19.3	171	原表紙に「三十八番」「共拾五冊」「宝暦二壬申五月六月」の墨書あり。冒頭の遊紙に「㊤申五月中墨付紙数七拾八枚、六月中墨付紙数八十三枚」の墨書あり。冒頭に「目録」10丁あり。印記：「平峯真印」
館守日記 十三	樋口勘吾 (57代)	宝暦2年7月1日～ 宝暦2年8月29日	館守日記 [21]	WA1-6-8	1冊	26.4×19.5	145	原表紙に「三十八番」「共拾五冊」「宝暦二壬申七月八月」の墨書あり。冒頭の遊紙に「申七月中清書相済、墨付紙数八拾式枚、八月中墨附紙数五拾七枚」の墨書あり。冒頭に「目録」6丁あり。印記：「平峯真印」
館守日記 十四	樋口勘吾 (57代)	宝暦2年9月1日～ 宝暦2年10月30日	館守日記 [22]	WA1-6-8	1冊	26.0×19.2	180	原表紙に「三十八番」「共拾五冊」「宝暦二壬申九月十月」の墨書あり。第1丁に「十月中」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」9丁あり。印記：「平峯真印」
毎日記 [十五]	樋口勘吾 (57代)	宝暦2年11月1日～ 宝暦3年1月27日	毎日記 [285]	WA1-6-34	1冊	26.9×20.1	208	原表紙に「三十八番」の墨書あり。内表紙に「十一月中」の墨書あり。冒頭に「毎日記目録」11丁あり。印記：「平峯真印」
毎日記 一	館守 吉田七左衛門 (58代)	宝暦1年10月10日～ 宝暦3年2月30日	毎日記 [284]	WA1-6-34	1冊	27.0×20.1	67	原表紙に「三拾九番」「十冊之内」「自寛延四辛未十月至宝暦三癸酉年正月二月」「外裁判一代吉老頭館守方兼帯日記式冊有之」の墨書あり。冒頭に目次3丁あり。
毎日記 二	館守 吉田七左衛門 (58代)	宝暦3年3月1日～ 宝暦3年4月30日	毎日記 [286]	WA1-6-34	1冊	26.7×20.3	102	原表紙に「三十九番」「十冊之内」「宝暦三癸酉年三月四月」の墨書あり。冒頭に目次6丁あり。
毎日記 三	館守 吉田七左衛門 (58代)	宝暦3年5月1日～ 宝暦3年6月29日	毎日記 [287]	WA1-6-34	1冊	26.8×19.6	117	原表紙に「三十九番」「十冊之内」「宝暦三癸酉年五月六月」の墨書あり。冒頭に目次7丁あり。
毎日記 四	館守 吉田七左衛門 (58代)	宝暦3年7月1日～ 宝暦3年8月29日	毎日記 [288]	WA1-6-34	1冊	26.9×19.6	109	原表紙に「三十九番」「十冊之内」「宝暦三癸酉年七月八月」の墨書あり。冒頭に目次7丁あり。

毎日記五	館守 吉田七左衛門 (58代)	宝暦3年9月1日～ 宝暦3年10月30日	毎日記 [290]	WA1-6-34	1冊	27.0×19.6	90	原表紙に「三十九番」「十冊之内」「宝暦三癸酉年九月十月」の墨書あり。冒頭に目次6丁あり。
毎日記六	館守 吉田七左衛門 (58代)	宝暦3年11月1日～ 宝暦3年12月29日	毎日記 [291]	WA1-6-34	1冊	27.1×19.7	81	原表紙に「三十九番」「十冊之内」「宝暦三癸酉年十一月十二月」の墨書あり。冒頭に目次5丁あり。
毎日記七	館守 吉田七左衛門 (58代)	宝暦4年1月1日～ 宝暦4年2月30日	毎日記 [292]	WA1-6-34	1冊	27.0×20.0	55	原表紙に「三十九番」「十冊之内」「宝暦四甲戌年正月二月三月」の墨書あり。冒頭に目次3丁あり。
毎日記八	館守 吉田七左衛門 (58代)	宝暦4年閏2月1日～ 宝暦4年4月30日	毎日記 [293]	WA1-6-34	1冊	27.1×19.8	109	原表紙に「三十九番」「十冊之内」「宝暦四甲戌年閏二月三月四月」の墨書あり。冒頭に目次5丁あり。
毎日記九	館守 吉田七左衛門 (58代)	宝暦4年5月1日～ 宝暦4年6月29日	毎日記 [294]	WA1-6-34	1冊	27.1×19.8	104	原表紙に「三十九番」「十冊之内」「宝暦四甲戌年五月六月七月」の墨書あり。冒頭に目次7丁あり。
毎日記十	館守 吉田七左衛門 (58代)	宝暦4年7月1日～ 宝暦4年9月16日	毎日記 [295]	WA1-6-34	1冊	27.7×19.6	100	原表紙に「三十九番」「十冊之内」「宝暦四甲戌年七月八月九月十月」の墨書あり。冒頭に目次6丁あり。
館守吉田七左衛門死去一代官()時館守方御用奉之候毎日記	裁判 幾度九左衛門	宝暦4年9月16日～ 宝暦4年10月18日	館守吉田七左衛門死去二付新館守到着関係毎日記 [1]	WA1-6-7	1冊	26.3×20.1	33	表紙に「三十九番之内」「宝暦四甲戌年自九月十六日至十月七日」の墨書あり。
館守吉田七左衛門死去二付新館守到着一代官老頭御用奉之候毎日記	一代官 平田権右衛門 老頭 小島平右衛門	宝暦4年10月7日～ 宝暦4年11月7日	館守吉田七左衛門死去二付新館守到着関係毎日記 [2]	WA1-6-7	1冊	26.5×20.0	30	表紙に「三十九番之内」「十一」「宝暦四甲戌年自十月七日至十一月八日」の墨書あり。巻頭に宝暦4年10月7日に館守吉田七左衛門が死去し、新館守到着まで裁判幾度九左衛門が館守方を兼帯することになったが、「彼方御用向ニ差支」えたため「我々兩人」が御用向を引受けた事情について記事あり。
日記	館司 杉村帯刀 (59代)	宝暦3年8月6日～ 宝暦5年2月10日	毎日記 [289]	WA1-6-34	1冊	25.0×18.1	73	原表紙に「四拾番」「一冊」「宝暦三癸酉年より、酉八月より乙亥二月至」の墨書あり。
毎日記 巻	再勤 多田主計 (60代)	宝暦4年12月16日～ 宝暦5年4月30日	毎日記 [296]	WA1-6-34	1冊	24.0×18.4	172	原表紙に「四拾番」「共拾巻冊」「自宝暦四甲戌十二月[至]同乙亥四月()」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
毎日記式	再勤 多田主計 (60代)	宝暦5年5月1日～ 宝暦5年7月29日	毎日記 [297]	WA1-6-34	1冊	24.0×19.9	94	原表紙に「四十一番」「共拾巻冊」「自宝暦五乙亥年五月より至同年九月」の墨書あり。「毎日記 [298]」と分冊したもの。
{毎日記式}	{再勤} 多田主計 (60代)	宝暦5年8月1日～ 宝暦5年9月29日	毎日記 [298]	WA1-6-34	1冊	23.9×20.0	94	原表紙、原表紙欠。「毎日記 [297]」と分冊したもの。
毎日記参	再勤 多田主計 (60代)	宝暦5年10月1日～ 宝暦5年12月29日	毎日記 [299]	WA1-6-34	1冊	24.1×18.3	149	原表紙に「四十一番」「共拾巻冊」「自宝暦五乙亥十月至同年十二月」の墨書あり。
毎日記四	再勤 多田主計 (60代)	宝暦6年1月1日～ 宝暦6年4月30日	毎日記 [300]	WA1-6-34	1冊	24.2×18.4	109	原表紙に「四十一番」「共拾巻冊」「自宝暦六丙子[正月]至同年六月」の墨書あり。「毎日記 [301]」と分冊したもの。
{毎日記四}	{再勤} 多田主計 (60代)	宝暦6年5月1日～ 宝暦6年6月30日	毎日記 [301]	WA1-6-34	1冊	24.1×18.4	77	原表紙、原表紙欠。「毎日記 [300]」と分冊したもの。
毎日記五	再勤 多田主計 (60代)	宝暦6年7月1日～ 宝暦6年10月29日	毎日記 [302]	WA1-6-34	1冊	24.0×18.2	130	原表紙に「四十一番」「共拾巻冊」「自宝暦六丙子七月至同年十月」の墨書あり。
毎日記六	再勤 多田主計 (60代)	宝暦6年11月1日～ 宝暦6年12月29日	毎日記 [303]	WA1-6-34	1冊	24.1×18.3	144	原表紙に「四十一番」「共拾巻冊」「自宝暦六丙子十一月至同年十二月」の墨書あり。
毎日記七	{再勤} 多田主計 (60代)	宝暦7年1月1日～ 宝暦7年4月30日	毎日記 [304]	WA1-6-34	1冊	23.7×18.1	160	原表紙に「共拾巻冊」「自宝暦七丁丑[正月]至同年四月」の墨書あり。
毎日記八	再勤 多田主計 (60代)	宝暦7年5月1日～ 宝暦7年8月30日	毎日記 [305]	WA1-6-34	1冊	23.8×18.2	224	原表紙に「四十一番」「共拾巻冊」「自宝暦七丁丑五月至同年八月」の墨書あり。
毎日記九	再勤 多田主計 (60代)	宝暦7年9月1日～ 宝暦7年12月29日	毎日記 [306]	WA1-6-34	1冊	23.4×17.5	147	原表紙に「四十一番」「共拾巻冊」「自宝暦七丁丑九月至同年十二月」の墨書あり。
毎日記拾	再勤 多田主計 (60代)	宝暦8年1月1日～ 宝暦8年2月29日	毎日記 [308]	WA1-6-34	1冊	23.9×18.0	157	原表紙に「四十一番」「共拾巻冊」「自宝暦八戊寅正月至同年二月」の墨書あり。
毎日記拾壹	再勤 多田主計 (60代)	宝暦8年3月1日～ 宝暦8年4月7日	毎日記 [309]	WA1-6-34	1冊	23.5×17.9	93	原表紙に「四十一番」「共拾巻冊」「自宝暦八戊寅三月至同年四月終」の墨書あり。

毎日記一	館守 平田所左衛門 (61代)	宝暦7年12月7日～ 宝暦8年5月29日	毎日記 [307]	WA1-6-34	1冊	25.2×19.5	84	原表紙に「四拾貳番」「共ニ拾壹冊」「宝暦七丁丑年十二月ヨリ 同八戊寅五月迄」の墨書あり。冒頭に「目録」3丁あり。 印記：「尚」
毎日記二	館守 平田所左衛門 (61代)	宝暦8年6月1日～ 宝暦8年7月29日	毎日記 [310]	WA1-6-34	1冊	25.3×19.5	113	原表紙に「四十二番」「共ニ拾壹冊」「宝暦八戊寅年六月七 月中」の墨書あり。冒頭に「目録」3丁あり。印記：「尚」
毎日記三	館守 平田所左衛門 (61代)	宝暦8年8月1日～ 宝暦8年9月30日	毎日記 [311]	WA1-6-34	1冊	24.8×19.6	107	原表紙に「四十二番」「共ニ拾壹冊」「宝暦八戊寅年八月九月 中」の墨書あり。冒頭に「目録」5丁あり。印記：「尚」
毎日記四	館守 平田所左衛門 (61代)	宝暦8年10月1日～ 宝暦8年12月30日	毎日記 [312]	WA1-6-34	1冊	24.8×19.6	113	原表紙に「四十二番」「共ニ拾壹冊」「宝暦八戊寅年十月ヨリ 十二月迄」の墨書あり。冒頭に「目録」5丁あり。印記：「尚」
毎日記五	館守 平田所左衛門 (61代)	宝暦9年1月1日～ 宝暦9年3月29日	毎日記 [313]	WA1-6-34	1冊	24.8×19.8	86	原表紙に「四十二番」「共ニ拾壹冊」「宝暦九己卯年正月ヨリ 三月迄」の墨書あり。冒頭に「目録」4丁あり。印記：「尚」
毎日記六	館守 平田所左衛門 (61代)	宝暦9年4月1日～ 宝暦9年6月29日	毎日記 [314]	WA1-6-34	1冊	24.9×19.3	109	原表紙に「四十二番」「共ニ拾壹冊」「宝暦九己卯年四月ヨリ 六月迄」の墨書あり。冒頭に「目録」4丁あり。印記：「尚」
毎日記七	館守 平田所左衛門 (61代)	宝暦9年7月1日～ 宝暦9年閏7月29日	毎日記 [315]	WA1-6-34	1冊	24.7×19.1	94	原表紙に「四十二番」「共ニ拾壹冊」「宝暦九己卯年七月閏七 月中」の墨書あり。冒頭に「目録」4丁あり。印記：「尚」
毎日記八	館守 平田所左衛門 (61代)	宝暦9年8月1日～ 宝暦9年9月30日	毎日記 [316]	WA1-6-34	1冊	25.0×19.7	69	原表紙に「四十二番」「共ニ拾壹冊」「宝暦九己卯年八月九月 中」の墨書あり。冒頭に「目録」3丁あり。印記：「尚」
毎日記九	館守 平田所左衛門 (61代)	宝暦9年10月1日～ 宝暦9年12月30日	毎日記 [317]	WA1-6-34	1冊	24.9×19.4	128	原表紙に「四十二番」「共ニ拾壹冊」「宝暦九己卯年十月ヨリ 十二月迄」の墨書あり。冒頭に「目録」5丁あり。印記： 「尚」
毎日記十	館守 平田所左衛門 (61代)	宝暦10年1月1日～ 宝暦10年2月30日	毎日記 [318]	WA1-6-34	1冊	24.9×19.1	67	原表紙に「四十二番」「共ニ拾壹冊」「宝暦十庚辰年正月二月 中」の墨書あり。冒頭に「目録」4丁あり。印記：「尚」
毎日記十一	館司 平田所左衛門 (61代)	宝暦10年3月1日～ 宝暦10年5月25日	毎日記 [319]	WA1-6-34	1冊	25.1×19.0	144	原表紙に「四十二番」「共ニ拾壹冊」「宝暦十庚辰年三月ヨリ 五月迄」の墨書あり。冒頭に目次7丁あり。印記：「尚」

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
館守日記一	館守 平田内膳 (62代)	宝暦10年4月19日～ 宝暦10年8月30日	館守日記 [23]	WA1-6-8	1冊	22.6×19.6	164	原表紙に「四拾参番」「共六冊」「宝暦十庚辰年五月六月七月八月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。内表紙に「共二拾巻冊」「五月ヨリ六月マテ」の墨書、「七月八月」の朱書あり。
館守日記二	館守 平田内膳 (62代)	宝暦10年9月1日～ 宝暦10年12月30日	館守日記 [24]	WA1-6-8	1冊	23.6×19.4	127	原表紙に「四十三番」「共六冊」「宝暦十庚辰年九月十月十一月十三日迄十一月十二月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。内表紙に「共拾巻冊」「九月十月中」の墨書あり。「十月」に「十三日迄」の朱筆による補記、「中」を抹消のうえ「十一月十二月」の朱書あり。
館守日記三	館守 平田内膳 (62代)	宝暦11年1月1日～ 宝暦11年4月29日	館守日記 [25]	WA1-6-8	1冊	22.9×19.3	147	原表紙に「四十三番」「共六冊」「宝暦十一辛巳年正月二月三月四月」。内表紙書名は「毎日記」。内表紙に「共拾一冊」「正月二月」の墨書、「三月四月」の朱書あり。
館守日記四	館守 平田内膳 (62代)	宝暦11年5月1日～ 宝暦11年8月29日	館守日記 [26]	WA1-6-8	1冊	23.1×19.0	140	原表紙に「四十三番」「共六冊」「宝暦十一辛巳年五月六月七月八月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。内表紙に「共十巻冊」「五月六月」の墨書、「七月八月」の朱書あり。
館守日記五	館守 平田内膳 (62代)	宝暦11年9月1日～ 宝暦11年12月30日	館守日記 [27]	WA1-6-8	1冊	23.5×19.5	116	原表紙に「四十三番」「共六冊」「宝暦十一辛巳年九月十月十一月十二月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。内表紙に「共拾一冊」「九月十月十月中」の墨書、「中」を抹消し「十二月」とする朱書補記あり。
館守日記六	館守 平田内膳 (62代) 一代官 高木安達 老頭 村勢作兵衛	宝暦12年1月1日～ 宝暦12年4月26日	館守日記 [28]	WA1-6-8	1冊	23.9×21.3	80	原表紙に「四拾三番之内」「共六冊」「宝暦十二壬午年正月二月三月四月廿六日迄」の墨書あり。原表紙の「平田内膳」の墨書に「三月廿五日病死」と、「一代官 高木安達・老頭 村勢作兵衛」の墨書に「館守病死二付三月廿二日より代勤」との補記あり。
日記	[館守 戸田重左衛門] (63代)	宝暦11年10月15日 ～宝暦12年5月29日	毎日記 [320]	WA1-6-34	1冊	23.9×20.0	85	原表紙に墨書なし。共紙による内表紙に「巳ノ十月より午ノ五月二至」の墨書あり。宝暦12年閏4月より筆跡が変わる。

毎日記式	館守 戸田重左衛門 (63代)	宝暦12年6月1日～ 宝暦12年7月29日	毎日記。[321]	WA1-6-34	1冊	238×200	100	原表紙に「四拾四番」「宝暦十二壬午年六月七月中」の墨書あり。冒頭に「壬午六月七日目録」7丁あり。
毎日記参	館守 戸田重左衛門 (63代)	宝暦12年8月1日～ 宝暦12年9月30日	毎日記。[322]	WA1-6-34	1冊	24.1×20.0	92	原表紙に「四拾四番」「宝暦十二壬午年八月九月中」の墨書あり。冒頭に「壬午八月九日目録」4丁あり。
毎日記四	館守 戸田重左衛門 (63代)	宝暦12年10月1日～ 宝暦12年12月30日	毎日記。[323]	WA1-6-34	1冊	24.0×19.9	120	原表紙に「四十四番」「宝暦十二壬午年十一月十二月中」の墨書あり。
毎日記五	館守 戸田重左衛門 (63代)	宝暦13年1月1日～ 宝暦13年3月30日	毎日記。[324]	WA1-6-34	1冊	24.3×19.9	122	原表紙に「四十四番」「宝暦十三癸未年正月二三月三月中」の墨書あり。
毎日記六	館守 戸田重左衛門 (63代)	宝暦13年4月1日～ 宝暦13年6月29日	毎日記。[325]	WA1-6-34	1冊	24.4×19.9	104	原表紙に「四十四番」「宝暦十三癸未年四月五六月六月中」の墨書あり。
毎日記七	館守 戸田重左衛門 (63代)	宝暦13年7月1日～ 宝暦13年9月29日	毎日記。[326]	WA1-6-34	1冊	24.2×19.9	152	原表紙に「四十四番」「宝暦十三癸未年七月八月九月中」の墨書あり。
毎日記八	館守 戸田重左衛門 (63代)	宝暦13年10月2日～ 宝暦13年12月30日	毎日記。[328]	WA1-6-34	1冊	24.1×19.9	92	原表紙に「四十四番」「宝暦十三癸未年十一月十二月二月中」の墨書あり。
毎日記九	館守 戸田重左衛門 (63代)	明和1年1月1日～ 明和1年3月28日	毎日記。[329]	WA1-6-34	1冊	24.0×20.0	101	原表紙に「四十四番」「宝暦十四甲辰年」正月二三月三月中」の墨書あり。
毎日記十	館守 戸田重左衛門 (63代)	明和1年4月1日～ 明和1年6月30日	毎日記。[330]	WA1-6-34	1冊	24.4×19.5	123	原表紙に「四十四番」「宝暦十四[甲申]至四月五六月」の墨書あり。
毎日記十[一]	館守 戸田重左衛門 (63代)	明和1年7月1日～ 明和1年8月30日	毎日記。[331]	WA1-6-34	1冊	24.0×19.5	111	原表紙に「四十四番」「宝暦十四甲申」七月明和元十二月」の墨書あり。「毎日記。[332]」を分冊したものの。
毎日記十一	館守 戸田重左衛門 (63代)	明和1年9月1日～ 明和1年閏12月2日	毎日記。[332]	WA1-6-34	1冊	23.8×19.4	71	原表紙、原表紙欠。「毎日記。[331]」を分冊したものの。
毎日記一	館守 杉村弁之進 (64代)	宝暦13年7月24日～ 明和1年11月30日	毎日記。[327]	WA1-6-34	1冊	24.1×19.2	105	原表紙に「四拾五番」「宝暦十三癸未年七月廿四日より明和元甲申十一月迄」の墨書あり。「右日記本書雨漏ニ相成、難用立候付、此節書改置候、尤朽損し字性難相分り所者、國字いたし置候事、文化元甲子年十一月」と奥書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
毎日記二	館守 杉村弁 [之進] (64代)	明和1年12月1日～ 明和1年閏12月30日	毎日記. [333]	WA1-6-34	1冊	25.3×194	86	原表紙に「四十五番」「明和元年甲申年十二月より閏十二月迄」の墨書あり。
毎日記三	館守 杉 [村弁之進] (64代)	明和2年1月4日～ 明和2年2月30日	毎日記. [334]	WA1-6-34	1冊	25.2×192	88	原表紙に「四十五番」「明和乙酉年正月より二月迄」の墨書あり。前欠。1月4日条前に3日条と思われる記事を含む。
毎日記四	館守 杉村弁之進 (64代)	明和2年3月1日～ 明和2年5月30日	毎日記. [335]	WA1-6-34	1冊	24.8×195	110	原表紙に「四十五番」「明和乙酉年三月より五月迄」の墨書あり。
毎日記五	館守 杉村弁之進 (64代)	明和2年6月1日～ 明和2年7月29日	毎日記. [336]	WA1-6-34	1冊	24.0×192	84	原表紙に「四十五番」「明和乙酉年六月より七月迄」の墨書あり。「右日記本書雨漏ニ相成、難用立候付、此節書改置候、尤朽損し字性難相分り所者、鬨字いたし置候事、文化元年十一月」と奥書あり。
毎日記六	館守 杉村弁之進 (64代)	明和2年8月1日～ 明和2年9月29日	毎日記. [337]	WA1-6-34	1冊	24.0×191	99	原表紙に「四十五番」「明和乙酉年八月より九月迄」の墨書あり。「右日記本書雨漏ニ相成、難用立候付、此節書改置候、尤朽損し字性難相分り所八、鬨字いたし置候事、文化元年十一月」と奥書あり。
毎日記七	館守 杉村弁之進 (64代)	明和2年10月1日～ 明和2年12月29日	毎日記. [338]	WA1-6-34	1冊	23.9×188	88	原表紙に「四十五番」「明和乙酉年十月より十二月迄」の墨書あり。「右日記本書雨漏ニ相成、難用立候付、此節書改置候、尤朽損し字性難相分り所者、鬨字いたし置候事、文化元年十一月」と奥書あり。
毎日記八	館守 杉村弁之進 (64代)	明和3年1月1日～ 明和3年2月29日	毎日記. [339]	WA1-6-34	1冊	24.7×196	61	原表紙に「四十五番」「明和三丙戌年正月より二月迄」の墨書あり。
毎日記九	館守 杉村弁之進 (64代)	明和3年3月1日～ 明和3年4月29日	毎日記. [340]	WA1-6-34	1冊	25.2×189	72	原表紙に「四十五番」「明和三丙戌年三月より四月迄」の墨書あり。
毎日記十	館守 杉村弁之進 (64代)	明和3年5月1日～ 明和3年6月30日	毎日記. [341]	WA1-6-34	1冊	24.5×199	91	原表紙に「四十五番」「明和三丙戌年五月より六月迄」の墨書あり。
毎日記十一	館守 杉村弁之進 (64代)	明和3年7月1日～ 明和3年8月30日	毎日記. [343]	WA1-6-34	1冊	24.5×192	96	原表紙に「四十五番」「明和三丙戌年七月より八月迄」の墨書あり。

毎日記 十二	館守 杉村弁之進 (64代)	明和3年9月1日～ 明和3年10月29日	毎日記 [344]	WA1-6-34	1冊	24.5×187	87	原表紙に「四十五番」「明和三丙戌年九月より十月迄」の墨書あり。
毎日記 十三	館守 杉村弁之進 (64代)	明和3年11月1日～ 明和3年12月29日	毎日記 [345]	WA1-6-34	1冊	25.1×188	60	原表紙に「四十五番」「明和三丙戌年十一月より十二月迄」の墨書あり。
[毎日記] 十四	[館守] 杉村弁之進 (64代)	明和4年1月1日～ 明和4年2月16日	毎日記 [346]	WA1-6-34	1冊	24.7×190	43	原表紙墨書なし。内表紙(本文と共紙)に「明和四丁亥年」「四十五番」「十四」「杉村弁之進」の墨書あり。欠損部分多し。
毎日記 一	館司 小河右近右衛門 (65代)	明和3年3月19日～ 明和4年5月29日	毎日記 [342]	WA1-6-34	1冊	24.2×189	143	原表紙に「四拾六番」「明和三丙戌年自三月同四丁亥年至五月」の墨書あり。
毎日記 二	館司 小河右近右衛門 (65代)	明和4年6月1日～ 明和4年9月30日	毎日記 [348]	WA1-6-34	1冊	24.7×189	124	原表紙に「四十六番」「明和四丁亥年自六月同年至九月」の墨書あり。
毎日記 三	館司 小河右近右衛門 (65代)	明和4年閏9月1日～ 明和4年12月29日	毎日記 [347]	WA1-6-34	1冊	24.5×192	111	原表紙に「四十六番」「明和四丁亥年自閏九月同年至十二月」の墨書あり。
毎日記 四	館司 小河右近右衛門 (65代)	明和5年1月1日～ 明和5年4月29日	毎日記 [350]	WA1-6-34	1冊	24.6×187	112	原表紙に「四十六番」「明和五戊子年自正月同年四月二至」の墨書あり。
毎日記 五	館司 小河右近右衛門 (65代)	明和5年5月1日～ 明和5年8月29日	毎日記 [351]	WA1-6-34	1冊	24.6×186	125	原表紙に「四十六番」「明和五戊子年自五月同年八月二至」の墨書あり。
毎日記 六	館司 小河右近右衛門 (65代)	明和5年9月1日～ 明和5年12月30日	毎日記 [352]	WA1-6-34	1冊	24.8×189	84	原表紙に「四十六番」「明和五戊子年自九月同年至十二月」の墨書あり。
毎日記 七	館司 小河右近右衛門 (65代)	明和6年1月1日～ 明和6年4月29日	毎日記 [353]	WA1-6-34	1冊	24.5×191	80	原表紙に「四十六番」「明和六己丑年自正月同年至四月」の墨書あり。
毎日記 八	館司 小河右近右衛門 (65代)	明和6年5月1日～ 明和6年7月29日	毎日記 [354]	WA1-6-34	1冊	24.2×189	73	原表紙に「四十六番」「明和六己丑年自五月同年至七月」の墨書あり。
毎日記 九	館司 小河右近右衛門 (65代)	明和6年8月1日～ 明和6年10月30日	毎日記 [355]	WA1-6-34	1冊	24.3×190	63	原表紙に「四十六番」「明和六己丑年自八月同年至十月」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名 【冊番号】	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
毎日記十	館司 小河右近右衛門 (65代)	明和6年11月1日～ 明和6年12月30日	毎日記. [356]	WA1-6-34	1冊	24.7×18.9	34	原表紙に「四十六番」「明和六己丑年十一月十二月中」の墨書あり。
毎日記十一	館司 小河右近右衛門 (65代)	明和7年1月1日～ 明和7年3月7日	毎日記. [357]	WA1-6-34	1冊	24.6×19.4	67	原表紙に「四十六番」「明和七庚寅年自正月同年至二月」の墨書あり。
毎日記巻	館司 田嶋左近右衛門 (66代)	明和4年12月26日～ 明和7年3月30日	毎日記. [349]	WA1-6-34	1冊	24.4×19.0	65	原表紙に「四拾七番」「明和四丁亥年十二月ヨリ同七年庚申年三月二至」の墨書あり。内表紙に「明和四丁亥年迄月廿六日より同七庚寅二月三月中迄」の墨書あり。
毎日記式	館司 田嶋左近右衛門 (66代)	明和7年4月1日～ 明和7年6月30日	毎日記. [358]	WA1-6-34	1冊	24.5×18.7	109	原表紙に「四十七番」「明和七庚寅年四月より六月迄」の墨書あり。
毎日記三	館司 田嶋左近右衛門 (66代)	明和7年閏6月1日～ 明和7年8月29日	毎日記. [359]	WA1-6-34	1冊	24.4×18.6	86	原表紙に「四拾七番」「明和七庚寅年閏六月より八月迄」の墨書あり。
毎日記四	館司 田嶋左近右衛門 (66代)	明和7年9月1日～ 明和7年12月30日	毎日記. [360]	WA1-6-34	1冊	24.5×18.7	101	原表紙に「四拾七番」「明和七庚寅年九月より十二月迄」の墨書あり。
毎日記五	館司 田嶋左近右衛門 (66代)	明和8年1月1日～ 明和8年3月29日	毎日記. [361]	WA1-6-34	1冊	24.1×18.9	95	原表紙に「四十七番」「明和八辛卯年正月より三月迄」の墨書あり。「右日記本書雨漏ニ相成、難用立候付、此節書改置候、尤朽損し、字性難相分り所ハ、鬺字いたし置候事、文化元甲子年十一月」と奥書あり。
毎日記六	館司 田嶋左近右衛門 (66代)	明和8年4月1日～ 明和8年6月30日	毎日記. [363]	WA1-6-34	1冊	24.4×20.5	105	原表紙に「四十七番」「明和八辛卯年四月より六月迄」の墨書あり。
毎日記七	館司 田嶋左近右衛門 (66代)	明和8年7月1日～ 明和8年9月30日	毎日記. [364]	WA1-6-34	1冊	23.9×18.7	85	原表紙に「四十七番」「明和八辛卯年七月より九月迄」の墨書あり。
毎日記八	館司 田嶋左近右衛門 (66代)	明和8年10月1日～ 明和8年12月30日	毎日記. [365]	WA1-6-34	1冊	24.2×18.8	78	原表紙に「四十七番」「明和八辛卯年十月より十二月迄」の墨書あり。「右日記本書雨漏ニ相成、難用立候付、此節書改置候、尤朽損し字性難相分り所者、鬺字いたし置候事、文化元甲子年十一月」と奥書あり。

毎日記 九終	館守 田嶋左近右衛門 (66代)	安永1年1月1日～ 安永1年4月5日	毎日記 [366]	WA1-6-34	1冊	24.4×18.9	73	原表紙に「四十七番」「明和九壬辰年正月より四月迄」の墨書あり。
毎日記 巻	館守 岩崎喜左衛門 (67代)	明和8年6月12日～ 安永1年4月29日	毎日記 [362]	WA1-6-34	1冊	24.4×18.5	125	原表紙に「四拾八番」「明和八辛卯年より同九壬辰年正二三 月四月中」の墨書あり。内表紙に「壬辰三月中、付辛卯六月 十二日より」の墨書あり。
毎日記 式	館守 岩崎喜左衛門 (67代)	安永1年5月1日～ 安永1年6月29日	毎日記 [367]	WA1-6-34	1冊	24.4×18.9	116	原表紙に「四十八番」「明和九壬辰年五月六月中」の墨書あ り。末尾に「辰五月十日御使中川平之進様渡御論知真文和文」 あり。
毎日記 三	館守 岩崎喜左衛門 (67代)	安永1年7月1日～ 安永1年8月29日	毎日記 [368]	WA1-6-34	1冊	24.4×19.1	105	原表紙に「四十八番」「明和九壬辰年七月八月中」の墨書あり。
毎日記 四	館守 岩崎喜左衛門 (67代)	安永1年9月1日～ 安永1年10月30日	毎日記 [369]	WA1-6-34	1冊	25.0×18.5	89	原表紙に「四十八番」「明和九壬辰年九月十月中」の墨書あり。
毎日記 五	館守 岩崎喜左衛門 (67代)	安永1年11月1日～ 安永1年12月30日	毎日記 [370]	WA1-6-34	1冊	24.8×18.6	86	原表紙に「四十八番」「明和九壬辰年十一月十二月中」の墨 書あり。
毎日記 六	館守 岩崎喜左衛門 (67代)	安永2年1月1日～ 安永2年2月30日	毎日記 [371]	WA1-6-34	1冊	24.6×18.6	95	原表紙に「四十八番」「明和十癸巳年正月二月中」の墨書あ り。末尾に「巳正月廿二日御使船越治五右衛門様渡御論知真 文和文」あり。
毎日記 七	館守 岩崎喜左衛門 (67代)	安永2年3月1日～ 安永2年閏3月29日	毎日記 [372]	WA1-6-34	1冊	24.4×19.2	104	原表紙に「四十八番」「安永二癸巳年但三月改元三月閏三月 中」の墨書あり。
毎日記 八	館守 岩崎喜左衛門 (67代)	安永2年4月1日～ 安永2年6月29日	毎日記 [373]	WA1-6-34	1冊	24.4×18.6	122	原表紙に「四十八番」「安永二癸巳年四月五月六月中」の墨 書あり。
毎日記 九	館守 岩崎喜左衛門 (67代)	安永2年7月1日～ 安永2年8月29日	毎日記 [374]	WA1-6-34	1冊	24.4×19.1	82	原表紙に「四十八番」「安永二癸巳年七月八月中」の墨書あり。
毎日記 十	館守 岩崎喜左衛門 (67代)	安永2年9月1日～ 安永2年10月30日	毎日記 [375]	WA1-6-34	1冊	24.4×18.2	107	原表紙に「四十八番」「安永二癸巳年九月十月中」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
毎日記 十一	館守 岩崎喜左衛門 (67代)	安永2年11月1日～ 安永2年12月30日	毎日記 [376]	WA1-6-34	1冊	24.8×18.8	116	原表紙に「四十八番」「安永二癸巳年十一月十二月中」の墨書あり。
毎日記 十二	館守 岩崎喜左衛門 (67代)	安永3年1月1日～ 安永3年2月30日	毎日記 [377]	WA1-6-34	1冊	24.0×19.1	94	原表紙に「四十八番」「安永三甲午年正月三月中」の墨書あり。「毎日記 [378]」と分冊したもの。
[毎日記 十二]	[館守 岩崎喜左衛門] (67代)	安永3年3月1日～ 安永3年3月30日	毎日記 [378]	WA1-6-34	1冊	24.1×18.1	68	原表紙、原表紙欠。「毎日記 [377]」と分冊したもの。
毎日記 十三	館守 岩崎喜左衛門 (67代)	安永3年4月1日～ 安永3年12月21日	毎日記 [379]	WA1-6-34	1冊	24.7×18.8	125	原表紙に「四十八番」「安永三甲午年從四月至十二月」の墨書あり。内表紙に「四月五月六月七月八月中」の墨書あり。
毎日記 卷	館守再勤 杉村弁之進 (68代)	安永2年9月8日～ 安永3年6月29日	毎日記 [380]	WA1-6-34	1冊	24.4×19.4	77	原表紙に「四拾九番」「安永二癸巳年九月より同三甲午年四月五月六月中」の墨書あり。
毎日記 式	館守再勤 杉村弁之進 (68代)	安永3年7月1日～ 安永3年9月29日	毎日記 [381]	WA1-6-34	1冊	24.6×19.3	96	原表紙に「四十九番」「安永三甲午年七月八月九月中」の墨書あり。
毎日記 参	館守再勤 杉村弁之進 (68代)	安永3年10月1日～ 安永3年12月29日	毎日記 [382]	WA1-6-34	1冊	24.6×19.6	79	原表紙に「四十九番」「安永三甲午年十一月十二月」の墨書あり。
毎日記 四	館守再勤 杉村弁之進 (68代)	安永4年1月1日～ 安永4年3月30日	毎日記 [383]	WA1-6-34	1冊	24.6×19.4	110	原表紙に「四十九番」「安永四乙未年正月三月中」の墨書あり。
毎日記 五	館守再勤 杉村弁之進 (68代)	安永4年4月1日～ 安永4年6月29日	毎日記 [384]	WA1-6-34	1冊	24.7×19.6	128	原表紙に「四十九番」「安永四乙未年四月五月中」の墨書あり。
毎日記 六	館守再勤 杉村弁之進 (68代)	安永4年7月1日～ 安永4年9月29日	毎日記 [385]	WA1-6-34	1冊	24.7×19.3	114	原表紙に「四十九番」「安永四乙未年七月八月九月中」の墨書あり。
毎日記 七	館守再勤 杉村弁之進 (68代)	安永4年10月1日～ 安永4年閏12月29日	毎日記 [386]	WA1-6-34	1冊	24.8×19.0	151	原表紙に「四十九番」「安永四乙未年十月十一月十二月閏十二月」の墨書あり。
毎日記 八	館守再勤 杉村弁之進 (68代)	安永5年1月1日～ 安永5年3月30日	毎日記 [387]	WA1-6-34	1冊	24.7×19.6	127	原表紙に「四十九番」「安永五丙申年正月三月中」の墨書あり。

毎日記 九	館守再勤 杉村弁之進 (68代)	安永5年4月1日～ 安永5年6月29日	毎日記 [388]	WA1-6-34	1冊	24.7×19.2	136	原表紙に「四十九番」「安永五丙申年四月五月六月中」の墨書あり。
毎日記 拾	館守再勤 杉村弁之進 (68代)	安永5年7月1日～ 安永5年9月30日	毎日記 [389]	WA1-6-34	1冊	24.5×19.5	123	原表紙に「四十九番」「安永五丙申年七月八月九月月中」の墨書あり。
毎日記 拾壹	館守再勤 杉村弁之進 (68代)	安永5年10月1日～ 安永5年12月29日	毎日記 [390]	WA1-6-34	1冊	24.6×19.2	134	原表紙に「四十九番」「安永五丙申年十月十一月十二月中」の墨書あり。
毎日記 拾貳	館守再勤 杉村弁之進 (68代)	安永6年1月1日～ 安永6年3月18日	毎日記 [391]	WA1-6-34	1冊	24.9×19.3	53	原表紙に「四十九番」「安永六丁酉年正月より三月迄」の墨書あり。
毎日記 一	館司 原宅右衛門 (69代)	安永4年3月18日～ 安永6年3月29日	毎日記 [392]	WA1-6-34	1冊	24.8×19.4	106	原表紙に「五拾番」「九冊之内」「安永四乙未年三月十八日より同六丁酉年正月二月三月中」の墨書あり。
毎日記 二	館司 原宅右衛門 (69代)	安永6年4月1日～ 安永6年6月29日	毎日記 [393]	WA1-6-34	1冊	24.6×19.5	144	原表紙に「五十番」「九冊之内」「安永六丁酉年四月五月六月中」の墨書あり。
毎日記 三	館司 原宅右衛門 (69代)	安永6年7月1日～ 安永6年9月30日	毎日記 [394]	WA1-6-34	1冊	24.9×19.5	126	原表紙に「五十番」「九冊之内」「安永六丁酉年七月八月九月月中」の墨書あり。
毎日記 四	館司 原宅右衛門 (69代)	安永6年10月1日～ 安永6年12月29日	毎日記 [395]	WA1-6-34	1冊	24.7×20.5	108	原表紙に「五十番」「九冊之内」「安永六丁酉年十月十一月十二月中」の墨書あり。
毎日記 五	館司 原宅右衛門 (69代)	安永7年1月1日～ 安永7年3月29日	毎日記 [396]	WA1-6-34	1冊	24.7×20.4	116	原表紙に「五十番」「九冊之内」「安永七戌年正月二月三月中」の墨書あり。
毎日記 六	館司 原宅右衛門 (69代)	安永7年4月1日～ 安永7年6月29日	毎日記 [397]	WA1-6-34	1冊	24.9×18.7	101	原表紙に「五十番」「九冊之内」「安永七戌年四月五月六月中」の墨書あり。
毎日記 七	館司 原宅右衛門 (69代)	安永7年7月1日～ 安永7年9月30日	毎日記 [398]	WA1-6-34	1冊	24.3×20.5	135	原表紙に「五十番」「九冊之内」「安永七戌年七月閏七月八月九月中」の墨書あり。
毎日記 八	館司 原宅右衛門 (69代)	安永7年10月1日～ 安永7年12月29日	毎日記 [399]	WA1-6-34	1冊	24.1×18.7	119	原表紙に「五十番」「九冊之内」「安永七戌年十月十一月十二月中」の墨書あり。

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
毎日記九	館司 原宅右衛門 (69代)	安永8年1月1日～ 安永8年3月13日	毎日記 [400]	WA1-6-34	1冊	24.4×188	69	原表紙に「五十番」「九冊之内」「安永八己亥年正月二月三月」の墨書あり。
館守日記 巻	戸田頼母 (70代)	安永5年10月13日～ 安永8年4月29日	館守日記 [29]	WA1-6-8	1冊	23.8×185	77	原表紙に「五十一番」「共拾五冊」「安永八己亥年三月四月」の墨書あり。安永5年10月13日の記事の後は、安永7年3月18日の記事となる。印記：「誠」
館守日記 貳	戸田頼母 (70代)	安永8年5月1日～ 安永8年6月29日	館守日記 [30]	WA1-6-8	1冊	23.6×186	82	原表紙に「五十巻番」「共拾五冊」「安永八己亥年五月六月」の墨書あり。印記：「誠」
館守日記 参	戸田頼母 (70代)	安永8年7月1日～ 安永8年8月30日	館守日記 [31]	WA1-6-8	1冊	23.7×185	79	原表紙に「五十一番」「共拾五冊」「安永八己亥年七月八月」の墨書あり。印記：「誠」
館守日記 肆	戸田頼母 (70代)	安永8年9月1日～ 安永8年10月30日	館守日記 [32]	WA1-6-8	1冊	24.2×187	97	原表紙に「五十一番」「共拾五冊」「安永八己亥年九月十月」の墨書あり。印記：「誠」
館守日記 伍	戸田頼母 (70代)	安永8年11月1日～ 安永8年12月29日	館守日記 [33]	WA1-6-8	1冊	24.4×187	66	原表紙に「五十一番」「共拾五冊」「安永八己亥年十一月十二月」の墨書あり。印記：「誠」
館守日記 陸	戸田頼母 (70代)	安永9年1月1日～ 安永9年2月30日	館守日記 [34]	WA1-6-8	1冊	24.0×184	70	原表紙に「五十一番」「共拾五冊」「安永九庚子年正月二月」の墨書あり。印記：「誠」
館守日記 柒	戸田頼母 (70代)	安永9年3月1日～ 安永9年4月30日	館守日記 [35]	WA1-6-8	1冊	24.0×185	79	原表紙に「五十一番」「共拾五冊」「安永九庚子年三月四月」の墨書あり。印記：「誠」
館守日記 捌	戸田頼母 (70代)	安永9年5月1日～ 安永9年6月30日	館守日記 [36]	WA1-6-8	1冊	24.3×184	112	原表紙に「五十巻番」「共拾五冊」「安永九庚子年五月六月」の墨書あり。印記：「誠」
館守日記 仇	戸田頼母 (70代)	安永9年7月1日～ 安永9年8月29日	館守日記 [37]	WA1-6-8	1冊	24.0×181	80	原表紙に「五十一番」「共拾五冊」「安永九庚子年七月八月」の墨書あり。印記：「誠」
館守日記 拾	戸田頼母 (70代)	安永9年9月1日～ 安永9年10月29日	館守日記 [38]	WA1-6-8	1冊	23.9×184	88	原表紙に「五十一番」「共拾五冊」「安永九庚子年九月十月」の墨書あり。印記：「誠」
館守日記 拾壹	戸田頼母 (70代)	安永9年11月1日～ 安永9年12月29日	館守日記 [39]	WA1-6-8	1冊	23.9×183	88	原表紙に「五十一番」「共拾五冊」「安永九庚子年十一月十二月」の墨書あり。印記：「誠」

館守日記 拾貳	戸田頼母 (70代)	天明1年1月1日～ 天明1年2月30日	館守日記 [40]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.5	63	原表紙に「五十一番」「共拾五冊」「安永十辛丑年正月二月」の墨書あり。印記：「誠」
館守日記 拾參	戸田頼母 (70代)	天明1年3月1日～ 天明1年4月29日	館守日記 [41]	WA1-6-8	1冊	23.9×18.3	113	原表紙に「五十一番」「共拾五冊」「安永十辛丑年三月四月」の墨書あり。印記：「誠」
館守日記 拾肆	戸田頼母 (70代)	天明1年5月1日～ 天明1年閏5月29日	館守日記 [42]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.4	72	原表紙に「五十一番」「共拾五冊」「安永十辛丑年五月閏五月」の墨書あり。印記：「誠」
館守日記 拾五	戸田頼母 (70代)	天明1年6月1日～ 天明1年7月11日	館守日記 [43]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.5	30	原表紙に「五十一番」「共拾五冊」「天明元辛丑年六月七月」の墨書あり。印記：「誠」
毎日記 壹	館守 幾度主膳 (71代)	天明1年1月21日～ 天明1年7月29日	毎日記 [401]	WA1-6-34	1冊	24.8×18.7	93	原表紙に「五拾貳番」「共拾六冊」「安永十辛丑年六月 () 正月ヨリ七月ニ至」の墨書あり。
毎日記 貳	館守 幾度主膳 (71代)	天明1年8月1日～ 天明1年9月30日	毎日記 [402]	WA1-6-34	1冊	24.7×18.9	94	原表紙に「五十二番」「共拾六冊」「天明元辛丑年八月九月」の墨書あり。
毎日記 参	館守 幾度主膳 (71代)	天明1年10月1日～ 天明1年12月29日	毎日記 [403]	WA1-6-34	1冊	24.4×19.0	112	原表紙に「五十貳番」「共拾六冊」「天明元辛丑年十月十一月十二月」の墨書あり。
毎日記 肆	館守 幾度主膳 (71代)	天明2年1月1日～ 天明2年2月30日	毎日記 [404]	WA1-6-34	1冊	24.8×18.9	132	原表紙に「五十二番」「共拾六冊」「天明二壬寅年正月二月」の墨書あり。
毎日記 伍	館守 幾度主膳 (71代)	天明2年3月1日～ 天明2年4月30日	毎日記 [405]	WA1-6-34	1冊	24.7×18.8	132	原表紙に「五十二番」「共拾六冊」「天明二壬寅年三月四月」の墨書あり。
毎日記 六	館守 幾度主膳 (71代)	天明2年5月1日～ 天明2年6月30日	毎日記 [406]	WA1-6-34	1冊	24.9×19.1	91	原表紙に「五拾貳番」「共拾六冊」「天明二壬寅年五月六月」の墨書あり。
毎日記 七	館守 幾度主膳 (71代)	天明2年7月1日～ 天明2年8月30日	毎日記 [407]	WA1-6-34	1冊	24.8×19.1	127	原表紙に「五十二番」「共拾六冊」「天明二壬寅年七月八月」の墨書あり。
毎日記 八	館守 幾度主膳 (71代)	天明2年9月1日～ 天明2年10月30日	毎日記 [408]	WA1-6-34	1冊	24.9×18.9	151	原表紙に「五十二番」「共拾六冊」「天明二壬寅年九月十月」の墨書あり。
毎日記 九	館守 幾度主膳 (71代)	天明2年11月1日～ 天明2年12月30日	毎日記 [409]	WA1-6-34	1冊	24.9×19.1	89	原表紙に「五十貳番」「共拾六冊」「天明二壬寅年十一月十二月」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
毎日記 拾	館守 幾度主膳 (71代)	天明3年1月1日～ 天明3年2月30日	毎日記 [410]	WA1-6-34	1冊	24.9×19.0	92	原表紙に「五十二番」「共拾六冊」「天明三癸卯年正月二月」の墨書あり。
毎日記 拾巻	館守 幾度主膳 (71代)	天明3年3月1日～ 天明3年4月30日	毎日記 [411]	WA1-6-34	1冊	25.2×18.9	108	原表紙に「五十二番」「共拾六冊」「天明三癸卯年三月四月」の墨書あり。
毎日記 拾二	館守 幾度主膳 (71代)	天明3年5月1日～ 天明3年6月29日	毎日記 [412]	WA1-6-34	1冊	24.8×19.0	132	原表紙に「五十二番」「共拾六冊」「天明三癸卯年五月六月」の墨書あり。
毎日記 拾参	館守 幾度主膳 (71代)	天明3年7月1日～ 天明3年8月29日	毎日記 [413]	WA1-6-34	1冊	24.8×18.8	107	原表紙に「五十二番」「共拾六冊」「天明三癸卯年七月八月」の墨書あり。
[毎日記 十四]	[館守 幾度主膳 (71代)]	天明3年9月1日～ 天明3年10月29日	毎日記 [414]	WA1-6-34	1冊	24.8×19.1	144	原表紙、内表紙欠。
[毎日記 十五]	[館守 幾度主膳 (71代)]	天明3年11月1日～ 天明3年12月29日	毎日記 [419]	WA1-6-34	1冊	24.7×18.8	115	原表紙に「共拾六冊」の墨書あり。原表紙破損につき墨書痕跡あるも判読不能。
毎日記 十六	館守 幾度主膳 (71代)	天明4年1月1日～ 天明4年閏1月11日	毎日記 [420]	WA1-6-34	1冊	25.2×18.8	72	原表紙に「五十三番」「箱入」「天明四甲辰年從正月至閏正月」の墨書あり。
館守毎日記 巻	島雄太膳 (72代)	天明2年10月4日～ 天明4年2月30日	毎日記 [415]	WA1-6-34	1冊	23.9×17.5	101	原表紙に「五拾三番」「共十四冊」「自天明二年壬寅十月至于此」「天明四年甲辰正月閏正月二月」の墨書あり。印記：「嶋氏之章」「良以」
館守毎日記 貳	島雄太膳 (72代)	天明4年3月1日～ 天明4年4月30日	館守日記 [44]	WA1-6-8	1冊	23.2×17.5	114	原表紙に「五十三番」「共十四冊」「天明四年甲辰三月四月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。印記：「嶋氏之章」「良以」
館守毎日記 参	島雄太膳 (72代)	天明4年5月1日～ 天明4年6月30日	館守日記 [45]	WA1-6-8	1冊	23.7×17.7	113	原表紙に「五十三番」「共十四冊」「天明四年甲辰五月六月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。印記：「嶋氏之章」「良以」

館守毎日記 四	高雄太膳 (72代)	天明4年7月1日～ 天明4年8月29日	毎日記 [416]	WA1-6-34	1冊	23.5×17.4	148	原表紙に「五十三番」「共十四冊」「天明四年甲辰七月八月」の墨書あり。内表紙に「[朱]点掛居帳分書」蔵被下帳ニ不及候事」の墨書あり。巻頭に錯簡1丁(「安政丙辰年正月より惣目録」とあり。「惣目録」[47]の第1丁とはほぼ同一)あり。末尾1丁手前に錯簡あり。印記:「嶋氏之章」「良以」
館守毎日記 五	高雄太膳 (72代)	天明4年9月1日～ 天明4年10月29日	館守日記 [46]	WA1-6-8	1冊	23.2×17.4	157	原表紙に「五十三番」「共十四冊」「天明四年甲辰九月十月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。印記:「嶋氏之章」「良以」
館守毎日記 六	高雄太膳 (72代)	天明4年11月1日～ 天明4年12月29日	館守日記 [47]	WA1-6-8	1冊	23.4×17.3	84	原表紙に「五十三番」「共十四冊」「天明四年甲辰十一月十二月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。印記:「嶋氏之章」「良以」
館守毎日記 七	高雄太膳 (72代)	天明5年1月1日～ 天明5年2月29日	館守日記 [48]	WA1-6-8	1冊	23.3×17.4	85	原表紙に「五十三番」「共十四冊」「天明五年乙巳正月二月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。印記:「嶋氏之章」「良以」
館守毎日記 八	高雄太膳 (72代)	天明5年3月1日～ 天明5年4月29日	館守日記 [49]	WA1-6-8	1冊	23.3×17.4	117	原表紙に「五十三番」「共十四冊」「天明五年乙巳三月四月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。印記:「嶋氏之章」「良以」
館守毎日記 九	高雄太膳 (72代)	天明5年5月1日～ 天明5年6月30日	館守日記 [50]	WA1-6-8	1冊	23.7×17.8	97	原表紙に「五十三番」「共十四冊」「天明五年乙巳五月六月」の墨書あり。印記:「嶋氏之章」「良以」
館守毎日記 十	高雄太膳 (72代)	天明5年7月1日～ 天明5年8月29日	館守日記 [51]	WA1-6-8	1冊	23.1×17.4	107	原表紙に「五十三番」「共十四冊」「天明五年乙巳七月八月」の墨書あり。印記:「嶋氏之章」「良以」
館守毎日記 十一	高雄太膳 (72代)	天明5年9月1日～ 天明5年10月30日	館守日記 [52]	WA1-6-8	1冊	23.1×17.4	99	原表紙に「五十三番」「共十四冊」「天明五年乙巳九月十月」の墨書あり。印記:「嶋氏之章」「良以」
館守毎日記 十二	高雄太膳 (72代)	天明5年11月1日～ 天明5年12月30日	毎日記 [417]	WA1-6-34	1冊	23.8×17.5	65	原表紙に「五十三番」「共十四冊」「天明五年乙巳十一月十二月」の墨書あり。印記:「嶋氏之章」「良以」
館守毎日記 十三	高雄太膳 (72代)	天明6年1月1日～ 天明6年2月30日	毎日記 [418]	WA1-6-34	1冊	23.5×17.2	117	原表紙に「五十三番」「共十四冊」「天明六年丙午正月二月」の墨書あり。印記:「嶋氏之章」「良以」
館守毎日記 十四	高雄太膳 (72代)	天明6年3月1日～ 天明6年5月21日	館守日記 [53]	WA1-6-8	1冊	23.3×17.5	78	原表紙に「五十三番」「共十四冊」「天明六年丙午三月四月」の墨書あり。印記:「嶋氏之章」「良以」

原題	作成者	内容年	当館書名 【冊番号】	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備	考
毎日記	館守 吉田彦右衛門 (73代)	天明5年7月5日～ 天明6年5月29日	毎日記 [421]	WA1-6-34	1冊	24.3×19.6	89	原表紙に「五拾四番」「共六冊」「天明五乙巳年七月ヨリ翌五月迄 三月四月五月中」の墨書あり。	
毎日記	館守 吉田彦右衛門 (73代)	天明6年6月1日～ 天明6年7月30日	毎日記 [422]	WA1-6-34	1冊	24.1×19.5	76	原表紙に「五十四番」「共六冊」中の墨書あり。	
毎日記	館守 吉田彦右衛門 (73代)	天明6年8月1日～ 天明6年9月30日	毎日記 [423]	WA1-6-34	1冊	24.3×19.5	76	原表紙に「五十四番」「共六冊」中の墨書あり。	
毎日記	館守 吉田彦右衛門 (73代)	天明6年10月1日～ 天明6年閏10月30日	毎日記 [424]	WA1-6-34	1冊	23.2×19.5	100	原表紙に「五拾四番」「共六冊」月中の墨書あり。	
毎日記	館守 吉田彦右衛門 (73代)	天明6年11月1日～ 天明6年12月30日	毎日記 [425]	WA1-6-34	1冊	24.2×19.7	57	原表紙に「五十四番」「共六冊」中の墨書あり。	
毎日記	館守 吉田彦右衛門 (73代)	天明7年1月1日～ 天明7年2月29日	毎日記 [426]	WA1-6-34	1冊	23.7×19.4	56	原表紙に「五十四番」「共六冊」中の墨書あり。	
館守日記 巻	再勤 戸田頼母 (74代)	天明7年3月21日～ 天明7年5月29日	館守日記 [54]	WA1-6-8	1冊	23.3×18.9	79	原表紙に「五十五番」「共拾五冊」の墨書あり。印記：「戸源」「謹封」ほか	
館守日記 貳	再勤 戸田頼母 (74代)	天明7年6月1日～ 天明7年7月30日	館守日記 [55]	WA1-6-8	1冊	23.2×19.0	102	原表紙に「五十五番」「共拾五冊」の墨書あり。内表紙書名は「館守記録」。印記：「戸源」「謹封」(黒印) ほか	
館守日記 参	再勤 戸田頼母 (74代)	天明7年8月1日～ 天明7年9月30日	館守日記 [56]	WA1-6-8	1冊	23.3×19.0	97	原表紙に「五十五番」「共拾五冊」の墨書あり。印記：「戸源」「謹封」ほか	
館守日記 肆	再勤 戸田頼母 (74代)	天明7年10月1日～ 天明7年12月30日	館守日記 [57]	WA1-6-8	1冊	23.3×19.0	76	原表紙に「五十五番」「共拾五冊」の墨書あり。印記：「戸源」「謹封」(黒印) ほか	
館守日記 伍	再勤 戸田頼母 (74代)	天明8年1月1日～ 天明8年2月29日	館守日記 [58]	WA1-6-8	1冊	23.3×19.0	52	原表紙に「五十五番」「共拾五冊」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。印記：「戸源」「謹封」(黒印) ほか	

館守日記 陸	再勤 戸田頼母 (74代)	天明8年3月1日～ 天明8年4月29日	館守日記 [59]	WA1-6-8	1冊	23.5×190	69	原表紙に「五十五番」「共拾五冊」「天明八戊申三月四月」の墨書あり。印記：「戸源」「謹封」(鼎印) ほか
館守日記 柒	再勤 戸田頼母 (74代)	天明8年5月1日～ 天明8年6月29日	館守日記 [60]	WA1-6-8	1冊	23.3×190	92	原表紙に「五十五番」「共拾五冊」「天明八戊申五月六月」の墨書あり。印記：「戸源」「謹封」(鼎印) ほか
館守日記 捌	再勤 戸田頼母 (74代)	天明8年7月1日～ 天明8年8月30日	館守日記 [61]	WA1-6-8	1冊	23.3×189	72	原表紙に「五十五番」「共拾五冊」「天明八戊申七月八月」の墨書あり。印記：「戸源」「謹封」(鼎印) ほか
館守日記 玖	再勤 戸田頼母 (74代)	天明8年9月1日～ 天明8年12月30日	館守日記 [62]	WA1-6-8	1冊	23.2×188	130	原表紙に「五十五番」「共拾五冊」「天明八戊申九月十月十一月十二月」の墨書あり。印記：「戸源」「謹封」(鼎印) ほか
館守日記 拾	再勤 戸田頼母 (74代)	寛政1年1月1日～ 寛政1年3月29日	館守日記 [63]	WA1-6-8	1冊	23.5×190	89	原表紙に「五十五番」「共拾五冊」「天明九己酉寛政ト改元正月二月三月」の墨書あり。印記：「戸源」「謹封」(鼎印) ほか
館守日記 拾壹	再勤 戸田頼母 (74代)	寛政1年4月1日～ 寛政1年5月29日	館守日記 [64]	WA1-6-8	1冊	23.4×190	99	原表紙に「五十五番」「共拾五冊」「寛政元己酉四月五月」の墨書あり。印記：「戸源」「謹封」(鼎印) ほか
館守日記 拾貳	再勤 戸田頼母 (74代)	寛政1年6月1日～ 寛政1年7月29日	館守日記 [65]	WA1-6-8	1冊	23.2×188	137	原表紙に「五十五番」「共拾五冊」「寛政元己酉六月閏六月七月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。印記：「戸源」「謹封」(鼎印) ほか
館守日記 拾參	再勤 戸田頼母 (74代)	寛政1年8月1日～ 寛政1年9月29日	館守日記 [66]	WA1-6-8	1冊	23.3×190	147	原表紙に「五十五番」「共拾五冊」「寛政元己酉八月九月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。印記：「戸源」「謹封」(鼎印) ほか
館守日記 拾肆	再勤 戸田頼母 (74代)	寛政1年10月1日～ 寛政1年12月30日	館守日記 [67]	WA1-6-8	1冊	23.2×191	174	原表紙に「五十五番」「共拾五冊」「寛政元己酉十月十一月十二月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。印記：「戸源」「謹封」(鼎印) ほか
館守日記 拾伍	再勤 戸田頼母 (74代)	寛政2年1月1日～ 寛政2年5月11日	館守日記 [68]	WA1-6-8	1冊	23.5×192	170	原表紙に「五十五番」「共拾五冊」「寛政二庚戌正月二月三月四月五月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。末尾に「共拾五冊六尾」の朱書あり。印記：「戸源」「謹封」(鼎印) ほか
毎日記 壺	館守 多田左膳 (75代)	寛政1年8月13日～ 寛政2年6月30日	毎日記 [427]	WA1-6-34	1冊	23.7×195	97	原表紙に「五十六番」「寛政元己酉年從八月同二庚戌年六月二至」の墨書あり。印記：「南枝」「種棟」

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
毎日記式	館守 多田左膳 (75代)	寛政2年7月1日～ 寛政2年8月29日	毎日記 [428]	WA1-6-34	1冊	24.6×19.6	74	原表紙に「五十六番」「八冊之内」「寛政二庚戌年七月八月中」の墨書あり。印記：「南枝」「種棟」
毎日記参	館守 多田左膳 (75代)	寛政2年9月1日～ 寛政2年10月29日	毎日記 [429]	WA1-6-34	1冊	24.5×19.6	89	原表紙に「五十六番」「八冊之内」「寛政二庚戌年九月十月中」の墨書あり。印記：「南枝」「種棟」
毎日記四	館守 多田左膳 (75代)	寛政2年11月1日～ 寛政2年12月29日	毎日記 [279]	WA1-6-34	1冊	24.6×19.9	71	表紙に「五十六番」「八冊之内」「寛政二庚戌年十一月十二月中」の墨書あり。印記：「南枝」「種棟」
毎日記五	館守 多田左膳 (75代)	寛政3年1月1日～ 寛政3年2月29日	毎日記 [430]	WA1-6-34	1冊	24.2×19.4	56	原表紙に「五十六番」「八冊之内」「寛政三辛亥年正月二月中」の墨書あり。印記：「南枝」「種棟」
毎日記六	館守 多田左膳 (75代)	寛政3年3月1日～ 寛政3年4月30日	毎日記 [431]	WA1-6-34	1冊	24.4×19.3	81	原表紙に「五十六番」「八冊之内」「寛政三辛亥年三月四月中」の墨書あり。印記：「南枝」「種棟」
毎日記七	館守 多田左膳 (75代)	寛政3年5月1日～ 寛政3年6月30日	毎日記 [432]	WA1-6-34	1冊	24.2×19.5	70	原表紙に「五十六番」「八冊之内」「寛政三辛亥年五月六月中」の墨書あり。印記：「南枝」「種棟」
毎日記八	館守 多田左膳 (75代)	寛政3年7月1日～ 寛政3年9月9日	毎日記 [434]	WA1-6-34	1冊	24.5×19.2	94	原表紙に「五十六番」「八冊之内」「寛政三辛亥年七月八月中」の墨書あり。末尾に「共八冊大尾」の朱書あり。印記：「南枝」「種棟」
毎日記苅	館守 小川縫殿介 (76代)	寛政3年5月14日～ 寛政3年10月30日	毎日記 [433]	WA1-6-34	1冊	24.8×19.0	129	原表紙に「五十七番」「拾冊之内」「寛政三辛亥年五月ヨリ十月迄」の墨書あり。印記：「謹」
毎日記式	館守 小川縫殿介 (76代)	寛政3年11月1日～ 寛政3年12月30日	毎日記 [435]	WA1-6-34	1冊	25.1×18.9	121	原表紙に「五十七番」「拾冊之内」「寛政三辛亥年十一月十二日」の墨書あり。印記：「謹」
毎日記参	館守 小川縫殿介 (76代)	寛政4年1月1日～ 寛政4年閏2月29日	毎日記 [436]	WA1-6-34	1冊	25.0×18.7	105	原表紙に「五十七番」「拾冊之内」「寛政四壬子年正月二月閏二月」の墨書あり。印記：「謹」
毎日記四	館守 小川縫殿介 (76代)	寛政4年3月1日～ 寛政4年4月29日	毎日記 [437]	WA1-6-34	1冊	24.8×18.0	82	原表紙に「五十七番」「拾冊之内」「寛政四壬子年三月四月中」の墨書あり。印記：「謹」
毎日記五	館守 小川縫殿介 (76代)	寛政4年5月1日～ 寛政4年6月30日	毎日記 [438]	WA1-6-34	1冊	24.8×18.4	77	原表紙に「五十七番」「拾冊之内」「寛政四壬子年五月六月中」の墨書あり。印記：「謹」

毎日記 六	館守 小川縫殿介 (76代)	寛政4年7月1日～ 寛政4年8月30日	毎日記 [439]	WA1-6-34	1冊	24.6×180	103	原表紙に「五十七番」「拾冊之内」「寛政四壬子年七月八月」の墨書あり。印記：「謹」
毎日記 七	館守 小川縫殿介 (76代)	寛政4年9月1日～ 寛政4年10月30日	毎日記 [440]	WA1-6-34	1冊	24.5×191	65	原表紙に「五十七番」「拾冊之内」「寛政四壬子年九月十月」の墨書あり。印記：「謹」
毎日記 八	館守 小川縫殿介 (76代)	寛政4年11月1日～ 寛政4年12月30日	毎日記 [441]	WA1-6-34	1冊	24.6×193	52	原表紙に「五十七番」「拾冊之内」「寛政四壬子年十一月十二月」の墨書あり。印記：「謹」
毎日記 九	館守 小川縫殿介 (76代)	寛政5年1月1日～ 寛政5年2月30日	毎日記 [442]	WA1-6-34	1冊	25.1×192	69	原表紙に「五十七番」「拾冊之内」「寛政五癸丑年正月二月」の墨書あり。印記：「謹」
毎日記 拾	館守 小川縫殿介 (76代)	寛政5年3月1日～ 寛政5年4月25日	毎日記 [443]	WA1-6-34	1冊	24.2×185	84	原表紙に「五十七番」「拾冊之内」「寛政五癸丑年三月四月」の墨書あり。末尾に「共拾冊大尾」の墨書あり。印記：「謹」
館守日記 巻	三任 戸田頼母 (77代)	寛政5年2月3日～ 寛政5年6月30日	館守日記 [69]	WA1-6-8	1冊	24.0×191	153	外表紙に「五十八番」「共拾冊」「寛政五癸丑年二月三月四月五月六月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。2月22日付の年寄中より与頭泰中宛書状(番籠殿介を館守役として差し渡す件)1通を添付。印記：「源暢明印」「謹封」(翻印)
館守日記 式	三任 戸田頼母 (77代)	寛政5年7月1日～ 寛政5年9月30日	館守日記 [70]	WA1-6-8	1冊	23.9×193	184	原表紙に「五十八番」「共拾冊」「寛政五癸丑年七月八月九月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。印記：「源暢明印」「謹封」(翻印)
館守日記 参	三任 戸田頼母 (77代)	寛政5年10月1日～ 寛政5年12月29日	館守日記 [71]	WA1-6-8	1冊	24.3×193	131	原表紙に「五十八番」「共拾冊」「寛政五癸丑年十月十一月十二月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。印記：「源暢明印」「謹封」(翻印)
館守日記 肆	三任 戸田頼母 (77代)	寛政6年1月1日～ 寛政6年4月29日	館守日記 [72]	WA1-6-8	1冊	23.8×190	182	原表紙に「五十八番」「共拾冊」「寛政六甲寅年正月二月三月四月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。印記：「源暢明印」
館守日記 五	三任 戸田頼母 (77代)	寛政6年5月1日～ 寛政6年7月29日	館守日記 [73]	WA1-6-8	1冊	24.1×192	150	原表紙に「五十八番」「共拾冊」「寛政六甲寅年五月六月七月」の墨書あり。印記：「源暢明印」「謹封」(翻印)

原題	作成者	内容年	当館書名 【冊番号】	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
館守日記六	三任 戸田頼母 (77代)	寛政6年8月1日～ 寛政6年9月30日	館守日記 [74]	WA1-6-8	1冊	24.0×188	127	原表紙に「五十八番」「共拾貳冊」「寛政六甲寅年八月九月」の墨書あり。印記：「源暢明印」「謹封」(黒印)
館守日記七	三任 戸田頼母 (77代)	寛政6年10月1日～ 寛政6年11月29日	館守日記 [76]	WA1-6-8	1冊	24.0×189	124	原表紙に「五十八番」「共拾貳冊」「寛政六甲寅年十月十一月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記八	三任 戸田頼母 (77代)	寛政6年間11月1日～ 寛政6年12月29日	館守日記 [75]	WA1-6-8	1冊	24.0×189	95	原表紙に「五十八番」「共拾貳冊」「寛政六甲寅年閏十一月十二月」の墨書あり。印記：「源暢明印」「謹封」(黒印)
館守日記九	三任 戸田頼母 (77代)	寛政7年1月1日～ 寛政7年2月29日	館守日記 [77]	WA1-6-8	1冊	23.9×188	125	原表紙に「五十八番」「共拾貳冊」「寛政七乙卯年正月二月」の墨書あり。印記：「源暢明印」「謹封」(黒印)
館守日記拾	三任 戸田頼母 (77代)	寛政7年3月1日～ 寛政7年4月29日	館守日記 [78]	WA1-6-8	1冊	24.2×194	136	原表紙に「五十八番」「共拾貳冊」「寛政七乙卯年三月四月」の墨書あり。印記：「源暢明印」「謹封」(黒印)
館守日記拾壹	三任 戸田頼母 (77代)	寛政7年5月1日～ 寛政7年7月29日	館守日記 [79]	WA1-6-8	1冊	24.0×19.1	148	原表紙に「五十八番」「共拾貳冊」「寛政七乙卯年五月六月七月」の墨書あり。印記：「源暢明印」「謹封」(黒印)
館守日記拾貳	三任 戸田頼母 (77代)	寛政7年8月1日～ 寛政7年10月15日	館守日記 [80]	WA1-6-8	1冊	23.8×190	147	原表紙に「五十八番」「共拾貳冊」「寛政七乙卯年八月九月十月」の墨書あり。印記：「源暢明印」「謹封」(黒印)
館守日記一	樋口左近 (78代)	寛政7年2月22日～ 寛政8年1月18日	館守日記 [81]	WA1-6-8	1冊	23.7×193	145	原表紙に「寛政七乙卯年自二月同八月辰正月至」の墨書あり。寛政8年1月18日条に病気のため、裁判黒木勝見に病気快方まで館守方兼役之格で御用を勤める様に申し渡した事情について記載あり。
館守日記二	館守方兼勤裁判 黒木 勝見 一代官 山崎初右衛門	寛政8年1月18日～ 寛政8年3月24日	館守日記 [82]	WA1-6-8	1冊	23.8×193	74	原表紙に「寛政八丙辰年自正月三月至」の墨書あり。1月18日条に館守病気等の記事あり。
館守日記	四草 戸田頼母 (79代)	寛政8年1月23日～ 寛政8年5月29日	館守日記 [83]	WA1-6-8	1冊	23.8×193	110	原表紙に「寛政八丙辰年正月二月三月四月五月」の墨書あり。印記：「源暢明印」

館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政8年6月1日～ 寛政8年7月30日	館守日記 [84]	WA1-6-8	1冊	23.8×19.3	128	原表紙に「寛政八丙辰年六月七月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政8年8月1日～ 寛政8年9月30日	館守日記 [85]	WA1-6-8	1冊	23.6×19.3	98	原表紙に「寛政八丙辰年八月九月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政8年10月1日～ 寛政8年12月30日	館守日記 [86]	WA1-6-8	1冊	23.6×19.2	106	原表紙に「寛政八丙辰年十一月十二月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政9年1月1日～ 寛政9年2月29日	館守日記 [87]	WA1-6-8	1冊	23.7×19.4	81	原表紙に「寛政九丁巳年正月二月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政9年3月1日～ 寛政9年4月29日	館守日記 [88]	WA1-6-8	1冊	23.9×19.3	86	原表紙に「寛政九丁巳年三月四月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政9年5月1日～ 寛政9年6月29日	館守日記 [89]	WA1-6-8	1冊	23.7×19.5	97	原表紙に「寛政九丁巳年五月六月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政9年7月1日～ 寛政9年閏7月29日	館守日記 [90]	WA1-6-8	1冊	23.8×19.4	106	原表紙に「寛政九丁巳年七月閏七月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政9年8月1日～ 寛政9年9月29日	館守日記 [91]	WA1-6-8	1冊	23.7×19.3	83	原表紙に「寛政九丁巳年八月九月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政9年10月1日～ 寛政9年12月30日	館守日記 [92]	WA1-6-8	1冊	23.8×19.3	77	原表紙に「寛政九丁巳年十一月十二月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政10年1月1日～ 寛政10年2月30日	館守日記 [93]	WA1-6-8	1冊	23.8×19.3	143	原表紙に「寛政十戊午年正月二月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政10年3月1日～ 寛政10年4月29日	館守日記 [94]	WA1-6-8	1冊	23.8×19.4	98	原表紙に「寛政十戊午年三月四月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政10年5月1日～ 寛政10年6月29日	館守日記 [95]	WA1-6-8	1冊	23.6×19.4	82	原表紙に「寛政十戊午年五月六月」の墨書あり。印記：「源暢明印」

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政10年7月1日～ 寛政10年9月29日	館守日記 [96]	WA1-6-8	1冊	23.9×19.2	93	原表紙に「寛政十戊午年七月八月九月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政10年10月1日～ 寛政10年12月30日	館守日記 [97]	WA1-6-8	1冊	23.9×19.4	127	原表紙に「寛政十戊午年十一月十二月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政11年1月1日～ 寛政11年3月30日	館守日記 [98]	WA1-6-8	1冊	23.8×19.3	83	原表紙に「寛政十一己未年正月二月三月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政11年4月1日～ 寛政11年6月29日	館守日記 [99]	WA1-6-8	1冊	23.4×19.0	131	原表紙に「寛政十一己未年四月五月六月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政11年7月1日～ 寛政11年9月30日	館守日記 [100]	WA1-6-8	1冊	23.8×19.1	90	原表紙に「寛政十一己未年七月八月九月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政11年10月1日～ 寛政11年12月30日	館守日記 [101]	WA1-6-8	1冊	23.7×19.5	77	原表紙に「寛政十一己未年十月十一月十二月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政12年1月1日～ 寛政12年3月30日	館守日記 [102]	WA1-6-8	1冊	24.0×19.0	76	原表紙に「寛政十二庚申年正月二月三月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政12年4月1日～ 寛政12年5月30日	館守日記 [103]	WA1-6-8	1冊	24.0×19.1	63	原表紙に「寛政十二庚申年四月四月五月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政12年6月1日～ 寛政12年8月29日	館守日記 [104]	WA1-6-8	1冊	23.7×19.4	111	原表紙に「寛政十二庚申年六月七月八月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	四掌 戸田頼母 (79代)	寛政12年9月1日～ 寛政12年12月13日	館守日記 [105]	WA1-6-8	1冊	23.9×19.1	112	原表紙に「寛政十二庚申年九月十月十一月十二月」の墨書あり。印記：「源暢明印」
館守日記	館守 大浦兵左衛門 (80代)	寛政12年6月26日～ 寛政12年12月29日	館守日記 [106]	WA1-6-8	1冊	23.8×18.8	26	原表紙に「延寛政十二庚申年六月至同年十二月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。
館守日記	館守 大浦兵左衛門 (80代)	享和1年1月1日～ 享和1年3月30日	館守日記 [107]	WA1-6-8	1冊	23.9×19.0	140	原表紙に「寛政十三辛酉年二月享和卜改元正月二月三月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。

館守日記	館守 大浦兵左衛門 (80代)	享和1年4月1日～ 享和1年6月29日	館守日記。 [108]	WA1-6-8	1冊	24.0×188	116 原表紙に「享和元辛酉年四月五月六月」の墨書あり。内表紙 書名は「毎日記」。
館守日記	館守 大浦兵左衛門 (80代)	享和1年7月1日～ 享和1年9月29日	館守日記。 [109]	WA1-6-8	1冊	24.0×190	101 原表紙に「享和元辛酉年七月八月九月」の墨書あり。内表紙 書名は「毎日記」。
館守日記	館守 大浦兵左衛門 (80代)	享和1年10月1日～ 享和1年12月30日	館守日記。 [110]	WA1-6-8	1冊	23.9×189	89 原表紙に「享和元辛酉年十一月十二月」の墨書あり。内 表紙書名は「毎日記」。
館守日記	館守 大浦兵左衛門 (80代)	享和2年1月1日～ 享和2年3月29日	館守日記。 [111]	WA1-6-8	1冊	24.0×190	62 原表紙に「享和二三壬戌年正月二月三月」の墨書あり。原表 紙と内表紙との間に「寛政四年八月享和元年九月より同二 月迄」の書付1枚を採む。内表紙書名は「毎日記」。
館守日記	館守 大浦兵左衛門 (80代)	享和2年4月1日～ 享和2年6月29日	館守日記。 [112]	WA1-6-8	1冊	24.1×188	90 原表紙に「享和二三壬戌年四月五月六月」の墨書あり。内表紙 書名は「毎日記」。
館守日記	館守 大浦兵左衛門 (80代)	享和2年7月1日～ 享和2年9月30日	館守日記。 [113]	WA1-6-8	1冊	24.0×187	100 原表紙に「享和二三壬戌年七月八月九月」の墨書あり。内表紙 書名は「毎日記」。
館守日記	館守 大浦兵左衛門 (80代)	享和2年10月1日～ 享和2年12月29日	館守日記。 [114]	WA1-6-8	1冊	23.9×188	121 原表紙に「享和二三壬戌年十一月十二月」の墨書あり。内 表紙書名は「毎日記」。
館守日記	館守 大浦兵左衛門 (80代)	享和3年1月1日～ 享和3年2月30日	館守日記。 [115]	WA1-6-8	1冊	24.1×188	98 原表紙に「享和三癸亥年正月閏正月二月」の墨書あり。内表 紙書名は「毎日記」。
館守日記	館守 大浦兵左衛門 (80代)	享和3年3月1日～ 享和3年5月30日	館守日記。 [116]	WA1-6-8	1冊	24.1×188	87 原表紙に「享和三癸亥年三月四月五月」の墨書あり。内表紙 書名は「毎日記」。
館守日記	館守 大浦兵左衛門 (80代)	享和3年6月1日～ 享和3年8月30日	館守日記。 [117]	WA1-6-8	1冊	24.2×188	95 原表紙に「享和三癸亥年六月七月八月」の墨書あり。内表紙 書名は「毎日記」。
館守日記	館守 大浦兵左衛門 (80代)	享和3年9月1日～ 享和3年10月30日	館守日記。 [118]	WA1-6-8	1冊	24.0×189	72 原表紙に「享和三癸亥年九月十月」の墨書あり。内表紙書名 は「毎日記」。
館守日記	館守 大浦兵左衛門 (80代)	享和3年11月1日～ 享和3年12月29日	館守日記。 [119]	WA1-6-8	1冊	24.0×189	49 原表紙に「享和三癸亥年十一月十二月」の墨書あり。内表紙 書名は「毎日記」。

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名. [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
館守日記	館守 犬浦兵左衛門 (80代)	文化1年1月1日～ 文化1年3月30日	館守日記. [120]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.8	101	原表紙に「享和四甲子年正月二月三月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。
館守日記	館守 犬浦兵左衛門 (80代)	文化1年4月1日～ 文化1年6月30日	館守日記. [121]	WA1-6-8	1冊	23.8×18.8	109	原表紙に「享和四甲子年四月改元文化ト四月五月六月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。
館守日記	館守 犬浦兵左衛門 (80代)	文化1年7月1日～ 文化1年9月29日	館守日記. [122]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.7	93	原表紙に「文化元甲子年七月八月九月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。
館守日記	館守 犬浦兵左衛門 (80代)	文化1年10月1日～ 文化1年12月30日	館守日記. [123]	WA1-6-8	1冊	22.6×18.9	98	原表紙に「文化元甲子年十一月十二月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。
館守日記	館守 犬浦兵左衛門 (80代)	文化2年1月1日～ 文化2年2月23日	館守日記. [125]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.8	45	原表紙に「文化二乙丑年正月二月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。
館守日記一	館守 番盛之介 (81代)	文化1年7月27日～ 文化2年5月29日	館守日記. [124]	WA1-6-8	1冊	23.9×18.7	115	原表紙に「九冊之内」「文化元甲子年同武乙丑年子ノ七月ヨリ丑ノ五月迄」の墨書あり。
館守日記[二]	館守 番盛之介 (81代)	文化2年6月1日～ 文化2年閏8月29日	館守日記. [126]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.6	132	原表紙に「九冊之内」「文化乙丑〔 〕六月ヨリ閏八月迄」の墨書あり。
館守日記三	館守 番盛之介 (81代)	文化2年9月1日～ 文化2年12月29日	館守日記. [127]	WA1-6-8	1冊	24.3×18.7	113	原表紙に「九冊之内」「文化乙丑年九月ヨリ十二月迄」の墨書あり。
館守日記四	館守 番盛之介 (81代)	文化3年1月1日～ 文化3年4月29日	館守日記. [128]	WA1-6-8	1冊	24.1×18.4	129	原表紙に「九冊之内」「文化三丙寅年正月ヨリ四月迄」の墨書あり。内表紙に「文化三丙寅年正月 館守日記」の墨書あり。
館守日記五	館守 番盛之介 (81代)	文化3年5月1日～ 文化3年8月29日	館守日記. [129]	WA1-6-8	1冊	23.9×18.7	96	原表紙に「九冊之内」「文化三丙寅年五月ヨリ八月迄」の墨書あり。5月の中扉に「文化三丙寅年五月中 館守日記」の墨書、6月の中扉に「文化三丙寅年六月中 毎日記」、8月の中扉に「文化三丙寅年八月中 館守日記」の墨書あり。

館守日記 六	館守 番盛之介 (81代)	文化3年9月1日～ 文化3年12月29日	館守日記. [130]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.7	120	原表紙に「九冊之内」「文化三丙寅年九月より十二月迄」の墨書あり。内表紙に「文化三丙寅年九月中 館守日記」の墨書あり。
館守日記 七	館守 番盛之介 (81代)	文化4年1月1日～ 文化4年4月29日	館守日記. [132]	WA1-6-8	1冊	24.3×18.7	111	原表紙に「九冊之内」「文化四丁卯年正月より四月迄」の墨書あり。内表紙に「文化四丁卯年正月中 館守日記」の墨書あり。
館守日記 二	館守 番盛之介 (81代)	文化4年5月1日～ 文化4年8月30日	館守日記. [133]	WA1-6-8	1冊	24.1×18.7	128	原表紙に「九冊之内」「文化四丁卯年五月より八月迄」の墨書あり。内表紙に「文化四丁卯年五月中 館守日記」の墨書あり。
館守日記 九	館守 番盛之介 (81代)	文化4年9月1日～ 文化4年10月14日	館守日記. [134]	WA1-6-8	1冊	24.3×18.6	47	原表紙に「九冊之内」「文化四丁卯年九月より十月迄」の墨書あり。内表紙に「文化四丁卯年九月中 館守日記」の墨書あり。
館守日記 巻	鈴木一之進 (82代)	文化3年8月12日～ 文化4年12月30日	館守日記. [131]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.9	106	原表紙に「共十三冊」「徒文化三丙寅年八月至同四丁卯年十二月」の墨書あり。
館守日記 式	鈴木一之進 (82代)	文化5年1月1日～ 文化5年3月30日	館守日記. [135]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.7	142	原表紙に「共十三冊」「文化五戊辰年正月二月三月」の墨書あり。冒頭に「安政三丙辰七月廿三日倭郡、文政二己卯六月六日平田帯刀、文化五戊辰二月廿一日鈴木一之進、寛政七乙卯六月廿六日戸田頼母之任」の書付1枚を添付。
館守日記 参	鈴木一之進 (82代)	文化5年4月1日～ 文化5年5月30日	館守日記. [136]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.8	91	原表紙に「共十三冊」「文化五戊辰年四月五月」の墨書あり。
館守日記 四	鈴木一之進 (82代)	文化5年6月1日～ 文化5年閏6月30日	館守日記. [137]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.9	70	原表紙に「共十三冊」「文化五戊辰年六月閏六月」の墨書あり。
館守日記 五	鈴木一之進 (82代)	文化5年7月1日～ 文化5年9月29日	館守日記. [138]	WA1-6-8	1冊	23.6×19.0	102	原表紙に「共十三冊」「文化五戊辰年七月八月九月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。
館守日記 六	鈴木一之進 (82代)	文化5年10月1日～ 文化5年12月29日	館守日記. [139]	WA1-6-8	1冊	23.7×18.6	101	原表紙に「共十三冊」「文化五戊辰年十月十一月十二月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。
館守日記 七	鈴木一之進 (82代)	文化6年1月1日～ 文化6年3月29日	館守日記. [140]	WA1-6-8	1冊	23.6×19.2	78	原表紙に「共十三冊」「文化六己巳年正月二月三月」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。

原題	作成者	内容年	当館書名. [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備	考
館守日記八	鈴木一之進 (82代)	文化6年4月1日～ 文化6年5月30日	館守日記. [141]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.6	107	原表紙に「共十三冊」「文化六己巳年四月五月」の墨書あり。 内表紙書名は「毎日記」。	
館守日記九	鈴木一之進 (82代)	文化6年6月1日～ 文化6年7月30日	館守日記. [142]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.6	135	原表紙に「共十三冊」「文化六己巳年六月七月」の墨書あり。 内表紙書名は「毎日記」。	
館守日記十	鈴木一之進 (82代)	文化6年8月1日～ 文化6年9月30日	館守日記. [143]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.9	137	原表紙に「共十三冊」「文化六己巳年八月九月」の墨書あり。 内表紙書名は「毎日記」。	
館守日記十一	[鈴木一之進] (82代)	文化6年10月1日～ 文化6年12月29日	館守日記. [144]	WA1-6-8	1冊	23.7×18.7	104	原表紙に「共十三冊」「文[化]六己巳年十月十一月十二月」の墨書あり。	
館守日記十二	鈴木一之進 (82代)	文化7年1月1日～ 文化7年2月30日	館守日記. [145]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.7	108	原表紙に「共十三冊」「文化七庚午年正月二月」の墨書あり。	
館守日記十三	鈴木一之進 (82代)	文化7年3月1日～ 文化7年5月1日	館守日記. [146]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.7	68	原表紙に「共十三冊」「文化七庚午年三月四月」の墨書あり。 裏紙下敷きを添付。	
館守日記一	田中所左衛門 (83代)	文化6年12月18日～ 文化7年6月29日	館守日記. [147]	WA1-6-8	1冊	23.4×18.7	110	原表紙に「従文化六己巳年十二月至同七年庚午六月」の墨書あり。	
館守日記二	田中所左衛門 (83代)	文化7年7月1日～ 文化7年9月29日	館守日記. [148]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.7	121	原表紙に「文化七庚午年自七月至九月」の墨書あり。	
館守日記三	田中所左衛門 (83代)	文化7年10月1日～ 文化7年12月30日	館守日記. [149]	WA1-6-8	1冊	23.6×19.0	70	原表紙に「文化七庚午年自十月至十二月」の墨書あり。	
館守日記四	田中所左衛門 (83代)	文化8年1月1日～ 文化8年4月30日	館守日記. [150]	WA1-6-8	1冊	23.5×19.0	93	原表紙に「文化八辛未年自正月至四月」の墨書あり。	
館守日記五	田中所左衛門 (83代)	文化8年5月1日～ 文化8年8月29日	館守日記. [151]	WA1-6-8	1冊	23.3×18.9	124	原表紙に「文化八辛未年自五月至八月」の墨書あり。	
館守日記六	田中所左衛門 (83代)	文化8年9月1日～ 文化8年10月30日	館守日記. [152]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.9	95	原表紙に「文化八辛未年自九月至十月」の墨書あり。	

館守日記 七	田中所左衛門 (83代)	文化18年11月1日～ 文化18年12月30日	館守日記。 [153]	WA1-6-8	1冊	23.8×18.7	46	原表紙に「文化八辛未年自十一月至十二月」の墨書あり。
館守日記 八	田中所左衛門 (83代)	文化19年1月1日～ 文化19年3月29日	館守日記。 [154]	WA1-6-8	1冊	23.9×19.1	151	原表紙に「文化九壬申年自正月至三月」の墨書あり。
館守日記 九	田中所左衛門 (83代)	文化19年4月1日～ 文化19年6月29日	館守日記。 [155]	WA1-6-8	1冊	24.1×19.0	143	原表紙に「文化九壬申年自四月至六月」の墨書あり。
[館守日記 十]	[田中所左衛門] (83代)	文化19年7月1日～ 文化19年9月30日	館守日記。 [156]	WA1-6-8	1冊	23.8×18.7	105	原表紙に墨書なし。
館守日記 十一	田中所左衛門 (83代)	文化19年10月1日～ 文化19年12月29日	館守日記。 [157]	WA1-6-8	1冊	24.0×19.3	74	原表紙に「文化七庚午年自十月至十二月」の墨書あり。
館守日記 十二	田中所左衛門 (83代)	文化10年1月1日～ 文化10年3月30日	館守日記。 [158]	WA1-6-8	1冊	24.0×19.2	108	原表紙に「文化十癸酉年自正月至三月」の墨書あり。
館守日記 十三	田中所左衛門 (83代)	文化10年4月1日～ 文化10年6月29日	館守日記。 [159]	WA1-6-8	1冊	24.1×19.2	99	原表紙に「文化十癸酉年自四月至六月」の墨書あり。
館守日記 十四	田中所左衛門 (83代)	文化10年7月1日～ 文化10年10月27日	館守日記。 [160]	WA1-6-8	1冊	23.7×18.8	159	原表紙に「文化十癸酉年自七月至十月」の墨書あり。
毎日記 一	館守 小河三四郎 (84代)	文化18年8月～ 文化10年10月30日	毎日記。[444]	WA1-6-34	1冊	24.7×18.4	67	原表紙に「文化十癸酉年八月九月十月」の墨書あり。内表紙に「文化八辛未より壬申癸酉年ニ至 未ノ八月より西ノ九月ニ至 十月ニ至」の墨書あり。
毎日記 二	館守 小河三四郎 (84代)	文化10年11月1日～ 文化10年12月30日	毎日記。[445]	WA1-6-34	1冊	24.0×18.3	95	原表紙に「文化十癸酉年十一月閏十一月十二月」の墨書あり。
毎日記 三	館守 小河三四郎 (84代)	文化11年1月1日～ 文化11年3月30日	毎日記。[446]	WA1-6-34	1冊	24.8×18.6	92	原表紙に「文化十一甲戌年正月二月三月」の墨書あり。
毎日記 四	館守 小河三四郎 (84代)	文化11年4月1日～ 文化11年5月29日	毎日記。[447]	WA1-6-34	1冊	24.6×18.5	117	原表紙に「文化十一甲戌年四月五月」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備	考
毎日記五	館守小河三四郎 (84代)	文化11年6月1日～ 文化11年6月29日	毎日記 [448]	WA1-6-34	1冊	24.8×18.4	72	原表紙に「文化十一年戊午六月七八月」の墨書あり。「毎日記 [449]」と分冊したもの。	
[毎日記五]	[館守小河三四郎] (84代)	文化11年7月1日～ 文化11年8月29日	毎日記 [449]	WA1-6-34	1冊	24.8×18.4	84	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [448]」と分冊したもの。	
毎日記六	館守小河三四郎 (84代)	文化11年9月1日～ 文化11年10月30日	毎日記 [450]	WA1-6-34	1冊	24.8×18.0	93	「文化十一年甲戌年九月十月十一月」の墨書あり。「毎日記 [451]」と分冊したもの。	
[毎日記六]	[館守小河三四郎] (84代)	文化11年11月1日～ 文化11年11月29日	毎日記 [451]	WA1-6-34	1冊	24.8×18.0	77	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [450]」と分冊したもの。	
毎日記七	館守小河三四郎 (84代)	文化11年12月1日～ 文化11年12月30日	毎日記 [452]	WA1-6-34	1冊	24.8×18.5	84	原表紙に「文化十一年甲戌年十二月」の墨書あり。内表紙書名は「館守日記」。	
毎日記八	館守小河三四郎 (84代)	文化12年1月1日～ 文化12年2月30日	毎日記 [453]	WA1-6-34	1冊	24.9×18.4	135	原表紙に「文化十二乙亥年正月二月」の墨書あり。内表紙書名は「日記」。	
毎日記九	館守小河三四郎 (84代)	文化12年3月1日～ 文化12年4月30日	毎日記 [454]	WA1-6-34	1冊	24.6×18.4	97	原表紙に「文化十二乙亥年三月四月」の墨書あり。	
毎日記十	館守小河三四郎 (84代)	文化12年5月1日～ 文化12年7月1日	毎日記 [455]	WA1-6-34	1冊	24.8×18.3	90	原表紙に「文化十二乙亥年五月六月」の墨書あり。	
館守日記巻	館守小野十郎兵衛 (85代)	文化12年1月21日～ 文化12年8月30日	館守日記 [161]	WA1-6-8	1冊	22.8×18.5	163	原表紙に「共五冊」「自文化十二乙亥年正月至八月」の墨書あり。	
館守日記式	館守小野十郎兵衛 (85代)	文化12年9月1日～ 文化12年12月30日	館守日記 [162]	WA1-6-8	1冊	23.1×18.4	154	原表紙に「共五冊」「自文化十二乙亥年九月至十二月」の墨書あり。	
館守日記参	館守小野十郎兵衛 (85代)	文化13年1月1日～ 文化13年3月12日	館守日記 [163]	WA1-6-8	1冊	23.2×18.6	82	原表紙に「共五冊」「自文化十三丙子年正月至三月十二日」の墨書あり。	
館守日記伍	館守小野十郎兵衛 (85代)	文化13年4月17日～ 文化13年6月30日	館守日記 [164]	WA1-6-8	1冊	23.3×18.8	135	原表紙に「共五冊」「自文化十三丙子年四月十七日至六月」の墨書あり。	

館守日記 巻	館守方助勤 一代官 中村傳次郎	文化13年6月30日～ 文化13年間8月29日	館守日記。 [165]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.6	120	原表紙に「自文化十三丙子年六月晦日至同閏八月」の墨書あり。6月晦日桑置頭に館守小野十郎兵衛病氣に付き館守役勤を仰せ付けられた事情について記載あり。
館守日記 式	館守方助勤 一代官 中村傳次郎	文化13年9月1日～ 文化13年12月30日	館守日記。 [166]	WA1-6-8	1冊	23.7×18.8	93	原表紙に「自文化十三丙子年九月至同十二月」の墨書あり。
館守日記 参	館守方助勤 一代官 中村傳次郎	文化14年1月1日～ 文化14年4月2日	館守日記。 [168]	WA1-6-8	1冊	23.9×18.9	54	原表紙に「自文化十四年丁丑正月至同四月二日」の墨書あり。
館守日記 一	館守 平田帯刀 (86代)	文化13年9月6日～ 文化14年5月29日	館守日記。 [167]	WA1-6-8	1冊	23.3×18.5	67	原表紙に「文化十三丙子年九月十一月丁丑正月二月三月四月五月」の墨書あり。
館守日記 二	館守 平田帯刀 (86代)	文化14年6月1日～ 文化14年8月30日	館守日記。 [169]	WA1-6-8	1冊	23.3×18.5	112	原表紙に「文化十四丁丑年六月七月八月」の墨書あり。
館守日記 三	館守 平田帯刀 (86代)	文化14年9月1日～ 文化14年10月29日	館守日記。 [170]	WA1-6-8	1冊	23.3×18.4	80	原表紙に「文化十四丁丑年九月十月」の墨書あり。
館守日記 四	館守 平田帯刀 (86代)	文化14年11月1日～ 文化14年12月29日	館守日記。 [171]	WA1-6-8	1冊	23.3×18.5	47	原表紙に「文化十四丁丑年十一月十二月」の墨書あり。
館守日記 五	館守 平田帯刀 (86代)	文政1年1月1日～ 文政1年2月30日	館守日記。 [172]	WA1-6-8	1冊	23.3×18.5	79	原表紙に「文化十五戊寅年正月二月」の墨書あり。
館守日記 六	館守 平田帯刀 (86代)	文政1年3月1日～ 文政1年5月29日	館守日記。 [173]	WA1-6-8	1冊	23.3×18.4	98	原表紙に「文化十五戊寅年三月四月五月」の墨書あり。
館守日記 七	館守 平田帯刀 (86代)	文政1年6月1日～ 文政1年7月30日	館守日記。 [174]	WA1-6-8	1冊	23.1×18.4	118	原表紙に「文化十五戊寅年 文政 五月四日 文政下改元 六月廿九日相違 六月七月」の墨書あり。
館守日記 八	館守 平田帯刀 (86代)	文政1年8月1日～ 文政1年10月29日	館守日記。 [175]	WA1-6-8	1冊	23.3×18.4	108	原表紙に「文政元戊寅年八月九月十月」の墨書あり。8月11日条に關離れ付箋あり。同付箋に「此所迄書技候相濟候事、但し此先キ之付紙荒増付ケ有之候ニ付能々吟味之事」とあり。
館守日記 九	館守 平田帯刀 (86代)	文政1年11月1日～ 文政1年12月30日	館守日記。 [176]	WA1-6-8	1冊	23.3×18.5	56	原表紙に「文政元戊寅年十一月十二月」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
館守日記 十	館守 平田帯刀 (86代)	文政2年1月1日～ 文政2年3月29日	館守日記 [177]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.5	140	原表紙に「文政二己卯年正月三月」の墨書あり。
館守日記 十一	館守 平田帯刀 (86代)	文政2年4月1日～ 文政2年5月30日	館守日記 [178]	WA1-6-8	1冊	23.4×18.6	117	原表紙に「文政二己卯年四月閏四月五月」の墨書あり。
館守日記 十二	館守 平田帯刀 (86代)	文政2年6月1日～ 文政2年8月30日	館守日記 [179]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.3	115	原表紙に「文政二己卯年六月七月八月」の墨書あり。6月19日条に「松平大膳大夫様御領分肥中浦之者三人乗和漂民記録」 巻冊、吊札使記録巻冊、南必善記録巻冊、樋口互理代」と記された書付1枚挟み込み。
館守日記 十三	館守 平田帯刀 (86代)	文政2年9月1日～ 文政2年10月29日	館守日記 [180]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.4	83	原表紙に「文政二己卯年九月十月」の墨書あり。
館守日記 十四	館守 平田帯刀 (86代)	文政2年11月1日～ 文政2年12月29日	館守日記 [181]	WA1-6-8	1冊	23.4×18.4	64	原表紙に「文政二己卯年十一月十二月」の墨書あり。
館守日記 十五	館守 平田帯刀 (86代)	文政3年1月1日～ 文政3年4月24日	館守日記 [183]	WA1-6-8	1冊	23.2×18.5	140	原表紙に「文政三庚辰年正月二月三月四月」の墨書あり。
館守日記 初	幾度八郎左衛門 (87代)	文政2年11月4日～ 文政3年6月30日	館守日記 [182]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.5	95	原表紙に「文政二己卯年十一月より庚辰年〔六月二至ル〕の墨書あり。
館守日記 一	幾度八郎左衛門 (87代)	文政3年7月1日～ 文政3年9月30日	館守日記 [184]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.4	118	原表紙に「文政三庚辰年七月八月九月」の墨書あり。
館守日記 二	幾度八郎左衛門 (87代)	文政3年10月1日～ 文政3年12月30日	館守日記 [185]	WA1-6-8	1冊	23.7×18.4	87	原表紙に「文政三庚辰年十月十一月十二月」の墨書あり。
館守日記 三	幾度八郎左衛門 (87代)	文政4年1月1日～ 文政4年3月29日	館守日記 [186]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.3	114	原表紙に「文政四辛巳年正月二月三月」の墨書あり。
館守日記 四	幾度八郎左衛門 (87代)	文政4年4月1日～ 文政4年6月29日	館守日記 [187]	WA1-6-8	1冊	23.8×18.6	112	原表紙に「文政四辛巳年四月五月六月」の墨書あり。

館守日記 一	幾度八郎左衛門 (87代)	文政4年7月1日～ 文政4年9月30日	館守日記。 [188]	WA1-6-8	1冊	23.3×18.5	101	原表紙に「文政四辛巳年七月八月九月」の墨書あり。
館守日記 二	幾度八郎左衛門 (87代)	文政4年10月1日～ 文政4年12月30日	館守日記。 [189]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.3	144	原表紙に「文政四辛巳年十月十一月十二月」の墨書あり。
館守日記 三	幾度八郎左衛門 (87代)	文政5年1月1日～ 文政5年2月30日	館守日記。 [190]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.4	130	原表紙に「文政五壬午年正月閏正月二月」の墨書あり。
館守日記 四	幾度八郎左衛門 (87代)	文政5年3月1日～ 文政5年5月20日	館守日記。 [191]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.4	98	原表紙に「文政五壬午年三月四月」の墨書あり。
館守日記 一	館守 原大作 (88代)	文政4年9月11日～ 文政5年6月30日	館守日記。 [192]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.4	101	原表紙に「拾冊之内」「文政五壬午年四月五月六月」の墨書あり。冒頭の遊紙に「文政四辛巳年九月より同年壬午五年六月まで」の墨書あり。
館守日記 二	館守 原大作 (88代)	文政5年7月1日～ 文政5年8月30日	館守日記。 [193]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.7	86	原表紙に「拾冊之内」「文政五壬午年七月八月」の墨書あり。
館守日記 三	館守 原大作 (88代)	文政5年9月1日～ 文政5年12月29日	館守日記。 [194]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.3	113	原表紙に「拾冊之内」「文政五壬午年九月十月十一月十二月」の墨書あり。
館守日記 四	館守 原大作 (88代)	文政6年1月1日～ 文政6年2月29日	館守日記。 [195]	WA1-6-8	1冊	23.9×18.8	61	原表紙に「拾冊之内」「文政六癸未年正月二月」の墨書あり。
館守日記 五	館守 原大作 (88代)	文政6年3月1日～ 文政6年5月29日	館守日記。 [196]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.6	120	原表紙に「拾冊之内」「文政六癸未年三月四月五月」の墨書あり。
館守日記 六	館守 原大作 (88代)	文政6年6月1日～ 文政6年8月29日	館守日記。 [197]	WA1-6-8	1冊	24.2×18.7	67	原表紙に「拾冊之内」「文政六癸未年六月七月八月」の墨書あり。
館守日記 七	館守 原大作 (88代)	文政6年9月1日～ 文政6年11月30日	館守日記。 [198]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.7	83	原表紙に「拾冊之内」「文政六癸未年九月十月十一月」の墨書あり。
館守日記 八	館守 原大作 (88代)	文政6年12月1日～ 文政6年12月30日	館守日記。 [199]	WA1-6-8	1冊	24.2×18.7	36	原表紙に「拾冊之内」「文政六癸未年十二月」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名. [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
館守日記九	館守 原大作 (88代)	文政7年1月1日～ 文政7年3月29日	館守日記. [201]	WA1-6-8	1冊	23.8×18.4	119	原表紙に「拾冊之内」「文政七甲申年正月二三月」の墨書あり。
館守日記十	館守 原大作 (88代)	文政7年4月1日～ 文政7年7月6日	館守日記. [202]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.5	87	原表紙に「拾冊之内」「文政七甲申年四月五月」の墨書あり。
館守日記一	館守 小川外記 (89代)	文政6年8月26日～ 文政7年6月29日	館守日記. [200]	WA1-6-8	1冊	23.8×18.5	108	原表紙に「文政六癸未年徒八月同七甲申年六月二至」の墨書あり。
館守日記二	館守 小川外記 (89代)	文政7年7月1日～ 文政7年9月30日	館守日記. [203]	WA1-6-8	1冊	24.1×18.6	152	原表紙に「文政七甲申年七月八月閏八月九月」の墨書あり。
館守日記三	館守 小川外記 (89代)	文政7年10月1日～ 文政7年12月30日	館守日記. [204]	WA1-6-8	1冊	23.8×18.5	84	原表紙に「文政七甲申年十一月十二月」の墨書あり。
館守日記四	館守 小川外記 (89代)	文政8年1月1日～ 文政8年3月30日	館守日記. [205]	WA1-6-8	1冊	24.1×18.6	111	原表紙に「文政八乙酉年正月二三月」の墨書あり。
館守日記五	館守 小川外記 (89代)	文政8年4月1日～ 文政8年6月29日	館守日記. [206]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.4	138	原表紙に「文政八乙酉年四月五月六月」の墨書あり。
館守日記六	館守 小川外記 (89代)	文政8年7月1日～ 文政8年9月29日	館守日記. [207]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.6	100	原表紙に「文政八乙酉年七月八月九月」の墨書あり。
館守日記七	館守 小川外記 (89代)	文政8年10月1日～ 文政8年12月30日	館守日記. [208]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.6	78	原表紙に「文政八乙酉年十月十一月十二月」の墨書あり。
館守日記八	館守 小川外記 (89代)	文政9年1月1日～ 文政9年3月30日	館守日記. [209]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.6	151	原表紙に「文政九丙戌年正月二三月」の墨書あり。
館守日記九	館守 小川外記 (89代)	文政9年4月1日～ 文政9年11月3日	館守日記. [210]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.9	102	原表紙に「文政九丙戌年自四至十一月」の墨書あり。
館守日記一	館守 三浦大藏 (90代)	文政9年3月16日～ 文政9年8月30日	館守日記. [212]	WA1-6-8	1冊	23.9×18.5	140	原表紙に「文政九丙戌年三月より八月迄」の墨書あり。内表紙に「五六七八」の墨書あり。

館守日記二	館守 三浦大藏 (90代)	文政9年9月1日～ 文政9年11月6日	館守日記。 [213]	WA1-6-8	1冊	23.9×18.1	79	原表紙に「文政九丙戌年九月十月十一月」の墨書あり。
館守日記一	館守助勤 古館守 小川 外記 (91代)	文政9年11月6日～ 文政9年12月29日	館守日記。 [211]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.6	52	原表紙に「文政九丙戌年十一月十二月」の墨書あり。
館守日記二	館守助勤 古館守 小川 外記 (91代)	文政10年1月1日～ 文政10年3月30日	館守日記。 [215]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.5	109	原表紙に「文政十丁亥年正月二月三月」の墨書あり。
館守日記三	館守助勤 古館守 小川 外記 (91代)	文政10年4月1日～ 文政10年閏6月18日	館守日記。 [216]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.3	148	原表紙に「文政十丁亥年四月五月六月閏六月」の墨書あり。
館守日記一	館守 三浦内蔵允 (92代)	文政10年2月1日～ 文政10年8月30日	館守日記。 [214]	WA1-6-8	1冊	23.7×18.5	103	原表紙に「文政十丁亥年自二月至八月」の墨書あり。
館守日記二	館守 三浦内蔵允 (92代)	文政10年9月1日～ 文政10年10月29日	館守日記。 [217]	WA1-6-8	1冊	23.8×18.6	114	原表紙に「文政十丁亥年九月十月」の墨書あり。
館守日記三	館守 三浦内蔵允 (92代)	文政10年11月1日～ 文政10年12月29日	館守日記。 [218]	WA1-6-8	1冊	23.9×18.7	149	原表紙に「文政十丁亥年十一月十二月」の墨書あり。
館守日記四	館守 三浦内蔵允 (92代)	文政11年1月1日～ 文政11年3月30日	館守日記。 [219]	WA1-6-8	1冊	23.8×18.6	134	原表紙に「文政十一戊子年正月二月三月」の墨書あり。1月、 2月の中原書名は「毎日記」。
館守日記五	館守 三浦内蔵允 (92代)	文政11年4月1日～ 文政11年6月30日	館守日記。 [220]	WA1-6-8	1冊	23.8×18.4	173	原表紙に「文政十一戊子年四月五月六月」の墨書あり。
館守日記六	館守 三浦内蔵允 (92代)	文政11年7月1日～ 文政11年9月29日	館守日記。 [221]	WA1-6-8	1冊	23.9×18.5	131	原表紙に「文政十一戊子年七月八月[九]月」の墨書あり。
館守日記七	館守 三浦内蔵允 (92代)	文政11年10月1日～ 文政11年12月29日	館守日記。 [222]	WA1-6-8	1冊	23.7×18.3	144	原表紙に「文政十一戊子年十月十一月十二月」の墨書あり。
館守日記 [※] 一	館守 三浦内蔵允 (92代)	文政12年1月1日～ 文政12年3月29日	館守日記。 [224]	WA1-6-8	1冊	23.8×18.9	114	原表紙に「[文政十二己丑年正月二月三月]」の墨書あり。
館守日記 [※] 二	館守 三浦内蔵允 (92代)	文政12年4月1日～ 文政12年6月30日	館守日記。 [225]	WA1-6-8	1冊	23.9×18.4	153	原表紙に「文政十二己丑年四月五月六月」の墨書あり。

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
館守日記三	三浦内藏允 (92代)	文政12年7月1日～ 文政12年9月6日	館守日記. [226]	WA1-6-8	1冊	23.9×18.5	84	原表紙に「文政十二己丑年七月八月九月」の墨書あり。
館守日記一	仁位久兵衛 (93代)	文政11年11月13日 ～文政12年9月30日	館守日記. [223]	WA1-6-8	1冊	23.8×18.9	107	原表紙に「文政十一戊子年十一月ヨリ同十二己丑年二月ニ至」の墨書あり。内表紙に「文政十一戊子年從十一月同十二己丑年至七月」の墨書あり。
館守日記二	仁位久兵衛 (93代)	文政12年10月1日～ 文政12年12月30日	館守日記. [227]	WA1-6-8	1冊	24.5×18.4	126	原表紙に「文政十二己丑年自[十月至十二月]」の墨書あり。
館守日記三	仁位久兵衛 (93代)	天保1年1月1日～ 天保1年3月26日	館守日記. [228]	WA1-6-8	1冊	24.6×18.6	105	原表紙に「文政十三庚寅年自正月至三月」の墨書あり。
館守日記	館守兼勤 護送裁判 小 野十郎兵衛	天保1年3月26日～ 天保1年4月21日	館守日記. [229]	WA1-6-8	1冊	23.7×18.5	110	原表紙に「文政十三庚寅年三月廿六日ヨリ[閏]三月四月廿一日ニ至」の墨書あり。3月26日条冒頭に館守仁位久兵衛が20日より病気を再発したため、護送裁判小野十郎兵衛が館守兼勤する事情を記す。
館守日記	館守助勤 年限裁判 嶋 雄権右衛門	天保1年4月21日～ 天保1年6月29日	館守日記. [230]	WA1-6-8	1冊	23.9×18.3	139	原表紙に「文政十三庚寅年四月廿一日ヨリ六月二日至」の墨書あり。4月21日条冒頭に、館守仁位久兵衛の病死、護送裁判小野十郎兵衛による館守兼勤、小野十郎兵衛の帰国が間近であることに伴い、文政13年4月21日より年限裁判嶋雄権右衛門が館守助勤となった経緯を記す。内表紙に「文政十三庚寅年四月廿三庚寅年大四月廿一日ヨリ小五月中迄」の墨書あり。
館守日記二	館守助勤 年限裁判 嶋 雄権右衛門	天保1年7月1日～ 天保1年9月14日	館守日記. [231]	WA1-6-8	1冊	24.2×18.3	110	原表紙に「文政十三庚寅年七月ヨリ九月十四日ニ至」の墨書あり。
館守日記一	仁位孫一郎 (94代)	天保1年7月22日～ 天保1年12月30日	館守日記. [232]	WA1-6-8	1冊	24.3×18.5	173	原表紙に「文政十三庚寅年七月ヨリ十二月ニ至」の墨書あり。10月の中扉書名は「毎日記」。
館守日記二	仁位孫一郎 (94代)	天保2年1月1日～ 天保2年3月29日	館守日記. [233]	WA1-6-8	1冊	23.7×18.6	91	原表紙に「天保二辛卯年正月ヨリ三月ニ至」の墨書あり。

館守日記三	仁位孫一郎 (94代)	天保2年4月1日～ 天保2年6月30日	館守日記 [234]	WA1-6-8	1冊	24.6×18.5	128	原表紙に「天保二辛卯年四月ヨリ六月ニ至」の墨書あり。
館守日記四	仁位孫一郎 (94代)	天保2年7月1日～ 天保2年9月29日	館守日記 [235]	WA1-6-8	1冊	24.5×18.3	140	原表紙に「天保二辛卯年七月ヨリ九月ニ至」の墨書あり。
館守日記五	仁位孫一郎 (94代)	天保2年10月1日～ 天保2年12月30日	館守日記 [236]	WA1-6-8	1冊	24.2×18.2	134	原表紙に「天保二辛卯年十月ヨリ十二月ニ至」の墨書あり。
館守日記六	仁位孫一郎 (94代)	天保3年1月1日～ 天保3年3月30日	館守日記 [237]	WA1-6-8	1冊	24.3×18.7	132	原表紙に「天保三壬辰年正月二月三月」の墨書あり。
館守日記七	[仁位孫一郎] (94代)	天保3年4月1日～ 天保3年6月29日	館守日記 [238]	WA1-6-8	1冊	24.5×18.5	122	原表紙に「天保三壬辰年四月五[月六月]」の墨書あり。
館守日記八	仁位孫一郎 (94代)	天保3年7月1日～ 天保3年9月30日	館守日記 [239]	WA1-6-8	1冊	24.2×18.3	124	原表紙に「天保三壬辰年七月ヨリ九月ニ至」の墨書あり。
館守日記九	仁位孫一郎 (94代)	天保3年10月1日～ 天保3年12月30日	館守日記 [240]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.1	180	原表紙に「天保三壬辰年十月ヨリ十二月ニ至」の墨書あり。
館守日記十	仁位孫一郎 (94代)	天保4年1月1日～ 天保4年3月29日	館守日記 [242]	WA1-6-8	1冊	24.0×17.7	173	原表紙に「天保四癸巳年正月二月三月」の墨書あり。
館守日記十一	仁位孫一郎 (94代)	天保4年4月1日～ 天保4年6月29日	館守日記 [243]	WA1-6-8	1冊	24.3×18.0	147	原表紙に「天保四癸巳年四月五月六月」の墨書あり。
館守日記十二	仁位孫一郎 (94代)	天保4年7月1日～ 天保4年9月30日	館守日記 [244]	WA1-6-8	1冊	24.1×18.1	115	原表紙に「天保四癸巳年七月八月九月」の墨書あり。
館守日記十三	仁位孫一郎 (94代)	天保4年10月1日～ 天保4年12月30日	館守日記 [245]	WA1-6-8	1冊	24.6×18.2	102	原表紙に「天保四癸巳年十月至十二月」の墨書あり。
館守日記十四	仁位孫一郎 (94代)	天保5年1月1日～ 天保5年3月30日	館守日記 [246]	WA1-6-8	1冊	23.8×18.4	153	原表紙に「天保五甲午年正月二月三月」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名. [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
館守日記 十五	仁位孫一郎 (94代)	天保5年4月1日～ 天保5年7月13日	館守日記. [247]	WA1-6-8	1冊	23.8×18.5	153	原表紙に「天保五甲午年四月ヨリ七月二至」の墨書あり。
館守日記 一	樋口亙理 (95代)	天保3年9月28日～ 天保5年9月29日	館守日記. [241]	WA1-6-8	1冊	24.1×18.4	108	原表紙に「自天保三壬辰九月至同五甲午九月」の墨書あり。
館守日記 二	樋口亙理 (95代)	天保5年10月1日～ 天保5年12月30日	館守日記. [248]	WA1-6-8	1冊	24.1×18.2	130	原表紙に「自天保五甲午十月至同十二月」の墨書あり。
館守日記 三	樋口亙理 (95代)	天保6年1月1日～ 天保6年3月30日	館守日記. [249]	WA1-6-8	1冊	23.8×17.8	117	原表紙に「自天保六乙未正月至同三月」の墨書あり。
館守日記 四	樋口亙理 (95代)	天保6年4月1日～ 天保6年6月30日	館守日記. [250]	WA1-6-8	1冊	24.1×18.1	117	原表紙に「自天保六乙未四月至同六月」の墨書あり。
館守日記 五	樋口亙理 (95代)	天保6年7月1日～ 天保6年9月29日	館守日記. [251]	WA1-6-8	1冊	24.2×18.1	212	原表紙に「自天保六乙未七月至同九月」の墨書あり。
館守日記 六	樋口亙理 (95代)	天保6年10月1日～ 天保6年12月30日	館守日記. [252]	WA1-6-8	1冊	24.1×18.5	105	原表紙に「自天保六乙未十月至同十二月」の墨書あり。
館守日記 七	樋口亙理 (95代)	天保7年1月1日～ 天保7年3月29日	館守日記. [253]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.4	125	原表紙に「自天保七丙申正月至同三月」の墨書あり。
館守日記 八	樋口亙理 (95代)	天保7年4月1日～ 天保7年6月29日	館守日記. [254]	WA1-6-8	1冊	24.1×18.5	134	原表紙に「自天保七丙申四月至同六月」の墨書あり。
館守日記 九	樋口亙理 (95代)	天保7年7月1日～ 天保7年9月30日	館守日記. [255]	WA1-6-8	1冊	23.9×18.4	107	原表紙に「自天保七丙申七月至同九月」の墨書あり。
館守日記 十	樋口亙理 (95代)	天保7年10月1日～ 天保7年12月18日	館守日記. [256]	WA1-6-8	1冊	24.1×18.4	86	原表紙に「自天保七丙申十月至同十二月」の墨書あり。内表紙に「天保七丙申年十月申十一月十八日交代 館守日記 樋口亙理」の墨書あり。

館守日記 一	吉川右近 (96代)	天保7年8月16日～ 天保7年12月29日	館守日記。 [257]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.6	81	原表紙に「天保七丙申年從八月至十二月」の墨書あり。
館守日記 二	吉川右近 (96代)	天保8年1月1日～ 天保8年3月30日	館守日記。 [258]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.9	109	原表紙に「天保八丁酉年從正月至三月」の墨書あり。
館守日記 三	吉川右近 (96代)	天保8年4月1日～ 天保8年6月29日	館守日記。 [259]	WA1-6-8	1冊	24.1×18.7	110	原表紙に「天保八丁酉年從四月至六月」の墨書あり。
館守日記 四	吉川右近 (96代)	天保8年7月1日～ 天保8年9月29日	館守日記。 [260]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.7	99	原表紙に「天保八丁酉年從七月至九月」の墨書あり。
館守日記 五	吉川右近 (96代)	天保8年10月1日～ 天保8年12月30日	館守日記。 [261]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.5	119	原表紙に「天保八丁酉年從十月至十二月」の墨書あり。
館守日記 六	吉川右近 (96代)	天保9年1月1日～ 天保9年3月24日	館守日記。 [262]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.6	148	原表紙に「天保九戌戌年從正月至三月」の墨書あり。内表紙に「天保九戌戌年正月 館守日記 吉川右近」の墨書あり。
館守日記 七	吉川右近 (96代)	天保9年4月1日～ 天保9年6月30日	館守日記。 [263]	WA1-6-8	1冊	24.3×18.6	139	原表紙に「天保九戌戌年從四月至六月」の墨書あり。
館守日記 八	吉川右近 (96代)	天保9年7月1日～ 天保9年9月30日	館守日記。 [264]	WA1-6-8	1冊	24.2×18.7	95	原表紙に「天保九戌戌年從七月至九月」の墨書あり。
館守日記 九	吉川右近 (96代)	天保9年10月1日～ 天保9年12月30日	館守日記。 [265]	WA1-6-8	1冊	24.2×18.7	58	原表紙に「天保九戌戌年從十月至十二月」の墨書あり。
館守日記 十	吉川右近 (96代)	天保10年1月1日～ 天保10年3月29日	館守日記。 [266]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.7	91	原表紙に「天保十己亥年從正月至三月」の墨書あり。
館守日記 十一	吉川右近 (96代)	天保10年4月1日～ 天保10年6月29日	館守日記。 [267]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.7	70	原表紙に「天保十己亥年從四月至六月」の墨書あり。
館守日記 十二	吉川右近 (96代)	天保10年7月1日～ 天保10年9月30日	館守日記。 [268]	WA1-6-8	1冊	24.2×18.7	147	原表紙に「天保十己亥年從七月至九月」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
館守日記 十三	吉川右近 (96代)	天保10年10月1日～ 天保10年12月29日	館守日記. [269]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.6	82	原表紙に「天保十己亥年從十月至十二月」の墨書あり。
館守日記 十四	吉川右近 (96代)	天保11年1月1日～ 天保11年3月29日	館守日記. [271]	WA1-6-8	1冊	24.1×18.7	111	原表紙に「天保十一庚子年從正月至三月」の墨書あり。
館守日記 十五	吉川右近 (96代)	天保11年4月1日～ 天保11年7月12日	館守日記. [272]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.5	191	原表紙に「天保十一庚子年從四月至七月」の墨書あり。
館守日記	吉川右近 (96代)	天保11年7月13日～ 天保13年2月28日	館守日記. [273]	WA1-6-8	1冊	24.2×17.8	95	原表紙に「天保十一庚子年自七月至辛丑二月」の墨書あり。
館守日記 巻	古川采女 (97代)	天保10年11月28日 ～天保11年8月30日	館守日記. [270]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.5	87	原表紙に「共貳拾七冊」「自天保十己亥十一月至同十一月庚子年八月」の墨書あり。
館守日記 式	古川采女 (97代)	天保11年9月1日～ 天保11年12月30日	館守日記. [274]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.2	165	原表紙に「共貳拾七冊」「天保十一庚子年九月十月十一月十二月」の墨書あり。
館守日記 参	古川采女 (97代)	天保12年1月1日～ 天保12年2月29日	館守日記. [275]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.3	124	原表紙に「共貳拾七冊」「天保十二辛丑年正月閏正月二月」の墨書あり。
館守日記 肆	古川采女 (97代)	天保12年3月1日～ 天保12年4月29日	館守日記. [276]	WA1-6-8	1冊	23.7×18.3	122	原表紙に「共貳拾七冊」「天保十二辛丑年三月四月」の墨書あり。
館守日記 伍	古川采女 (97代)	天保12年5月1日～ 天保12年6月30日	館守日記. [277]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.4	124	原表紙に「共貳拾七冊」「天保十二辛丑年五月六月」の墨書あり。
館守日記 陸	古川采女 (97代)	天保12年7月1日～ 天保12年9月29日	館守日記. [278]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.4	185	原表紙に「共貳拾七冊」「天保十二辛丑年七月八月九月」の墨書あり。
館守日記 柒	古川采女 (97代)	天保12年10月1日～ 天保12年12月29日	館守日記. [279]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.3	169	原表紙に「共貳拾七冊」「天保十二辛丑年十月十一月十二月」の墨書あり。
館守日記 捌	古川采女 (97代)	天保13年1月1日～ 天保13年2月30日	館守日記. [280]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.3	145	原表紙に「共貳拾七冊」「天保十三壬寅年正月二月」の墨書あり。

館守日記 玖	古川采女 (97代)	天保13年3月1日～ 天保13年4月30日	館守日記。 [281]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.4	144	原表紙に「共貳拾七冊」「天保十三壬寅年三月四月」の墨書あり。
館守日記 拾	古川采女 (97代)	天保13年5月1日～ 天保13年8月29日	館守日記。 [282]	WA1-6-8	1冊	23.3×18.4	161	原表紙に「共貳拾七冊」「天保十三壬寅年五月六月七月八月」の墨書あり。
館守日記 拾壹	古川采女 (97代)	天保13年9月1日～ 天保13年12月29日	館守日記。 [283]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.5	166	原表紙に「共貳拾七冊」「天保十三壬寅年九月十月十一月十二月」の墨書あり。
館守日記 拾貳	古川采女 (97代)	天保14年1月1日～ 天保14年3月30日	館守日記。 [284]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.3	166	原表紙に「共貳拾七冊」「天保十四癸卯年正月二月三月」の墨書あり。
館守日記 拾參	古川采女 (97代)	天保14年4月1日～ 天保14年6月29日	館守日記。 [285]	WA1-6-8	1冊	23.3×18.5	220	原表紙に「共貳拾七冊」「天保十四癸卯年四月五月六月」の墨書あり。
館守日記 拾肆	古川采女 (97代)	天保14年7月1日～ 天保14年閏9月30日	館守日記。 [286]	WA1-6-8	1冊	23.4×18.2	194	原表紙に「共貳拾七冊」「天保十四癸卯年七月八月九月閏九月」の墨書あり。
館守日記 拾伍	古川采女 (97代)	天保14年10月1日～ 天保14年12月28日	館守日記。 [287]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.2	179	原表紙に「共貳拾七冊」「天保十四癸卯年十月[十一月十二月]」の墨書あり。
館守日記 拾陸	古川采女 (97代)	弘化1年1月1日～ 弘化1年3月29日	館守日記。 [288]	WA1-6-8	1冊	23.4×18.2	210	原表紙に「共貳拾七冊」「天保十五弘化ト改元甲辰年正月二月三月」の墨書あり。
館守日記 拾柒	古川采女 (97代)	弘化1年4月1日～ 弘化1年6月30日	館守日記。 [289]	WA1-6-8	1冊	23.6×18.2	137	原表紙に「共貳拾七冊」「天保十五弘化ト改元甲辰年四月[五月]」の墨書あり。
館守日記 拾捌	古川采女 (97代)	弘化1年7月1日～ 弘化1年8月30日	館守日記。 [290]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.5	137	原表紙に「共貳拾七冊」「天保十五弘化ト改元甲辰年七月八月」の墨書あり。
館守日記 拾玖	古川采女 (97代)	弘化1年9月1日～ 弘化1年10月30日	館守日記。 [291]	WA1-6-8	1冊	23.7×18.4	132	原表紙に「共貳拾七冊」「天保十五弘化ト改元甲辰年九月十月」の墨書あり。
館守日記 貳拾	古川采女 (97代)	弘化1年11月1日～ 弘化1年12月30日	館守日記。 [292]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.6	139	原表紙に「共貳拾七冊」「天保十五甲辰年十一月十二月」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名. [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
館守日記 式拾壹	古川采女 (97代)	弘化2年1月1日～ 弘化2年2月30日	館守日記. [293]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.7	135	原表紙に「共式拾七冊」「天保十六弘化貳乙巳年正月二月」の墨書あり。
館守日記 式拾貳	古川采女 (97代)	弘化2年3月1日～ 弘化2年5月30日	館守日記. [294]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.5	136	原表紙に「共式拾七冊」「天保十六弘化貳乙巳年三月四月五月」の墨書あり。逆紙に「天保十六乙巳三月中四月五月十三日より弘化与相成」の墨書あり。
館守日記 式拾参	古川采女 (97代)	弘化2年6月1日～ 弘化2年8月29日	館守日記. [295]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.2	155	原表紙に「共式拾七冊」「天保十六弘化貳乙巳年六月七月八月」の墨書あり。
館守日記 式拾肆	古川采女 (97代)	弘化2年9月1日～ 弘化2年12月29日	館守日記. [296]	WA1-6-8	1冊	23.3×18.3	176	原表紙に「共式拾七冊」「天保十六弘化貳乙巳年九月十月十一月十二月」の墨書あり。
館守日記 式拾伍	古川采女 (97代)	弘化3年1月1日～ 弘化3年4月29日	館守日記. [297]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.5	180	原表紙に「共式拾七冊」「弘化三丙午年正月二月三月四月」の墨書あり。
館守日記 式拾陸	古川采女 (97代)	弘化3年5月1日～ 弘化3年6月30日	館守日記. [298]	WA1-6-8	1冊	23.5×18.3	133	原表紙に「共式拾七冊」「弘化三丙午年五月閏五月六月」の墨書あり。
館守日記 式拾七	古川采女 (97代)	弘化3年7月1日～ 嘉永1年3月22日	館守日記. [299]	WA1-6-8	1冊	23.7×18.5	160	原表紙に「共式拾七冊」「弘化三丙午年七月八月九月」の墨書あり。
館守日記	樋口弾正 (98代)	天保14年5月5日～ 弘化3年12月29日	館守日記. [300]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.2	134	原表紙に「共十三冊」「自天保十四癸卯年至弘化三丙午年九月十月十一月十二月」の墨書あり。
館守日記	樋口弾正 (98代)	弘化4年1月1日～ 弘化4年3月30日	館守日記. [301]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.1	110	原表紙に「共十三冊」「弘化四丁未年正月二月三月」の墨書あり。
館守日記	樋口弾正 (98代)	弘化4年4月1日～ 弘化4年6月30日	館守日記. [302]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.0	93	原表紙に「共十三冊」「弘化四丁未年四月五月六月」の墨書あり。
館守日記	樋口弾正 (98代)	弘化4年7月1日～ 弘化4年9月30日	館守日記. [303]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.1	109	原表紙に「共十三冊」「弘化四丁未年七月八月九月」の墨書あり。
館守日記	樋口弾正 (98代)	弘化4年10月1日～ 弘化4年12月30日	館守日記. [304]	WA1-6-8	1冊	23.9×18.1	103	原表紙に「共十三冊」「弘化四丁未年十月十一月十二月」の墨書あり。

館守日記	樋口弾正 (98代)	嘉永1年1月1日～ 嘉永1年3月29日	館守日記。 [305]	WA1-6-8	1冊	23.9×18.1	78	原表紙に「共十三冊」「弘化五戊申年 四月嘉永ト改元 正月二月三月」の墨書あり。
館守日記	樋口弾正 (98代)	嘉永1年4月1日～ 嘉永1年6月29日	館守日記。 [307]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.1	85	原表紙に「共十三冊」「嘉永元戊申年四月五月六月」の墨書あり。
館守日記	樋口弾正 (98代)	嘉永1年7月1日～ 嘉永1年9月30日	館守日記。 [308]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.0	82	原表紙に「共十三冊」「嘉永元戊申年七月八月九月」の墨書あり。
館守日記	樋口弾正 (98代)	嘉永1年10月1日～ 嘉永1年12月29日	館守日記。 [309]	WA1-6-8	1冊	23.9×18.2	75	原表紙に「共十三冊」「嘉永元戊申年十月十一月十二月」の墨書あり。12月20日、21日条のあたりに乙丑5月6日の文書を添付。
館守日記	樋口弾正 (98代)	嘉永2年1月1日～ 嘉永2年4月29日	館守日記。 [310]	WA1-6-8	1冊	24.1×18.2	145	原表紙に「共十三冊」「嘉永二己酉年正月二月三月四月」の墨書あり。
館守日記	樋口弾正 (98代)	嘉永2年閏4月1日～ 嘉永2年6月29日	館守日記。 [311]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.2	79	原表紙に「共十三冊」「嘉永二己酉年閏四月五月六月」の墨書あり。
館守日記	樋口弾正 (98代)	嘉永2年7月1日～ 嘉永2年9月30日	館守日記。 [312]	WA1-6-8	1冊	24.1×18.3	74	原表紙に「共十三冊」「嘉永二己酉年七月八月九月」の墨書あり。
館守日記	樋口弾正 (98代)	嘉永2年10月1日～ 嘉永3年5月11日	館守日記。 [313]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.2	95	原表紙に「共十三冊」「嘉永二己酉年より同三庚戌年二至十月十一月十二月戊正月」の墨書あり。1月21日条の次は4月17日条。
館守日記	吉田大藏 (99代)	嘉永1年11月23日～ 嘉永3年3月30日	館守日記。 [306]	WA1-6-8	1冊	24.2×18.2	82	原表紙に「自嘉永元戊申年同三庚戌年正月二月三月」の墨書あり。嘉永1年、同2年記事は巻頭の約4丁のみ。
館守日記	吉田大藏 (99代)	嘉永3年4月1日～ 嘉永3年5月29日	館守日記。 [314]	WA1-6-8	1冊	24.3×18.1	112	原表紙に「嘉永三庚戌年四月五月」の墨書あり。
館守日記	吉田大藏 (99代)	嘉永3年6月1日～ 嘉永3年7月29日	館守日記。 [315]	WA1-6-8	1冊	24.2×18.1	130	原表紙に「嘉永三庚戌年六月七月」の墨書あり。
館守日記	吉田大藏 (99代)	嘉永3年8月1日～ 嘉永3年9月29日	館守日記。 [316]	WA1-6-8	1冊	24.2×18.1	121	原表紙に「嘉永三庚戌年八月九月」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名. [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
館守日記	吉田大藏 (99代)	嘉永3年10月1日～ 嘉永3年12月30日	館守日記. [317]	WA1-6-8	1冊	24.3×180	130	原表紙に「嘉永三庚戌年十月十一月十二月」の墨書あり。
館守日記	吉田大藏 (99代)	嘉永4年1月1日～ 嘉永4年3月29日	館守日記. [318]	WA1-6-8	1冊	24.2×180	127	原表紙に「嘉永四辛亥年正月二月三月」「正月十九日依願外 守ト改名被仰越」の墨書あり。
館守日記	吉田外守 (99代)	嘉永4年4月1日～ 嘉永4年6月29日	館守日記. [319]	WA1-6-8	1冊	24.3×181	117	原表紙に「嘉永四辛亥年四月五月六月」の墨書あり。
館守日記	吉田外守 (99代)	嘉永4年7月1日～ 嘉永4年9月30日	館守日記. [320]	WA1-6-8	1冊	24.0×178	112	原表紙に「嘉永四辛亥年七月八月九月」の墨書あり。
館守日記	吉田外守 (99代)	嘉永4年10月1日～ 嘉永4年12月29日	館守日記. [321]	WA1-6-8	1冊	24.0×180	176	原表紙に「嘉永四辛亥年十月十一月十二月」の墨書あり。
館守日記	吉田外守 (99代)	嘉永5年1月1日～ 嘉永5年3月30日	館守日記. [322]	WA1-6-8	1冊	24.0×180	130	原表紙に「嘉永五壬子年正月二月閏二月三月」の墨書あり。
館守日記	吉田外守 (99代)	嘉永5年4月1日～ 嘉永5年6月29日	館守日記. [323]	WA1-6-8	1冊	24.1×180	128	原表紙に「嘉永五壬子年四月五月六月」の墨書あり。
館守日記	吉田外守 (99代)	嘉永5年7月1日～ 嘉永5年9月30日	館守日記. [324]	WA1-6-8	1冊	24.1×180	127	原表紙に「嘉永五壬子年七月八月九月」の墨書あり。
館守日記	吉田外守 (99代)	嘉永5年10月1日～ 嘉永5年12月29日	館守日記. [325]	WA1-6-8	1冊	24.0×180	111	原表紙に「嘉永五壬子年十月十一月十二月」の墨書あり。
館守日記	吉田外守 (99代)	嘉永6年1月1日～ 嘉永6年2月19日	館守日記. [327]	WA1-6-8	1冊	24.0×180	74	原表紙に「嘉永六癸丑年正月二月」の墨書あり。
館守日記一	[後]郡左衛門 (100代)	嘉永5年5月13日～ 嘉永6年3月30日	館守日記. [326]	WA1-6-8	1冊	24.0×180	96	原表紙に「自嘉永壬子年同六月癸丑年ニ至正月二[月]」の墨書 あり。
館守日記二	後郡左衛門 (100代)	嘉永6年4月1日～ 嘉永6年6月30日	館守日記. [328]	WA1-6-8	1冊	24.0×178	159	原表紙に「嘉永六癸丑年四月五月六月」の墨書あり。

館守日記 三	[後郡左衛門] (100代)	嘉永6年7月1日～ 嘉永6年9月29日	館守日記。 [329]	WA1-6-8	1冊	24.1×180	122	原表紙に「嘉永六癸丑年」の墨書あり。
館守日記 四	後郡左衛門 (100代)	嘉永6年10月1日～ 嘉永6年12月30日	館守日記。 [330]	WA1-6-8	1冊	24.2×178	205	原表紙に「嘉永六癸丑年十月十一日[十二月]」の墨書あり。
[館守日記 五]	[後郡左衛門] (100代)	安政1年1月1日～ 安政1年3月29日	館守日記。 [331]	WA1-6-8	1冊	24.2×180	131	原表紙欠。
館守日記 六	[後郡左衛門] (100代)	安政1年4月1日～ 安政1年6月30日	館守日記。 [332]	WA1-6-8	1冊	24.1×179	209	原表紙に「嘉永七甲寅[年四月五月六月]」の墨書あり。
館守日記 七	後郡左衛門 (100代)	安政1年7月1日～ 安政1年閏7月29日	館守日記。 [333]	WA1-6-8	1冊	24.2×178	213	原表紙に「嘉永七甲寅年七月[閏七月]」の墨書あり。
館守日記 八	後郡左衛門 (100代)	安政1年8月1日～ 安政1年9月29日	館守日記。 [334]	WA1-6-8	1冊	24.0×178	159	原表紙に「嘉永七甲寅年八月[九月]」の墨書あり。
館守日記 九	後郡左衛門 (100代)	安政1年10月1日～ 安政1年12月30日	館守日記。 [335]	WA1-6-8	1冊	23.9×178	144	原表紙に「嘉永七甲寅年十月十一月十二月」の墨書あり。
館守日記 十	[後郡左衛門] (100代)	安政2年1月1日～ 安政2年3月29日	館守日記。 [336]	WA1-6-8	1冊	23.8×178	180	原表紙に「[嘉永八乙卯年正月 二月 廿八日改元被仰越]安政二」の墨書あり。
館守日記 [十一]	後郡左衛門 (100代)	安政2年4月1日～ 安政2年6月29日	館守日記。 [337]	WA1-6-8	1冊	23.8×180	201	原表紙に「[安政二乙卯年四月[五月六月]]」の墨書あり。
館守日記 [十二]	後郡左衛門 (100代)	安政2年7月1日～ 安政2年9月30日	館守日記。 [338]	WA1-6-8	1冊	23.9×178	204	原表紙に「[安政二乙卯年七月[八月九月]]」の墨書あり。
館守日記 十三	後郡左衛門 (100代)	安政2年10月1日～ 安政2年12月29日	館守日記。 [339]	WA1-6-8	1冊	24.0×178	127	原表紙に「[安政二乙卯年十月[十一月十二月]]」の墨書あり。
館守日記 十四	後郡左衛門 (100代)	安政3年1月1日～ 安政3年3月29日	館守日記。 [340]	WA1-6-8	1冊	23.9×178	113	原表紙に「[安政三丙辰年正月二月三月]」の墨書あり。
館守日記 十五	後郡左衛門 (100代)	安政3年4月1日～ 安政3年6月30日	館守日記。 [341]	WA1-6-8	1冊	24.0×177	161	原表紙に「[安政三丙辰年四月五月六月]」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名. [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備	考
館守日記 [十六]	[俊]郡左衛門 (100代)	安政3年7月1日～ 安政3年9月30日	館守日記. [342]	WA1-6-8	1冊	23.9×17.8	155	原表紙に「安政三丙辰年七月八月九月」の墨書あり。	
館守日記 十七	俊郡[左衛門] (100代)	安政3年10月1日～ 安政3年12月30日	館守日記. [343]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.0	126	原表紙に「安政三丙辰年十月十一月十二月」の墨書あり。	
館守日記 十八	[俊]郡左[衛門] (100代)	安政4年1月1日～ 安政4年4月29日	館守日記. [344]	WA1-6-8	1冊	24.1×17.8	139	原表紙に「[安]政四丁巳年[正]月[二]月[三]月[四]月」の墨書あり。	
館守日記 [十九]	[俊]郡左衛門 (100代)	安政4年5月1日～ 安政4年6月30日	館守日記. [345]	WA1-6-8	1冊	24.1×18.0	146	原表紙に「[安]政四丁巳年[五]月[閏五]月[六]月」の墨書あり。	
館守日記 二十	俊郡左衛門 (100代)	安政4年7月1日～ 安政4年9月30日	館守日記. [346]	WA1-6-8	1冊	24.0×17.8	159	原表紙に「安政四丁巳年七月八月九月」の墨書あり。	
館守日記 二十二	[俊]郡左衛門 (100代)	安政5年1月1日～ 安政5年3月29日	館守日記. [347]	WA1-6-8	1冊	24.0×17.7	125	原表紙に「安政五戊午年[正]月[二]月[三]月」の墨書あり。	
館守日記 二十三	俊郡左衛門 (100代)	安政5年4月1日～ 安政5年6月29日	館守日記. [348]	WA1-6-8	1冊	23.8×17.8	125	原表紙に「安政五戊午年四月五月六月」の墨書あり。内表紙 書名は「毎日記」。	
館守日記 二十四	俊[郡左衛門] (100代)	安政5年7月1日～ 安政5年9月29日	館守日記. [349]	WA1-6-8	1冊	23.8×17.8	129	原表紙に「安政五戊午年七月八月[九]月」の墨書あり。	
館守日記 二十五	俊郡左衛門 (100代)	安政5年10月1日～ 安政5年12月29日	館守日記. [350]	WA1-6-8	1冊	23.8×17.9	66	原表紙に「安政五戊午年十月十一月[十二月]」の墨書あり。 内表紙書名は「毎日記」。	
館守日記 二十六	俊郡左衛門 (100代)	安政6年4月1日～ 安政6年6月30日	館守日記. [351]	WA1-6-8	1冊	23.9×17.9	109	原表紙に「三冊之内」「安政六己未年四月五月六月」「正月 二月三月日記無之」の墨書あり。	
館守日記 二十七	俊郡左[衛門] (100代)	安政6年7月1日～ 安政6年9月30日	館守日記. [352]	WA1-6-8	1冊	24.1×18.0	174	原表紙に「三冊之内」「安政六己未年七月八月九月」「正二 三日記無之」の墨書あり。内表紙書名は「毎日記」。	
館守日記 二十八	俊郡左衛門 (100代)	安政6年10月1日～ 安政6年12月30日	館守日記. [353]	WA1-6-8	1冊	24.0×17.8	110	原表紙に「三冊之内」「安政六己未年十月十一月十二月」「正 月二月三月日記無之」の墨書あり。	

館守日記 二十九	[俊那左衛門 (100代) 万延1年1月1日～ 万延1年閏3月30日]	館守日記。 [354]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.0	183	原表紙に「安政七〔庚〕申年〔正〕月〔二〕月〔三〕月閏三月」の墨書あり。
館守日記 三十	[俊那左衛門 (100代) 万延1年4月1日～ 万延1年6月30日]	館守日記。 [355]	WA1-6-8	1冊	23.9×17.9	118	原表紙に「安政七庚申年四月五月〔六〕月迄」「万延元年〔 〕被仰越五月日記より」の墨書あり。内表紙に「五月万延ト改元〔 〕元庚申年ニ成」の墨書あり。
毎日記	[別一代官 一代官兼勤 東本市九郎 安政2年1月1日～ 安政2年3月29日]	毎日記。[456]	WA1-6-34	1冊	24.6×17.8	144	原表紙に「共拾六冊」「安政二乙卯年正月より三月迄」の墨書あり。
毎日記	[別一代官 一代官兼勤 東本市九郎 安政2年4月1日～ 安政2年6月30日]	毎日記。[457]	WA1-6-34	1冊	24.5×18.2	143	原表紙に「共拾六冊」「安政二乙卯年四月より六月迄」の墨書あり。
毎日記	[一代官 嗣役 安政2年10月13日～ 安政3年2月29日]	毎日記。[458]	WA1-6-34	1冊	24.5×17.9	119	原表紙に「共一冊」「安政二乙卯年同三丙辰年卯十月より辰五月八日迄」の墨書あり。「毎日記。[459]」と分冊したもの。
[毎日記]	[一代官 嗣役 安政3年3月1日～ 安政3年5月8日]	毎日記。[459]	WA1-6-34	1冊	24.5×17.9	65	原表紙、内表紙欠。「毎日記。[458]」と分冊したもの。
館守日記	[講正使助勤 古川采女 万延1年7月1日～ 万延1年8月29日]	館守日記。 [356]	WA1-6-8	1冊	26.9×19.8	91	原表紙に「万延元庚申年七月八月」の墨書あり。
館守日記	[講正使助勤 古川采女 万延1年9月1日～ 万延1年10月27日]	館守日記。 [357]	WA1-6-8	1冊	26.9×19.8	55	原表紙に「万延元庚申年九月十月」の墨書あり。
館守日記	[講正使助勤 古川采女 万延1年11月1日～ 万延1年12月30日]	館守日記。 [358]	WA1-6-8	1冊	26.8×19.8	77	原表紙に「万延元庚申年十一月十二月」の墨書あり。
館守日記	[講正使助勤 古川采女 文久1年1月1日～ 文久1年2月30日]	館守日記。 [359]	WA1-6-8	1冊	26.5×19.7	78	原表紙に「万延二辛酉年正月二月」の墨書あり。
館守日記	[講正使助勤 古川采女 文久1年3月1日～ 文久1年4月29日]	館守日記。 [360]	WA1-6-8	1冊	26.8×19.7	91	原表紙に「万延二辛酉年三月四月 四月改元文久」の墨書あり。
館守日記	[講正使助勤 古川采女 文久1年5月1日～ 文久1年6月22日]	館守日記。 [362]	WA1-6-8	1冊	26.7×19.6	65	原表紙に「文久元辛酉年五月より六月廿三日迄」「新館守吉川内記六月十九日館着有之、同廿二日御役交代」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
館守日記	吉川内記 (101代)	万延1年12月2日～ 文久1年9月30日	館守日記。 [361-1]	WA1-6-8	1冊	24.9×18.6	169	原表紙に「自万延元庚申十二月至文久元辛酉十二月」の墨書あり。12月から6月部分の中扉に「申十二月より文久元辛酉年六月中」の墨書あり。12月から5月迄の記載は5丁程度。各月の中扉書名は「毎日記」。「館守日記」[361-2]と分冊したものの。
館守日記	[吉川内記] (101代)	文久1年10月1日～ 文久1年12月30日	館守日記。 [361-2]	WA1-6-8	1冊	24.5×18.5	144	原表紙、内表紙欠。各月の中扉書名は「毎日記」。「館守日記」[361-1]と分冊したもの。
館守日記	吉川内記 (101代)	文久2年1月1日～ 文久2年6月30日	館守日記。 [363]	WA1-6-8	1冊	24.7×18.7	384	原表紙に「文久二壬戌年自正月至六月」の墨書あり。各月の中扉書名は「毎日記」。
館守日記	吉川内記 (101代)	文久2年7月1日～ 文久3年1月21日	館守日記。 [364]	WA1-6-8	1冊	24.5×19.1	393	原表紙に「文久二壬戌七月至同三癸亥正月廿一日」の墨書あり。各月の中扉書名は「毎日記」。
館守日記	館守助勤 一代官 倉田 社右衛門	文久3年1月21日～ 文久3年4月17日	館守日記。 [365]	WA1-6-8	1冊	24.7×18.9	201	原表紙に「自文久三癸亥正月至同四月」の墨書あり。各月の中扉書名は「毎日記」。1月21日条によれば、館守吉川内記が楳園を仰せ付けられた結果、一代官倉田社右衛門が館守役助勤を務めたもの。
毎日記 巻	館守 番縫殿介 (102代)	文久3年1月16日～ 文久3年5月30日	毎日記。[460]	WA1-6-34	1冊	24.5×18.3	77	原表紙に「文久[三]癸亥年從正月至七月」の墨書あり。「毎日記」[461]と分冊したもの。
毎日記 巻	館守 番縫殿介 (102代)	文久3年6月1日～ 文久3年7月30日	毎日記。[461]	WA1-6-34	1冊	24.5×18.2	77	原表紙、内表紙欠。「毎日記」[460]と分冊したもの。
館守日記	館守 番縫殿介 (102代)	元治1年1月1日～ 元治1年3月30日	館守日記。 [366-1]	WA1-6-8	1冊	24.0×17.9	156	原表紙、内表紙欠。3月の中扉に「文久四甲子年三月中 王月十六日改元元治ト改 館守日記 番縫殿介」の墨書あり。「館守日記」[366-2]と分冊したもの。
館守日記	館守 番縫殿介 (102代)	元治1年4月1日～ 元治1年6月29日	館守日記。 [366-2]	WA1-6-8	1冊	24.0×18.0	126	原表紙、内表紙欠。4月の中扉に「文久元甲子年四月中 館守日記 番縫殿介」の墨書あり。「館守日記」[366-1]と分冊したもの。

毎日記肆	館守 番縫殿介 (102代)	元治1年7月1日～ 元治1年8月30日	毎日記 [462]	WA1-6-34	1冊	24.5×17.6	126	原表紙に「文久四甲子年 元治元 從七月至十二月」の墨書あり。中扉に「文久四甲子年七月中 毎日記 番縫殿介」「文久四甲子年八月中 毎日記 番縫殿介」の墨書あり。「毎日記 [463]」～「毎日記 [465]」と分冊したもの。
毎日記肆	[館守 番縫殿介 (102代)]	元治1年9月1日～ 元治1年9月30日	毎日記 [463]	WA1-6-34	1冊	24.4×17.7	78	原表紙、内表紙次。中扉に「元治元甲子年九月中 毎日記 番縫殿介」の墨書あり。「毎日記 [462]」「毎日記 [464]」～「毎日記 [465]」冊と分冊したもの。
毎日記肆	[館守 番縫殿介 (102代)]	元治1年10月1日～ 元治1年10月29日	毎日記 [464]	WA1-6-34	1冊	24.5×17.7	102	原表紙、内表紙次。中扉に「元治元甲子年十月中 毎日記 番縫殿介」の墨書あり。「毎日記 [462]」～「毎日記 [463]」「毎日記 [465]」と分冊したもの。
毎日記肆	[館守 番縫殿介 (102代)]	元治1年11月1日～ 元治1年12月29日	毎日記 [465]	WA1-6-34	1冊	24.6×17.7	111	原表紙、内表紙次。各月中扉に「元治元甲子年十一月 毎日記 番縫殿介」「元治元甲子年十二月中 毎日記 番縫殿介」の墨書あり。「毎日記 [462]」～「毎日記 [464]」と分冊したもの。
毎日記伍	館守 番縫殿介 (102代)	慶応1年1月1日～ 慶応1年2月29日	毎日記 [466]	WA1-6-34	1冊	24.5×17.7	99	原表紙に「元治二乙丑年從正月慶応二丙寅年閏正月」の墨書あり。中扉に「元治二乙丑年正月 毎日記 番縫殿介」「元治二乙丑年二月中 毎日記 番縫殿介」の墨書あり。「毎日記 [467]」～「毎日記 [468]」と分冊したもの。
毎日記伍	[館守 番縫殿介 (102代)]	慶応1年3月1日～ 慶応1年4月30日	毎日記 [467]	WA1-6-34	1冊	24.5×17.6	110	原表紙、内表紙次。中扉に「元治二乙丑年三月中 毎日記 番縫殿介」「元治二乙丑年四月中 毎日記 番縫殿介」の墨書あり。「毎日記 [466]」「毎日記 [468]」と分冊したもの。
毎日記伍	[館守 番縫殿介 (102代)]	慶応1年5月1日～ 慶応2年1月6日	毎日記 [468]	WA1-6-34	1冊	24.5×17.7	155	前半と後半に分かれる。前半は原表紙、内表紙次。中扉2枚(いずれも共紙)あり。それぞれ「元治二乙丑年五月中 毎日記 番縫殿介」「元治二乙丑年閏五月中 毎日記 番縫殿介」の墨書あり。後半原表紙に「慶応元乙丑年從六月同二丙寅年閏正月 毎日記 番縫殿介」の墨書あり。もともと元治2年1月から5月の1冊と慶応元年6月から2年正月部分の1冊とを合冊したものがあつたものと思われる。「毎日記 [466]」～「毎日記 [467]」と分冊したもの。

原題	作成者	内容年	当館書名 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
館守日記 苅番	六月十一日勤掛 原宅 右衛門 (103代)	慶応1年1月12日～ 慶応1年9月29日	館守日記 [367]	WA1-6-8	1冊	23.8×17.7	190	原表紙に「元治乙丑年正月より九月迄 五月初日慶応与改元」の墨書あり。
館守日記 式番	原宅右衛門 (103代)	慶応1年10月1日～ 慶応1年12月29日	館守日記 [368]	WA1-6-8	1冊	23.9×17.8	233	原表紙に「慶応元乙丑年十月より十二月迄」の墨書あり。
[館守日記 参番]	[原宅右衛門] (103代)	慶応2年1月1日～ 慶応2年6月28日	館守日記 [369]	WA1-6-8	1冊	23.8×17.7	342	原表紙、内表紙欠。半ばに中扉あり。中扉に「慶応二丙寅年館守日記 四月より六月迄 原宅右衛門」の墨書あり。6月28日条は本文なし。後欠か。
館守日記 四番	原宅右衛門 (103代)	慶応2年7月1日～ 慶応2年9月29日	館守日記 [370-1]	WA1-6-8	1冊	24.3×18.1	204	原表紙に「慶応二丙寅年七月より十二月迄」の墨書あり。「館守日記」[370-2]と分冊したもの。
[館守日記 四番]	[原宅右衛門] (103代)	慶応2年10月1日～ 慶応2年12月30日	館守日記 [370-2]	WA1-6-8	1冊	24.4×18.0	179	原表紙欠。後補内表紙に「慶応二丙寅年七月より十二月まで館守日記 四番 分冊ノ二」の墨書あり。末尾に文書断簡3通を付す。「館守日記」[370-1]と分冊したもの。
毎日記	再任館守 番籬殿介 (104代)	慶応2年9月13日～ 慶応3年4月30日	毎日記 [469]	WA1-6-34	1冊	24.5×17.9	83	原表紙に「自慶応二丙寅年九月至同丁卯年六月」の墨書あり。「毎日記」[470]と分冊したもの。
[毎日記]	[再任館守 番籬殿介] (104代)	慶応3年5月1日～ 慶応3年6月29日	毎日記 [470]	WA1-6-34	1冊	24.5×17.9	157	原表紙、内表紙欠。中扉に「丁卯五月中 毎日記」[丁卯六月中 毎日記]の墨書あり。「毎日記」[469]と分冊したもの。
毎日記	再任館守 番籬殿介 (104代)	慶応3年7月1日～ 慶応3年8月30日	毎日記 [471]	WA1-6-34	1冊	24.5×17.9	151	原表紙に「自慶応三丁卯年七月至十二月」の墨書あり。「毎日記」[472]～「毎日記」[474]と分冊したもの。
[毎日記]	[再任館守 番籬殿介] (104代)	慶応3年9月1日～ 慶応3年9月29日	毎日記 [472]	WA1-6-34	1冊	24.5×17.8	82	原表紙、内表紙欠。中扉に「丁卯九月中」の墨書あり。「毎日記」[471]「毎日記」[473]～「毎日記」[474]と分冊したもの。
毎日記	[再任館守 番籬殿介] (104代)	慶応3年10月1日～ 慶応3年10月30日	毎日記 [473]	WA1-6-34	1冊	24.5×17.9	104	原表紙、内表紙欠。巻末に「公義御役入様御渡館ニ付別記録」(10月4日、5日記事)あり。「毎日記」[471]～「毎日記」[472]、「毎日記」[474]と分冊したもの。
[毎日記]	[再任館守 番籬殿介] (104代)	慶応3年11月1日～ 慶応3年12月30日	毎日記 [474]	WA1-6-34	1冊	24.5×17.8	145	原表紙、内表紙欠。「毎日記」[471]～「毎日記」[473]と分冊したもの。

毎日記	再任館守 番縫殿介 (104代)	明治1年1月1日～ 明治1年2月30日	毎日記 [475]	WA1-6-34	1冊	24.5×17.9	105	原表紙に「自慶応四戊辰年正月至六月」の墨書あり。「毎日記 [476]」～「毎日記 [477]」と分冊したもの。
毎日記	[再任館守 番縫殿介] (104代)	明治1年3月1日～ 明治1年3月30日	毎日記 [476]	WA1-6-34	1冊	24.8×17.9	83	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [475]」「毎日記 [477]」と分冊したもの。
毎日記	[再任館守 番縫殿介] (104代)	明治1年4月1日～ 明治1年6月29日	毎日記 [477]	WA1-6-34	1冊	24.7×17.8	136	原表紙、内表紙欠。6月29日条は日付、天候のみ。後欠か。「毎日記 [475]」～「毎日記 [476]」と分冊したもの。
毎日記	再任館守 番縫殿介 (104代)	明治1年7月1日～ 明治1年9月29日	毎日記 [478]	WA1-6-34	1冊	24.5×17.9	114	原表紙に「自慶応四戊辰年七月至十二月、九月明治と改元」の墨書あり。「毎日記 [479]」～「毎日記 [480]」と分冊したもの。
毎日記	[再任館守 番縫殿介] (104代)	明治1年10月1日～ 明治1年11月30日	毎日記 [479]	WA1-6-34	1冊	24.5×17.8	116	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [478]」「毎日記 [480]」と分冊したもの。
毎日記	[再任館守 番縫殿介] (104代)	明治1年12月1日～ 明治1年12月29日	毎日記 [480]	WA1-6-34	1冊	24.5×17.3	75	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [478]」～「毎日記 [479]」と分冊したもの。
毎日記	再任館守 番縫殿介 (104代)	明治2年1月1日～ 明治2年2月30日	毎日記 [481]	WA1-6-34	1冊	24.7×17.7	118	原表紙に「自明治二己巳年正月至十二月」の墨書あり。「毎日記 [482]」～「毎日記 [483]」と分冊したもの。
毎日記	[再任館守 番縫殿介] (104代)	明治2年3月1日～ 明治2年4月29日	毎日記 [482]	WA1-6-34	1冊	24.6×17.7	83	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [481]」「毎日記 [483]」と分冊したもの。
毎日記	[再任館守 番縫殿介] (104代)	明治2年5月1日～ 明治2年6月29日	毎日記 [483]	WA1-6-34	1冊	24.7×17.7	116	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [481]」～「毎日記 [482]」と分冊したもの。
毎日記	再任館守 [番縫殿介] (104代)	明治2年7月1日～ 明治2年10月28日	毎日記 [484]	WA1-6-34	1冊	24.2×17.5	115	原表紙に「自明治二己巳年七月至十二月」の墨書あり。「毎日記 [485]」と分冊したもの。
毎日記	[再任館守 番縫殿介] (104代)	明治2年11月1日～ 明治2年12月30日	毎日記 [485]	WA1-6-34	1冊	24.1×17.5	104	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [484]」と分冊したもの。
毎日記	再任館守 () 事 [番高麗選] (104代)	明治3年1月1日～ 明治3年3月30日	毎日記 [486]	WA1-6-34	1冊	24.9×17.2	122	原表紙に「自明治三庚午年正月[閏十月]」の墨書あり。「毎日記 [487]」～「毎日記 [488]」と分冊したもの。

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名. [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
[毎日記]	[再任館守()事 番高麗造] (104代)	明治3年4月1日～ 明治3年5月30日	毎日記 [487]	WA1-6-34	1冊	24.8×17.0	106	原表紙、内表紙欠。「毎日記 [486]」「毎日記 [488]」と分冊したもの。
[毎日記]	[再任館守()事 番高麗造] (104代)	明治3年6月1日～ 明治3年6月29日	毎日記 [488]	WA1-6-34	1冊	24.8×17.1	60	原表紙、内表紙欠。6月21日条に4月6日付広右衛門宛武田源作書状1通(端裏に「江口様」とあり)綴じ込み。「毎日記 [486]」～「毎日記 [487]」と分冊したもの。
毎日記	再任 [前司][番高麗 造] (104代)	明治3年7月1日～ 明治3年9月30日	毎日記 [489]	WA1-6-34	1冊	24.7×18.9	151	原表紙に「自明治三庚午年七月至九月」の墨書あり。
毎日記	再任館 [同] 番高麗造 (104代)	明治3年10月1日～ 明治3年閏10月5日	毎日記 [490]	WA1-6-34	1冊	24.0×18.0	120	原表紙に「自明治[三庚]午年[十月]閏十月六日」の墨書あり。

1 館守毎日記関係 (2) 『旧事編集』

1 館守毎日記関係 (2) 『旧事編集』 5冊

第57代館守樋口勘吾が、宝暦2年（1752）に当時倭館に保管されていた貞享2年（1685）第21代幾度弟右衛門から前代の寛延3年（1750）第56代多田平左衛門までの『館守毎日記』を対象に、重要記事を抜粋して編年体編集したもの。序文に「数代の日記、冊数の繁雑、事に臨て先例の有無を考るに、速ならず相覚候」とあり、『館守毎日記』の冊数が増えて繁雑になり、先例を効率よく調べるためという編集の意図が語られている。『館守毎日記』元禄9年（1696）4月～6月の最後に「此冊三月廿日之処より混雑致し居、旧事編集と引合可申事」との書込があり、修理の際に錯簡が生じたためか本書の記事と引き合わせるよう指示されており、冊子の綴じ付け作業にも利用されていたことを窺わせる。

（田代和生）

原題	作成者	内容年	当館書名, 〔冊番号〕	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
舊事編集巻	樋口勘吾	貞享2年～元禄12 年8月22日	旧事編集・[1]	WA1-6-4	1冊	26.7×19.8	80	冒頭に宝暦2年樋口勘吾の序文、目次あり。宝暦2年成立。 裏表紙に「樋口勘吾」の墨書あり。印記：「平峯真印」 【樋口勘吾序文】 館守日記は何某代より連続すると云事を不知ゆへ、其始を穿 鑿するに、貞享二乙丑平田斎宮再働までハ、日記と云事もな く、惟覚書と云ふ一冊あり、繼司幾度何かし・吉田何かし代 より、日記各一冊ツ、被残置候といへとも、是は後証と可成 事稀也、繼而深見何かしの代より漸々事を記、冊を増、代々 日記致連続候と相見候、然れとも暫は目録と云事なく候て、 近ク享保之比より目録被頭候と相見候得とも、数代の日記冊 数の繁雜、事に臨て先例之有無を考るに連ならず相覚候、因 茲貞享二年より以来之事を搦取目録に起し、素享保以来ハ日 録之内にて後証にも可成を抜取、左なきを省き、旧事編縮し て先五冊と仕置候、勿論等閑の事は略置候へは、先例御考之 節此五冊に相見不申冊数多可有御座候間、其御心得を以御披 覽可被成候、不宣 宝暦壬申年 樋口勘吾 仲秋旦 平致信 後 館守各様
舊事編集貳	樋口勘吾	元禄12年8月22日 ～正徳4年11月8日	旧事編集・[2]	WA1-6-4	1冊	26.5×20.0	84	冒頭に目次あり。第1冊序文により宝暦2年成立と推定され る。裏表紙に「樋口勘吾」の墨書あり。印記：「平峯真印」
舊事編集參	樋口勘吾	正徳4年11月5日～ 享保13年10月13日	旧事編集・[3]	WA1-6-4	1冊	26.4×20.0	82	冒頭に目次あり。第1冊序文により宝暦2年成立と推定され る。裏表紙に「樋口勘吾」の墨書あり。印記：「平峯真印」
舊事編集肆	樋口勘吾	享保13年10月15日 ～元文4年4月6日	旧事編集・[4]	WA1-6-4	1冊	26.5×19.5	56	冒頭に目次あり。第1冊序文により宝暦2年成立と推定され る。裏表紙に「樋口勘吾」の墨書あり。印記：「平峯真印」
舊事編集伍	樋口勘吾	元文4年4月3日～ 寛延3年9月13日	旧事編集・[5]	WA1-6-4	1冊	26.5×19.3	41	冒頭に目次あり。第1冊序文により宝暦2年成立と推定され る。裏表紙に「樋口勘吾」の墨書あり。印記：「平峯真印」

1 館守毎日記関係

(3) 『惣目録』

1 館守毎日記関係

(3) 『惣目録』 51冊 [現在54冊に分冊]

『旧事編集』の続編。寛延3年(1750)第57代館守樋口勘吾から明治3年(1870)第104代館守番縫殿介までの『館守毎日記』を、一代ごとに重要記事を抜粋して編集したものの。ただし吉田七左衛門(第58代)と杉村帯刀(第59代)は欠本で、巻頭の樋口勘吾のものも後の平田所左衛門(第61代)が作成している。おそらく当初は次代の館守に委ねられていたものが、これが守られなかったため当代の館守が自身の目録を編集するようになったと考えられる。編集の仕方は、当初、重要記事を年代順に並べただけの簡易なものであったが、幾度主膳(第71代)の代から「惣目録之呼出覚」と称し、項目別に編年体にする分類方式がとられるようになる。その後、多田左膳(第75代)と小川縫殿介(第76代)が館守の時、分類しない目録を作成したことから、戸田頼母(三任、第77代)が再度分類方式に改め、抽出項目の統一性をはかるなどさらなる改善がなされた。

(田代和生)

原題	作成者	内容年	当館書名. [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
惣目録	館守 平田所左衛門	寛延3年9月14日～ 宝暦3年1月27日	惣目録. [1]	WA1-6-22	1冊	27.0×198	99	原表紙に「三十八番」「樋口勘吾勤役」の墨書あり。巻頭に「旧事編集目録」とあり。
惣目録 完	再勤 多田主計	宝暦4年[12月]16日 ～宝暦8年4月14日	惣目録. [2]	WA1-6-22	1冊	23.1×18.7	142	原表紙に「四十一番」「自宝暦四甲戌十二月至同八戊寅四月」の墨書あり。巻頭に「館守記録惣目録」とあり。
惣目録	館守 平田所左衛門	宝暦8年4月2日～ 宝暦10年4月28日	惣目録. [3]	WA1-6-22	1冊	27.1×20.0	50	原表紙に「十五番」「自宝暦八戊寅年四月同十庚辰年至五月」の墨書あり。巻頭に「旧事編集目録」とあり。
惣目録	館守 戸田頼母	宝暦12年4月25日～ 明和1年閏12月2日	惣目録. [4]	WA1-6-22	1冊	26.7×20.4	59	原表紙に「戸田重左衛門勤役」の墨書あり。内表紙(2枚目)に「宝暦十二年午歳四月より同十四甲申十二月至」「戸田重左衛門勤役 惣目録 毎日記之口ニ目録有之候へ共、無用之品も多候而、此惣目録とハ食違も有之候事 信使記録并告許使御用論記録別ニ有之」「館守 戸田頼母」「安永九庚子年二月仕立」とあり。
惣目録	杉村弁之進	宝暦13年7月25日～ 明和4年2月16日	惣目録. [5]	WA1-6-22	1冊	24.0×19.0	38	原表紙に「四十五番」「明和元年[申年]同四[丁亥]年」の墨書あり。罫線下敷きを付す。
惣目録	館守 小河右近右衛門	明和4年1月26日～ 明和7年2月29日	惣目録. [6]	WA1-6-22	1冊	24.0×19.0	72	原表紙に「四十六番」「明和四丁亥年自二月至」の墨書あり。
惣目録	館守 田嶋左近右衛門	明和4年12月26日 ～安永1年3月13日	惣目録. [7]	WA1-6-22	1冊	23.5×18.8	34	原表紙に「四十七番」「從明和七丁亥年十二月至同九壬辰年四月」の墨書あり。内表紙に「自明和四丁亥年十二月至同九壬辰年四月」の墨書あり。
惣目録	館守 岩崎喜右衛門	明和8年6月12日～ 安永3年4月20日	惣目録. [8]	WA1-6-22	1冊	24.0×18.6	66	巻頭は「覚」とあり。元号毎の年数を記した書付1枚を添付。
惣目録	館守再勤 杉村弁之進	安永2年9月8日～ 安永5年10月30日	惣目録. [9]	WA1-6-22	1冊	24.0×19.5	77	原表紙に「四十九番」「安永二癸巳九月より同六丁酉年三月迄」の墨書あり。
惣目録	館司 原毛左衛門	安永4年3月18日～ 安永8年3月17日	惣目録. [10]	WA1-6-22	1冊	23.8×19.2	55	巻頭は「館守記録惣目録」とあり。原表紙に「五十番」「安永四乙未三月より同八己亥年」の墨書あり。

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
惣目録	館守 戸田頼母	安永8年3月12日～ 天明元年7月11日	惣目録. [11]	WA1-6-22	1冊	24.0×18.3	58	原表紙に「自安永八己亥年三月至天明元辛丑年七月」の墨書あり。印記：「誠」
惣目録上	館守 幾度主繕	(備考欄参照)	惣目録. [12]	WA1-6-22	1冊	24.3×19.0	94	原表紙に「五十式番」「安永十辛丑年ヨリ天明四甲辰年至」の墨書あり。冒頭に「書物敷之覚」「惣目録之呼出覚」を付す。 【内容】 ・館守 (安永10年1月21日～天明4年間1月11日) ・己亥年五送使停止之件 (安永10年6月18日～天明3年10月24日) ・一特送使下行廊改建之件 (安永10年6月18日～天明3年11月18日) ・東武立儲参判使御用一件 (天明1年7月10日～天明3年1月8日) ・沢宮迎送参判御用一件 (安永10年6月14日～天明3年12月24日) ・八送使漂差使順附其外御僉官ニ泊候不時之義拔書 (天明1年6月26日～天明4年1月25日)
惣目録下	館守 幾度主繕	(備考欄参照)	惣目録. [13]	WA1-6-22	1冊	24.2×19.2	86	原表紙に「五十式番」「共二冊」「安永十辛丑年ヨリ天明四甲辰年三至」の墨書あり。巻頭に「惣目録之呼出覚」を付す。 【内容】 ・辛丑年一転送使於知世浦破船ニ付外向与之折渡り其外御用之品々書拔 (天明2年8月15日～天明3年12月16日) ・朝鮮人館内ニ盗ニ入候一件 (天明2年2月9日～天明3年12月20日) ・薩州和漂民之一件 (天明2年5月6日～天明2年10月29日) ・潜商之類書拔 (天明1年7月10日～天明3年9月21日) ・諸願書常例外之事を書拔 (天明1年7月13日～天明3年3月10日) ・諸触出し候義を書拔 (安永10年6月18日～天明3年11月13日) ・御法事御施戦鬼 順之益彼岸之事 (天明1年7月1日～天明3年12月5日) ・不時之御用集り之部 (天明1年6月20日～天明4年1月20日)

館守惣目録 全	島雄太膳	(備考欄参照)	惣目録. [14]	WA1-6-22	1冊	23.1×17.3	64	原表紙に「五十三番」「自天明二年壬寅至同六年丙午」の墨書あり。冒頭に都立の目次を付す。印記：「嶋氏之章」 【内容】 ・館守事考 (天明2年10月4日～天明6年5月21日) ・裁判事考 (天明4年1月28日～天明5年7月15日) ・八送使 漂差使 御使 (天明4年1月27日～天明6年3月1日) ・副漕別差下房 (天明4年1月10日～天明6年3月27日) ・諸触出シ (天明4年1月4日～天明6年2月26日) ・御法事 御祈禱 御函箋 (天明4年4月1日～天明6年2月20日) ・盗之類 潜滴 喧嘩 口書 (天明4年1月23日～天明6年1月10日) ・集り (天明4年1月27日～天明6年4月11日)
惣目録	館守 吉田彦右衛門	天明6年3月23日～ 天明7年2月26日	惣目録. [15]	WA1-6-22	1冊	23.5×19.6	26	原表紙に「五拾四番」「天明六丙午年三月ヨリ」の墨書あり。
館守日記惣目録	再勤 戸田頼母	(備考欄参照)	惣目録. [16]	WA1-6-22	1冊	23.2×18.8	90	原表紙に「五十五番」「自天明七丁未三月寛政二庚戌年至五月」の墨書あり。冒頭に都立の目次を付す。印記：「戸源」 【内容】 ・館守 (天明7年3月21日～寛政2年5月4日) ・外向掛合 (天明7年5月6日～寛政2年5月5日) ・参判 (天明7年4月26日～天明9年8月24日) ・諸違事 (天明7年4月25日～寛政2年4月16日) ・集り (天明7年4月25日～寛政2年5月1日) ・八送使 不時送使 (天明7年4月25日～寛政2年5月11日)
惣目録	館守 多田左膳	寛政元年8月13日 ～寛政3年9月9日	惣目録. [17]	WA1-6-22	1冊	24.3×19.2	45	原表紙に「五十六番」「從寛政元己酉年八月□三辛亥年九月」の墨書あり。冒頭に「館守日記惣目録」とあり。印記：「南枝」「種棟」
惣目録 完	館守 小川縫殿介	寛政3年5月14日～ 寛政5年4月25日	惣目録. [18]	WA1-6-22	1冊	23.8×18.3	62	原表紙に「五十七番」「寛政三辛亥年五月より同五癸丑年四月迄」の墨書あり。印記：「謹」

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
館守日記惣目録	館守三任 戸田頼母	(備考欄参照)	惣目録.[19]	WA1-6-22	1冊	238×188	165	原表紙に「五十八番」「自寛政五癸丑二月同至乙卯年十月」の墨書あり。印記：「謹封」(鼎印)「源暢明印」 【内容】 ・館守 (寛政5年2月3日～寛政7年10月15日) ・参判使 (寛政5年5月20日～寛政7年10月1日) ・八送使 不時送使 裁判 (寛政5年4月22日～寛政7年10月7日) ・諸触違并重立候違シ事共ニ (寛政5年4月25日～寛政7年10月2日) ・外向掛合 (寛政5年6月11日～寛政7年10月12日) ・集り (寛政5年4月18日～寛政7年10月7日)
館守日記惣目録 館守方兼勤裁判 黒木 勝見 館守方兼勤一代官 山 崎初右衛門	館守 樋口左近 館守方兼勤裁判 黒木 勝見 館守方兼勤一代官 山 崎初右衛門	(備考欄参照)	惣目録.[20]	WA1-6-22	1冊	236×193	20	原表紙に「寛政七乙卯年自二月同八丙辰三月至」の墨書あり。半ばに中扉があり、大きく二分されるが、作成者、館立の項目は同一。 【内容】 ・館守之部 (寛政7年2月22日～寛政8年1月18日) ・八送使 不時送使 裁判 (寛政7年10月27日～寛政8年1月16日) ・諸触違并重立候違事共ニ (寛政7年10月16日～寛政8年1月14日) ・外向掛合 (寛政7年10月9日～寛政8年1月8日) ・集り (寛政7年10月9日～寛政8年1月17日) ・館守之部 (寛政8年1月18日～寛政8年3月24日) ・八送使 不時送使 裁判 (寛政8年2月4日～寛政8年3月21日) ・諸触違并重立候違事共ニ (寛政8年1月18日～寛政8年3月9日) ・外向掛合 (寛政8年1月18日～寛政8年1月22日) ・集り (寛政8年1月19日～寛政8年3月24日)

館守日記惣目録	四掌 戸田頼母	(備考欄参照)	惣目録. [21]	WA1-6-22	1冊	23.8×19.0	160	<p>原表紙に「式冊之内」「寛政八丙辰年自正月同十戊午年十二月至」と墨書あり。冒頭に部立の目次を付す。印記：「源暢明印」</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館守 (寛政8年1月23日～寛政10年11月16日) ・八送使 不時送使 裁判 (寛政8年3月24日～寛政10年11月20日) ・諸達事 (寛政8年3月24日～寛政10年12月17日) ・外向掛合 (寛政8年3月27日～寛政10年12月30日) ・集り (寛政8年2月19日～寛政10年12月27日)
館守日記惣目録	四掌 戸田頼母	(備考欄参照)	惣目録. [22]	WA1-6-22	1冊	23.7×18.6	50	<p>原表紙に「式冊之内」「寛政十一己未年自正月同十二庚申年十二月」の墨書あり。印記：「源暢明印」</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館守 (寛政11年3月17日～寛政12年12月10日) ・八送使 不時送使 裁判 (寛政11年2月22日～寛政12年12月9日) ・諸触達并重立候達し事共ニ (寛政11年2月9日～寛政12年12月2日) ・外向掛合 (寛政10年1月4日～寛政12年12月10日) ・集り (寛政11年1月7日～寛政12年12月10日)
惣目録	館守 大浦兵左衛門	(備考欄参照)	惣目録. [23]	WA1-6-22	1冊	23.4×18.3	191	<p>原表紙に「自寛政十二庚申年六月至文化二乙丑年二月」の墨書あり。冒頭に部立の目次を付す。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館守 (寛政12年6月26日～文化2年2月19日) ・八送使 不時送使 裁判 陳賀使 (寛政13年1月6日～文化1年12月25日) ・諸触達事 (寛政13年1月9日～文化2年2月3日) ・外向掛合 (寛政12年12月11日～文化2年2月8日) ・集り (寛政12年12月13日～文化2年2月5日)

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
館守日記惣目録	館守 番盛之介	(備考欄参照)	惣目録. [24]	WA1-6-22	1冊	23.9×18.6	64	原表紙に「文化元甲子年七月より同四丁卯年」の墨書あり。 【内容】 ・館守 (文化1年7月26日～文化3年6月23日) ・修聘参判使 (文化2年9月13日～文化4年9月1日) ・諸輪違事并重立候事共 (文化2年2月16日～文化4年9月7日) ・外向掛合 (文化2年2月13日～文化4年7月12日) ・八送使 不時送使 裁判 (文化2年2月14日～文化4年9月23日) ・集り (文化2年2月15日～文化4年9月20日)
館守日記惣目録	鈴木一之進	(備考欄参照)	惣目録. [25]	WA1-6-22	1冊	23.5×18.6	95	原表紙に「從文化三丙寅年八月至同庚午年四月」の墨書あり。 冒頭に都立の目次を付す。 【内容】 ・館守 (文化3年8月12日～文化7年4月15日) ・修聘参判使 (文化4年10月23日～文化7年11月29日) ・諸違事 (文化4年11月29日～文化7年4月11日) ・外向掛合 (文化4年11月9日～文化7年4月1日) ・八送使 不時送使 裁判 (文化4年12月1日～文化7年4月11日) ・集り (文化4年10月15日～文化7年4月13日)
館守日記惣目録	田中所左衛門	(備考欄参照)	惣目録. [26]	WA1-6-22	1冊	23.7×18.8	66	原表紙に「從文化六己巳年十二月[至]同十癸酉年十月」の墨書あり。 冒頭に都立の目次を付す。 【内容】 ・館守 (文化6年12月18日～文化10年9月23日) ・迎聘参判使 (文化7年6月11日～文化10年9月15日) ・諸違事 (文化7年4月24日～文化10年9月1日) ・外向掛合 (文化7年4月29日～文化10年9月6日) ・八送使 不時送使 裁判 (文化7年4月23日～文化10年9月18日) ・集り (文化7年4月15日～文化10年9月19日)

館守日記惣目録	館守 小河三四郎	(備考欄参照)	惣目録, [27]	WA1-6-22	1冊	24.2×19.0	88	<p>原表紙に「文化十癸酉年より九月」の墨書あり。内表紙に「文化十一癸酉年より乙亥年二至ル」「九月十六日より」の墨書あり。冒頭に部立の目次を付す。各部ともに、半ばに部立の名称を記したものを抹消する。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館守 (文化8年8月～文化12年6月1日) ・参判 (文化10年10月5日～文化12年10月9日) ・諸触事 (文化10年10月2日～文化12年5月17日) ・外向掛合 (文化10年10月10日～文化12年5月15日) ・八送使 不時送使 裁判 (文化11年9月23日～文化12年5月18日) ・御褒美諸被成下頼 拝借 御叱り且御免 (文化10年9月25日～文化12年5月20日) ・集り (文化10年9月24日～文化12年5月19日)
惣目録	館守 小野十郎兵衛	(備考欄参照)	惣目録, [28]	WA1-6-22	1冊	23.1×18.7	40	<p>原表紙に「自文化十二乙亥年正月至丙子六月」の墨書あり。冒頭に部立の目次を付す。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館守 (文化12年1月21日～文化13年6月30日) ・八送使 不時送使 裁判 (文化12年5月21日～文化13年6月30日) ・諸違事 (文化12年6月12日～文化13年6月30日) ・外向掛合 (文化12年6月6日～文化13年6月6日) ・集り (文化12年5月27日～文化13年6月28日)
惣目録	館守方助 勤一 代官 中村傳次郎	(備考欄参照)	惣目録, [29]	WA1-6-22	1冊	23.8×19.0	23	<p>原表紙に「自文化十三年丙子六月至同丁丑年四月」の墨書あり。冒頭に部立の目次を付す。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館守 (文化13年6月30日～文化14年4月2日) ・八送使 不時送使 (文化13年7月14日～文化14年3月16日) ・諸違事 (文化13年10月21日～文化14年3月21日) ・外向掛合 (文化13年7月9日～文化14年3月4日) ・集り (文化13年7月2日～文化14年3月26日)

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
館守日記惣目録	館守 平田帯刀	(備考欄参照)	惣目録.[30]	WA1-6-22	1冊	23.2×18.2	216	原表紙に「文化十三丙子年自九月文政三庚辰年四月至」の墨書あり。見返しに都立の目次を付す。 【内容】 ・館守 (文化13年9月6日～文政3年4月23日) ・八送使 不時送使 裁判 (文化14年4月16日～文政3年4月11日) ・諸達事 (文化14年4月2日～文政3年2月10日) ・外向掛合 (文化14年4月3日～文政3年4月7日) ・集り (文化14年4月2日～文政3年4月24日)
館守日記惣目録	幾度八郎左衛門	(備考欄参照)	惣目録.[31]	WA1-6-22	1冊	23.2×18.3	177	原表紙に「文政二乙卯年十一月より同五壬午年五月迄」の墨書あり。冒頭に都立の目次を付す。「甲戌年四月三日記小河三四郎」の紙片1枚、罫線下敷き1枚を付す。 【内容】 ・館守 (文政2年11月4日～文政5年5月20日) ・八送使 不時送使 裁判 (文政3年4月22日～文政5年4月16日) ・諸達事 (文政3年4月22日～文政5年3月27日) ・外向掛合 (文政3年5月16日～文政5年4月13日) ・御褒美御称美被成下巻米被差免共 (文政3年4月23日～文政5年4月18日) ・集り (文政3年4月23日～文政5年5月20日)
惣目録	館守 原大作	(備考欄参照)	惣目録.[32]	WA1-6-22	1冊	23.9×18.3	146	原表紙に「文政五壬午年四月より同七甲申年□月至」の墨書あり。 【内容】 ・館守 (文政4年9月11日～文政7年5月14日) ・諸触達并重立候達共ニ (文政5年4月18日～文政7年4月22日) ・外向掛合 (文政5年4月20日～文政7年5月13日) ・集り (文政5年4月20日～文政7年7月6日)

惣目録	館守 小川外記	(備考欄参照)	惣目録. [33]	WA1-6-22	1冊	24.1×18.6	101	<p>原表紙に「文政六癸未年自八月同九丙戌年至十一月」の墨書あり。内表紙に「文政六癸未自八月同九丙戌年至十月」の墨書あり。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館守 (文政6年8月26日～文政9年11月18日) ・八送使 不時送使 裁判 (文政7年5月14日～文政9年5月14日) ・諸触達并重立候達し事共ニ (文政7年5月14日～文政9年4月23日) ・外向掛合 (文政7年5月27日～文政9年8月23日) ・集り (文政7年5月17日～文政9年9月29日)
惣目録	館守 三浦大藏	(備考欄参照)	惣目録. [34]	WA1-6-22	1冊	23.6×18.4	22	<p>原表紙に「文政九丙戌年自三月至十一月」の墨書あり。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館守 (文政9年3月16日～文政9年5月28日) ・八送使 不時送使 (文政9年5月24日～文政9年11月4日) ・諸触達并重立候達事共ニ (文政9年5月29日～文政9年10月1日) ・外向掛合 (文政9年5月18日～文政9年10月18日) ・集り (文政9年4月29日～文政9年11月6日)
惣目録	古館守 館守助勤 小川外記	(備考欄参照)	惣目録. [35]	WA1-6-22	1冊	23.8×18.5	46	<p>原表紙に「文政九丙戌年自十一月同十丁亥年至閏六月」の墨書あり。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館守 (文政9年11月6日～文政10年閏6月16日) ・八送使 不時送使 (文政9年12月1日～文政10年6月18日) ・諸触達 (文政9年11月6日～文政10年閏6月3日) ・外向掛合 (文政9年11月19日～文政10年閏6月16日) ・集り (文政9年11月6日～文政10年閏6月16日)

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名, [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
惣目録	館守 三浦内蔵允	(備考欄参照)	惣目録.[36]	WA1-6-22	1冊	23.7×18.6	116	原表紙に「文政十丁亥年自〔 〕同号十二己丑年九月」の墨書あり。 【内容】 ・館守 (文政10年2月1日～文政12年9月6日) ・八送使 不時送使 裁判 (文政10年閏6月28日～文政12年7月10日) ・外向拵合 (文政10年閏6月23日～文政12年6月1日) ・諸触違并重立候違事共 (文政10年閏6月16日～文政12年7月10日) ・集り (文政10年閏6月23日～文政12年7月29日)
惣目録	館守 仁位久兵衛 取官護送裁判より兼勤 小野十郎兵衛 年限裁判より助勤 嶋 雄権右衛門	(備考欄参照)	惣目録.[37]	WA1-6-22	1冊	23.5×17.0	85	原表紙に「文政十一戊子年十一月より同十三庚寅年九月二至」の墨書あり。 【内容】 ・館守 (文政11年11月13日～文政13年9月14日) ・八送使 不時送使 裁判 (文政12年8月6日～文政13年9月13日) ・諸触違并重立候違し事共 (文政12年8月1日～文政13年9月13日) ・外向拵合 (文政12年8月19日～文政13年9月10日) ・集 (文政12年8月3日～文政13年9月10日)
惣目録	館守 仁位系一郎	(備考欄参照)	惣目録.[38]	WA1-6-22	1冊	23.8×18.8	212	原表紙に「文政十三庚寅年七月ヨリ天保五年七月二至」の墨書あり。 【内容】 ・館守 (文政13年7月27日～天保5年7月10日) ・八送使 不時送使 裁判 (文政13年9月18日～天保5年7月7日) ・外向拵合 (文政13年10月7日～天保5年6月29日) ・諸触違并重立候違し事共 (文政13年9月14日～天保5年7月7日) ・集り (文政13年9月20日～天保5年7月5日)

惣目録	館守 樋口巨理	(備考欄参照)	惣目録, [39]	WA1-6-22	1冊	24.2×18.3	145	<p>原表紙に「天保三壬辰自九月同[丙]申年五十一月」の墨書あり。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館守 (天保3年9月28日～天保7年12月17日) ・参判使 (天保6年6月22日～天保6年11月7日) ・九送使 不時送使 裁判 (天保5年7月19日～天保7年11月7日) ・諸達 (天保5年7月8日～天保7年11月16日) ・外向掛合 (天保5年7月11日～天保7年11月10日) ・集り (天保5年7月8日～天保7年11月18日)
惣目録	吉川右近	(備考欄参照)	惣目録, [40]	WA1-6-22	1冊	24.0×18.3	110	<p>原表紙に「天保七丙申年十一月より同一庚子年六月迄」の墨書あり。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館守 (天保7年11月16日～天保11年7月12日) ・諸送使 (天保7年11月23日～天保11年7月4日) ・外向 (天保7年11月18日～天保11年6月10日) ・諸触達 (天保7年11月18日～天保11年7月7日) ・集 (天保7年11月18日～天保11年7月10日)
惣目録	館守 古川采女	(備考欄参照)	惣目録, [41]	WA1-6-22	1冊	23.8×18.3	142	<p>原表紙に「共式冊」「自天保十己亥年十一月至弘化三丙午年九月」の墨書あり。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館守 (天保10年11月28日～弘化5年3月22日) ・参判 (天保11年5月27日～弘化2年2月8日) ・八送使 不時送使 裁判 (天保11年6月13日～弘化3年9月11日) ・外向掛合 (天保11年6月13日～弘化3年9月11日) ・諸触達 (天保12年6月8日～弘化3年9月1日)
惣目録	館守 古川采女	天保11年5月24日～弘化3年9月11日	惣目録, [42]	WA1-6-22	1冊	23.8×18.3	216	<p>原表紙に「[天]保十一庚子五月至弘化三丙午年九月」の墨書あり。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
惣目録	館守 樋口彌正	(備考欄参照)	惣目録.[43]	WA1-6-22	1冊	24.0×18.0	114	原表紙に「自天保十四癸卯年五月至嘉永三庚戌年」の墨書あり。 【内容】 ・館守 (天保14年5月5日～嘉永3年5月11日) ・八送使 不時送使 裁判 (弘化3年9月15日～嘉永2年12月18日) ・外向掛合 (弘化3年9月22日～嘉永2年12月14日) ・諸触達 (弘化3年9月12日～嘉永2年12月11日) ・集 (弘化3年9月12日～嘉永3年1月1日)
惣目録	館守 吉田外守	(備考欄参照)	惣目録.[44]	WA1-6-22	1冊	24.0×18.0	173	原表紙に「自嘉永元戊申年十一月至同六癸丑年二月」の墨書あり。 【内容】 ・館守 (嘉永1年11月23日～嘉永6年2月19日) ・[陳賀使] (嘉永3年2月28日～嘉永5年2月28日) ・諸触達 (嘉永3年2月3日～嘉永6年1月11日) ・八送使 不時送使 裁判 漂民 (嘉永3年1月24日～嘉永6年2月2日) ・外向掛合 (嘉永3年1月24日～嘉永6年2月2日) ・集 (嘉永3年1月21日～嘉永6年2月3日)
惣目録	館守 表郡左衛門	(備考欄参照)	惣目録.[45]	WA1-6-22	1冊	23.9×17.8	230	原表紙に「共二冊」「從嘉永五壬子年安政二乙卯年迄」の墨書あり。「惣目録.[45]と「惣目録.[46の1]」「惣目録.[46の2]」とは同内容。 【内容】 ・館守 (嘉永5年5月13日～安政2年11月19日) ・参判使 (嘉永7年4月10日～安政3年12月23日) ・八送使 不時送使 裁判 (嘉永6年2月4日～安政2年12月29日) ・外向掛合 (嘉永6年2月11日～安政2年12月29日) ・諸触達 (嘉永6年2月7日～安政2年12月28日) ・集 (嘉永6年2月4日～安政2年12月29日)

惣目録	館守 俵郡左衛門	(備考欄参照)	惣目録. [46の1]	WA1-6-22	1冊	24.7×17.5	102	原表紙に「從嘉永五壬子年安政二乙卯年迄」の墨書あり。「惣目録. [46の2]」と分冊したもの。「惣目録. [45]」と「惣目録. [46の1]」「惣目録. [46の2]」と同内容。 【内容】 ・ 館守 (嘉永5年5月13日～安政2年11月19日) ・ 参判使 (嘉永7年4月10日～安政3年12月23日) ・ 八送使 不時送使 裁判 (嘉永6年2月4日～安政2年12月29日) ・ 外向掛合 (嘉永6年2月11日～安政2年12月29日) ・ 諸触達 (嘉永6年2月7日～安政2年12月28日)
[惣目録]	[館守 俵郡左衛門]	嘉永6年2月4日～ 安政2年12月29日	惣目録. [46の2]	WA1-6-22	1冊	24.7×17.6	128	原表紙、内表紙欠。「惣目録. [46の1]」と分冊したもの。「惣目録. [45]」と「惣目録. [46の1]」「惣目録. [46の2]」と同内容。 【内容】 ・ 集
惣目録	館守 俵郡左衛門	(備考欄参照)	惣目録. [47]	WA1-6-22	1冊	24.0×17.8	157	原表紙に「共二冊」「安政三丙辰年より同七庚申年迄」の墨書あり。 【内容】 ・ 館守 (安政3年1月19日～安政7年6月24日) ・ 参判使 (安政6年4月8日～安政7年6月25日) ・ 八送使 不時送使 裁判 (安政3年1月6日～安政7年6月23日) ・ 外向掛合 (安政3年1月18日～安政6年[カ]5月14日) ・ 諸触達 (安政3年2月6日～安政7年5月18日) ・ 集 (安政3年1月2日～安政7年6月28日)

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
惣目録	館守 彼郡左衛門	(備考欄参照)	惣目録. [48]	WA1-6-22	1冊	24.0×17.9	154	原表紙に「共二冊」「安政三丙辰年より同七庚申年迄」の墨書あり。罫紙下書きを付す。 【内容】 ・[館守] (安政3年5月16日～安政7年6月24日) ・参判使 (安政6年4月8日～安政7年6月25日) ・八送使 不時送使 裁判 (安政3年1月6日～安政7年6月23日) ・外向掛合 (安政3年1月18日～安政6年9月5日) ・諸触達 (安政3年2月6日～安政6年[カ]5月18日) ・集 (安政3年1月2日～安政7年6月28日)
惣目録	館守 番繩殿介	(備考欄参照)	惣目録. [49]	WA1-6-22	1冊	23.9×18.6	113	原表紙に「文久三癸亥年從正月慶応二丙寅年至正月」の墨書あり。 【内容】 ・館守 (文久3年1月16日～元治2年6月11日) ・諸触達 (文久3年4月19日～元治2年6月6日) ・諸送使 (文久3年4月25日～元治2年6月9日) ・外向 (文久3年4月17日～慶応2年1月6日) ・集 (文久3年4月17日～元治2年9月27日)
毎日記惣目録	館守 [原]宅[右衛門]	(備考欄参照)	惣目録. [50]	WA1-6-22	1冊	24.0×17.8	142	原表紙に墨書の跡あり。破損により判読不能。冒頭に部立の目次を付す。 【内容】 ・館守 (元治2年1月12日～慶応3年4月11日) ・御僉官 (慶応1年6月12日～慶応3年3月27日) ・外向 (慶応1年6月13日～慶応3年3月21日) ・触達 (慶応1年6月21日～慶応3年3月11日) ・集 (慶応1年6月12日～慶応3年3月27日)

惣目録	再□館司 番高[麗造]	(備考欄参照)	惣目録 [51の1]	WA1-6-22	1冊	24.5×17.5	100	原表紙に「慶応二丙寅年明治三庚午年閏十月二至」の墨書あり。「惣目録.[51の2]」「惣目録.[51の3]」と分冊したものの。 【内容】 ・館守 (慶応2年9月13日～明治3年閏10月5日) ・御灸旨 (慶応3年4月6日～明治3年閏10月5日) ・触達 (慶応3年4月6日～明治3年閏10月2日) ・外向 (慶応3年4月6日～明治3年閏10月1日) ・集 (慶応3年4月1日～慶応3年4月30日)
[惣目録]	[再□館司 番高麗造]	慶応3年5月1日～ 明治1年12月29日	惣目録 [51の2]	WA1-6-22	1冊	24.5×17.5	106	原表紙、内表紙欠。「惣目録.[51の1]」「惣目録.[51の3]」と分冊したものの。 【内容】 ・[集]
[惣目録]	[再□館司 番高麗造]	明治2年1月8日～ 明治3年閏10月5日	惣目録 [51の3]	WA1-6-22	1冊	24.6×17.5	81	原表紙、内表紙欠。「惣目録.[51の1]」「惣目録.[51の2]」と分冊したものの。 【内容】 ・[集]

1 館守毎日記関係

(4) 『分類事考』

1 館守毎日記関係

(4) 『分類事考』 17冊 [現在21冊に分冊]

第77代館守戸田頼母(三任)が、寛政7年(1795)総ての『館守毎日記』を項目毎に分類して編年体で編集したもの。序文に「館守方日記惣目録年々冊数相増、差掛事例を考候にも殊外手入二在之、依之旧事編集より拙者三任之節惣目録迄分類して此節編集し、後考二便り之在之如くいたし置候」とあり、『旧事編集』とその続編である『惣目録』も年代と共に冊数が増加したため、より効率よく全体を鳥瞰できよう、分類項目を統一して便宜に備えたところ。さらに戸田頼母は、序文で「尔今以後御代々惣目録出来之上、右分類之通御仕継被成度希存候」と述べ、後代の館守へ『惣目録』作成と分類方法を継承するよう願っており、最終的に本書は貞享2年(1685)から慶応3年(1867)までの『館守毎日記』の記事を収録するに至った。

本書の目録に収録された分類項目のうち、主なものを列記すると以下の通りである。これらは館内に滞在する役員や役職、あるいは語事を端的に示すキーワードでもある(数字は項目番号)。

- ①館守・館医・書役、②参判使、③八送使・送使・僉官、④裁判・不時送使、⑤漂差使・賄通詞、⑥代官方・濱方・通詞・詞稽古・東向寺、⑦諸触達、⑧角・銅・看品・公作

米・公米、人參・商買物、⑨監董官・内外普請事(欠本)、⑩法事・以配庵印鑑・注文物、⑪不時被下物・御賞美巻免・御免俵子・御免物・忌御免・拝借、⑫御省略・古館墓所詣・服用人參・諸受負、又者跡残・武器・制札・多太浦南川迎番・祈祷、⑬外向事考掛合事(欠本)、⑭信使・訊官・東萊釜山・両訊・判事中、⑮漂流船・破船・難船、⑯家搜人改・変死・死刑・囚人口書・交奸・潜商・盗人・紛失物、⑰野火・出火・呵り・死去・凶変、⑱船滄普請・中川浚・牧ノ嶋水架・斛廻・枘・五日次・炭柴・喧嘩・開市・朝市、⑲下人・中山・年々定式(打謝[射])初・壁書・読渡・新酒売出・鶉狩・水架見分、小者召抱(葉種方定夫・和館水夫・代官方走番・藏番) (田代和生)

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名. [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
分類事考 巻・ 細目録	戸田頼母源暢明[ほか]	貞享2年8月23日～ 慶応3年6月8日	分類事考.[1]	WA1-6-31	1冊	24.8×19.2	214	原表紙に「館守并館医書役以下共」の墨書あり。冒頭に戸田頼母の序文及び各冊内容の目録を付す。作成者は序文による。戸田頼母以降書き継がれたもの。 【内容】 ・館守并館医書役以下共 【戸田頼母序文】 分類事考 館守方日記惣目録年々冊数相増、差掛事例を考候にも、殊外手入ニ在之、依之旧事編集より拙者三任之節、惣目録送分類して、此節編集し、後考ニ便り之之如くいたし置候、尔今以後御代々惣目録出来之上、右分類之通、御仕継被成度希存候、以上、 寛政七乙卯年 三任 戸田頼母 十月 日 源暢明 (印：「源姓戸田暢明」) 後館守各様 此分類事考仕立候付而者、数十年來数多之有例、的然として目前ニ顕れ、何様之例茂考候得ハ、出テ来、亦者有例を以推し考候得者、準例も忽相生候様之事類も可被多之所、有例も有例ニ依、却而前後差障、後世より見候得ハ左様在之間數与存候取計も多候得者、申サハ例者例ニして、宜キ例者取用、不立例ハ不用ニハ不如候、凡事物之土台を致所置可取計事第一二候、拙者儀不動弁之身分不存者、三任迄被仰付候付、前麻働之節勘弁薄候而有例ニ混ミ候ニ、慥愚者之一得与存、記置候事、
分類事考 式	[戸田頼母源暢明]ほか	元禄4年11月6日～ 慶応3年5月19日	分類事考.[2]	WA1-6-31	1冊	24.6×19.5	166	原表紙に「参判使并被相附候面々共」の墨書あり。作成者は「分類事考.[1]」による。 【内容】 ・参判使并被相附候面々共

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
分類事考三	[戸田頼母源暢明ほか]	貞享3年8月10日～ 文久2年6月23日	分類事考、[3]	WA1-6-31	1冊	24.7×19.1	364	原表紙に「八送使并御送夫附り僉官二拘り候儀多くハ此細二記」の墨書あり。作成者は「分類事考、[1]」による。 【内容】 ・八送使并御送使
分類事考四	[戸田頼母源暢明ほか]	(備考欄参照)	分類事考、[4]	WA1-6-31	1冊	25.0×19.6	145	原表紙に「裁判、不時御送使」の墨書あり。作成者は「分類事考、[1]」による。 【内容】 ・裁判(貞享2年10月9日～万延1年5月27日) ・不時御送使(貞享3年8月22日～文久3年9月27日)
[分類事]考五	[戸田頼母源暢明ほか]	(備考欄参照)	分類事考、[5]	WA1-6-31	1冊	25.0×19.4	260	原表紙に「漂差使并楠通詞警固共二、御使并不時役々被差渡」の墨書あり。作成者は「分類事考、[1]」による。 【内容】 ・漂差使并楠通詞警固共二(貞享2年11月20日～慶応3年4月23日) ・御使并不時役々被差渡(元禄5年5月22日～慶応2年12月22日)
分類事考六	[戸田頼母源暢明ほか]	(備考欄参照)	分類事考、[6]	WA1-6-31	1冊	26.0×19.5	435	原表紙に「代官方、浜方別方[共]、通詞并詞稽古、東向寺」の墨書あり。作成者は「分類事考、[1]」による。罫紙下敷きを添付。 【内容】 ・代官方(宝永3年5月25日～安政6年10月27日) ・浜方別方共二(元禄12年1月25日～安政7年11月5日) ・通詞并詞稽古(宝永7年8月23日～安政6年10月8日) ・東向寺(元禄15年4月17日～安政5年3月29日)
分類事考七	[戸田頼母源暢明ほか]	貞享3年7月23日～ 慶応3年4月6日	分類事考、[7]	WA1-6-31	1冊	24.7×19.2	216	原表紙に「諸触達」の墨書あり。作成者は「分類事考、[1]」による。 【内容】 ・諸触達

分類事考 八	[戸田頼母源暢明ほか]	(備考欄参照)	分類事考. [8]	WA1-6-31	1冊	24.8×19.6	102	原表紙に「角銅井看品共、公作米公木人參総テ御商売物」の墨書あり。作成者は「分類事考. [1]」による。 【内容】 ・角銅井看品共 (元禄2年3月18日～安政6年12月2日) ・公作米公木人參総テ御商売物 (貞享3年10月13日～安政4年2月18日)
分類事考 拾	[戸田頼母源暢明ほか]	(備考欄参照)	分類事考. [10]	WA1-6-31	1冊	24.8×19.6	69	原表紙に「御法事、御印井以御庵印鑑、御注文物之事外向共、御主向筋之事」の墨書あり。作成者は「分類事考. [1]」による。裏紙下敷きを添付。 【内容】 ・御法事 (元禄2年10月26日～安政5年5月15日) ・御印井以御庵印鑑 (元禄8年9月18日～安政3年6月29日) ・御注文物之事外向共 (貞享3年11月21日～天保7年8月2日) ・御主向筋之事 (安政3年6月10日～万延2年3月1日)
分類事考 拾壹	[戸田頼母源暢明ほか]	元禄1年2月13日～ 寛政12年6月27日	分類事考. [11の1]	WA1-6-31	1冊	25.5×19.1	76	原表紙に「不時被下物并御賞美卷免之事、御免候子并御免物、忌御免、拜借外向共、在館役々送候子御借上」の墨書、「侍中 町役諸組以下」の墨書追記あり。「分類事考. [11の2]」～「分類事考. [11の5]」と分冊したもの。作成者は「分類事考. [1]」による。 【内容】 ・不時被下物并御賞美卷免米之事
[分類事考 拾壹]	[戸田頼母源暢明ほか]	寛政12年7月2日～ 嘉永5年閏2月6日	分類事考. [11の2]	WA1-6-31	1冊	25.5×19.1	93	原表紙、内表紙久。文政1年10月4日条を朱筆にて抹消し、「一侍中、一町役諸組以下 吟味方混雜二付此度細新二出し候事 文化十三丙子年正月元日」と朱書あり。「分類事考. [11の1]」、「分類事考. [11の3]」～「分類事考. [11の5]」と分冊したもの。作成者は「分類事考. [1]」による。 【内容】 ・不時被下物并御賞美卷免米之事

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 【冊番号】	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
[分類事考 拾壹]	[戸田頼母源暢明ほか]	文化13年1月18日～ 安政6年6月26日	分類事考、 【11の3】	WA1-6-31	1冊	25.5×18.9	72	原表紙、内表紙欠。巻頭に「待中不時被下 御賞美卷米免」の墨書あり。「分類事考、【11の1】～「分類事考、【11の2】、 「分類事考、【11の4】」～「分類事考【11の5】」と分冊したものの。作成者は「分類事考、【11】」による。 【内容】 ・待中（待中不時被下 御賞美卷米免）
[分類事考 拾壹]	[戸田頼母源暢明ほか]	文化13年1月22日～ 文久1年7月10日	分類事考、 【11の4】	WA1-6-31	1冊	25.7×18.9	129	原表紙、内表紙欠。巻頭に「諸組以下不時被下 町役共ニ」の墨書あり。「分類事考、【11の1】」～「分類事考、【11の3】、 「分類事考、【11の5】」と分冊したものの。作成者は「分類事考、 【11】」による。 【内容】 ・町役諸組以下（諸組以下不時被下 町役共ニ）
[分類事考 拾壹]	[戸田頼母源暢明ほか]	(備考欄参照)	分類事考、 【11の5】	WA1-6-31	1冊	25.5×19.1	55	原表紙、内表紙欠。各項目冒頭に「御免候子并御免物」「忌御免」「拝借外向共」「在館役々送候子御借上」の墨書あり。「分類事考、【11の1】」～「分類事考、【11の4】」と分冊したものの。作成者は「分類事考、【11】」による。 【内容】 ・御免候子并御免物（元禄7年12月11日～嘉永7年9月21日） ・忌御免（宝暦1年4月26日～安政2年10月13日） ・拝借外向共（宝永8年6月17日～安政3年12月22日） ・在館役々送候子御借上（万延1年7月16日～万延1年12月25日）

分類事考 拾二	[戸田頼母源暢明ほか]	(備考欄参照)	分類事考.[12]	WA1-6-31	1冊	25.0×19.3	74	<p>原表紙に「御省略、古館墓所詣、館用人参之事、諸請負、又者跡残、停止被差免共、武器、御制札、多太浦南川迎番、御祈禱」の墨書あり。作成者は「分類事考.[1]」による。罫紙下敷きを添付。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御省略(元禄12年1月19日～嘉永6年[11月]13日) ・古館墓所詣(元禄7年2月29日～天保16年2月9日) ・服用人参之事(宝永8年9月10日～天保14年8月7日) ・諸請負(元禄2年5月14日～安政3年6月28日) ・又者跡残(宝永8年4月25日～安政4年6月1日) ・停止被差免共(元禄4年11月24日～天保14年12月6日) ・武器(貞享3年3月28日～安政4年2月23日) ・御制札(貞享3年4月21日～安政4年閏5月2日) ・多太浦南川迎番(貞享4年5月23日～文政9年7月14日) ・御祈禱(宝暦13年10月2日～安政3年11月21日)
分類事考 十四	[戸田頼母源暢明ほか]	(備考欄参照)	分類事考.[14]	WA1-6-31	1冊	25.1×19.3	178	<p>原表紙に「信使訳官、東葉釜山、両訳并判事申中、両訳其以下江被下物」の墨書あり。作成者は「分類事考.[1]」による。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信使 訳官(元禄2年2月19日～安政7年6月20日) ・東葉 釜山(元禄3年8月13日～安政4年閏5月13日) ・両訳并判事申中(元禄2年3月7日～安政4年4月9日) ・両訳其以下江被下物(貞享2年9月28日～文久2年3月12日)
分類事考 拾五	[戸田頼母源暢明ほか]	(備考欄参照)	分類事考.[15]	WA1-6-31	1冊	24.8×19.3	91	<p>原表紙に「漂流船、破船難船内外共、異様船来泊之事」の墨書あり。作成者は「分類事考.[1]」による。「異様船来泊之事」項の頭は「異様船釜山浦来泊」とあり。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漂流船(貞享4年5月26日～安政4年7月6日) ・破船難船内外共(元禄2年1月23日～文久2年2月20日) ・異様船来泊之事(寛政9年8月25日～安政6年6月15日)

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
分類事考 拾六	[戸田頼母源暢明ほか]	(備考欄参照)	分類事考. [16]	WA1-6-31	1冊	25.1×19.0	104	原表紙に「家捜入改、変死 死刑 外向共、囚人口書口上書詮議、交奸、潜商、盗人内外共并紛失物」の墨書あり。作成者は「分類事考. [1]」による。罫紙下敷きを添付。 【内容】 ・家捜入改 (元禄3年2月26日～安政7年6月1日) ・変死死刑外向共 (貞享4年5月25日～嘉永7年7月11日) ・囚人口書口上書詮議 (元禄5年3月23日～安政5年11月4日) ・交奸 (元禄3年2月26日～天明6年12月28日) ・潜商 (貞享4年5月25日～慶応2年7月26日) ・盗人内外共并紛失物 (貞享3年5月26日～元治1年8月8日)
分類事考 拾七	[戸田頼母源暢明ほか]	(備考欄参照)	分類事考. [17]	WA1-6-31	1冊	25.0×19.2	147	原表紙に「野火出火 地震、呵り、死去、凶変内外共」の墨書あり。作成者は「分類事考. [1]」による。罫紙下敷きを添付。 【内容】 ・野火出火 (貞享5年2月13日～文久元年12月30日) ・呵り (元禄5年3月23日～元治1年2月21日) ・死去 (元禄7年7月7日～文久2年2月12日) ・凶変内外共 (貞享5年9月2日～安政3年9月4日)
分類事考 拾八	[戸田頼母源暢明ほか]	(備考欄参照)	分類事考. [18]	WA1-6-31	1冊	24.9×19.4	104	原表紙に「船滄普請中川渡收ノ鳥水架、廻廻并紳之事、五日次、炭柴、喧嘩、開市朝市」の墨書あり。作成者は「分類事考. [1]」による。 【内容】 ・廻廻并紳之事 (正徳6年12月15日～安政4年3月9日) ・五日次 (正徳3年2月28日～天保2年10月9日) ・炭柴 (元禄7年5月3日～慶応2年7月15日) ・船滄普請 中川渡 收ノ鳥水架 (宝永8年10月30日～安政4年9月11日) ・開市朝市 (元禄4年8月22日～安政4年6月30日)

分類事考 拾九	[戸田頼母源暢明ほか]	(備考欄参照)	分類事考.[19]	WA1-6-31	1冊	25.2×19.3	567	<p>原表紙に「集り、小者召抱、浜屋形普請、下人跡残 遣[帰 遣[帰 遣[帰 出何 鴉狩 水架見分]」(「集り」は大字で記され、小さく「大 小船着祭」と肩に記載)の墨書あり。作成者は「分類事考.[19]」による。「集り」文化12年12月12日項目の次項目に朱書 で「一 下人 跡残 連帰り、一 中山 門松迎 松伐渡、一定式 打簾物 御壁書読渡 新酒売出何 鴉狩 水架見分、吟味方混雑二 相成二付此三か細出し候事、文化十三丙子年正月元日」と朱 書あり。「浜屋形普請」項は本文に見当たらないが、「中山 門 松[迎] 松伐渡」中に関連すると思われる記事あり。紙下敷 きを添付。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集り (貞享2年9月6日～安政7年6月29日) ・薬種方定夫 和館水夫 御代官方走番 御蔵番 小者召抱 (文化 13年9月3日～安政4年5月21日) ・下人 跡残 連帰り (文化13年1月19日～嘉永6年4月28日) ・中山 門松迎 松伐渡 (文化13年1月22日～安政4年12月12日) ・定式 打簾初 御壁書読渡 新酒売出 鴉狩 水架見分 (文化13 年1月2日～安政5年3月18日)
---------	-------------	---------	-----------	----------	----	-----------	-----	---

2 裁判記録関係

裁判（外交官）の交渉記録。裁判の倭館派遣は館守よりも古く、文禄・慶長の役（1592-98年）以前からといわれている。始めは町人が派遣されていたが、慶安4年（1651）官管貿易の輸入品である公木（木綿）を米に換える「換米の制」が5年期限で成立し、この年限更新の交渉に裁判があたったため職務範囲が複雑になり、そのころから士分者が任務につくようになった。裁判には倭館での滞在期限がなく、ひとつの裁判の派遣中に別の裁判が派遣されることもあり、いつしか常駐役員の扱いを受けるようになった。裁判の種類は、以下の4通りである。

- ① 使迎送裁判（通信使派遣に関する下交渉と、来日・帰国時の迎送）。
- ② 訳官迎送裁判（対馬へ派遣される訳官使の迎送）。
- ③ 公作米年限裁判（「換米の制」の年限更新交渉）。
- ④ 幹事裁判（上記以外の交渉）。

裁判の起源は古いが、記録の提出が義務化されたのは宝永2年（1705）以降のことである。このため現存するのは佐治宇右衛門（訳官迎送裁判）派遣の宝永2年2月25日の記事からで、最終は渡辺小右衛門（公作米年限裁判）の明治4年（1871）2月3日である。このうち嶋雄八左衛

門・雨森東五郎・松浦賛治・朝岡一学・戸田頼母の裁判派遣5回分が欠本であるが、記録が義務化してから延べにして81回（病気などによる代行分を含む）の発行があり、それからみれば僅かである。

記録の内容は、任命の日から帰国までを日記形式に書き留めた本文と、国元家老との往復書状控（別冊）を一セツトとし、これらを各二部ずつ作成して倭館（現在当館所蔵）と対馬藩国元（現在韓国国史編纂委員会所蔵）に保管した。『館守毎日記』と異なる点は、館内の出来事よりも、交渉経過を中心に記録されていることである。裁判は本来の派遣名目以外に、複数の懸案事項を持ち込むことが普通で、なかには日朝関係をゆるがしかねない重要案件も含まれることから、日朝外交の交渉実態を知るためには不可欠な史料といえる。このほか外交儀礼に欠かせない事項として、宴享の規式や日供（支給物）の内容について詳細な記録を残すよう指示されており、とりわけ倭館で提供される饗応料理について、献立・食器・食材にいたるまで事細かに書き留められている。このため本書は、日朝食文化交流の歴史を調べる基礎的な文献としても注目される。

裁判については長正統「日鮮関係における記録の時代」

(『東洋学報』50-4、1968年)、倭館の食文化交流については田代和生『新・倭館—鎖国時代の日本人町』(ゆまに書房、2011年)を参照。(田代和生)

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
裁判記録	佐治宇右衛門	宝永2年2月25日～ 宝永2年9月9日	裁判記録. [1]	WA1-6-14	1冊	24.5×18.9	109	原表紙に「二冊之内」「宝永二乙酉年二月廿五日より九月十六日迄」の墨書あり。後欠か。
[裁判記録二]	[佐治宇右衛門]	宝永2年9月17日～ 宝永3年6月4日	裁判記録. [2]	WA1-6-14	1冊	24.1×18.8	104	原表紙に墨書なし。
裁判記録一	原五助	宝永3年7月28日～ 宝永4年3月6日	裁判記録. [3]	WA1-6-14	1冊	23.9×18.8	104	原表紙に「三」「自宝永三年丙戌七月廿八日至同四年丁亥三月十六日」「卅日詠官端国」の墨書あり。
裁判記録二	原五助	宝永4年3月6日～ 宝永4年8月30日	裁判記録. [4]	WA1-6-14	1冊	23.9×18.7	109	原表紙に「三」「宝永四丁亥年自三月六日至八月晦日」「筑前漂人之儀有之」の墨書あり。
裁判記録三終	原五助	宝永4年9月1日～ 宝永5年閏1月24日	裁判記録. [5]	WA1-6-14	1冊	23.6×18.8	109	原表紙に「三」「自宝永四年丁亥九月初日至同五年戊子閏正月廿四日」の墨書あり。
裁判記録一	龍田権兵衛	宝永5年9月5日～ 宝永5年12月30日	裁判記録. [6]	WA1-6-14	1冊	23.9×18.9	105	原表紙に「自宝永五年戊子九月五日至極月晦日」の墨書あり。
裁判記録二	龍田権兵衛	宝永6年1月1日～ 宝永6年4月4日	裁判記録. [8]	WA1-6-14	1冊	23.3×19.5	120	原表紙に「自宝永六年己丑正月元日至四月四日詠官崔同知韓僉正端国迄」の墨書あり。
裁判記録三	龍田権兵衛	宝永6年4月5日～ 宝永6年8月29日	裁判記録. [9]	WA1-6-14	1冊	24.1×18.8	113	原表紙に「自宝永六年己丑四月五日至八月廿九日」の墨書あり。
裁判記録四	龍田権兵衛	宝永6年9月1日～ 宝永7年10月2日	裁判記録. [10]	WA1-6-14	1冊	26.4×19.9	96	原表紙に「宝永六年己丑自九月朔日宝永七年庚寅至五月」の墨書あり。
裁判記録老	加納幸之介	宝永6年8月18日～ 宝永6年12月30日	裁判記録. [7]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.6	104	原表紙に「宝永六歳己丑自八月十八日至十二月晦日」「三冊之内」「詠官往還」の墨書あり。
裁判記録武	加納幸之介	宝永7年1月1日～ 宝永7年4月8日	裁判記録. [11]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.6	104	原表紙に「宝永七歳庚寅自正月元日至四月八日」「三冊之内」「詠官往還」の墨書あり。
裁判記録参	加納幸之介	宝永7年4月9日～ 宝永7年9月29日	裁判記録. [12]	WA1-6-14	1冊	26.1×19.4	104	原表紙に「宝永七歳庚寅自四月九日至九月」「三冊之内」「詠官往還」の墨書あり。

裁判記録 巻	寺田一郎兵衛	正徳2年2月18日～ 正徳2年7月30日	裁判記録、[13]	WA1-6-14	1冊	25.8×20.1	126	原表紙に「正徳貳壬辰歳自二月十八日至[七]月晦日」「二冊ノ内」の墨書あり。
裁判記録 式	寺田一郎兵衛	正徳2年8月1日～ 正徳2年4月19日	裁判記録、[14]	WA1-6-14	1冊	25.3×20.0	129	原表紙に「正徳貳歳自壬辰八月朔日至癸巳四月十九日」「二冊ノ内」の墨書あり。
裁判記録 巻	樋口久米右衛門	正徳3年2月2日～ 正徳3年閏5月29日	裁判記録、[15]	WA1-6-14	1冊	26.1×20.1	139	原表紙に「正徳三癸巳自二月二日至閏五月晦日」「六冊之内外ニ改建一冊有之」の墨書あり。
裁判記録 二	樋口久米右衛門	正徳3年6月1日～ 正徳3年9月30日	裁判記録、[16]	WA1-6-14	1冊	26.1×20.1	111	原表紙に「正徳三癸巳自六月朔日至九月晦日」の墨書あり。
裁判記録 三	樋口久米右衛門	正徳3年10月1日～ 正徳4年2月29日	裁判記録、[17]	WA1-6-14	1冊	26.4×19.9	123	原表紙に「正徳三癸巳自十月朔日同四甲午至二月廿九日」の墨書あり。
裁判記録 四	樋口久米右衛門	正徳4年3月1日～ 正徳4年8月30日	裁判記録、[18]	WA1-6-14	1冊	26.1×20.2	108	原表紙に「正徳四甲午自三月朔日至八月晦日」の墨書あり。
裁判記録 五	樋口久米右衛門	正徳4年9月1日～ 正徳5年5月4日	裁判記録、[19]	WA1-6-14	1冊	26.2×20.1	145	原表紙に「正徳四甲午自九月朔日同乙未至五月」の墨書あり。
裁判記録 一	瀧六郎右衛門	享保1年1月22日～ 享保1年12月29日	裁判記録、[20]	WA1-6-14	1冊	25.5×19.6	113	原表紙に「正徳六丙申年自正月廿二日至十二月廿九日」「六」の墨書あり。
裁判記録 二	瀧六郎右衛門	享保2年1月1日～ 享保2年3月29日	裁判記録、[21]	WA1-6-14	1冊	25.6×19.7	78	原表紙に「享保丁酉年自正月元日至三月廿九日」「六」の墨書あり。
裁判記録 三	瀧六郎右衛門	享保2年4月1日～ 享保2年7月29日	裁判記録、[22]	WA1-6-14	1冊	25.8×19.6	90	原表紙に「享保丁酉年自四月朔日至七月廿九日」「六」の墨書あり。
裁判記録 四	瀧六郎右衛門	享保2年8月1日～ 享保2年10月30日	裁判記録、[23]	WA1-6-14	1冊	25.6×19.6	90	原表紙に「享保丁酉年自八月朔日至十月晦日」「六」の墨書あり。

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
裁判記録 五	瀧六郎右衛門	享保2年11月1日～ 享保3年1月30日	裁判記録, [24]	WA1-6-14	1冊	25.7×19.5	71	原表紙に「享保二丁酉年自十一月朔日至同三正月廿九日」 「六」の墨書あり。
裁判記録 六	瀧六郎右衛門	享保3年2月1日～ 享保3年4月19日	裁判記録, [26]	WA1-6-14	1冊	25.6×19.7	76	原表紙に「享保三戊戌年自二月朔日至四月十九日」 「六」の墨書あり。
裁判記録 七	樋口孫左衛門	享保2年10月17日 ～享保3年4月30日	裁判記録, [25]	WA1-6-14	1冊	26.0×20.0	101	原表紙に「享保二丁酉年十月ヨリ至戊戌四月晦日」 「五冊之内」 の墨書あり。
裁判記録 八	樋口孫左衛門	享保3年5月1日～ 享保3年7月29日	裁判記録, [27]	WA1-6-14	1冊	26.2×20.1	88	原表紙に「享保三戊戌年五月ヨリ至七月廿九日」 「五冊之内」 の墨書あり。
裁判記録 九	樋口孫左衛門	享保3年8月1日～ 享保3年12月30日	裁判記録, [28]	WA1-6-14	1冊	26.0×20.2	100	原表紙に「享保三戊戌年八月ヨリ十二月廿九日至」 「五冊之内」 の墨書あり。
裁判記録 十	樋口孫左衛門	享保4年1月1日～ 享保4年4月30日	裁判記録, [29]	WA1-6-14	1冊	26.0×20.0	64	原表紙に「享保四己亥年正月ヨリ至四月晦日」 「五冊之内」 の墨書あり。
裁判記録 十一	樋口孫左衛門	享保4年5月1日～ 享保4年6月27日	裁判記録, [30]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.9	54	原表紙に「享保四己亥年五月ヨリ至六月廿七日」 「五冊之内」 の墨書あり。
裁判記録 十二	吉川六郎左衛門	享保4年12月28日 ～享保5年2月30日	裁判記録, [31]	WA1-6-14	1冊	26.2×19.7	55	原表紙に「享保四己亥歳同五庚子歳自十二月廿八日至二月晦 日」 「二冊」の墨書あり。
裁判記録 十三	吉川六郎左衛門	享保5年3月1日～ 享保5年8月16日	裁判記録, [32]	WA1-6-14	1冊	25.7×19.7	96	原表紙に「享保五庚子歳自三月朔日至八月十六日」 「二冊」 の墨書あり。
裁判記録 十四	三浦酒之允	享保5年5月28日～ 享保6年1月29日	裁判記録, [33]	WA1-6-14	1冊	25.6×20.3	86	原表紙に「享保五庚子年自五月廿八日同六年辛丑至正月廿九 日」 「五冊之内」の墨書あり。
裁判記録 十五	三浦酒之允	享保6年2月1日～ 享保6年3月29日	裁判記録, [34]	WA1-6-14	1冊	25.2×20.1	94	原表紙に「享保六辛丑年自二月朔日至三月廿九日」 の墨書あ り。

裁判記録 参	三浦酒之允	享保6年4月1日～ 享保6年7月30日	裁判記録. [35]	WA1-6-14	1冊	25.4×20.1	86	原表紙に「享保六辛丑年自四月朔日至七月晦日」の墨書あり。
裁判記録 肆	[三浦酒之允]	享保6年閏7月1日 ～享保6年9月29日	裁判記録. [36]	WA1-6-14	1冊	25.4×20.0	65	原表紙に「享保六辛丑年自閏七月朔[日至九月廿九日]」の墨書あり。
裁判記録 伍	三浦酒之允	享保6年10月1日～ 享保6年12月6日	裁判記録. [37]	WA1-6-14	1冊	25.7×20.2	60	原表紙に「享保六辛丑年自十月朔日至十二月六日」の墨書あり。
裁判記録 全	鈴木政右衛門	享保9年2月9日～ 享保9年12月5日	裁判記録. [38]	WA1-6-14	1冊	25.6×20.2	73	原表紙に「享保九甲辰歳自二月九日至八月廿八日」の墨書あり。享保9年8月晦日条の前に「一享保九甲辰八月廿八日裁判鈴木政右衛門死去仕ル、然其館守藤江者翌廿九日ニ相果之御案内申上候事」とあり。
公作米御用記録 全	裁判 鈴木政右衛門	享保9年5月18日～ 享保9年8月15日	公作米御用記 録	WA1-6-9	1冊	26.5×20.5	5	原表紙に「享保九甲辰歳自五月十八日至八月十五日」の墨書あり。
裁判記録 壹	松尾奎	享保9年9月10日～ 享保10年2月29日	裁判記録. [40]	WA1-6-14	1冊	25.6×19.9	85	原表紙に「享保九甲辰年自九月十日同十年乙巳二月廿九日」の墨書あり。
裁判記録 貳	松尾奎	享保10年3月1日～ 享保10年6月29日	裁判記録. [41]	WA1-6-14	1冊	25.3×19.9	64	原表紙に「享保十乙巳年自三月朔日同年至六月廿九日」の墨書あり。
裁判記録 参	松尾奎	享保10年7月1日～ 享保11年1月21日	裁判記録. [42]	WA1-6-14	1冊	25.5×20.0	110	原表紙に「享保十乙巳年自七月朔日同十一丙午年至正月」の墨書あり。
書状跡留 全	裁判 松尾奎	享保9年11月15日～ 享保10年12月4日	裁判記録. [39]	WA1-6-14	1冊	25.4×19.8	59	原表紙に「享保九甲辰年自十一月同十乙巳年至十二月」の墨書あり。
裁判記録 参	幾度六右衛門	享保10年7月9日～ 享保10年12月30日	裁判記録. [43]	WA1-6-14	1冊	26.0×20.3	79	原表紙に「享保十乙巳年自七月九日至十二月晦日」の墨書あり。

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
裁判記録 式	幾度六右衛門	享保11年1月1日～ 享保11年3月30日	裁判記録. [44]	WA1-6-14	1冊	26.0×20.1	105	原表紙に「享保十一丙午年自正月朔日至三月晦日」の墨書あり。
裁判記録 参	幾度六右衛門	享保11年4月1日～ 享保11年4月29日	裁判記録. [45]	WA1-6-14	1冊	25.9×20.1	42	原表紙に「享保十一丙午年四月中」の墨書あり。
裁判記録 四	幾度六右衛門	享保11年5月1日～ 享保11年7月29日	裁判記録. [46]	WA1-6-14	1冊	26.0×20.2	112	原表紙に「享保十一丙午年自五月朔日至七月廿九日」の墨書あり。
裁判記録 五	幾度六右衛門	享保11年8月1日～ 享保11年9月29日	裁判記録. [47]	WA1-6-14	1冊	26.1×20.2	91	原表紙に「享保十一丙午年自八月朔日至九月廿九日」の墨書あり。
裁判記録 六	幾度六右衛門	享保11年10月1日～ 享保11年12月30日	裁判記録. [48]	WA1-6-14	1冊	26.0×20.2	74	原表紙に「享保十一丙午年自十月朔日至十二月晦日」の墨書あり。
裁判記録 七	幾度六右衛門	享保12年1月1日～ 享保12年4月10日	裁判記録. [49]	WA1-6-14	1冊	26.2×20.2	83	原表紙に「享保十二丁未年自正月元日至四月」の墨書あり。
[裁判記録]	[吉川六郎左衛門]	享保18年5月28日～ 享保18年12月30日	裁判記録. [50]	WA1-6-14	1冊	25.7×20.0	131	原表紙に墨書なし。
裁判記録 式	吉川六郎左衛門	享保19年1月1日～ 享保19年4月30日	裁判記録. [52]	WA1-6-14	1冊	25.7×19.9	129	原表紙に「享保十九年甲寅自正月朔日至四月晦日」「共参冊」の墨書あり。
裁判記録 参	吉川六郎左衛門	享保19年5月1日～ 享保19年9月21日	裁判記録. [53]	WA1-6-14	1冊	25.8×19.4	107	原表紙に「享保十九年甲寅自五月朔日九[月]廿日至」「共参冊」の墨書あり。
裁判記録 老	浅井與左衛門	享保19年1月5日～ 享保19年12月30日	裁判記録. [51]	WA1-6-14	1冊	25.7×18.7	99	原表紙に「自享保十九甲寅年正月至同年十二月」「八冊之内」の墨書あり。冒頭に目次を付す。
裁判記録 式	浅井與左衛門	享保20年1月1日～ 享保20年3月30日	裁判記録. [55]	WA1-6-14	1冊	25.9×18.8	123	原表紙に「自享保貳拾乙卯年正月至同年三月」「八冊之内」の墨書あり。冒頭に目次を付す。

裁判記録 参	浅井與左衛門	享保20年閏3月1日～ 享保20年5月29日	裁判記録. [56]	WA1-6-14	1冊	25.7×188	115	原表紙に「自享保貳拾乙卯年閏三月至同年五月」「八冊之内」の墨書あり。冒頭に目次を付す。
裁判記録 四	浅井與左衛門	享保20年6月1日～ 享保20年8月29日	裁判記録. [57]	WA1-6-14	1冊	25.7×18.9	133	原表紙に「自享保貳拾乙卯年六月至同年八月」「八冊之内」の墨書あり。冒頭に目次を付す。
裁判記録 五	浅井與左衛門	享保20年9月1日～ 享保20年12月30日	裁判記録. [58]	WA1-6-14	1冊	25.7×188	153	原表紙に「自享保貳拾乙卯年九月至同年十二月」「八冊之内」の墨書あり。冒頭に目次を付す。
裁判記録 六	浅井與左衛門	元文1年1月1日～ 元文1年3月5日	裁判記録. [60]	WA1-6-14	1冊	25.8×187	97	原表紙に「自享保貳拾一丙辰年正月至同年三月」「八冊之内」の墨書あり。冒頭に目次を付す。
裁判記録 七 往 復之状摺	浅井與左衛門	享保19年10月10日 ～享保20年4月24日	裁判記録. [54]	WA1-6-14	1冊	25.8×18.9	110	原表紙に「自享保十九甲寅年十月十日至同貳拾乙卯年四月十六日」「八冊之内」の墨書あり。
裁判記録 八 往 復之状摺	浅井與左衛門	享保20年4月13日 ～元文1年1月7日	裁判記録. [59]	WA1-6-14	1冊	25.7×187	143	原表紙に「自享保貳拾乙卯年四月十六日至同年十二月廿九日」「八冊之内」の墨書あり。
五日權裁判記録 一	内野一郎左衛門	元文1年4月24日～ 元文1年8月30日	裁判記録. [61]	WA1-6-14	1冊	25.9×188	93	原表紙に「自享保二十一丙辰四月廿四日至元文元八月晦日」「三冊之内」の墨書あり。冒頭に目次を付す。
五日權裁判記録 二	内野一郎左衛門	元文1年9月1日～ 元文2年2月14日	裁判記録. [62]	WA1-6-14	1冊	26.2×18.2	111	原表紙に「自元文元丙辰九月朔日至同二丁巳二月」「三冊之内」の墨書あり。冒頭に目次を付す。
[警状控]	[内野市郎左衛門]	元文1年7月8日～ 元文1年11月19日	裁判記録. [237]	WA1-6-14	1冊	25.8×18.2	46	原表紙欠。
裁判記録 卷	原熊之允	元文2年12月20日 ～元文3年5月30日	裁判記録. [63]	WA1-6-14	1冊	25.7×197	70	原表紙に「自元文二丁巳十二月廿日至元文三戊午五月三十日」の墨書あり。
裁判記録 式	原熊之允	元文3年6月1日～ 元文3年8月22日	裁判記録. [64]	WA1-6-14	1冊	25.8×19.6	75	原表紙に「自元文三戊午六月朔日至同年八月二十二日」の墨書あり。
裁判記録 状摺 全	原熊之允	元文3年3月17日～ 元文3年8月9日	裁判記録. [65]	WA1-6-14	1冊	25.7×19.7	21	原表紙に「自元文三戊午三月十七日至同年八月九日」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
裁判記録 壹	幾度又右衛門	元文3年9月15日～ 元文3年10月29日	裁判記録. [66]	WA1-6-14	1冊	25.7×19.6	94	原表紙に「自元文三戊午九月十五日至同年十月廿九日」の墨書あり。
裁判記録 貳	幾度又右衛門	元文3年11月1日～ 元文4年1月30日	裁判記録. [67]	WA1-6-14	1冊	25.7×19.5	72	原表紙に「自元文三戊午十一月朔日至同四正月三十日」の墨書あり。
裁判記録 参	幾度又右衛門	元文4年2月1日～ 元文4年7月10日	裁判記録. [68]	WA1-6-14	1冊	25.5×19.5	119	原表紙に「自元文四己未二月朔日至同年七月十日」の墨書あり。
往復之御状摺 全	幾度又右衛門	元文3年11月2日～ 元文4年6月25日	往復書状控. [1]	WA1-6-38	1冊	25.8×19.3	89	原表紙に「自元文三戊午十一月二日[至]同四己未六月廿五日」の墨書あり。
裁判記録 壹	樋口五左衛門	元文4年1月23日～ 元文4年11月29日	裁判記録. [70]	WA1-6-14	1冊	25.8×18.6	83	原表紙に「自元文四己未正月至同年十一月」の「四冊之内」の墨書あり。
裁判記録 貳	樋口五左衛門	元文4年12月1日～ 元文5年3月29日	裁判記録. [71]	WA1-6-14	1冊	25.8×18.6	78	原表紙に「自元文四己未十二月至元文五庚申三月」の「四冊之内」の墨書あり。
裁判記録 参	樋口五左衛門	元文5年4月1日～ 元文5年7月1日	裁判記録. [72]	WA1-6-14	1冊	25.8×18.5	79	原表紙に「自元文五庚申四月至同年七月朔日」の「四冊之内」の墨書あり。
裁判記録 四 状 摺	樋口五左衛門	元文4年8月24日～ 元文5年6月3日	裁判記録. [69]	WA1-6-14	1冊	25.8×18.7	59	原表紙に「自元文四己未八月至元文五庚申六月」の「四冊之内」の墨書あり。
裁判記録 壹	平[直直]右衛門	寛保2年2月15日～ 延享1年7月29日	裁判記録. [73]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.7	62	原表紙に「自寛保貳壬戌年二月[至延享]元甲子年七月」の「六冊之内」の墨書あり。冒頭に目次を付す。
裁判記録 貳	平田直右衛門	延享1年8月1日～ 延享1年12月29日	裁判記録. [75]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.6	67	原表紙に「自[延]享元甲子年八月至同年十二月」の「六冊之内」の墨書あり。冒頭に目次を付す。
裁判記録 三	平田直右衛門	延享2年1月1日～ 延享2年5月29日	裁判記録. [76]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.7	60	原表紙に「自延享貳之丑年正月至同年五月」の「六冊之内」の墨書あり。冒頭に目次を付す。
裁判記録 [四]	[平田直右]右衛門	延享2年6月1日～ 延享2年10月29日	裁判記録. [77]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.6	77	原表紙に「自延享貳之丑年六月至同年十月」の「六冊之内」の墨書あり。冒頭に目次を付す。

裁判記録 五	平田直右[衛門]	延享2年11月1日～ 延享2年閏12月26日	裁判記録、[78]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.6	61	原表紙に「自延享乙丑年十一月至同年閏十二月」「六冊之内」の墨書あり。冒頭に目次を付す。
裁判記録 六 往復快摺	平田直右衛門	延享1年6月27日～ 延享2年閏12月8日	裁判記録、[74]	WA1-6-14	1冊	26.7×19.4	174	原表紙に「自延享元甲子年六月至同乙丑閏十二月」「六冊之内」の墨書あり。
裁判記録 七	鈴木市之進	延享2年10月17日～ 延享3年11月30日	裁判記録、[79]	WA1-6-14	1冊	25.8×19.5	63	原表紙に「自延享乙丑年[十月]十七[日]至延享三丙寅十一月三十日」の墨書あり。
裁判記録 八	鈴木市之進	延享3年12月1日～ 延享4年3月19日	裁判記録、[80]	WA1-6-14	1冊	25.8×19.5	59	原表紙に「自延享三丙寅十二月□至延享四丁卯三月」の墨書あり。
裁判記録 九	鈴木市之進	延享4年3月20日～ 延享4年8月29日	裁判記録、[82]	WA1-6-14	1冊	25.7×19.7	97	原表紙に「自延享四丁卯三月二十日至延享四丁卯八月二十九日」の墨書あり。
裁判記録 一〇	鈴木市之進	延享4年9月1日～ 延享4年11月7日	裁判記録、[84]	WA1-6-14	1冊	25.6×19.7	34	原表紙に「自延享四丁卯九月初日至延享四丁卯十一月七日」の墨書あり。
裁判往復快摺	鈴木市之進	延享3年9月24日～ 延享4年2月	裁判記録、[81]	WA1-6-14	1冊	25.8×19.7	15	原表紙に「自延享三丙寅九月至延享四丁卯二月」の墨書あり。
裁判往復快摺	鈴木市之進	延享4年6月17日～ 延享4年10月26日	裁判記録、[83]	WA1-6-14	1冊	25.7×19.6	17	原表紙に「自延享四丁卯六月十七日至延享四丁卯十二月二十六日」の墨書あり。
信使迎裁判記録 七	小野六郎右衛門	延享4年2月4日～ 延享4年9月30日	裁判記録、[85]	WA1-6-14	1冊	26.5×19.8	48	原表紙に「自延享四丁卯年二月至同年九月」「四冊之内」の墨書あり。
信使迎裁判記録 八	小野六郎右衛門	延享4年10月1日～ 延享4年12月29日	裁判記録、[86]	WA1-6-14	1冊	27.2×19.8	91	原表紙に「[自延享]四丁卯年十月[至同年]十二月」「四冊之内」の墨書あり。
信使迎裁判記録 九	小野六郎右衛門	延享5年1月1日～ 延享5年2月9日	裁判記録、[88]	WA1-6-14	1冊	26.5×19.4	53	原表紙に「[自]延享五戊辰年正月至同年二月」「四冊之内」の墨書あり。
[信使]送裁判記録	高雄八左衛門	寛延1年7月24日～ 寛延1年10月30日	裁判記録、[89]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.7	68	原表紙に「[自]延享五[七月]廿四[日]同至十月」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
信使送裁判記録	高雄八左衛門	寛延1年閏10月1日 ～寛延2年2月13日	裁判記録, [91]	WA1-6-14	1冊	26.1×19.8	97	原表紙に「自寛延元戊辰閏十月同至二己巳二月十四日」の墨書あり。
往復御状控信使送裁判	高雄八左衛門	寛延1年7月28日～ 寛延2年1月28日	裁判記録, [90]	WA1-6-14	1冊	26.1×19.6	103	原表紙に「自延享五戊辰七月至寛延二己巳二月」の墨書あり。
裁判記録 卷	小野六郎右衛門	延享4年4月1日～ 寛延2年6月30日	裁判記録, [87]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.5	74	原表紙に「自延享四丁卯年四月至寛延式己巳六月」「五冊之内」の墨書あり。冒頭に目次を付す。
裁判記録 式	小野六郎右衛門	寛延2年7月1日～ 寛延2年9月30日	裁判記録, [92]	WA1-6-14	1冊	26.2×19.5	71	原表紙に「自寛延式己巳年七月至同年九月」「五冊之内」の墨書あり。冒頭に目次を付す。
裁判記録 参	小野六郎右衛門	寛延2年10月1日～ 寛延2年12月30日	裁判記録, [93]	WA1-6-14	1冊	25.8×19.5	53	原表紙に「自寛延式己巳年十月至同年十二月」「五冊之内」の墨書あり。冒頭に目次を付す。
裁判記録 四	小野六郎右衛門	寛延3年1月1日～ 寛延3年5月1日	裁判記録, [95]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.5	104	原表紙に「自寛延参庚午年正月至同年四月」「五冊之内」の墨書あり。冒頭に目次を付す。
裁判記録 五	小野六郎右衛門	寛延2年4月27日～ 寛延3年4月16日	裁判記録, [94]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.4	129	原表紙に「自寛延式己巳年四月至同参庚午四月」「往復状留」「五冊之内」の墨書あり。
裁判記録 卷 冊	幾度治左衛門	宝暦1年閏6月27日 ～宝暦2年3月30日	裁判記録, [96]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.5	75	原表紙に「自寛延四辛未年閏六月廿七日至宝暦二壬申年三月晦日」「四冊之内」の墨書あり。
裁判記録 式	幾度治左衛門	宝暦2年4月1日～ 宝暦2年9月12日	裁判記録, [98]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.6	101	原表紙に「自宝暦二壬申年四月朔日至同年九月十二日」「四冊之内」の墨書あり。後半に宝暦2年9月12日から宝暦3年1月8日まで裁判死去後の記録を合冊している。末尾に4月3日、4月4日の記事を補記する。
裁判往復状控	幾度治左衛門	宝暦1年12月11日 ～宝暦2年8月28日	裁判記録, [97]	WA1-6-14	1冊	26.2×19.7	72	原表紙に「自寛延四辛未年十二月至宝暦二壬申年九月」「四冊之内」の墨書あり。

裁判記録 全	吉川兵衛左衛門	宝暦2年9月19日～ 宝暦2年12月16日	裁判記録。[99]	WA1-6-14	1冊	25.8×20.0	93	原表紙に「宝暦二年壬申自九月十九日至十二月十六日」の墨書あり。野紙下敷きを添付。
裁判記録 巻	多田主計	宝暦2年8月25日～ 宝暦3年5月29日	裁判記録。 [101]	WA1-6-14	1冊	26.7×19.6	96	原表紙に「自宝暦二壬申年八月念五日至同三癸酉年五月」 「共伍冊」の墨書あり。
裁判記録 式	多田主計	宝暦3年6月1日～ 宝暦3年8月23日	裁判記録。 [104]	WA1-6-14	1冊	27.0×19.5	57	原表紙に「自宝暦三癸酉年六月至同年八月念三日」 「共伍冊」の墨書あり。
裁判記録 参往 復状控	多田主計	宝暦2年11月2日～ 宝暦3年4月30日	裁判記録。 [102]	WA1-6-14	1冊	24.3×19.4	116	原表紙に「自宝暦二壬申歳十一月二日至同癸酉年四月十四日」 「共伍冊」の墨書あり。
裁判記録 肆往 復状控	多田主計	宝暦3年4月23日～ 宝暦3年8月4日	裁判記録。 [103]	WA1-6-14	1冊	24.0×19.2	125	原表紙に「自宝暦三癸酉年四月念三日至同年七月十七日」 「共伍冊」の墨書あり。
裁判記録 伍真 文手形控	多田主計	宝暦1年5月7日～ 宝暦3年6月	裁判記録。 [239]	WA1-6-14	1冊	27.1×20.0	33	原表紙に「共伍冊」の墨書あり。
裁判記録 全巻 冊	内野佐左衛門	宝暦2年4月11日～ 宝暦4年7月7日	裁判記録。 [100]	WA1-6-14	1冊	25.6×18.6	88	原表紙に「自宝暦二壬申四甲十一月一日至同四甲戌七月七日」の墨書あり。
裁判状控 全一 冊	内野佐左衛門	宝暦3年12月2日～ 宝暦4年6月27日	裁判記録。 [106]	WA1-6-14	1冊	25.8×18.8	25	原表紙に「自宝暦癸酉三年十二月二日至同四甲戌六月廿七日」の墨書あり。
裁判記録 巻	幾度九左衛門	宝暦3年8月6日～ 宝暦4年11月12日	裁判記録。 [105]	WA1-6-14	1冊	26.7×19.7	70	原表紙に「自宝暦三癸酉年八月六日至同四甲戌年十一月十二日」 「共貳冊」の墨書あり。
裁判記録 式往 復状控	幾度九左衛門	宝暦4年6月4日～ 宝暦4年11月3日	裁判記録。 [107]	WA1-6-14	1冊	24.1×19.2	138	原表紙に「自宝暦四甲戌年六月四日至同十一月三日」 「共貳冊」の墨書あり。
裁判記録 巻	幾度九左衛門	宝暦4年12月15日 ～宝暦5年4月30日	裁判記録。 [108]	WA1-6-14	1冊	25.6×19.9	54	原表紙に「自宝暦四甲戌年十二月至同五乙亥年四月」 「共二五冊」の墨書あり。
裁判記録 式	幾度九左衛門	宝暦5年5月1日～ 宝暦5年8月30日	裁判記録。 [110]	WA1-6-14	1冊	25.7×20.0	65	原表紙に「自宝暦五乙亥年五月至同年八月」 「共二五冊」の墨書あり。

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
裁判記録 参	幾度九左衛門	宝暦5年9月1日～ 宝暦6年1月27日	裁判記録。 [111]	WA1-6-14	1冊	25.5×20.0	84	原表紙に「自宝暦五乙亥年九月至同六年丙子正月」「共二五冊」の墨書あり。
裁判記録 肆 往 復状摺	幾度九左衛門	宝暦4年12月24日 ～宝暦5年7月10日	裁判記録。 [109]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.8	81	原表紙に「自宝暦肆甲戌年十二月至同五乙亥年六月」「共二五冊」の墨書あり。
裁判記録 伍	幾度九左衛門	宝暦5年7月3日～ 宝暦6年1月13日	裁判記録。 [112]	WA1-6-14	1冊	25.7×19.8	72	原表紙に「自宝暦五乙亥年七月至同六丙子年正月」「往復状摺」「共二五冊」の墨書あり。
裁判記録 老	[吉]村橋左衛門	宝暦8年8月28日～ 宝暦9年6月29日	裁判記録。 [113]	WA1-6-14	1冊	25.9×19.3	15	原表紙に「自宝暦八戌歳八月至同九己卯年六月」の墨書あり。
裁判記録 武	吉村橋左衛門	宝暦9年7月1日～ 宝暦9年9月30日	裁判記録。 [117]	WA1-6-14	1冊	25.9×19.6	41	原表紙に「自宝暦九己卯歳七月至同歳九月」の墨書あり。
裁判記録 参	吉村橋左衛門	宝暦9年10月1日～ 宝暦9年12月30日	裁判記録。 [115]	WA1-6-14	1冊	25.9×19.4	25	原表紙に「自宝暦九己卯歳十月至同歳十二月」の墨書あり。
裁判記録 肆	吉村橋左衛門	宝暦10年1月1日～ 宝暦10年4月28日	裁判記録。 [114]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.5	56	原表紙に「自宝暦十庚辰正[月]至同歳四月」の墨書あり。
裁判記録 伍 往 復状控	吉村橋左衛門	宝暦9年5月17日～ 宝暦10年4月22日	裁判記録。 [116]	WA1-6-14	1冊	25.7×19.7	47	原表紙に「自宝暦九己卯五月至宝暦十庚辰四月」の墨書あり。
[裁判記録]	[樋口七郎左衛門]	宝暦10年5月18日～ 宝暦11年8月29日	裁判記録。 [118]	WA1-6-14	1冊	26.1×19.6	70	原表紙欠。宝暦10年5月19日条の次は、宝暦11年2月27日条。
[裁判記録]	裁判 樋口左衛門	宝暦11年9月1日～ 宝暦11年12月30日	裁判記録。 [120]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.2	61	原表紙に「裁判 樋口左衛門」の墨書あり。
[裁判記録]	裁判 樋口左衛門	宝暦12年1月1日～ 宝暦12年6月30日	裁判記録。 [123]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.1	78	原表紙に「裁判 樋口左衛門」の墨書あり。
裁判往復状控	樋口左衛門	宝暦11年5月14日～ 宝暦11年12月20日	裁判記録。 [119]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.2	59	原表紙に「自宝暦十一辛巳五月至同十二月」の墨書あり。

裁判往復状控	樋口左衛門	宝暦12年3月28日～ 宝暦13年1月26日	裁判記録。 [124]	WA1-6-14	1冊	26.5×18.5	92	原表紙に「自宝暦十二壬午三月至同十三癸未正月」の墨書あり。内表紙に「裁判 樋口左衛門」の墨書あり。
信使迎裁判記録 巻	平田所左衛門	宝暦11年10月22日 ～宝暦13年5月22日	裁判記録。 [121]	WA1-6-14	1冊	26.2×19.2	90	原表紙に「自宝暦拾一半巳年十月至同十三年癸未五月」〔六冊之内〕の墨書あり。
信使迎裁判記録 巻	平田所左衛門	宝暦11年10月22日 ～宝暦13年5月22日	裁判記録。 [122]	WA1-6-14	1冊	26.6×19.5	90	原表紙に「宝暦十一辛巳より至同十二壬午同十三癸未年」〔巳十月廿二日より至末五月廿二日〕〔六冊之内〕の墨書あり。
信使迎裁判記録 式	平田所左衛門	宝暦13年5月23日～ 宝暦13年8月20日	裁判記録。 [127]	WA1-6-14	1冊	27.6×20.2	61	原表紙に「自宝暦拾三癸未年五月至同年八月」〔六冊之内〕の墨書あり。
信使迎裁判記録 参	平田所左衛門	宝暦13年8月21日～ 宝暦13年9月22日	裁判記録。 [128]	WA1-6-14	1冊	26.7×20.8	66	原表紙に「自宝暦拾三癸未年八月至同年九月」〔六冊之内〕の墨書あり。
信使迎裁判記録 四 往復状控	平田所左衛門	宝暦13年1月20日～ 宝暦13年6月22日	裁判記録。 [125]	WA1-6-14	1冊	27.5×19.9	69	原表紙に「自宝暦拾三癸未年正月至同年六月」〔六冊之内〕の墨書あり。
信使迎裁判真文 写 六終	平田所左衛門	宝暦13年5月～宝 暦13年9月	裁判記録。 [126]	WA1-6-14	1冊	26.8×19.9	34	原表紙に「自宝暦拾参癸未年五月至同九月」の墨書あり。
信使送裁判記録	吉村橋左衛門	明和11年6月18日～ 明和11年10月29日	裁判記録。 [131]	WA1-6-14	1冊	26.4×20.1	71	原表紙に「自明和元甲申歳六月至同年十月」〔三冊之内〕の墨書あり。
信使送裁判記録	吉村橋左衛門	明和11年11月1日～ 明和11年閏12月19日	裁判記録。 [132]	WA1-6-14	1冊	26.4×20.1	47	原表紙に「自明和元甲申年十一月至同歲閏十二月」〔三冊之内〕の墨書あり。
信使送裁判記録 往復状控	吉村橋左衛門	明和11年6月19日～ 明和11年12月	裁判記録。 [130]	WA1-6-14	1冊	26.4×20.1	58	原表紙に「自明和元甲申年六月至同年閏十二月」〔三冊之内〕の墨書あり。
裁判記録 巻	中庭作左衛門	明和11年5月2日～明 和11年閏12月30日	裁判記録。 [129]	WA1-6-14	1冊	26.8×19.8	102	原表紙に「宝暦十四甲申自五月明和元至閏十二月」の墨書あり。
裁判記録 二	中庭作左衛門	明和12年1月1日～ 明和12年10月7日	裁判記録。 [133]	WA1-6-14	1冊	26.7×20.0	158	原表紙に「明和乙酉自正月同至十月」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
往復伏控 三	中庭作左衛門	明和1年8月2日～ 明和2年9月11日	往復書状控。 [2]	WA1-6-38	1冊	26.6×19.7	128	原表紙に「明和元甲申自八月同二至十月」の墨書あり。
裁判記録 巻	嶋雄只右衛門	明和2年2月25日～ 明和2年10月21日	裁判記録。 [134]	WA1-6-14	1冊	25.6×20.1	46	原表紙に「[明和]式乙酉歳二月念五日[至]同年十月廿一日」 「共三冊」の墨書あり。
裁判記録[式]	嶋雄只右衛門	明和2年10月22日 ～明和3年3月6日	裁判記録。 [135]	WA1-6-14	1冊	25.6×20.1	48	原表紙に「自明和式乙酉[十]月念[二]日至同三丙戌」 「共三冊」の墨書あり。罫紙下敷きを添付。
裁判記録 参往 復伏控	嶋雄只右衛門	明和2年8月23日～ 明和3年3月2日	裁判記録。 [136]	WA1-6-14	1冊	25.3×20.1	60	原表紙に「自明和式乙酉歳八月念三日至同三丙戌」 「共三冊」 の墨書あり。
慶誕使并御隠居 御家督御祝詞三 譯渡海迎裁判記 録 巻	三浦源之進	明和2年8月8日～ 明和3年3月27日	裁判記録。 [137]	WA1-6-14	1冊	26.3×20.2	71	原表紙に「自明和二乙酉年至同三丙戌年七月」 「共式冊 書 状控共二三冊」の墨書あり。
慶誕使并御隠居 御家督御祝詞三 譯渡海迎裁判記 録 式	三浦源之進	明和2年3月28日～ 明和3年7月17日	裁判記録。 [138]	WA1-6-14	1冊	26.2×20.1	64	原表紙に「自明和二乙酉年至同三丙戌年七月」 「共式冊 書 状控共二三冊」の墨書あり。
慶誕使并御隠居 御家督御祝詞三 譯渡海往復書状	三浦源之進	明和2年11月15日 ～明和3年7月12日	裁判記録。 [139]	WA1-6-14	1冊	26.4×20.0	59	原表紙に「自明和二乙酉年至同三丙戌年七月」 「共式冊 記録 共三冊」の墨書あり。
講官記録 迎ノ 巻	裁判 岩崎喜左衛門	明和4年4月21日～ 明和4年12月29日	訳官記録。[1]	WA1-6-35	1冊	25.2×20.1	81	原表紙に「自明和四丁亥年四月至十二月」の墨書あり。 紙に「迎送五冊之内」の墨書あり。
講官記録 迎式	裁判 岩崎喜左衛門	明和5年1月1日～ 明和5年7月29日	訳官記録。[2]	WA1-6-35	1冊	25.2×20.1	126	原表紙に「自明和五戊子年正月至七月」の墨書あり。

譚官記録 送ノ 巻	裁判 岩崎喜左衛門	明和5年8月1日～ 明和5年12月30日	譚官記録.[3]	WA1-6-35	1冊	25.2×20.3	113	原表紙に「自明和五戊子年八月至十二月」の墨書あり。
譚官記録 送ノ 式	裁判 岩崎喜左衛門	明和6年1月1日～ 明和6年3月5日	譚官記録.[4]	WA1-6-35	1冊	25.0×20.1	33	原表紙に「自明和六年正月至三月」の墨書あり。
裁判記録 巻	内野礼	明和5年2月8日～ 明和6年11月30日	裁判記録. [140]	WA1-6-14	1冊	24.4×19.3	91	原表紙に「自明和五戊子年二月至同六己丑年十一月」の墨書あり。
裁判記録 式	内野礼	明和6年12月1日～ 明和7年5月8日	裁判記録. [142]	WA1-6-14	1冊	24.2×19.5	96	原表紙に「自明和六己丑年十二月至同七庚寅年五月」の墨書あり。
裁判記録 参往 復状控	内野礼	明和6年7月21日～ 明和7年4月4日	裁判記録. [141]	WA1-6-14	1冊	24.2×19.5	72	原表紙に「自明和六己丑年八月至同七庚寅年四月」の墨書あり。
裁判記録 巻	戸田三左衛門	明和8年3月25日～ 明和8年7月15日	裁判記録. [143]	WA1-6-14	1冊	26.9×19.9	39	原表紙に「自明和八辛卯歳三月念五日至同」[共五冊]の墨書あり。
裁判記録 式	戸田三左衛門	明和8年8月1日～ 明和8年10月29日	裁判記録. [144]	WA1-6-14	1冊	26.7×20.0	40	原表紙に「自明和八辛卯歳八月至同」[共五冊]の墨書あり。
裁判記録 参	戸田三左衛門	明和8年11月1日～ 安永1年2月6日	裁判記録. [145]	WA1-6-14	1冊	26.7×20.0	57	原表紙に「自明和八辛卯歳十一月至同九壬辰歳二月」[共五冊]の墨書あり。
往復書状扣	裁判 戸田三左衛門	明和8年6月6日～ 明和8年9月30日	往復書状控. [5]	WA1-6-38	1冊	24.3×16.3	74	俵郡左衛門、多田外衛とのやりとり。
往復書状扣	裁判 戸田三左衛門	明和8年10月1日～ 安永1年1月6日	往復書状控. [6]	WA1-6-38	1冊	27.2×16.9	72	合綴されたもの。俵郡左衛門、多田外衛とのやりとり。
裁判記録 巻	樋口興左衛門	安永2年閏3月10日 ～安永3年10月29日	裁判記録. [146]	WA1-6-14	1冊	26.8×20.3	97	原表紙に「自安永二癸巳年閏三月至同()年十月」[共三冊]の墨書あり。
裁判記録 式	樋口興左衛門	安永3年11月1日～ 安永4年4月9日	裁判記録. [147]	WA1-6-14	1冊	26.9×20.5	108	原表紙に「自安永三甲午年十一月至同四乙未年四月」[共三冊]の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
裁判記録 参往 復状控	樋口與左衛門	安永3年5月11日～ 安永4年3月23日	裁判記録。 [148]	WA1-6-14	1冊	26.9×20.3	78	原表紙に「自安永三甲午年五月至同乙未年四月」「共三冊」の墨書あり。罫紙下敷きを添付。
裁判記録	小田郡右衛門	安永7年1月7日～ 安永8年12月29日	裁判記録。 [149]	WA1-6-14	1冊	26.5×20.0	129	原表紙に「自安永七戊戌年正月至同九庚子歳五月」「共三冊」の墨書あり。内表紙に「安永七戊戌年正月ヨリ至同八己亥年」の墨書あり。
裁判記録	小田郡右衛門	安永9年1月1日～ 安永9年5月6日	裁判記録。 [151]	WA1-6-14	1冊	26.3×20.1	89	原表紙に「安永九庚子年五月日」「共三冊」の墨書あり。内表紙見返しに「館守勤役 戸田頼母」の墨書あり。
裁判書状控	小田郡右衛門	安永8年5月29日～ 安永9年4月28日	裁判記録。 [150]	WA1-6-14	1冊	26.5×20.2	46	原表紙に「自安永八己亥年至同九庚子年」「共三冊」の墨書あり。内表紙見返しに「館守勤役 戸田頼母」の墨書あり。
謄官記録	裁判 内山叶	安永9年11月1日～ 天明1年9月11日	訳官記録。[5]	WA1-6-35	1冊	27.2×20.6	110	原表紙に「自安永九庚子十一月至天明元辛丑九月」の墨書あり。原表紙見返しに「幾度主膳相請取」の墨書あり。
謄官迎送裁判記 録一	渡邊六之進	天明1年12月7日～ 天明3年4月30日	裁判記録。 [153]	WA1-6-14	1冊	27.1×20.3	117	原表紙に「天明元辛丑十二月七日ヨリ同三癸卯四月晦日迄」の墨書あり。
謄官迎送裁判記 録二	渡邊六之進	天明3年5月1日～ 天明3年6月6日	裁判記録。 [156]	WA1-6-14	1冊	27.0×19.7	84	原表紙に「天明三癸卯五月朔日より六月六日迄」の墨書あり。末尾に覚を付す。
謄官迎送裁判記 録三	渡邊六之進	天明3年6月7日～ 天明3年9月10日	裁判記録。 [157]	WA1-6-14	1冊	26.9×19.6	98	原表紙に「天明三癸卯六月七日より九月十日朝迄」「但中郷 国中」の墨書あり。
謄官迎送裁判記 録四	渡邊六之進	天明3年9月10日～ 天明3年12月29日	裁判記録。 [159]	WA1-6-14	1冊	27.0×19.7	76	原表紙に「天明三癸卯九月十日昼より十二月廿九日[迄]」「一特送使下行館改建御用共」の墨書あり。
東武御慶事譯官 迎送裁判記録	渡邊六之進	天明4年1月1日～ 天明4年7月1日	裁判記録。 [161]	WA1-6-14	1冊	26.8×19.7	170	原表紙に「天明四甲辰正月より」「一特送使下行館改建御用共」の墨書あり。末尾に覚を付す。
謄官迎送御用往 復控一	裁判 渡邊六之進	天明3年1月17日～ 天明3年6月3日	裁判記録。 [155]	WA1-6-14	1冊	24.9×18.7	129	原表紙に「天明三癸卯正月より六月迄」の墨書あり。

譚官迎送御用往 後控 二	裁判 渡邊六之進	天明3年9月10日～ 天明3年12月24日	裁判記録. [158]	WA1-6-14	1冊	24.6×18.5	102	原表紙に「天明三癸卯九月十日より十二日迄」「但特送使下行廊改建御用共」の墨書あり。末尾に覺を付す。
譚官迎送御用往 後控 三	裁判 渡邊六之進	天明4年1月16日～ 天明4年4月28日	裁判記録. [162]	WA1-6-14	1冊	24.5×18.7	100	原表紙に「天明四甲辰正月より」「但一特送使下行廊改建御用」の墨書あり。
裁判記録 壹	平田又左衛門	天明3年5月23日～ 天明4年12月29日	裁判記録. [154]	WA1-6-14	1冊	26.8×20.0	76	原表紙に「自天明三癸卯年五月至同四甲辰年十二月」「共参册」の墨書あり。末尾に覺を付す。
裁判記録 貳	平田又左衛門	天明5年1月1日～ 天明5年7月15日	裁判記録. [163]	WA1-6-14	1冊	26.8×19.5	78	原表紙に「自天明五乙巳年正月至同年七月」「共参册」の墨書あり。末尾に覺を付す。
裁判記録 参	平田又左衛門	天明4年6月10日～ 天明5年7月10日	裁判記録. [160]	WA1-6-14	1冊	26.9×19.7	70	原表紙に「自天明四甲辰年六月至同五乙巳年七月」「往後状摺」「共参册」の墨書あり。
裁判記録 一	譚官迎送裁判 原宅右 衛門	天明7年2月2日～ 天明7年6月29日	裁判記録. [164]	WA1-6-14	1冊	26.5×20.2	74	原表紙に「天明七丁未自二月二日向至六月廿九日」の墨書あり。内表紙に「毎日記」の墨書あり。
裁判記録 二	譚官迎送裁判 原宅右 衛門	天明7年7月1日～ 天明7年9月30日	裁判記録. [165]	WA1-6-14	1冊	26.4×20.1	66	原表紙に「天明七丁未自七月朔日向至九月晦日」の墨書あり。内表紙に「毎日記」の墨書あり。
裁判記録 三	譚官[迎送]裁判 原宅 右衛門	天明7年10月1日～ 天明7年12月5日	裁判記録. [166]	WA1-6-14	1冊	26.3×20.2	69	原表紙に「天明七丁未自[十月]朔日向至十二月五日」の墨書あり。末尾に覺を付す。
裁判記録 四	譚官迎送裁判 原宅右 衛門	天明7年12月6日～ 天明8年4月2日	裁判記録. [167]	WA1-6-14	1冊	26.0×20.1	121	原表紙に「天明七丁未自十二月六日同入戊申至四月二日」の墨書あり。罫紙下敷きを添付。
裁判記録 五	譚官迎送裁判 原宅右 衛門	天明8年4月8日～ 天明8年12月17日	裁判記録. [168]	WA1-6-14	1冊	26.2×20.5	133	原表紙に「天明八戊申四月三日より」の墨書あり。内表紙に「毎日記」の墨書あり。
御支配并与頭方 往後状扣	譚官迎送裁判 原宅右 衛門	天明7年5月6日～ 天明7年11月29日	御支配並与頭 往後状扣。[1]	WA1-6-10	1冊	26.2×20.0	135	原表紙に「[天]明七丁未自五月六日同至十一月廿九日」の墨書あり。内表紙に「御支配往後控」の墨書あり。
御支配并与頭方 往後状扣	[譚官迎送]裁判 原宅右 衛門	天明8年3月10日～ 天明8年11月24日	御支配並与頭 往後状扣。[2]	WA1-6-10	1冊	26.5×20.2	48	原表紙に「[天]明八戊申自三月十日同至十二月」の墨書あり。内表紙に「天明八戊申年四月御支配并与頭方往後來状扣 譚官迎送裁判 原宅右衛門」の墨書あり。後欠。

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
裁判記録 巻	幾度主膳	天明8年9月18日～ 寛政1年12月29日	裁判記録. [169]	WA1-6-14	1冊	26.5×20.1	66	原表紙に「自天明八戊申年九月至寛政元己酉年十二月」「共 参册」の墨書あり。末尾に覚を付す。
裁判記録 式	幾度主膳	寛政2年1月1日～ 寛政2年4月19日	裁判記録. [171]	WA1-6-14	1冊	26.6×20.0	51	原表紙に「自寛政二庚戌年正月至同年四月」「共参册」の墨 書あり。末尾に覚を付す。
裁判記録 参往 復快控	幾度主膳	寛政1年6月27日～ 寛政2年3月17日	裁判記録. [170]	WA1-6-14	1冊	26.3×20.1	45	原表紙に「自寛政元己酉年六月至同二庚戌年四月」「共参册」 の墨書あり。
裁判記録 巻	河内徳左衛門	寛政3年7月5日～ 寛政6年12月29日	裁判記録. [172]	WA1-6-14	1冊	27.1×20.2	83	原表紙に「自寛政三辛亥年七月至同六甲寅年十二月」の墨書 あり。末尾に覚を付す。
裁判記録 式	河内徳左衛門	寛政7年1月1日～ 寛政7年6月26日	裁判記録. [174]	WA1-6-14	1冊	27.2×20.1	113	原表紙に「自寛政七乙卯年正月至同年六月」の墨書あり。末 尾に覚を付す。
裁判記録 参往 復快摺	河内徳左衛門	寛政6年8月5日～ 寛政7年6月11日	裁判記録. [173]	WA1-6-14	1冊	26.6×20.0	67	原表紙に「自寛政六甲寅年八月至同七乙卯年六月」の墨書あ り。巻末に「甲寅閏十一月廿四日監董官始役一件二付両訳よ り差出候真文」を付す。
東武吊慰立[儲] 并回[棹]譯官 迎送記録 巻	黒木勝見	寛政3年6月11日～ 寛政8年6月29日	訳官記録.[6]	WA1-6-35	1冊	26.7×19.8	127	原表紙に「寛政三辛亥年自六月十一日同八丙辰年至六月念九 日」「都合六冊」の墨書あり。
東武吊慰立儲并 [回棹]譯官迎送 記録 式	黒木[勝見]	寛政8年7月1日～ 寛政8年8月15日	訳官記録.[7]	WA1-6-35	1冊	26.8×20.0	51	原表紙に「寛政三辛亥年[自六月十一日同八丙辰年至八月十 五日]」「都合六[冊]」の墨書あり。
東武吊慰立儲并 回[棹]譯官迎送 記録 参	黒木勝見	寛政8年8月16日～ 寛政8年12月24日	訳官記録.[8]	WA1-6-35	1冊	26.7×19.9	98	原表紙に「寛政三辛亥年自六月十一日同八丙辰年至十二月念 四日」「都合六冊」の墨書あり。

東武品慰立齋并 回帖 譚官迎送 記録 四	黒木勝見	寛政8年12月25日 ～寛政9年9月17日	訊官記録。[9]	WA1-6-35	1冊	26.6×19.9	93	原表紙に「寛政三辛亥年自六月十一日同九[丁巳]年自九月十七日」「都合六冊」の墨書あり。
東武品慰立齋并 回帖 譚官迎送 往復状控	黒木勝見	寛政7年12月28日 ～寛政8年8月1日	訊官記録。[10]	WA1-6-35	1冊	26.6×19.9	64	原表紙に「寛政七乙卯年自十二月廿八日同八丙辰年至八月朔日」「都合六冊」の墨書あり。
東武品慰立齋并 回帖 譚官迎送 往復状控	黒木勝見	寛政8年11月9日～ 寛政9年7月27日	訊官記録。[11]	WA1-6-35	1冊	26.8×19.9	79	原表紙に「寛政八丙辰年自十一月九日同九丁巳年至七月念七日」「都合六冊」の墨書あり。
裁判記録 巻	古河又三郎	寛政11年4月10日～ 寛政11年12月30日	裁判記録。 [175]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.8	143	原表紙に「自寛政十一巳未年四月至十二月」「共五冊」の墨書あり。末尾に覚を付す。
裁判記録 式	古河又三郎	寛政12年1月1日～ 寛政12年5月30日	裁判記録。 [177]	WA1-6-14	1冊	25.8×19.7	128	原表紙に「自寛政十二庚申年正月至同五月」「薩州和漂船牛岩浦動 合冊」「共五冊」の墨書あり。
裁判記録 参	古河又三郎	寛政12年6月1日～ 寛政12年9月14日	裁判記録。 [179]	WA1-6-14	1冊	25.9×19.6	94	原表紙に「自寛政十二庚申年六月至同九月」「共五冊」の墨書あり。末尾に覚を付す。
裁判記録 四 [往]復状控	古河又三郎	寛政11年5月15日～ 寛政12年閏4月3日	裁判記録。 [176]	WA1-6-14	1冊	26.1×20.0	129	原表紙に「自寛政十一巳未年四月至庚申閏四月」「共五冊」の墨書あり。
裁判記録 五 [往]復状控	古河又三郎	寛政12年4月18日～ 寛政12年8月27日	裁判記録。 [178]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.8	115	原表紙に「[自]寛政十二庚申年四至同九月」「共五冊」の墨書あり。
裁判記録 巻	浜田源左衛門	文化11年4月9日～ 文化11年12月30日	裁判記録。 [180]	WA1-6-14	1冊	26.1×19.4	63	原表紙に「自文化元甲子四月至同年十二月」「共三冊」の墨書あり。末尾に覚を付す。
裁判記録 式	浜田源左衛門	文化12年1月1日～ 文化12年8月24日	裁判記録。 [182]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.2	71	原表紙に「自文化二乙丑正月至同年八月」「共三冊」の墨書あり。末尾に覚を付す。
裁判記録 往復 控	浜田源左衛門	文化11年7月19日～ 文化12年8月11日	裁判記録。 [181]	WA1-6-14	1冊	26.0×19.2	39	原表紙に「自文化元甲子七月至同二乙丑八月」「往復控」「共三冊」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
[重松此面日記 一]	重松此面	文化4年7月20日～ 文化4年12月30日	重松此面日記 [1]	WA1-6-16	1冊	25.0×16.8	38	原表紙に「自卯七月至十二月」の墨書、「[文化四年]」の朱書あり。書名は帝國図書館の後付表紙題簽による。
[重松此面日記 二]	重松此面	文化5年1月1日～ 文化5年12月29日	重松此面日記 [2]	WA1-6-16	1冊	25.3×17.0	123	原表紙に「自辰正月至十二月」の墨書、「文化五年」の朱書あり。書名は帝國図書館の後付表紙題簽による。
年限 裁判記録	高瀬五郎左衛門	文化6年1月12日～ 文化6年12月29日	裁判記録 [183]	WA1-6-14	1冊	26.1×19.5	46	原表紙に「自文化六己巳年正月至同年十二月」「共三冊」の墨書あり。末尾に覚を付す。
年限 裁判記録	高瀬五郎左衛門	文化7年1月1日～ 文化7年10月22日	裁判記録 [185]	WA1-6-14	1冊	26.4×18.7	141	原表紙に「自文化七庚午正月至同年十月」「共三冊」の墨書あり。末尾に覚を付す。
年限 裁判記録 往覆跡留	高瀬五郎左衛門	文化6年9月9日～ 文化7年10月19日	裁判記録 [184]	WA1-6-14	1冊	26.2×19.2	197	原表紙に「自文化六己巳九月至同七庚午十月」「共三冊」の墨書あり。
信使送裁判記 録一	多田源右衛門	文化8年6月23日～ 文化8年12月30日	裁判記録 [186]	WA1-6-14	1冊	25.6×19.3	91	原表紙に「文化八辛未六月至十二月」「三冊之内」の墨書あり。末尾に覚を付す。
信使送裁判記 録二	多田源右衛門	文化9年1月1日～ 文化9年9月23日	裁判記録 [188]	WA1-6-14	1冊	25.7×19.4	115	原表紙に「文化九壬申年正月至九月」「三冊之内」の墨書あり。末尾に「短簡往覆控」を付す。
文化八辛未年 信使送裁判往 復書状控 自辛 未六月至壬申八 月	[多田源右衛門]	文化8年6月27日～ 文化9年7月28日	裁判記録 [187]	WA1-6-14	1冊	25.6×19.8	28	原表紙に墨書なし。書名は巻頭による。
裁判記録	俵五郎左衛門	文化10年3月17日～ 文化11年12月30日	裁判記録 [189]	WA1-6-14	1冊	23.9×18.5	74	原表紙に「自文化十癸酉年三月至同十一年甲戌年十二月」の墨書あり。末尾に覚を付す。後見返しに「文化十二乙亥年七月小野十郎兵衛請取之」の墨書あり。

裁判記録	依五郎左衛門	文化12年1月1日～ 文化12年7月8日	裁判記録。 [190]	WA1-6-14	1冊	24.0×19.0	35	原表紙に「自文化十二乙亥年正月至七月」の墨書あり。内表紙に「亥正月より日記」の墨書あり。後見返しに「文化十二乙亥年七月 小野十郎兵衛請取之」の墨書あり。罫紙下敷きを添付。
書状控 往復共	依五郎左衛門	文化11年5月11日～ 文化12年7月6日	往復書状控。 [3]	WA1-6-38	1冊	24.1×19.2	66	原表紙に「自文化十一甲戌年五月至同十二乙亥年七月」の墨書あり。後見返しに「文化十二乙亥年七月 小野十郎兵衛請取之」の墨書あり。
迎 譯官記録	裁判 津留又藏	寛政11年12月23日 ～文政1年4月26日	訳官記録。[14]	WA1-6-35	1冊	25.9×19.3	192	原表紙に「自文化十四丁丑六月至同十五戊寅四月」の墨書あり。
送 譯官記録	裁判 津留又藏	文政1年4月27日～ 文政2年閏4月29日	訳官記録。[15]	WA1-6-35	1冊	26.1×19.4	166	原表紙に「自文化十五戊寅四月至文政二己卯年閏四月」の墨書あり。末尾に覚を付す。
迎送 譯官書状 控	裁判 津留又藏	文化14年7月15日～ 文政2年閏4月24日	裁判記録。 [191]	WA1-6-14	1冊	25.8×19.1	171	原表紙に「自文化十四丁丑年六月至文政二己卯年閏四月」の墨書あり。
年限 裁判記録	内山郷左衛門	文化12年8月～ 文政3年2月30日	裁判記録。 [193]	WA1-6-14	1冊	26.1×19.3	102	原表紙に「自文政二己卯十月至同三庚辰二月」「三冊之内」の墨書あり。本文2丁目裏に7月3日、同5日の条あり。
年限 裁判記録	内山郷左衛門	文政3年3月1日～ 文政3年12月8日	裁判記録。 [194]	WA1-6-14	1冊	26.4×19.5	97	原表紙に「自文政三庚辰三月至」「三冊之内」の墨書あり。末尾に覚を付す。
年限 裁判記録 往復書状控	内山郷左衛門	文政2年10月13日～ 文政3年10月12日	裁判記録。 [192]	WA1-6-14	1冊	26.2×19.4	101	原表紙に「自文政二己卯十月至」「三冊之内」の墨書あり。
彦満様御祝詞訳 官迎 裁判記録	樋口源左衛門	文政3年2月25日～ 文政5年8月25日	裁判記録。 [195]	WA1-6-14	1冊	26.5×19.6	125	原表紙に「文政五壬午年自閏正月至八月」の墨書あり。末尾に覚を付す。
彦満様御祝詞訳 官送 御因書請 取 裁判記録	樋口源左衛門	文政5年8月25日～ 文政6年12月24日	裁判記録。 [197]	WA1-6-14	1冊	25.5×19.9	182	原表紙に「自文政五壬午至癸未自午八月至十二月」の墨書あり。末尾に覚を付す。

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
彦瀧様御祝詞訳 官迎裁判 往復 書状控	樋口源左衛門	文政5年閏1月26日 ～文政5年8月24日	裁判記録、 [196]	WA1-6-14	1冊	26.2×19.6	100	原表紙に「文政五壬午年自三月至八月」の墨書あり。
彦瀧様御祝詞訳 官送 御因書請 取 往復書状控	樋口孫左衛門	文政6年11月1日～ 文政6年12月12日	往復書状控、 [4]	WA1-6-38	1冊	26.2×19.6	125	原表紙に「文政癸未年自十一月至十二月」の墨書あり。野 紙下敷きを添付。
年限 裁判記録	有田謙	文政3年2月11日～ 文政8年5月3日	裁判記録、 [198]	WA1-6-14	1冊	25.7×19.9	100	原表紙に「自文政七甲申七月至同八月四日」「三冊之内」の墨 書あり。
年限 裁判記録	有田謙	文政8年5月3日～ 文政8年11月12日	裁判記録、 [200]	WA1-6-14	1冊	26.6×20.0	90	原表紙に「自文政八乙酉五月至同十一月」「三冊之内」の墨 書あり。5月3日条は「裁判記録、[198]」より続くものか。末 尾に寛を付す。
年限 裁判 往復 書状控	有田謙	文政7年7月13日～ 文政8年11月9日	裁判記録、 [199]	WA1-6-14	1冊	26.5×19.9	48	原表紙に「自文政七甲申七月至同八月乙酉十一月」「記録共 三冊之内」の墨書あり。
御国孫縁御祝詞 并御回棹 譯官 迎送記録 巻	小野十郎兵衛	文政8年5月4日～ 文政11年12月29日	訳官記録、[16]	WA1-6-35	1冊	25.6×19.3	116	原表紙に「文政八乙酉年自五月四日同十三庚寅年至」「都合 六冊」の墨書あり。
御国孫縁御祝詞 并御回棹 譯官 迎送記録 式	小野十郎兵衛	文政12年1月1日～ 文政12年4月28日	訳官記録、[17]	WA1-6-35	1冊	25.7×19.3	101	原表紙に「文政八乙酉年自五月四日同十三庚寅年至」「都合 六冊」の墨書あり。末尾に寛を付す。原裏表紙前に書付（前 欠）の綴込あり。
御国孫縁御祝詞 并御回棹 譯官 迎送記録 参	小野十郎兵衛	文政12年4月29日 ～文政12年8月4日	訳官記録、[18]	WA1-6-35	1冊	25.6×19.1	118	原表紙に「文政八乙酉年自五月四日同十三庚寅年至」「都合 六冊」の墨書あり。
御国孫縁御祝詞 并御回棹 譯官 迎送記録 四	小野十郎兵衛	文政12年8月5日～ 文政12年12月30日	訳官記録、[19]	WA1-6-35	1冊	25.7×19.2	69	原表紙に「文政八乙酉年自五月四日同十三庚寅年至」「都合 六冊」の墨書あり。

御国孫縁御祝詞 并御回棹 譯官 迎送記録 五	小野十郎兵衛	天保1年1月1日～ 天保1年7月24日	訳官記録。[20]	WA1-6-35	1冊	25.9×19.3	98	原表紙に「文政八乙酉年自五月四日同十三庚寅年至」「都合六冊」の墨書あり。末尾に覚を付す。
御国孫縁御祝詞 并御回棹 譯官 迎送往復状控	小野十郎兵衛	文政11年8月1日～ 天保1年6月11日	訳官記録。[21]	WA1-6-35	1冊	26.0×19.5	149	原表紙に「文政〔 〕年自〔 〕月同十三庚寅年至」「都合六冊」の墨書あり。
裁判記録 老	島雄権右衛門	文政11年1月24日～ 文政12年12月30日	裁判記録。 [201]	WA1-6-14	1冊	26.3×19.7	121	原表紙に「文政十一戊子年自正月同十二己丑年至十二月」状控共五冊」の墨書あり。
裁判記録 式	島雄権右衛門	天保1年1月1日～ 天保1年8月30日	裁判記録。 [203]	WA1-6-14	1冊	26.3×19.6	117	原表紙に「天保元庚寅年自正月同年至八月」状控共五冊」の墨書あり。
裁判記録 参	島雄権右衛門	天保1年9月1日～ 天保2年6月8日	裁判記録。 [204]	WA1-6-14	1冊	26.2×19.7	162	原表紙に「文政十三庚寅年自九月天保二辛卯年至六月」状控共五冊」の墨書、「寅十二月改元」の朱書あり。末尾に「音物遣出控」「到来音物控」あり。
往復状控	裁判 島雄権右衛門	文政12年5月5日～ 天保1年1月3日	裁判記録。 [202]	WA1-6-14	1冊	26.5×19.8	75	原表紙に「文政十二己丑年自五月同年至十二月」記〔録共五冊〕の墨書あり。
往復状控	裁判 島雄権右衛門	天保1年1月2日～ 天保2年5月13日	裁判記録。 [205]	WA1-6-14	1冊	26.4×19.6	75	原表紙に「天保元庚寅年自正月同二辛卯年至五月」記録共五冊」の墨書、「寅十二月改元」の朱書あり。
年限 裁判記録 老	樋口太郎兵衛	天保1年3月13日～ 天保5年12月30日	裁判記録。 [206]	WA1-6-14	1冊	24.7×19.1	78	原表紙に「自文政十三庚寅年三月至天保五甲午年十二月」の墨書あり。
年限 裁判記録 二	樋口太郎兵衛	天保6年1月1日～ 天保6年10月11日	裁判記録。 [208]	WA1-6-14	1冊	24.8×19.1	108	原表紙に「自天保六乙未年正月至同年十月」の墨書あり。末尾に覚を付す。
年限 裁判 往復 状控	樋口太郎兵衛	天保5年7月2日～ 天保6年9月17日	裁判記録。 [207]	WA1-6-14	1冊	24.5×19.1	55	原表紙に「自天保五甲午年七月至同六乙未年十月」の墨書あり。

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
遜位 御回棹 若殿様御給暇 講官迎送記録 巻	杉村司	天保1年3月13日～ 天保9年8月14日	訳官記録. [22]	WA1-6-35	1冊	26.4×20.1	137	原表紙に「天保元庚寅年自三月十三日同九戊戌年至八月十四日」「都合五冊」の墨書あり。
遜位 御回棹 若殿様御給暇 講官迎送記録 式	杉村司	天保9年8月15日～ 天保9年12月30日	訳官記録. [23]	WA1-6-35	1冊	26.3×19.8	134	原表紙に「天保九戊戌年自八月十五日同至十二月晦日」「都合五冊」の墨書あり。
遜位 御回棹 若殿様御給暇 講官迎送記録 参	杉村司	天保10年1月1日～ 天保10年9月10日	訳官記録. [24]	WA1-6-35	1冊	26.2×19.7	109	原表紙に「天保十己亥年自正月元日同年九月至十日」「都合五冊」の墨書あり。末尾に「迎之節音物遣出」「送り之節音物遣出」等あり。
遜位 御回棹 若殿様御給暇 講官迎送往復状控	杉村司	天保9年1月24日～ 天保9年6月22日	訳官記録. [12]	WA1-6-35	1冊	26.4×19.8	97	原表紙に「天保九戊戌年自正月廿四日同至六月二日」「都合五冊」の墨書あり。
遜位 御回棹 若殿様御給暇 講官迎送往復状控	杉村司	天保9年5月25日～ 天保10年8月5日	訳官記録. [13]	WA1-6-35	1冊	26.4×19.8	130	原表紙に「天保九戊戌年自五月廿五日」「都合五冊」の墨書あり。
年限 裁判記録 巻	幾度哲輔	天保9年10月15日～ 天保10年12月29日	裁判記録. [209]	WA1-6-14	1冊	26.6×19.5	68	原表紙に「自天保九年戊戌十月至十年己亥十二月」「状控共参冊」の墨書あり。
年限 裁判記録 式	幾度哲輔	天保11年1月1日～ 天保11年10月22日	裁判記録. [212]	WA1-6-14	1冊	26.5×19.6	190	原表紙に「自天保[十一]年庚子正月至同年十月」「状控共参冊」の墨書あり。末尾に「音物遣出控」「到来音物控」を付す。
年限 裁判往復状控 参	幾度哲輔	天保10年8月17日～ 天保11年10月7日	裁判記録. [210]	WA1-6-14	1冊	25.8×19.3	65	原表紙に「自天保十年己亥八月至同十一年庚子十月」「都合参冊」の墨書あり。

御裏封御回棹 御祝詞 啓祐院 様御吊慰 譚官 迎送記録 一	樋口監物 天保10年7月10日～ 天保12年4月27日	訳官記録. [25]	WA1-6-35	1冊	25.3×19.5	158	原表紙に「天保十己亥七月至同十二辛丑四月」の墨書あり。 末尾に寛を付す。
御裏封御回棹 御祝詞 [啓] 祐 院様御吊慰 譚 官迎送記録 二	樋口監物 天保12年4月29日～ 天保13年7月26日	訳官記録. [27]	WA1-6-35	1冊	24.9×19.6	209	原表紙に「天保十二辛丑四月至同十三壬寅七月」の墨書あり。 末尾に寛を付す。
迎送裁判 往復 書状控	樋口監物 天保11年9月23日～ 天保13年5月8日	裁判記録. [238]	WA1-6-14	1冊	25.2×19.3	81	
譚官記録	館守 古川采女 天保11年9月27日～ 天保12年9月22日	訳官記録. [26]	WA1-6-35	1冊	24.0×18.4	82	原表紙に「天保十一庚子九月至同十二辛丑九月」の墨書あり。
裁判記録 一	迎譚官 田嶋造酒允 天保10年10月8日～ 天保14年3月30日	裁判記録. [211]	WA1-6-14	1冊	25.4×19.0	136	原表紙に「天保十己亥年十月より至同十四癸卯年三月」の墨書あり。
裁判記録 二	迎譚官 田嶋造酒允 天保14年4月1日～ 天保14年7月29日	裁判記録. [214]	WA1-6-14	1冊	25.1×19.0	75	原表紙に「天保十四癸卯年四月より至同年七月」の墨書あり。
裁判記録 三	迎譚官 田嶋造酒允 天保14年8月1日～ 天保14年10月25日	裁判記録. [215]	WA1-6-14	1冊	25.4×19.0	121	原表紙に「天保十四癸卯年八月より至同年十月」の墨書あり。
往復書状控	迎裁判 田嶋造酒允 天保13年11月1日 ～天保14年9月8日	裁判記録. [216]	WA1-6-14	1冊	25.3×18.9	64	
二駕船欠戻記録	裁判 田嶋造酒允 天保14年11月21日 ～弘化1年1月8日	二駕船欠戻記 録	WA1-6-27	1冊	25.1×19.0	16	原表紙に「[天]保十四癸卯年十一月より同十五甲辰年正月迄」 の墨書あり。内表紙に「二駕船漂流記録」の墨書あり。
裁判記録 一	送譚官 難波早衛 天保14年間9月18日 ～弘化1年2月30日	裁判記録. [213]	WA1-6-14	1冊	25.2×19.2	78	原表紙に「天保十四癸卯年閏九月より至同十五甲辰二月」の 墨書あり。
裁判記録 二	送譚官 難波早衛 弘化1年3月1日～ 弘化1年10月13日	裁判記録. [217]	WA1-6-14	1冊	25.2×19.2	104	原表紙に「天保十五甲辰三月より至同年十月」の墨書あり。 末尾に「音物遣出」の寛あり。

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
往復書状控	送裁判 難波早衛	天保14年10月28日 ～弘化1年9月22日	裁判記録. [218]	WA1-6-14	1冊	25.4×19.1	30	
年限 裁判記録 巻	吉川左衛門	天保14年8月12日 ～弘化2年4月30日	裁判記録. [219]	WA1-6-14	1冊	26.2×19.7	78	原表紙に「天保十五甲辰年八月至弘化二乙巳年四月」の墨書あり。
年限 裁判記録	俵左門	天保12年11月20日 ～嘉永3年7月21日	裁判記録. [220]	WA1-6-14	1冊	25.3×18.8	137	原表紙に「自嘉永二己酉年〔 〕至同三庚戌年七月」の墨書あり。末尾に覚を付す。
書状往復控	年限裁判 俵左門	嘉永2年6月22日～ 嘉永3年3月28日	裁判記録. [221]	WA1-6-14	1冊	25.7×19.1	20	
裁判記録	俵左門死後 封進 稀治 兵衛	嘉永3年7月22日～ 嘉永3年12月23日	裁判記録. [222]	WA1-6-14	1冊	27.1×19.5	19	原表紙に「嘉永三庚戌自七月廿二日回至十二月」の墨書あり。
年限 裁判記録 巻	難波早衛	嘉永6年6月20日～ 安政1年10月29日	裁判記録. [223]	WA1-6-14	1冊	25.4×18.7	99	原表紙に「自嘉永六癸丑年六月至同七甲寅十月」「状控共参冊」の墨書あり。
年限 裁判記録	難波早衛	安政1年11月1日～ 安政2年4月10日	裁判記録. [224]	WA1-6-14	1冊	25.5×18.6	90	原表紙に「自嘉永七甲寅年十一月至安政二乙卯三月」「状控共参冊」の墨書あり。末尾に「音物控」「音物遣出」を付す。
年限 裁判書状 控	難波早衛	安政1年5月9日～ 安政2年2月27日	裁判記録. [225]	WA1-6-14	1冊	25.3×18.7	26	原表紙に「自嘉永七甲寅年五月至安政二乙卯年三月」「記録共参冊」の墨書あり。
訳官記録		安政1年閏7月7日 ～安政3年1月19日	訳官記録.[28]	WA1-6-35	1冊	24.7×18.1	119	
譯官記録	裁判 樋口弾正	安政1年4月26日～ 安政5年6月16日	訳官記録.[29]	WA1-6-35	1冊	26.3×19.6	242	原表紙に「[安政]四丁巳年自四月[安政五戊]午年至六月」の墨書あり。末尾に覚を付す。
御賀胤 在府中 譯官記録	裁判 樋口弾正・番縫 殿介	安政5年6月17日～ 安政5年11月20日	訳官記録.[30]	WA1-6-35	1冊	26.8×19.8	103	原表紙に「[安政五戊]午年自六月同年至十一月」の墨書あり。
御賀胤御図書請 取 送譯官記録	裁判 番縫殿介	安政5年11月21日～ 万延1年2月17日	訳官記録.[31]	WA1-6-35	1冊	26.3×19.3	180	原表紙に「[安政五戊]午年自十一月同七庚申年至二月」の墨書あり。末尾に覚を付す。

迎送往復書状 控	裁判 樋口弾正・番縫 殿[介]	安政4年8月30日～ 万延1年1月22日	裁判記録. [226]	WA1-6-14	1冊	25.7×19.5	190	原表紙に「安政四丁巳年自八月同七庚申至二月」の墨書あり。
年限 裁判記録	三浦守衛	安政5年11月5日～ 万延1年3月30日	裁判記録. [229]	WA1-6-14	1冊	26.7×19.3	56	原表紙に「自安政六己未年七月至安政七庚申六月」「状控共 参册」の墨書あり。
年限 裁判記録	三浦守衛	万延1年閏3月1日～ 万延1年6月4日	裁判記録. [230]	WA1-6-14	1冊	26.6×19.2	44	原表紙に「自安政六己未年七月至安政七庚申六月」「状控共 参册」の墨書あり。
年限 裁判書状 控	三浦守衛	安政6年9月22日～ 万延1年5月16日	裁判記録. [231]	WA1-6-14	1冊	26.7×19.2	24	原表紙に「自安政六己未年七月至安政七庚申六月」「状控共 参册」の墨書あり。
譚官記録	譚正使助勤 古川采女	安政6年12月13日～ 文久1年4月28日	譚官記録.[32]	WA1-6-35	1冊	27.1×20.1	75	原表紙に「自安政六己未年至文久元辛酉年四月」の墨書あり。
譚官裁判記録	吉田隼見	安政6年2月25日～ 万延1年8月29日	裁判記録. [227]	WA1-6-14	1冊	26.4×19.6	177	原表紙に「安政六己未年自二月万延元庚申年至八月」「共四 册」「君草李翁知君惠韓主簿」の墨書あり。末尾に寛を付す。
譚官裁判記録	吉田隼見	文久1年3月19日～ 文久2年4月15日	裁判記録. [232]	WA1-6-14	1冊	26.3×19.8	132	原表紙に「文久元辛酉年自三月同二壬戌年至四月」「共四册」 「君草李翁知君惠韓主簿」の墨書あり。末尾に音物に寛を付す。
書状控	迎送裁判 吉田隼見	万延1年4月7日～ 万延1年4月9日	裁判記録. [228]	WA1-6-14	1冊	26.3×19.8	101	原表紙に「共四册」の墨書あり。
年限 裁判記録	多田佐一郎	文久3年7月17日～ 元治1年9月30日	裁判記録. [233]	WA1-6-14	1冊	24.1×18.9	85	原表紙に「文久三癸亥年七月至元治元年甲子九月」「状控共 参册」「御圖書和澤民有之」の墨書あり。
年限 裁判記録	多田佐一郎	元治1年10月1日～ 慶応1年閏5月29日	裁判記録. [235]	WA1-6-14	1冊	23.9×19.0	121	原表紙に「自元治元甲子年十月至同二乙丑年閏五月」「状控 共参册」「御圖書和澤民有之」の墨書あり。末尾に「音物控」 「入齋音物控」を付す。
年限 裁判書状 控	多田佐一郎	元治1年3月28日～ 慶応1年閏5月25日	裁判記録. [234]	WA1-6-14	1冊	23.7×18.7	23	原表紙に「自元治元甲子年三月至同二乙丑年閏五月」「共参 册」の墨書あり。
[年限] 裁判記 録	[渡辺小右衛門]	明治1年9月23日～ 明治4年2月3日	裁判記録. [152]	WA1-6-14	1冊	25.5×19.1	110	原表紙に「明元戊辰年九月至同四辛未年〇月」「状控共二册」 の墨書あり。末尾に寛を付す。

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名, [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備	考
年限 裁判書状 控	渡辺小右衛門	明治3年1月2日～ 明治3年12月24日	裁判記録, [236]	WA1-6-14	1冊	26.2×19.5	16	原表紙に「自明治二己巳年十月〔 〕年二月」の墨書あり。	

3 送使記録

(1) 見名送使

3 送使記録

(1) 見名送使 6冊

「見名送使」とは、対馬島主宗氏の嫡子名で毎年派遣される年例送使のこと。起源は享徳元年（1452）と古いが、中断・再開をくりかす。江戸時代の見名送使は、慶長16年（1611）宗義智の子「彦三」（後の宗義成）送使に始まる。平姓を名乗る宗氏の胤嗣（後継）であることから、「平胤公」「平胤送使」などとも称される。毎年、正官以下の使者が乗船して外交書簡も所持することから、年例送使（通称「八送使」）の部類に入り、渡航船が9種になることから見名送使派遣期間を「九送使」と称す。

当館に所蔵される見名送使の記録は次の6冊である。

- 1 『御見名送使記録』 享保12年（1727）
 - 2 『御見名御図書御請取之式』 文政6年（1823）
 - 3 『癸未年條御見名送使記録』 文政7年（1824）
 - 4 『平胤送使記録』 文政10年（1827）
 - 5 『御見名送使記録 附り順附漂民』 文政13年（1830）
～天保2年（1831）
 - 6 『御見名送使記録』 天保5年（1834）～同7年（1836）
- このうち1は見名「弥市」（後の宗義如）名義の送使記録。2～6は見名「彦満」（後の宗義章）名義の送使記録。見名送使は、「弥市」送使の後いったん中断するも、文政7

年（1824）「彦満」送使派遣によって復活する。2は前年に渡航証に押印される図書（銅印）が支給されることになり、その請取記録である。5の「順附漂民」は、見名送使に朝鮮漂流民を乗船させて送還したときの記録である。

年例および臨時送使については田代和生『近世日朝通交貿易史の研究』（創文社、1981年）を参照。（田代和生）

原題	作成者	内容年	当館書名・ [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
御見名送使記録 御見名送使記録 附り順附謄民	正官 梅野忠兵衛 封進 青木辨右衛門	享保12年5月23日～ 享保12年11月28日	御見名送使記 録・[1]	WA1-6-13	1冊	23.8×18.7	39	原表紙に「享保十二丁未歳自五月」の墨書あり。巻頭に「享保拾貳丁未歳御見名御送使記録」とあり。末尾に音物の覚なとあり。弥一（宗義如）時のもの。
御見名御圖書御 請取之式	館守 原大作	文政6年12月	御見名御圖書 御請取之式	WA1-6-12	1冊	25.9×20.1	12	原表紙に「[文]政六癸未年十二月」の墨書あり。内表紙に「御圖書御受取庶儀」の墨書あり。巻頭に「癸未年十二月御見名御圖書御請取之式」とあり。彦満（宗義章）時のもの。
癸未年條御見名 送使記録	亀川登藏・梅野右七	文政7年3月28日～ 文政7年11月20日	御見名送使記 録・[2]	WA1-6-13	1冊	27.3×20.2	114	原表紙に「[文]政七甲申年從三月至十一月」の墨書あり。巻頭に「文政六癸未年条御見名使記録」とあり。亀川登藏は朝鮮方改役、梅野右七は表御徒士で、見名使の御使者。末尾に「音物取遣」「音物遣出」などの覚を付す。書付1通（2紙に糊離れ）を添付。彦満（宗義章）時のもの。
平胤送使記録	小林平角・秋山平次郎	文政10年6月15日～ 文政10年11月22日	平胤送使記録	WA1-6-32	1冊	26.9×20.1	19	原表紙に「[文]政十丁亥年從六月至十一月」の墨書あり。巻頭に「文政十丁亥年条御見名送使記録」とあり。小林平角は正官樋口又左衛門の名代、秋山平次郎は封進幾度小左衛門の名代。末尾に音物の覚などを付す。彦満（宗義章）時のもの。
御見名送使記録 附り順附謄民	橋邊又左衛門・永野常 九郎	天保1年12月～ 天保2年11月13日	御見名送使記 録・[3]	WA1-6-13	1冊	26.5×19.5	23	原表紙に「[天]保二辛卯年六月ヨリ十一月至」の墨書あり。橋邊又左衛門は正官黒岩縫殿介の名代、永野常九郎は封進青野久米治の名代。末尾に「覚」「音物覚」を付す。彦満（宗義章）時のもの。
御見名送使記録	岩崎源左衛門・田崎富 右衛門	天保5年11月24日～ 天保7年3月8日	御見名送使記 録・[4]	WA1-6-13	1冊	26.7×20.0	29	原表紙に「[天]保六乙未年より同七丙申年三至」の墨書あり。巻頭に「天保六乙未年条御見名送使記録」とあり。岩崎源左衛門は正官森川源五郎の名代、田崎富右衛門は封進田崎弥平治の名代。末尾に音物の覚などを付す。彦満（宗義章）時のもの。

3 送使記録

(2) 漂着使

3 送使記録 (2) 漂着使 7冊

漂流民を送迎するため派遣される臨時使節のこと。漂流回数は朝鮮側が圧倒的に多く、しかもその約3割が対馬に漂着しており、漂流民の姓名・出身地・積荷・船道具・漂流の状況などを記録した後に朝鮮へ送還する。対馬島外に漂着したものは、寛永17年(1640)より長崎へ回送され、対馬経由で送還される規定であった。朝鮮漂流民の殆どが漁民であるが、まれに朝鮮王朝の高官が乗船している場合がある。当館所蔵の『漂官人特差使記録』及び『旌義旧県監李種徳三十六人乗五島奈留島之内大串村江漂着記録』は、文化12年(1815) 濟州島旌義県の前県監李種徳と内室を合む36人乗りの船が五島の奈留島へ漂着したときのもので、寛文5年(1665)の先例を踏襲して「特差使」での送還がなされている。日本漂流民(和漂流)も数は少ないが、対馬の使船で帰還する。当館所蔵の『和漂流記録』享保11年(1726)及び『破船漂流護送使及漂着記録』明治元年(1868)が和漂流関係で、対馬領外の者であったことから倭館への立入りを禁じられ、近くの牛岩浦へ船を係留して帰国時に館守が出張して受け取る、といった手順が踏まれている。

近世日朝漂流民については李薫(池内敏訳)『朝鮮後期

漂流民と日朝関係』法政大学出版局、2008年)、池内敏『近世日本と朝鮮漂流民』(臨川書店、1998年)を参照。
(田代和生)

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
漂着使記録	殞命御使者 多田新藏・阿比留平次	享保1年2月28日～ 享保1年9月20日	破船漂民護送 使及漂着記録、 [1]	WA1-6-29	1冊	26.5×200	65	原表紙に「正徳六丙申年」の墨書あり。末尾に音物などの目録を付す。朝鮮人漂流者7人（うち2人は死亡。死体はなし）に関するもの。
和漂民記録	平田所左衛門	享保11年5月29日 ～享保11年11月7日	破船漂民護送 使及漂着記録、 [2]	WA1-6-29	1冊	26.6×207	91	原表紙に「八番之内△」「享保十一丙午年五月より十一月迄」「摂州神戸同二ツ茶屋肥州五島」の墨書あり。日本人14人に関するもの。
破船漂民護送使 記録	正官 大浦甚兵衛 封進 長屋弟右衛門	享保12年2月6日～ 享保14年10月15日	破船漂民護送 使及漂着記録、 [3]	WA1-6-29	1冊	26.5×202	172	原表紙に「享保十二丁未年自二月同十四巳酉年至十月」の墨書あり。末尾に音物などの覚を付す。朝鮮人5人に関するもの。
破船漂民護送使 記録	正官 見嶋又藏 封進 仁位三右衛門	享保17年11月12日 ～享保20年8月25日	破船漂民護送 使及漂着記録、 [4]	WA1-6-29	1冊	26.5×199	91	原表紙に「享保十七壬子年自十一月同貳拾乙卯年至八月」の墨書あり。末尾に音物などの覚を付す。朝鮮人7人に関するもの。
漂官人特差使記 録	平田生駒・卯東澤右衛 門・中原五郎右衛門	文化12年9月27日 ～文化13年9月15日	破船漂民護送 使及漂着記録、 [5]	WA1-6-29	1冊	26.8×198	72	原表紙に「從文化十二乙亥年至同十三丙子年」の墨書あり。末尾に「別幅」「封進音物」「從御聞所書状」及び音物などの覚を付す。平田生駒は正官平田帯刀の名代、卯東沢右衛門は封進中原五郎右衛門の名代。朝鮮官人に関するもので、「破船漂民護送使及漂着記録、[6]」と同じ事件に関するもの。
旌義郡監李種 徳三十六人乗五 高奈留高之内大 申科江漂着記録	館守 小野十郎兵衛	文化13年3月15日 ～文化13年5月	破船漂民護送 使及漂着記録、 [6]	WA1-6-29	1冊	23.0×186	26	原表紙に「[自]文化十三丙子年三月至四月」の墨書あり。内表紙に「文化十三丙子年從三月至四月 漂官人記録 館守小野十郎兵衛」の墨書あり。朝鮮官人に関するもので、「破船漂民護送使及漂着記録、[5]」と同じ事件に関するもの。
破船漂民護送使 及漂着記録	[番藏殿介小]	明治元年(か)3月～ 明治元年(か)閏4月	破船漂民護送 使及漂着記録、 [7]	WA1-6-29	1冊	25.3×172	41	原題は内表紙による。ただし、帝國図書館で付されたものか。「戊辰閏四月二日達」等の注記あり。番藏殿介宛の文書を集めたもの。日本人21人に関するもの。

3 送使記録

(3) 告還使

3 送使記録 (3) 告還使 5冊

「告還使」とは、対馬藩主宗氏の対馬帰国（対馬）を朝鮮へ報告する臨時使節。書契（公文書）の宛先が礼曹参議であるため、接待基準は「小差倭」となる。当館には、宗義方（2冊）、宗義誠（2冊）、宗義功（1冊）の告還使記録がある。いずれも正官以下の使節員が任命された日から、乗船して倭館を離れる日までの出来事を、茶礼・封進宴・返簡請取・出宴席下行などの儀礼を中心に記録している。

（田代和生）

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名. 〔冊番号〕	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
告遷使記録	山崎勝五郎・鳥村老右衛門	宝永2年8月13日～ 宝永3年10月22日	告遷使記録. [1]	WA1-6-1	1冊	24.5×19.1	74	原表紙に「宝永三丙戌年自五月至十月」の墨書あり。山崎勝五郎は正官、鳥村老右衛門は封進。末尾に「遷接慰官入船之短簡并目録」を付す。宗義方時のもの。
告遷使記録	原佐平・川原太右衛門	宝永4年9月2日～ 宝永5年8月3日	告遷使記録. [2]	WA1-6-1	1冊	24.7×19.0	44	原表紙に「宝永五年戊子四月□日」の墨書あり。原佐平は正官、川原太右衛門は封進。末尾に「遷接慰官東菜入船之音物目録」を付す。宗義方時のもの。
告遷使記録	大嶋庄左衛門・相良字八	享保9年9月16日～ 享保11年4月15日	告遷使記録. [3]	WA1-6-1	1冊	24.7×20.6	41	原表紙に「享保十乙巳十月ヨリ同一丙午年四月マテ」の墨書あり。大嶋庄左衛門は正官、相良字八は封進。末尾に贈答品などの目録を付す。宗義誠時のもの。
告遷使記録	樋口富右衛門名代 大原三郎兵衛・山内源左衛門	享保11年8月20日 ～享保12年9月21日	告遷使記録. [4]	WA1-6-1	1冊	24.0×18.8	40	原表紙に「享保十二丁未年自六月至九月」の墨書あり。樋口富右衛門・山内源左衛門は御劔官。末尾に贈答品などの目録を付す。宗義誠時のもの。
告遷使記録	多田友之助・山下左衛門	文化3年5月11日～ 文化4年正月22日	告遷使記録. [5]	WA1-6-1	1冊	26.2×19.3	25	原表紙に「文化三丙寅年從五月〔 〕正月」の墨書あり。多田友之助は告遷使、山下左内は告遷使山下興右衛門名代。末尾に別幅などの目録を付す。宗義功時のもの。

3 送使記録

(4) 吊礼使

3 送使記録 (4) 吊礼使 13冊

朝鮮国王とその家族の薨去の際、弔慰を表するため宗家が派遣する臨時使節。接待基準は、告還使と同じ小差倭。当館が所蔵する吊礼使の任命年は以下の通りである。

元禄14年 (1701) 仁顕王后 (肅宗王妃)
享保5年 (1720) 肅宗 (国王)
享保9年 (1724) 景宗 (国王)
享保15年 (1730) 宣懿王后 (景宗王妃)
宝暦7年 (1757) 仁元王后 (肅宗王妃)
宝暦7年 (1757) 貞聖英祖 (英祖王妃)
安永5年 (1776) 英祖 (国王)
寛政12年 (1800) 正祖 (国王)
文化2年 (1805) 貞純王后 (英祖王妃)
文政4年 (1821) 孝懿王后 (正祖王妃)
天保2年 (1831) 孝明世子 (純祖世子)
天保15年 (1844) 孝顯王后 (憲宗王妃)
嘉永2年 (1849) 憲宗 (国王)

(田代和生)

原題	作成者	内容年	当館書名. [冊番号]	当館請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
吊礼御使者記録	正官 下田[樞左]衛門 封進 輔沢半八 館守 嶋雄八左衛門	元禄14年12月25日 ～元禄15年5月14日	吊礼使記録. [1]	WA1-6-26	1冊	24.5×19.3	25	原表紙に「[元]禄十五午年十二月より」の墨書あり。都后(仁顯王后、肅宗の王妃)死去時のもの。
吊礼使記録	内野樞兵衛・志田運平	享保5年7月15日～ 享保6年2月10日	吊礼使記録. [2]	WA1-6-26	1冊	26.0×20.3	108	原表紙に「[自]享保五庚子年至同六辛丑年」の墨書あり。内野樞兵衛は正官、志田運平は封進。末尾に「吊礼使持渡之参議東菜釜山江之御書簡并別幅」「十二月十八日封進宴常音物」を付す。朝鮮国王(肅宗)死去時のもの。
吊礼使記録	杉村帯刀・吉野案右衛門	享保9年9月9日～ 享保10年5月17日	吊礼使記録. [3]	WA1-6-26	1冊	25.5×19.7	155	原表紙に「享保」の墨書あり。杉村帯刀は御使者、吉野案右衛門は封進。末尾に「遣礼曹吊礼書並別幅」「乙未三月十八日封進宴常音物」などを付す。朝鮮国王(景宗)死去時のもの。
吊禮記録	正官 倭主膳 封進 梅野一郎右衛門	享保15年9月11日～ 享保16年4月24日	吊禮記録.[2]	WA1-6-25	1冊	26.0×19.8	115	原表紙に「享保拾五庚戌年自九月朔日至四月廿四日」の墨書あり。享保16年2月9日条に贈物の彩色図あり。末尾に音物などの覚書を付す。景宗之后(宣懿王后、景宗の王妃)死去時のもの。
中宮殿吊慰使記録	正官 津口多兵衛 封進 井近右衛門	宝暦7年9月14日～ 宝暦8年11月13日	吊慰記録.[1]	WA1-6-25	1冊	27.8×19.6	67	原表紙に「宝暦七丁丑年同戊寅年ニ至ル」の墨書あり。末尾に陸物に関する「覚」、「早飯中毎日入来候生魚積」などの覚書、音物の覚などを付す。中宮殿(仁元王后、肅宗の王妃)死去時のもの。
大妃吊慰使記録	内野一郎左衛門・倭只右衛門	宝暦7年9月14日～ 宝暦8年9月8日	吊慰記録.[3]	WA1-6-25	1冊	28.2×19.5	107	原表紙に「宝暦七丁丑年九月より同八月戌寅年九月二至」の墨書あり。冒頭に目次あり。内野一郎左衛門は正官、倭只右衛門は封進。末尾に「封進宴音物」などの覚書、「掖慰音物一件二付御国より御指図其外館守論談之次第」を付す。大妃(貞聖王后、英祖の王妃)死去時のもの。
吊禮記録	正官 津江蘆之助 封進 平山喜三郎	安永5年3月20日～ 4月13日	吊禮記録.[6]	WA1-6-25	1冊	26.6×19.4	110	原表紙に「[安]永五丙申年」の墨書あり。末尾に「遣礼曹吊礼使書并別幅」、音物などの覚を付す。朝鮮国王(英祖)死去時のもの。

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
吊礼使記録	鈴木久米右衛門・堀江 仁左衛門	寛政12年7月15日～ 享和1年4月25日	吊礼使記録、 [4]	WA1-6-26	1冊	26.5×19.5	92	原表紙に「寛政十二庚申年ヨリ十三辛酉年二至」の墨書あり。鈴木久米右衛門は正官大浦左兵衛名代、堀江仁左衛門は封進。冒頭に「音物代半減」に関する覚を付す。末尾に「遣音物」「来音物」を付す。朝鮮国王（正祖）死去時のもの。
吊禮使記録	国分與一兵衛・陶山平 助	文化2年2月13日～ 文化2年閏8月25日	吊禮記録、[5]	WA1-6-25	1冊	27.2×20.0	94	原表紙に「文化二乙丑年二月より同閏八月二至」の墨書あり。冒頭に略目次を付す。国分与一兵衛は正官黒岩左衛門名代、陶山平助は封進。7月15日桑に贈物の彩色絵図あり。末尾に「来音物」「遣音物」などの覚書を付す。朝鮮国王（純祖）曾祖母（貞純王后、英祖の王妃）死去時のもの。文政5年閏正月17日付大妃吊禮使封進による文書を添付。
吊禮使記録	樋口太郎兵衛・永瀬理 兵衛	文政4年3月15日～ 文政5年2月24日	吊禮記録、[8]	WA1-6-25	1冊	26.7×20.2	103	原表紙に「[文]政四辛巳年六月ヨリ壬午二月至」の墨書あり。樋口太郎兵衛は正官、永瀬理兵衛は封進。末尾に「遣音物」「来音物」などの覚書あり。朝鮮国王大妃（孝懿王后、正祖の王妃）死去時のもの（当時、国王は純祖）。
吊禮使記録	樋口重吾・中原五郎右 衛門	天保2年2月3日～ 天保2年9月8日	吊禮記録、[7]	WA1-6-25	1冊	26.2×19.6	121	原表紙に「[自文]政十三庚寅年至天保二辛卯年」の墨書あり。樋口重吾は正官、中原五郎右衛門は封進。冒頭に目次、前札三具の彩色図、朝鮮御の文書などあり。末尾に「両訳差備官江出入船遣巻通」「来音物」などの覚書を付す。朝鮮国王世子（孝明世子、純祖の世子）死去時のもの。
中殿吊禮使記録	正官 平田加津美 封進 田口四郎(左衛門)	弘化1年2月5日～ 弘化1年11月29日	吊禮記録、[4]	WA1-6-25	1冊	27.2×19.3	99	原表紙に「天保十五甲辰年」の墨書あり。巻頭に文書類を付す。本文巻頭は「天保五甲辰年二月五日」とあり。末尾に「封進宴中宴席出船宴の節朝廷并接慰官より之礼単物」などの覚書を付す。王妃（孝顕王后、憲宗の王妃）死去時のもの。
吊礼使記録	小田儀兵衛名代 正官 人 乾守之輔 封進 江口嘉(右衛門)	嘉永2年7月17日～ 嘉永3年5月14日	吊礼使記録、 [5]	WA1-6-26	1冊	25.5×19.5	98	原表紙に「[自嘉]永二己酉年至同三庚戌年」の墨書あり。冒頭に前札と花瓶・蠟燭立の彩色図、「音物代半減」に関する覚あり。末尾に「遣音物」「来音物」を付す。朝鮮国王（憲宗）死去時のもの。

3 送使記録

(5) 告喪使

3 送使記録 (5) 告喪使 3冊

徳川将軍家の継嗣の薨去を報告する臨時使節。将軍薨去を報じる「大訃使」が、礼曹参判宛ての書契を持参する「参判使」(朝鮮では大差倭)扱いであるのに対して、告喪使は告還使と同じ小差倭である。安永8年(1779)徳川家基(10代将軍徳川家治の継嗣)の薨去に際して派遣され、接待基準は天和3年(1683)薨去した徳松(5代将軍綱吉の継嗣)の先例に拠った。当館にはこの家基告喪使の他、寛政6年(1794)竹千代(法名孝順院、11代将軍家斉の継嗣)告喪使及び文化12年(1815)竹千代(法名玉樹院、12代将軍家慶の継嗣)告喪使の記録が保管されている。

(田代和生)

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名. [冊番号]	当館請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
家基君御事入納 言様鏡薨御告喪 使記録	正官 濱田見隈 封進 堀江幾左衛門	安永8年11月27日 ～安永9年6月15日 [1]	告喪使記録. [1]	WA1-6-3	1冊	26.6×20.0	76	原表紙に「徒安永八己亥年至同九庚子年」「館主控」の墨書あり。巻頭の遊紙に「勤役戸田頼母」の墨書あり。巻頭に先例を記載。末尾に「茶礼行列」「二月十八日両訳初対面之節献立」「遣音物覚」,「返物覚」を付す。
若君縁竹千代君 薨御付告喪使記 録	正官 原熊之丞 封進 倉田半藏	寛政6年6月7日～ 寛政6年12月13日 [2]	告喪使記録. [2]	WA1-6-3	1冊	27.2×19.3	54	原表紙に「寛政六甲寅年從六月至十二月」の墨書あり。巻頭の遊紙に「三任戸田頼母受取之」の墨書あり。本文巻頭に先例を記載。末尾に「茶礼行列」「九月十八日両訳初対面献立」「遣音物覚」,「返物覚」別冊「告喪使下行目録扣」(「寛政六甲寅年十二月」とあり)を付す。孝順院(徳川家斉長男)死去時のもの。
告喪使記録	正官 青柳治左衛門 封進 平山新藏	文化12年2月30日 ～文化12年11月 14日 [3]	告喪使記録. [3]	WA1-6-3	1冊	26.8×19.6	63	原表紙に「[文]化十二乙亥年從二月至十一月」の墨書あり。巻頭に先例等の覚を記す。末尾に「茶碗膳部」「七月二日両訳初対面献立」「音物遣出之分」「音物来候分」などの覚を付す。王崩院(徳川家慶長男)死去時のもの。

3 送使記録

(6) 告訃使

3 送使記録

(6) 告訃使 11冊 [現在12冊に分冊]

対馬藩主宗氏の逝去を報告する臨時使節。告訃使の接待基準は告喪使と同じ小差倭。当館には享保3年(1718)宗義方の告訃使記録(1冊)以降、宗義誠(1冊)、宗義如(1冊)、宗方熙(4冊)、宗義蕃(1冊)、宗義暢(1冊)、宗義功(1冊)、宗義質(1冊)、宗義章(1冊)の告訃使記録が保管されている。(田代和生)

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
告訃使記録	一宮助左衛門・小田村 弥七	享保3年9月5日～ 享保4年4月29日	告訃使記録。 [1]	WA1-6-2	1冊	25.8×19.2	40	原表紙に「從享保三戊戌九月至己亥四月」の墨書あり。一宮助左衛門は正官、小田村弥七は封進。末尾に音物などの覚を付す。宗義方死去時のもの。
告訃使記録	濱田源左衛門・青野市 之允	享保15年11月6日 ～享保16年7月29 日	告訃使記録。 [2]	WA1-6-2	1冊	26.0×18.9	35	原表紙に「從享保十五庚戌十二月至辛亥七月」「館守方」の墨書あり。濱田源左衛門は正官、青野市之允は封進。宗義誠死去時のもの。
告訃使記録	平兵衛名代 重松弾之 助・平間格左衛門	宝暦2年3月15日～ 宝暦3年11月30日	告訃使記録。 [3]	WA1-6-2	1冊	27.6×19.5	65	原表紙に「從宝暦二壬申五月至癸酉十一月」の墨書あり。重松平兵衛は正官、平間格左衛門は封進。宗義如死去時のもの。
告訃使記録〔乾〕	正官 土田護左衛門 封進 村田伴〔右衛門〕	宝暦10年3月22日 ～宝暦12年6月27 日	告訃使記録。 [4上]	WA1-6-2	1冊	27.5×20.2	95	原表紙に「宝暦拾庚辰〔 〕同十三癸未明和元年申同式乙酉年〔 〕至同四年丁亥二月」「二冊之〔内〕」の墨書あり。宗方熙死去時のもの。「告訃使記録〔4下〕」と分冊したもの。
[告訃使記録 乾]	[正官 土田護左衛門 封進 村田伴右衛門]	宝暦12年7月2日～ 明和1年9月26日	告訃使記録。 [4下]	WA1-6-2	1冊	27.2×20.3	85	原表紙、内表紙次。宗方熙死去時のもの。「告訃使記録〔4上〕」と分冊したもの。「告訃使記録〔5〕」へ続く。
告訃使記録 坤	正官 土田護左衛門 封進 村田伴右衛門	明和1年11月30日 ～明和4年2月13日	告訃使記録。 [5]	WA1-6-2	1冊	27.4×20.1	175	原表紙に「宝暦拾庚辰五月同十一辛巳同貳壬午同十三癸未明和元年申同式乙酉同三丙戌至同年丁亥二月」「二冊之内」の墨書あり。宗方熙死去時のもの。「告訃使記録〔4上〕」から続く。
告訃使記録	館〔 〕戸田〔重左〕衛 門	宝暦12年4月30日 ～宝暦13年7月23 日	告訃使記録。 [6]	WA1-6-2	1冊	23.8×19.4	206	原表紙に「宝暦拾貳壬午〔 〕月〔 〕七月」の墨書あり。宗方熙死去時のもの。
告訃使記録	河内八左衛門・原田繁 左〔衛門〕	安永4年8月23日～ 安永5年8月13日	告訃使記録。 [7]	WA1-6-2	1冊	27.5×20.0	43	原表紙に「從安永三甲未年至同乙申年」の墨書あり。河内八左衛門は正官、原田繁左衛門は封進春沢郡兵衛の名代。末尾に遺物、返物などの覚を付す。宗義藩死去時のもの。

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
告言使記録	黒木勝見・懸橋源七郎	安永7年4月25日～ 安永8年9月9日	告言使記録。 [8]	WA1-6-2	1冊	27.5×20.0	47	原表紙に「從安永七戊戌年四月至乙亥九月」の墨書あり。遊紙の裏に「戸田頼母 勤役之節被召出候分」とあり。黒木勝見は正官、懸橋源七郎は封進瀧清藏の名代。末尾に「音物覚」を付す。宗義暢死去時のもの。
告言使記録	乾衛士・古藤源七	文化10年7月27日 ～文化11年8月12 日	告言使記録。 [9]	WA1-6-2	1冊	27.5×19.9	59	原表紙に「從文化十癸酉年八月至甲戌八月」の墨書あり。乾衛士は正官、古藤源七は封進小田与七の名代。宗義功死去時のもの。
告言使記録	平田左七・飯野安右衛門	天保10年4月23日 ～天保11年2月30 日	告言使記録。 [10]	WA1-6-2	1冊	26.4×19.8	54	原表紙に「從天保十己亥四月至庚子二月」の墨書あり。平田左七は正官、飯野安右衛門は封進大浦仲右衛門の名代。末尾に「遣出音物覚」「音物覚」を付す。宗義質死去時のもの。
告言使記録	白水甚左衛門・棧原惣右衛門	天保13年9月14日 ～天保14年8月3日	告言使記録。 [11]	WA1-6-2	1冊	27.6×19.8	34	原表紙に「從天保十三壬寅年九月同十四年癸卯年八月二至」の墨書あり。遊紙に「天保十四癸卯年八月三日御使者上船之節 古川采女受取之」の墨書あり。白水甚左衛門は正官入小林良左衛門の名代、棧原惣右衛門は封進早田兵之助の名代。末尾に「遣出音物覚」「音物覚」を付す。宗義章死去時のもの。

3 送使記録

(7) 退休使・給返使・体情使

3 送使記録 (7) 退休使・給仮使・体情使 3冊

『退休告襲参判使記録』1冊 元禄15年（1702）

「退休使」「告襲使」「印替使」の記録が合冊されている。このうち「退休使」は、隠居後も前年まで朝鮮関係の役職を勤めていた天龍院（宗義真）の退役を報告する臨時使節で、儒者の雨森東五郎（芳洲）が随行した使節としても知られている。「告襲使」は藩主宗義方が天龍院の後をついで襲職したことを報じる使節。「印替使」はこの交替により書契（公文書）に押印する凶書（銅印）が変わることを報告する使節で、通常は「凶書使」と称す。これら三使節は、それぞれ時期をずらして別個に正使以下の使者が書契をもたらし、接待基準はいずれも「参判使」（大差倭）扱いとされている。

『給仮使記録』1冊 天保4年（1833）

対馬藩主の後継者が初めて対馬に入国したことを報告する臨時使節の記録。この前年、宗義章が従四位下右京大夫に叙任して初の対馬入国が決まり、明暦期（1650年代）通信使の帰国時に「若殿様初入国」の使節派遣例になぞらえ、とりあえず使節名を「給仮使」として派遣したところ、小差倭扱いでの接待に成功した。接待費獲得のため、1回でも多くの使船派遣を願った対馬藩の苦

肉の策から生まれた臨時使節である。

『体情使記録』1冊 天保8年（1837）

冒頭に「先般朝鮮国南必善之一件ニ付礼曹参議より書翰被差越此節御返翰被差渡候付持渡之御使者」といった説明があるように、この前年に発生した南必善（膺中）の日本亡命未遂事件に関する幕府返書の持参のため、新規の使船「体情使」を派遣したときの記録。「給仮使」同様、接待費獲得のため考案された臨時使船の一つである。

南必善事件については李薫「1836年、南膺中の闖入事件取扱と近世倭館」（『韓日関係史研究』21、2004年）、酒井雅代「19世紀における朝鮮人の『日本亡命』事件の政治史的検討」（『歴史評論』762、2013年）を参照。

（田代和生）

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名. [冊番号]	当 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
退休告襲参判 使記録	館守 嶋雄八左衛門	①元禄15年2月20 日～元禄15年6月 25日 ②元禄15年6月8日 ～元禄15年11月16 日 ③元禄15年9月27 日～元禄16年2月14 日	退休告襲参判 使記録	WA1-6-23	1冊	25.0×20.7	80	原表紙に「[元]禄十五壬午年二月廿日同六月八日」「樋口佐左衛門殿、杉村壺人殿、大浦忠左衛門殿、原田主計殿」(大浦忠左衛門殿)は見消)の墨書あり。3種の資料を合冊したものであり、①宗義真の退休使の記録、②宗義方の告襲使の記録、③印替の記録から成る。①と②③は異筆。
給假使記録	吉川左衛門・青木亦一・安武忠右衛門	天保4年11月11日 ～天保6年3月17日	給假使記録	WA1-6-5	1冊	25.0×19.1	138	原表紙に「天保四癸巳十一月至同六乙未三月」の墨書あり。末尾に「九月八日東萊江重陽之音物左之通遣出」「午十月四日東萊より重陽遣之返物左之通來」などの覚書を付す。宗義章が初めて国入りをした際の使船。
體情使記録	正官 寺田市郎兵衛 封進 江口左七	天保8年12月24日 ～天保10年1月17 日	體情使記録	WA1-6-24	1冊	26.5×20.0	62	原表紙に「天保八丁酉十二月至同十己亥正月」の墨書あり。末尾に「茶礼贈節」等の覚書、「五月十日岡沢初対面献立」、「音物遣出之分」、「音物來候分」を付す。南必善亡命事件時のもの。

4 两国往復書関係

(1) 『两国往復書謄』

4 両国往復書関係

(1) 『両国往復書膳』 207冊 [現在208冊に分冊]

対馬藩から朝鮮へ派遣される年例及び臨時使節がもたらす日朝間の公式文書（書契）を中心に書き留めた記録。館守の指示のもと、実際の作成には外交文書の勘案・審査・記録を掌る倭館東向寺の僧侶が当たった。承応2年（1653）11月館守平田齋宮のときの龍女院休藏司によるものを最古とし、明治3年（1870）4月館守番縫殿介（再任）のときの長寿院春首座の記録に終わる。明暦4年（1658）から元禄16年（1703）の間は、文化9年（1812）館守田中所左衛門の代に改められた写本（18冊）が現存する。書契以外の朝鮮側との交換文書（真文・短簡・私信など）は、宝永5年（1708）・正徳2年（1712）の「短簡跡留記録」（2冊）、宝永7年（1710）の「信使御用記録」（1冊）、享保7年（1722）・享保9年（1724）の「別記録」（2冊）の計5冊が本シリーズに含まれている。

書役となった東向寺僧は、対馬島内の臨済系の寺庵から清書役に選ばれた者で、任期は一定しないがおおよそ1年内外である。職掌は単に公文書の記録・保管にとどまらず、朝鮮から渡される返簡について、内容・文字・体裁（文字の高下や点画に至るまで）を細かくチェックし、不備があればこれを受理せずに書き替えを要求するなどして館守を

補佐する役目をもっていた。その存在じたい、倭館が日朝外交の「最前線」にあったことを示している。

『両国往復書膳』と東向寺僧については長正統「日鮮関係における記録の時代」（『東洋学報』50-4、1968年）、田代和生『近世日朝通交貿易史の研究』（創文社、1981年）、池内敏「以厩庵輪番制と東向寺輪番制」（『九州史学』163、2012年）を参照。（田代和生）

原題	作成者	内容年	当館書名, [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
阿国往復書譜 七	館守 平田 ^{マコト} 茅宮 龍女院依藏司	承応2年3月～明暦 3年3月	阿国往復書譜, [1]	WA1-6-36	1冊	27.3×20.0	77	原表紙に「承心三甲午年正月 日」の墨書あり。中扉2枚あり。それぞれ「日本国通好之御書簡」、「朝鮮国之御返簡書」の墨書あり。後見返しに「元文四年己未五月日 中藏修補」の墨書あり。
阿国往復之書 二	館守 多田源右衛門 禪利	明暦2年6月～明暦 3年3月	阿国往復書譜, [2]	WA1-6-36	1冊	27.0×19.5	14	原表紙に「明暦二年丙申」の墨書あり。
阿国往復書譜 三	館守 多田源右衛門 禪利	明暦3年3月～万治 1年5月	阿国往復書譜, [3]	WA1-6-36	1冊	27.3×19.8	32	原表紙に「明暦三年丁酉五月朔日」の墨書あり。
阿国往復書譜 四	双桂菴惠簡	万治1年8月～万治 1年10月	阿国往復書譜, [1]	WA1-6-37	1冊	25.9×19.8	17	原表紙に「明暦四戊戌」の墨書あり。裏表紙に「記書蝨故改之 文化九壬申七月」の墨書あり。
阿国往復書譜 肆	雙桂菴惠簡	万治1年8月～万治 1年10月	阿国往復書譜, [4]	WA1-6-36	1冊	27.4×19.4	13	原表紙に「明暦四戊戌年八月」の墨書あり。末尾に「旧記蝨傷点画、故改写之于時文化九壬申七月 館守田中所左衛門 輪住寿能庵祖寛」の墨書あり。
阿国往復書譜 五	仁位格兵衛在館 瑞泉院珠光	明暦3年10月～万 治2年11月	阿国往復書譜, [2]	WA1-6-37	1冊	26.5×19.7	43	原表紙に「万治貳己亥歲正月廿四日」の墨書あり。末尾に「自戊戌霜月至庚子梅帆」の墨書あり。
阿国往復書譜 五	館守 仁位格兵衛 瑞泉院珠光	万治1年10月～万 治2年11月	阿国往復書譜, [5]	WA1-6-36	1冊	27.3×19.7	37	原表紙に「自万治己亥正月至同十一月」の墨書あり。末尾に「旧記蝨故改正焉 于時文化九壬申八月日 館守田中所左衛門 輪住寿能庵祖寛」の墨書あり。後半は「年条不時回翰」。
阿国往復書譜 六	館守 仁位格兵衛 双桂菴元信首座	万治2年12月～寛 文1年2月	阿国往復書譜, [6]	WA1-6-36	1冊	27.5×19.4	48	原表紙に「万治三辛丑年四月十八日」の墨書あり。
阿国往復書七	圓成菴圓藏司	寛文1年2月～寛文 1年7月	阿国往復書譜, [7]	WA1-6-36	1冊	27.4×19.7	13	原表紙に「寛文元年辛丑」の墨書あり。
阿国往復書譜 八	館守 三浦内蔵尉 幻住菴玄哲	寛文2年1月～寛文 3年3月	阿国往復書譜, [3]	WA1-6-37	1冊	26.5×19.5	35	原表紙に「寛文貳壬寅三月十八日」の墨書あり。末尾に「寛文貳年壬寅三月吉日」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
阿国往復書牋 八	館司 三浦内蔵尉 幻住菴玄哲	寛文2年1月～寛文 3年3月	阿国往復書牋、 [8]	WA1-6-36	1冊	27.2×19.4	39	原表紙に「自寛文二壬寅年正月至同三癸卯三月」の墨書あり。 末尾に「旧記譚故改正之 于時文化九壬申七月日 館司田中所 左衛門 輪住寿康庵祖寛代」の墨書あり。後半は「年条不時回 答書」。
阿国往復書牋 九	館司 吉川六郎左衛門 禪利	寛文3年1月～寛文 4年1月	阿国往復書牋、 [4]	WA1-6-37	1冊	26.1×19.7	25	原表紙に「寛文三年癸卯」の墨書、「天保七年六月書改相済 之事」の朱書あり。
阿国往復書牋 九番	館司 吉川六良左衛門 禪利	寛文3年1月～寛文 4年1月	阿国往復書牋、 [5]	WA1-6-37	1冊	25.9×19.6	32	原表紙に「寛文三年癸卯正月ヨリ至同四年甲辰正月」の墨書 あり。末尾に「旧記譚故改正之 茲時文化九壬申八月 館守田 中所左衛門 輪住寿康庵祖寛代」の墨書あり。後半は「年条不時 回書」(中扉による)。
阿国往復書牋 九	館司 吉川六郎左衛門 禪利	寛文3年1月～寛文 4年1月	阿国往復書牋、 [9]	WA1-6-36	1冊	27.2×19.9	30	原表紙に「寛文三年癸卯」の墨書あり。後半に「火災之時輪 送米三百石書簡也、以久滞在予館不載旧之遺稿今館守送達 之付州故記録焉」あり。
阿国往復書牋 拾	館司 吉川六郎左衛門 芳春菴祖了	寛文3年10月～寛 文5年3月	阿国往復書牋、 [6]	WA1-6-37	1冊	27.2×20.4	28	原表紙に「寛文五乙巳四甲辰年四月日」(「五乙巳」右に「四 甲辰」を補記)の墨書あり。
阿国往復書牋 拾	館司 吉川六郎左衛門 芳春菴祖了	寛文3年10月～寛 文5年3月	阿国往復書牋、 [10]	WA1-6-36	1冊	27.3×19.5	37	原表紙に「自寛文四年甲辰正月至同年七月」の墨書あり。後 見返しに「旧記穉年齏傷点画、故改正之、于時文化九壬申六 月 館司田中所左衛門 寿康庵寛首座」の墨書あり。後半は「回 書」。
阿国往復書牋 十一	館司 仁位孫右衛門 幻住菴玄哲	寛文5年1月～寛文 7年1月	阿国往復書牋、 [7]	WA1-6-37	1冊	26.3×20.0	63	原表紙に「寛文自五年至六年七年丁未二月日」(「七年」の右 に「自五年至六年」を補記)の墨書あり。
阿国往復書牋 拾一	館司 仁位孫右衛門 幻住菴玄哲	寛文5年1月～寛文 6年12月	阿国往復書牋、 [11]	WA1-6-36	1冊	27.4×19.5	75	原表紙に「自寛文五年乙巳年至同六丙午年」の墨書あり。後 半は「年条不時回翰」。後見返しに「記鑑歴昔年齏傷点画故 改正之 茲文化九壬申六月日 館守田中所左衛門 寿康庵祖寛首 座」の墨書あり。

阿国往復書牒 拾二	館主 仁位孫右衛門・ 幾度判右衛門 天澤菴元超	寛文7年1月～寛文 8年2月	阿国往復書牒 [12]	WA1-6-36	1冊	27.3×20.0	29	原表紙に「自寛文七丁未二月至同八年戊申二月」の墨書あり。 内表紙に「阿国往復之書」「自寛文七年丁未二月念三日至八年戊申三月十五日交代 天沢三世元超」の墨書あり。印記：「元超」
阿国往復書牒 十三	館守 幾度判右(衛)門 祖洋	寛文7年1月～寛文 9年2月	阿国往復書牒 [8]	WA1-6-37	1冊	26.5×19.7	44	原表紙に「自寛文戊申三月至己酉二月」の墨書あり。
阿国往復書牒 拾三	館司 幾度判右衛門 祖洋	寛文7年11月～寛 文9年2月	阿国往復書牒 [13]	WA1-6-36	1冊	27.4×19.5	55	原表紙に「自寛文七丁未十一月至同九月己酉二月」の墨書あり。 後半に「年条不時報」あり。末尾に「記羅積年蠹傷点画故 改写之茲文化九壬申六月日 館守田中所左衛門 寿康庵寛首座」 の墨書あり。
阿国往復書牒 拾肆	梅林菴 仙乎	寛文9年1月～寛文 9年7月	阿国往復書牒 [14]	WA1-6-36	1冊	27.3×20.0	16	原表紙に「自寛文九己酉三月至同年六月」の墨書あり。本文 第9丁～第11丁に補綴あり。補綴部分末に「井乎弥六左衛門 持渡書記録二無之佐々木惠吉殿吟味之節御国江被申越焉送来 此処江閉込置候 寛政六年甲寅十一月 日 徳藏主 館守戸田頼 母」の識語あり。
阿国往復書牒 拾五	館守 唐坊忠右衛門 少林菴紹普	寛文9年12月～寛 文11年3月	阿国往復書牒 [9]	WA1-6-37	1冊	26.3×20.2	33	原表紙に「寛文十一辛亥四月念五日」の墨書あり。裏表紙に 「此書蠹故改写之相済」の墨書あり。
阿国往復書牒 十六	館守 唐坊忠右(衛)門 瑞泉院玄玲	寛文11年6月～寛 文11年12月	阿国往復書牒 [10]	WA1-6-37	1冊	26.2×19.0	19	原表紙に「寛文十二壬子三月十六日」の墨書あり。裏表紙に 「此書因蠹改写之相済」の墨書あり。
阿国往復書牒 拾六	館司 唐坊忠右衛門 瑞泉院玄玲	寛文11年1月～寛 文11年12月	阿国往復書牒 [15]	WA1-6-36	1冊	27.3×19.5	28	原表紙に「寛文十一辛亥歳」の墨書あり。内表紙書名は「阿 国往復書牒」。後半に「年条不時報」あり。後見返しに「記 羅積年蠹傷点画故改正之 于時文化九壬申六月日 館司田中所 左衛門 寿康庵寛首座」の墨書あり。
阿国往復書牒 十七	芳春菴祖了	寛文11年12月～延 宝1年10月	阿国往復書牒 [16]	WA1-6-36	1冊	27.3×20.0	53	原表紙に「寛文十三年」の墨書あり。本文第19丁～第23丁 に補綴あり。補綴部分末に「杉村采女時渡書記録落佐々木惠 吉殿吟味之節御国江申越御国ヨリ焉送来コロコロエトゾワ クナリ 寛政六年甲寅十一月日 朝陽新徳藏主 館守戸田頼母」 の識語あり。

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
阿国往復書牋 拾八	館司 唐坊忠右衛門・ 高勢八左衛門 天澤菴元超	延宝1年6月～延宝 2年12月	阿国往復書牋、 [17]	WA1-6-36	1冊	27.3×19.5	25	原表紙に「自寛文十三癸丑五月至延宝元甲寅十二月」の墨書あり。後半は「年条不時回翰」。末尾に「記鑑積年齋傷点画故改写之時文化九壬申六月日 館司田中所左衛門 寿康庵寛寛首座」の墨書あり。
阿国往復書牋 拾九	館司 高勢八右衛門 玄玲蔵司	延宝2年4月～延宝 3年2月	阿国往復書牋、 [18]	WA1-6-36	1冊	27.3×19.2	17	原表紙に「自延宝二甲寅年六月至同乙卯年二月」の墨書あり。内表紙に「阿国誠信書」「自延宝貳五月十五癸至乙卯三年三月廿九日交代」の墨書あり。印記あり。
阿国往復書牋 二十	館司 高勢八右衛門 芳春菴扭了首座	延宝2年11月～延 宝4年2月	阿国往復書牋、 [19]	WA1-6-36	1冊	27.3×19.2	40	原表紙に「延宝三乙卯」の墨書あり。
阿国往復書牋 二十一	平田所左衛門 天澤菴元超	延宝4年3月～延宝 5年1月	阿国往復書牋、 [20]	WA1-6-36	1冊	27.2×19.8	25	原表紙に「自延宝四年丙辰三月十九日至同三月十九日交代」の墨書あり。
阿国往復書牋 二十二	少林菴紹普	延宝5年1月～延宝 6年1月	阿国往復書牋、 [21]	WA1-6-36	1冊	26.9×20.6	22	原表紙に「自延宝五丁巳正月至同年十一月」の墨書あり。内表紙に「阿国往復之書」「延宝六年戊午三月初六日」の墨書あり。後半は「返翰」。末尾に「紹普」の墨書あり。印記：「紹普」
阿国往復書牋 二十三	館守 平田所左衛門・ 内山郷左衛門 又住菴哲首座	延宝6年1月～延宝 8年1月	阿国往復書牋、 [22]	WA1-6-36	1冊	26.2×20.3	57	原表紙に「自延宝六年戊午二月至同七年己未十一月」の墨書あり。内表紙に「阿国往復書」「延宝六年戊午三月五日着釜午未□三月十一日庸蔵司交代是年延宝八年也 館司内山郷左衛門 平田所左衛門」の墨書あり。「館司内山郷左衛門」「後」の補記、「平田所左衛門」に「前」「自古館移新館」の補記あり。後半は返翰。
阿国往復書牋 二十四	館司 内山郷左衛門・浅 井平右衛門 一閑元膳	延宝7年10月～天 和1年1月	阿国往復書牋、 [23]	WA1-6-36	1冊	27.2×19.5	58	原表紙に「自延宝七年己未十月至同九年酉正月」の墨書あり。内表紙に「阿国往復之書」「延宝九年酉年三月上浣日」の墨書あり。

阿国往復之書 二十五	館守 浅井平右衛門 天澤四元 <small>元</small> 晔	天和1年1月～天和 2年1月	阿国往復書牒 [24]	WA1-6-36	1冊	26.7×19.1	40	原表紙に「天和二年壬戌二月上浣日」の墨書あり。印記：「祖 晋」
阿国往復書牒 二拾六	館守 平田芥宮 瑞泉院瑤首座	天和2年3月～天和 3年2月	阿国往復書牒 [25]	WA1-6-36	1冊	25.8×19.4	39	原表紙に「自天和二壬戌三月至同年十二月」の墨書あり。未 尾に「記鑑積年齋点画故改正之 于時文化九壬申六月日 館 司 田中所左衛門 寿康菴首座」の墨書あり。
阿国往復書牒 二拾七	館司 平田芥宮 妙喜菴元 <small>元</small> 桐	天和2年12月～天 和3年11月	阿国往復書牒 [26]	WA1-6-36	1冊	28.1×20.4	32	原表紙に「自天和三年癸亥三月至同四年甲子三月」の墨書あり。 内表紙に「阿国往復之書」の墨書あり。印記：「寶」（元桐印）
阿国往復書牒 二十八	館司 平田芥宮 少林菴 <small>菴</small> 紹普	貞享1年1月～貞享 1年10月	阿国往復書牒 [27]	WA1-6-36	1冊	26.5×19.9	29	原表紙に「自天和四年甲子正月至同年十月」の墨書あり。内 表紙に「阿国往復之書」の墨書あり。印記：「紹普」
阿国往復書牒 二拾九	館司 平田芥宮・幾度 大右衛門 芳春菴一 <small>元</small> 庸	天和3年9月～貞享 3年10月	阿国往復書牒 [28]	WA1-6-36	1冊	25.5×19.8	61	原表紙に「自貞享二年乙丑正月至同三年丙寅十月」の墨書あ り。内表紙に「阿国往復之書牒」「貞享四丁卯二月 日」の 墨書あり。
阿国往復書牒 三十	館司 幾度大右衛門・ 吉田作右衛門 一華菴 <small>菴</small> 藏司	貞享3年11月～元 禄1年2月	阿国往復書牒 [11]	WA1-6-37	1冊	25.9×20.2	47	原表紙に「貞享五年戊辰二月 日」の墨書、「天保七丙申年 九月書改相済」の朱書あり。
阿国往復書牒 三拾	館司 [幾度大右衛門・ 吉田作右衛門] [一華菴 <small>菴</small> 藏司]	貞享3年11月～元 禄1年2月	阿国往復書牒 [29]	WA1-6-36	1冊	25.7×19.4	42	原表紙に「自貞享四丁卯年正月至同五年戊辰二月」の墨書あ り。末尾に「旧記積年齋点画故改写之 于時文化九年壬申六 月 館司田中所左衛門 寿康菴祖寬」の墨書あり。後半は「年 条不時回翰」。
阿国往復書牒 三十	館守 幾度大右衛門・ 吉田作右衛門 一華菴 <small>菴</small> 藏司	貞享3年11月～元 禄1年2月	阿国往復書牒 [30]	WA1-6-36	1冊	26.5×20.0	43	原表紙に「貞享五年戊辰二月 日」の墨書あり。
阿国往復書牒 三十一	館守 吉田作右衛門・ 深見弾右衛門 雲居菴 <small>菴</small> 祖什	貞享4年10月～元 禄1年10月	阿国往復書牒 [31]	WA1-6-36	1冊	27.5×20.3	38	原表紙に「元禄二己巳年閏二月廿五日」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
阿国往復書牒 三十二	館司 深見彈右衛門・ 島雄八左衛門 壽康菴後藏司	貞享4年6月～元禄 3年11月	阿国往復書牒、 [32]	WA1-6-36	1冊	25.8×19.5	78	原表紙に「自元禄二己巳年正月至同三庚午十一月」の墨書あり。中扉3枚あり。それぞれに「年条不時回書」「庚午条往書」「年条不時回書」の墨書あり。後見返しに「旧記積年齋傷点画故改正之 于時文化九年壬申六月 館司田中所左衛門 寿康庵寛首座」の墨書あり。
阿国往復書牒 三十三	館司 深見彈右衛門・ 島雄八左衛門 壽康菴祖後藏司	貞享4年6月～元禄 3年12月	阿国往復書牒、 [12]	WA1-6-37	1冊	25.6×20.1	71	原表紙に「自元禄貳己巳閏正月至同四辛未年四月」の墨書あり。「四辛未年四月」の右横に「三庚午 十一月」の墨書あり。原表紙に「天保七年十二月書改相済」と朱書あり。後見返しに「此書齋故改写之 相済」の墨書あり。記載日等を記す項目あり。
阿国往復書牒 三十三	館司 深見彈右衛門・ 島雄八左衛門 壽康菴祖後藏司	貞享4年6月～元禄 3年12月	阿国往復書牒、 [33]	WA1-6-36	1冊	27.0×20.3	76	原表紙に「自元禄二己巳閏正月至同四辛未年四月」の墨書あり。後半は「回翰」。
阿国往復書牒 三十三	島雄八左門 桐林菴哲首座	元禄3年12月～元 禄4月11月	阿国往復書牒、 [13]	WA1-6-37	1冊	26.4×19.6	32	原表紙に「自元禄四辛未四月至同壬申二月念三日交代」の墨書あり。
阿国往復書牒 三拾三	館司 島雄八左衛門 桐林菴哲首座	元禄3年12月～元 禄4年11月	阿国往復書牒、 [34]	WA1-6-36	1冊	25.8×19.5	32	原表紙に「自元禄四辛未四月至同五年壬申二月」の墨書あり。後見返しに「旧記積年齋傷点画故改写之 于時文化九壬申六月 館司田中所左衛門 寿康庵祖寛」の墨書あり。後半は「年条不時回書」。
阿国往復書牒 三十四	館司 島雄八左衛門・ 仁位助之進 慶安軒海藏主	元禄4年1月～元禄 6年2月	阿国往復書牒、 [14]	WA1-6-37	1冊	25.8×19.5	51	原表紙に「元禄五壬申年十二月 日」の墨書あり。
阿国往復書牒 三拾四	館司 仁位助之進・島 雄八左衛門 慶安軒海藏主	元禄4年1月～元禄 6年2月	阿国往復書牒、 [35]	WA1-6-36	1冊	25.8×19.5	52	原表紙に「自元禄五壬申正月至同六年癸酉正月」の墨書あり。後見返しに「旧記積年齋傷点画故改写之 于時文化九年壬申六月 館司田中所左衛門 寿康庵寛首座」の墨書あり。

阿国往復書牒 三十五	仁位助之進・幾度六右衛門 一関元庸	元禄3年2月～元禄8年1月	阿国往復書牒、 [36]	WA1-6-36	1冊	25.9×19.4	75	原表紙に「元禄八乙亥三月 日」「共式冊」の墨書あり。
阿国往復書牒 三十六	館司 幾度六右衛門・内野権兵衛 一華菴蹟藏司	元禄7年9月～元禄9年3月	阿国往復書牒、 [37]	WA1-6-36	1冊	25.9×19.3	66	原表紙に「自元禄七年甲戌十二月至同九年丙子三月」の墨書あり。後見返しに「旧記露傷点画故改写之 于時文化九壬申六月 日 館司田中所左衛門 輪住寿康庵寛旨庭」の墨書あり。後半は「年条不時回翰」。
阿国往復書牒 三十七	館司 内野権兵衛 梅林菴珍藏司	元禄9年1月～元禄10年2月	阿国往復書牒、 [38]	WA1-6-36	1冊	26.7×20.4	55	原表紙に「元禄九丙子年閏二月 日」の墨書あり。
阿国往復之書 三十八	[内]野権兵衛・唐坊新五郎 一関元庸	元禄8年9月～元禄11年11月	阿国往復書牒、 [15]	WA1-6-37	1冊	25.3×20.2	67	原表紙に「自元禄九丙午至同十一月戊寅年三月日」の墨書あり。
阿国往復書牒 三十八	館司 内野権兵衛・唐坊新五郎 一関元庸	元禄8年9月～元禄11年11月	阿国往復書牒、 [39]	WA1-6-36	1冊	25.7×19.7	80	原表紙に「自元禄九年丙子十二月至同十一年戊寅七月」の墨書あり。中扉3枚あり。それぞれ「丁丑年条不時回翰」「戊寅年条往翰」「戊寅年条回翰」とあり。後見返しに「旧記穽年露傷点画故改写之 于時文化九壬申年六月 館司田中所左衛門 寿康庵祖寛」の墨書あり。
阿国往復書牒 三十九	館司 唐坊新五郎・寺田市良兵衛 孤峯菴蹟藏司	元禄11年1月～元禄12年12月	阿国往復書牒、 [40]	WA1-6-36	1冊	25.7×19.3	57	原表紙に「元禄十二己卯年正月」の墨書あり。後見返しに「旧記穽年露傷点画故改正之 于時文化九壬申六月 館司田中所左衛門 寿康庵祖寛」の墨書あり。
阿国通好之書牒 三十九	館司 唐坊新五郎・寺田市郎兵衛 孤峯菴蹟藏司	元禄12年1月～元禄13年12月	阿国往復書牒、 [16]	WA1-6-37	1冊	25.6×19.5	46	原表紙に「元禄拾三歳舎庚辰三月日」の墨書、「孤峯古人」(陸藏司) 印影写しあり。
阿国往復書牒 四十	寺田市郎兵衛 妙喜菴元桐	元禄12年8月～元禄14年3月	阿国往復書牒、 [41]	WA1-6-36	1冊	27.1×20.3	45	原表紙に「元禄十三年辛巳四月二日」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
阿国往復書牋 四十一	館司 寺田一郎兵衛・ 島雄八左衛門 一華庵祖讀	元禄13年3月～元 禄16年3月	阿国往復書牋、 [42]	WA1-6-36	1冊	27.2×20.5	117	原表紙に「自元禄十四辛巳正月至同十六癸未正月」の墨書あり。内表紙に「阿国往復書牋」「元禄十四辛巳三月念三日渡海同十六癸未三月念四日交代」の墨書あり。印記：「賞」（一華庵祖讀）
阿国往復書牋	館司 島雄八左衛門 等陸	元禄16年1月～宝 永1年3月	阿国往復書牋、 [18]	WA1-6-37	1冊	25.7×19.6	31	原表紙に「元禄十六年癸未三月廿四日」の墨書あり。記載日等を記す項目あり。
阿国往復書牋 四拾二	館司 島雄八左衛門 孤峯庵等陸	元禄16年1月～宝 永1年3月	阿国往復書牋、 [43]	WA1-6-36	1冊	25.9×19.4	33	原表紙に「自元禄十六癸未至同十七甲申」の墨書あり。後半は「年余不時報」。後見返しに「旧記頼年鑑協点画故改写之。于時文化九年壬申六月 館司田中所左衛門 寿康庵寛首座」の墨書あり。
阿国往復書牋 [四十三]	館司 小川又三郎 孤峯庵等陸	宝永1年1月～宝永 2年2月	阿国往復書牋、 [44]	WA1-6-36	1冊	26.2×20.0	44	原表紙に「自元禄十七年甲申至宝永二年乙酉 前四月廿四日交代」の墨書あり。内表紙に「元禄十七年甲申四月十四日宝永三月晦日改元」の墨書あり。印記：「孤峯古人」（孤峯庵等陸）
阿国往復書牋 四十四	館司 小川又三郎・後 五郎左衛門 一華庵祖讀	宝永1年9月～宝永 3年4月	阿国往復書牋、 [45]	WA1-6-36	1冊	27.9×19.4	56	原表紙に「宝永二年乙酉四月念四日渡海同三年丙戌四月念日交代」の墨書あり。印記：「賞」（一華庵祖讀）
阿国往復書牋 四十五	館司 依五郎左衛門・ [樋口]久米[右衛門] 天澤五世玄欽	宝永3年3月～宝永 5年5月	阿国往復書牋、 [46]	WA1-6-36	1冊	23.2×16.8	108	原表紙に「宝永三年丙戌四月十九日渡海同五年戊子六月六日交代」の墨書あり。巻末に「玄欽記之」の墨書あり。各項目毎に目次あり。印記：「仰堂」（玄欽）
阿国往復書牋 四十六	館司 樋口久米右衛門 陸蔵司	宝永4年2月～宝永 6年1月	阿国往復書牋、 [47]	WA1-6-36	1冊	26.2×19.3	36	原表紙に「宝永戊子六月五日渡海」の墨書あり。冒頭に目次あり。各項目に書写日を記す。
阿国往復書牋 四十七	館司 樋口久米右衛門・ 平田所左衛門 孤峯庵陸蔵司	宝永5年7月～宝永 7年1月	阿国往復書牋、 [48]	WA1-6-36	1冊	26.8×19.2	66	原表紙に「宝永六年己丑自正月至十二月」の墨書あり。冒頭に目次あり。末尾に「孤峯庵陸蔵司」の墨書あり。各項目に書写日を記す。

阿国往復書譜 四十八	館守 平田所左衛門 孤峰庵陸藏司	宝永7年1月～宝永 7年12月	阿国往復書譜、 [49]	WA1-6-36	1冊	26.8×18.8	33 原表紙に「宝永七年庚寅四月朔日」の墨書あり。冒頭に目次あり。末尾に「孤峰庵陸藏司」の墨書あり。各項目に書写日を記す。
阿国往復書譜 四十九	館守 平田所左衛門・ 樋口内記 孤峰庵陸藏司	宝永7年10月～正 徳2年2月	阿国往復書譜、 [50]	WA1-6-36	1冊	26.8×19.3	60 原表紙に「宝永八年辛卯自正月至十一月」の墨書あり。冒頭に目次あり。末尾に「孤峰庵陸藏司」の墨書あり。各項目に書写日を記す。
阿国往復書譜 五十	館守 樋口内記・吉川 六郎左衛門 孤峰庵陸藏司	正徳2年2月～正徳 2年10月	阿国往復書譜、 [51]	WA1-6-36	1冊	26.9×19.6	52 原表紙に「正徳二年壬辰十二月十一日交代」の墨書あり。末尾に「孤峰庵陸藏司」の墨書あり。
信使御用記録 五十一	孤峰庵陸藏司	宝永7年7月～正徳 2年10月	阿国往復書譜、 [52]	WA1-6-36	1冊	25.5×19.8	87 原表紙に「自宝永七庚寅至正徳二壬辰」の墨書あり。見返しに「宝永七年より正徳二年迄」の墨書あり。巻末に宝永7年12月10日から正徳2年6月11日までの日誌を付す。末尾に「孤峰庵陸藏主」の墨書あり。
阿国短簡記録 五十二	孤峰庵陸藏司	宝永5年10月～正 徳2年10月	阿国往復書譜、 [53]	WA1-6-36	1冊	25.7×20.0	36 原表紙に「正徳二年壬辰十二月十一日」の墨書あり。末尾に「孤峰庵陸藏主」の墨書あり。
阿国往復書譜 五十三	館司 樋口内記・吉川 六郎左衛門 臥雲軒鏡藏司	正徳1年11月～正 徳3年12月	阿国往復書譜、 [54]	WA1-6-36	1冊	26.5×20.0	80 原表紙に「正徳二年壬辰十一月至同三年[癸巳]一月」(朱筆にて訂正後のもの)「共三冊」の墨書あり。冒頭に目次あり。印記あり(鏡藏司のもの)。
阿国往復書譜 五十四	館司 吉川六郎左衛門・ 吉田兵左衛門 臥雲軒鏡藏司	正徳4年1月～正徳 5年2月	阿国往復書譜、 [55]	WA1-6-36	1冊	26.5×19.9	48 原表紙に「自正徳四年甲午正月至于同五年乙未二月」(朱筆にて訂正後のもの)「共三冊」の墨書あり。冒頭に目次あり。印記あり(鏡藏司のもの)。
阿国往復短簡記 録 五十五	館司 樋口内記・吉川 六郎左衛門 臥雲軒鏡藏司	正徳3年1月～正徳 5年2月	阿国往復書譜、 [56]	WA1-6-36	1冊	26.2×20.0	25 原表紙に「自正徳二年壬辰十二月至于同五年乙未二月廿三日」 「共三冊」の墨書あり。壬戌年(天和2年か)3月の文書を含む。末尾に「大尾 惠鏡記焉」の墨書あり。印記あり(鏡藏司のもの)。
阿国往復之書譜 五十六	館守 吉田兵左衛門 少林庵蘭藏司	正徳4年6月～享保 1年1月	阿国往復書譜、 [57]	WA1-6-36	1冊	26.6×20.2	41 原表紙に「自正徳五乙未年二月至于同六年丙申三月」の墨書あり。印記あり。

原題	作成者	内容年	当館書名、 【冊番号】	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
阿国往復書牋 五十七之内	館守 吉田兵左衛門・ 井田四兵衛 壽康庵鑑首座	享保1年10月～享 保3年5月	阿国往復書牋、 [58]	WA1-6-36	1冊	26.0×20.0	55	原表紙に「自享保元丙申三月至享保三戊戌六月」「共二冊」の墨書あり。冒頭に目次あり。末尾に「籍首座化子当寺故中鑑集焉」の墨書あり。
阿国往復書牋 五十八	館守 井田四[兵衛]・浅 井與左衛門 臥雲軒鑑藏司	享保2年8月～享保 4年5月	阿国往復書牋、 [59]	WA1-6-36	1冊	25.8×19.7	69	原表紙に「自享保三戊戌六月至享保四己亥八月」の墨書あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書牋 五十九之内	館守 浅井與左衛門・ 樋口弥五左衛門 瑞泉院鑑藏司	享保4年6月～享保 6年11月	阿国往復書牋、 [60]	WA1-6-36	1冊	26.5×20.1	98	原表紙に「自享保五庚子正月至享保七壬寅二月」「共二冊」の墨書あり。冒頭に目次あり。
[阿国]往復書牋 六十	館守 樋口彌五左衛門 雲居菴祖仙	享保6年12月～享 保7年12月	阿国往復書牋、 [61]	WA1-6-36	1冊	26.8×20.3	36	原表紙に「自享保七壬寅二月同至癸卯三月」「共式冊」の墨書あり。冒頭に目次あり。
別記録 六十	館守 樋口彌五左衛門 雲居菴祖仙	享保7年2月15日～ 享保8年2月	阿国往復書牋、 [62]	WA1-6-36	1冊	26.5×20.2	16	原表紙に「自享保七壬寅二月同至癸卯三月」「共式冊」の墨書あり。
阿国往復書牋 六十一	館守 樋口彌五左衛門・ 仁位孫右衛門 一華菴祖嶺	享保6年6月～享保 9年1月	阿国往復書牋、 [63]	WA1-6-36	1冊	26.0×20.1	50	原表紙に「自享保八癸卯三月同至九年甲辰三月」「共式冊」の墨書あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書牋 六十二	館守 仁位孫右衛門・ 平田所左衛門 天澤菴點藏司	享保8年9月～享保 10年3月	阿国往復書牋、 [64]	WA1-6-36	1冊	25.2×19.2	63	原表紙に「自享保九甲辰三月至享保十乙巳三月」「共式冊」の墨書あり。冒頭に目次あり。「阿国往復書牋 [65]」と合冊されていたもの。
別記録 六十二	天澤菴點藏司	享保9年7月18日～ 享保10年1月13日	阿国往復書牋、 [65]	WA1-6-36	1冊	25.5×18.9	6	原表紙に「自享保九甲辰三月同至十年乙巳三月」「共式冊」の墨書あり。「阿国往復書牋 [64]」と合冊されていたもの。
阿国往復書牋 六十三	館守 平田所左衛門 知足菴亨藏司	享保9年5月～享保 11年3月	阿国往復書牋、 [66]	WA1-6-36	1冊	27.0×19.3	67	原表紙に「自享保十乙巳三月至享保十一丙午三月」の墨書あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書牋 六十四	館守 平田所左衛門・ 吉川内藏之允 瑞泉院鑑藏司	享保11年1月～享 保12年6月	阿国往復書牋、 [67]	WA1-6-36	1冊	25.7×19.7	102	原表紙に「自享保十一丙午三月至享保十二丁未六月」の墨書あり。後半は「回翰」（中扉による）。冒頭に目次あり。

阿国往復書譜 六十五	館守 吉川内藏允 一華菴鎮藏司・瑞泉院 鐵藏司	享保12年1月～享 保12年11月	阿国往復書譜, [68]	WA1-6-36	1冊	25.6×20.2	53	原表紙に「自享保十二丁未六月至同年九月帰国 自享保十二 丁未九月至享保十三戌申三月」の墨書あり。冒頭に目次あり。 末尾に「鎮藏司蒙西山寺住職之鈎命至于丁未九月帰国依之直 再令鐵藏司移住東向寺者也 享保十三戌申三月 日」の墨書あ り。
阿国往復書譜 六十六	館守 吉川内藏之允・ 平田内膳 天澤龍點藏司	享保13年1月～享 保14年4月	阿国往復書譜, [69]	WA1-6-36	1冊	26.8×20.5	51	原表紙に「自享保十三戌申三月至享保十四己酉三月」の墨書 あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書譜 六十七	館守 平田内膳 知足菴亨藏司	享保13年11月～享 保14年12月	阿国往復書譜, [70]	WA1-6-36	1冊	27.1×19.7	34	原表紙に「自享保十四己酉三月至享保十五庚戌三月」の朱書 あり。「知足菴亨藏司」は内表紙には「知足菴亨首座」とあ り。冒頭に目次あり。
阿国往復書譜 六十八	館守 平田内膳・杉村 帯刀 梅林菴乾首座	享保15年1月～享 保16年5月	阿国往復書譜, [71]	WA1-6-36	1冊	25.7×20.2	42	原表紙に「自享保十五庚戌三月至同十六辛亥四月」の墨書あ り。冒頭に目次あり。
阿国往復書譜 六十九	館守 杉村帯刀・幾度六 右衛門 瑞泉院鐵首座	享保15年11月～享 保17年1月	阿国往復書譜, [72]	WA1-6-36	1冊	26.8×19.3	51	原表紙に「自享保十六辛亥四月至同十七壬子四月」の墨書あ り。冒頭に目次あり。後半は「返簡」（中頭による）。
阿国往復書譜 七十	館守 幾度六右衛門 雲居菴點藏司	享保17年1月～享 保18年2月	阿国往復書譜, [73]	WA1-6-36	1冊	24.7×20.2	53	原表紙に「自享保十七壬子四月至同十八癸丑四月」の墨書あ り。冒頭に目次あり。
阿国往復書譜 七十一	館守 幾度六右衛門・ 松尾空 天澤龍點首座	享保17年4月～享 保18年12月	阿国往復書譜, [74]	WA1-6-36	1冊	25.0×20.3	91	原表紙に「自享保十八癸丑四月至同十九甲寅三月」の墨書あ り。冒頭に目次あり。
阿国往復書譜 七十二	館守 松尾空・嶋雄八 左衛門 知足菴亨首座	享保19年1月～享 保20年2月	阿国往復書譜, [75]	WA1-6-36	1冊	27.0×19.6	53	原表紙に「自享保十九甲寅三月至享保二十乙卯三月」の朱書 あり。冒頭に目次あり。
[阿国往復書譜]		享保17年11月～元 文1年2月	阿国往復書譜, [76]	WA1-6-36	1冊	26.3×19.7	34	表紙に墨書なし。冒頭に目次あり。

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
阿国往復書牋 七十四	館守 鳴雄・八左衛門・ 平田直右衛門 壽康菴藏司	享保20年6月～元 文2年3月	阿国往復書牋, [77]	WA1-6-36	1冊	26.3×18.9	51	原表紙に「自享保二十一年丙辰三月至元文二丁巳年四月」の墨書あり。後半は「回翰」(中扉による)。冒頭に目次あり。
阿国往復書牋 七十五	館守 平田直右衛門 妙喜菴鳴蔵司	元文2年1月～元文 2年11月	阿国往復書牋, [78]	WA1-6-36	1冊	26.4×19.4	38	原表紙に「自元文二丁巳年四月至三戌年五月」の墨書あり。
阿国往復書牋 七十六	館守 平田直右衛門・ 俵主膳 瑞泉院藏首座	元文2年7月～元文 4年3月	阿国往復書牋, [79]	WA1-6-36	1冊	27.3×20.0	43	原表紙に「自元文三戌年五月至同四己未五月」の墨書あり。原表紙に貼紙したうえで、墨書している。「藏首座」は内表紙には「藏蔵司」とあり。冒頭に目次あり。
阿国往復書牋 七十七	館守 俵主[膳] 少林菴祖[文]	元文4年1月～元文 4年9月	阿国往復書牋, [80]	WA1-6-36	1冊	27.8×19.7	39	原表紙に「自元文四年己未五月至同五年庚申三月」の墨書あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書牋 七十八番	館守 俵主膳 梅林菴乾首座	元文4年10月～元 文5年12月	阿国往復書牋, [81]	WA1-6-36	1冊	26.7×20.4	39	原表紙に「自元文五庚申五月至同六年辛酉三月」の墨書あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書牋 七十九	館守 浅井興左衛門 妙喜菴鳴首座	元文4年9月～寛保 1年11月	阿国往復書牋, [82]	WA1-6-36	1冊	27.0×19.6	56	原表紙に「自寛保元辛酉四月至二壬戌四月」の墨書あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書牋 八拾番	館守 浅井興左[衛門]・ 内野一郎左衛門[門] 一華菴順蔵司	寛保2年1月～寛保 2年12月	阿国往復書牋, [83]	WA1-6-36	1冊	27.1×19.7	43	原表紙に「自寛保二壬戌四月至同三癸亥三月」の墨書あり。「順蔵司」は内表紙には「順蔵主」とあり。冒頭に目次あり。印記あり(順蔵司のもの)。
阿国往復書牋 八十二	館守 幾度治左衛門 寿康庵通蔵司	寛保3年10月～延 享1年11月	阿国往復書牋, [84]	WA1-6-36	1冊	27.3×19.4	25	原表紙に「自延享元甲子三月至同乙丑三月」の墨書あり。冒頭に目次あり。
[阿国往復書牋]		延享2年1月～延 享2年12月	阿国往復書牋, [85]	WA1-6-36	1冊	28.1×19.3	29	表紙に墨書なし。冒頭に目次あり。
[阿国往復書牋]		延享1年10月～延 享4年2月	阿国往復書牋, [86]	WA1-6-36	1冊	27.0×20.0	56	表紙に墨書なし。冒頭に目次あり。

阿国往復書譜 八十六之内	館守 多田平左衛門・ 樋口勘五 雲居菴本藏司	寛延1年11月～宝 曆1年5月	阿国往復書譜, [87]	WA1-6-36	1冊	26.6×20.2	46	原表紙に「自寛延二年己巳三月至于同四年辛未三月」「共二冊」の墨書あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書譜 八十八	館守 多田主計 一華菴順藏司	宝暦4年8月～宝暦 6年3月	阿国往復書譜, [88]	WA1-6-36	1冊	27.1×19.3	56	原表紙に「自宝暦五乙亥三月至同六丙子六月」の墨書あり。冒頭に目次あり。印記：「隨藏」
阿国往復書譜 九十一上	館司 多田主計・平田 所左衛門 [再勤雲居]菴本藏主	宝暦7年3月～宝暦 8年6月	阿国往復書譜, [89]	WA1-6-36	1冊	26.4×19.3	54	原表紙に「自宝暦七丁丑六月」至于同八戊寅」の墨書あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書譜 九十二下	館司 多田主計・平田 所左衛門 再勤雲居菴本藏主	宝暦5年4月～宝暦 8年8月	阿国往復書譜, [90]	WA1-6-36	1冊	26.4×19.3	50	原表紙に「自宝暦七丁丑六月至于同八戊寅」「回翰」の墨書あり。
阿国往復書譜 九十一番	館守 番所左衛門 少林菴目[藏主]	宝暦8年8月～宝暦 9年7月	阿国往復書譜, [91]	WA1-6-36	1冊	27.9×20.0	29	原表紙に「自宝暦八戊寅十月至同九己卯九月」の墨書あり。冒頭に目次あり。後半は「回翰」(本文墨書による)。印記あり。
阿国往復書譜 九十二番	館守 平田所左衛門・ 平田内膳 桐林菴洪藏主	宝暦9年閏7月～ 宝暦10年10月	阿国往復書譜, [92]	WA1-6-36	1冊	27.8×20.2	36	原表紙に「自宝暦九己卯九月至同十庚辰十二月」の墨書あり。冒頭に目次あり。印記：「愚倅」
阿国往復書譜 九拾参	平田内膳 一華菴四度祖順	宝暦10年5月～宝 暦11年9月	阿国往復書譜, [93]	WA1-6-36	1冊	27.5×20.5	41	原表紙に「自宝暦十庚辰十二月至同十一辛巳十二月」の墨書あり。冒頭に目次あり。印記：「隨藏」
阿国往復書譜 九十四	館司 平田内膳・戸田 重左衛門 梅林菴節藏司	宝暦10年5月～宝 暦12年8月	阿国往復書譜, [94]	WA1-6-36	1冊	27.1×20.2	61	原表紙に「自宝暦十一辛巳十二月至同十二壬午十月」の墨書あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書譜 九十五	一華菴順首座	宝暦12年8月～明 和1年10月	阿国往復書譜, [95]	WA1-6-36	1冊	26.7×20.6	85	原表紙に「宝暦十三癸未年」「共二冊」の墨書あり。冒頭に目次あり。

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
阿国往復書牋 九十六番	館守 杉村弁之進 朝陽軒三動目藏主	明和1年6月～明和 2年9月	阿国往復書牋、 [96]	WA1-6-36	1冊	27.4×20.6	37	原表紙に「自明和元甲申閏十二月同至二年乙酉九月」の墨書あり。内表紙に「自明和元甲申閏十二月十四日同至二年乙酉九月晦日」の墨書あり。冒頭に目次あり。後半は「回書」(本文墨書による)。末尾に「八送使乙酉条自第一船至宍特送使交代目蔵司」の墨書あり。印記あり。
阿国往復書牋 九十七番	館司 杉村辨之進 桐林菴洪藏主	明和1年10月～明 和3年9月	阿国往復書牋、 [97]	WA1-6-36	1冊	27.6×19.8	53	原表紙に「自明和二年乙酉十月同至四年丁亥正月」の墨書あり。冒頭に目次あり。末尾に「桐林菴洪藏主」の墨書あり。印記：「惠傳」(洪藏主印)
[阿国往復書牋 九十八]		明和2年2月～明和 4年9月	阿国往復書牋、 [98]	WA1-6-36	1冊	27.6×21.0	47	末尾に「謀首座」の墨書あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書牋 九十九	館司 小河右近右衛門 梅林菴徳首座	明和4年2月～明和 5年10月	阿国往復書牋、 [99]	WA1-6-36	1冊	26.9×19.9	67	原表紙に「自明和四丁亥閏九月至同五戊子十月」の墨書あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書牋 百番	館守 小河右近右衛門 朝陽軒四度勤目首座	明和4年2月～明和 6年10月	阿国往復書牋、 [100]	WA1-6-36	1冊	26.9×20.0	25	原表紙に「自明和五戊子十月至同六己丑十月」の墨書あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書牋 百壹	館司 小河右近右衛門・ 田島左近右衛門 桐林菴二度洪首座	明和5年6月～明和 7年7月	阿国往復書牋、 [101]	WA1-6-36	1冊	27.6×20.1	39	原表紙に「自明和己丑十月至同七庚寅九月」の墨書あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書牋 百貳番	館司 田嶋左近右衛門 壽康庵謹首座	明和7年2月～明和 8年9月	阿国往復書牋、 [102]	WA1-6-36	1冊	26.7×19.9	41	原表紙に「自明和七庚寅十月至同八辛卯九月」の墨書あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書牋 百三番	館守 田嶋左近右衛門・ 岩崎喜左衛門 知足菴陽藏主	明和8年3月～安永 1年11月	阿国往復書牋、 [103]	WA1-6-36	1冊	26.1×19.7	86	原表紙に「自明和八年辛卯九月同至九年壬辰十一月」の墨書あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書牋 百四	館司 岩崎喜左衛門 梅林菴六度郁首座	安永1年6月～安永 2年6月	阿国往復書牋、 [104]	WA1-6-36	1冊	26.8×19.8	46	原表紙に「自明和九壬辰年十一月同至安永二癸巳十一月」の墨書あり。冒頭に目次あり。後半に別冊「東西館修理記録百四之内」(「安永二癸巳年九月日」)「其二冊」[「梅林菴郁首座」の墨書あり]を付す。

阿国往復書牘 百五番	館司 岩崎喜左衛門・ 杉村弁之進 朝陽軒五勤番目首座	安永2年2月～安永 3年10月	阿国往復書牘 [105]	WA1-6-36	1冊	26.7×19.6	37 原表紙に「自安永二癸巳十一月至安永三甲午十月」の墨書あり。内表紙に「自安永二癸巳十一月十八日同三甲午十月」の墨書あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書牘 百六番	館司 杉村辨之進 四渡勤番天澤菴洪首座	安永3年11月～安 永4年8月	阿国往復書牘 [106]	WA1-6-36	1冊	27.7×20.4	29 原表紙に「自安永三年甲午十月至于安永四乙未十月」の墨書あり。冒頭に目次あり。末尾に「四渡勤番天沢菴洪首座」の墨書あり。印記：「患俣」
阿国往復書牘 百柒	館司 杉村辨之進 知足菴勝首座	安永4年1月～安永 5年8月	阿国往復書牘 [107]	WA1-6-36	1冊	26.6×20.0	46 原表紙に「自安永四乙未十月至同五丙申九月」の墨書あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書牘 百八番	館司 杉村辨之進・原 宅右衛門 朝陽軒六勤番目首座	安永4年12月～安 永7年1月	阿国往復書牘 [108]	WA1-6-36	1冊	26.4×20.3	53 原表紙に「自安永五丙申九月至同七戊戌三月」の墨書あり。内表紙に「自安永五丙申九月二十七日同至七戊戌三月二十八日」の墨書あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書牘 百九番	館司 原宅右衛門・戸 田頼母 五渡勤番天澤菴洪首座	安永6年1月～安永 8年2月	阿国往復書牘 [109]	WA1-6-36	1冊	26.7×20.0	48 原表紙に「自安永七年戊戌二月念八日至于安永八年己亥四月九日」の墨書あり。冒頭に目次あり。後見返しに「天沢洪首座」の墨書あり。印記あり。
阿国往復書牘 百拾	館司 戸田頼母 知足菴陽首座	安永6年6月～安永 9年2月	阿国往復書牘 [110]	WA1-6-36	1冊	26.5×19.2	70 原表紙に「自安永八己亥四月至同九庚子四月」の墨書あり。冒頭に目次あり。目次によれば「往翰」「回答」から成る。後見返しに「安永八年己亥自四月十日同至于庚子四月十日」の墨書あり。
阿国往復書牘 百拾壹	館司 戸田頼母 陸首座	安永7年7月～安永 9年11月	阿国往復書牘 [111]	WA1-6-36	1冊	26.3×20.0	57 原表紙に「自安永九年庚子四月九日同至辛丑年四月十一日」の墨書あり。後見返しに「幻住菴陸首座」の墨書あり。
阿国往復書牘 百拾二	館司 戸田頼母・幾度 主膳 壽康菴亮藏主	安永8年1月～天明 2年5月	阿国往復書牘 [112]	WA1-6-36	1冊	26.3×20.2	58 原表紙に「自天明元辛丑四月至天明二壬寅六月」の墨書あり。冒頭・本文半ばに目次あり。
阿国往復書牘 百拾三	館司 幾度主膳 知足菴[陽首座]	天明1年3月～天明 3年5月	阿国往復書牘 [113]	WA1-6-36	1冊	27.0×19.9	52 原表紙に「自天明二年壬寅六月十三日至同三癸卯五月廿七日」の墨書あり。冒頭に目次あり。目次によれば、内容は「年条往書」「年条回書」「不時往翰」「不時回書」から成る。末尾に「天明三年癸卯五月 日 知足菴陽首座」の墨書あり。

原題	作成者	内容年	当書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
阿国往復書牒 百拾四	館守 幾度主膳・嶋雄 太膳 梅林菴温藏主	天明1年6月～天明 4年3月	阿国往復書牒、 [114]	WA1-6-36	1冊	27.2×20.1	71	原表紙に「自天明三癸卯五月至天明四甲辰四月」の墨書あり。 冒頭・本文半ばに目次あり。印記：「晏室之印」
[阿国往復書牒 百拾五]	高雄大膳 粒首座	天明4年2月～天明 5年3月	阿国往復書牒、 [115]	WA1-6-36	1冊	27.3×20.2	84	本文と共紙の原表紙に「自天明四年甲辰四月十七日同至乙巳 年三月二十一日」の墨書あり。後補の外表紙あり。外表紙に 墨書なし。冒頭・本文半ばに目次あり。
阿国往復書牒 百拾六	館守 高雄大膳、吉田彦 右衛門 一華菴宰藏司	天明4年7月～天明 6年3月	阿国往復書牒、 [116]	WA1-6-36	1冊	25.0×19.3	31	原表紙に「自天明五乙巳三月同至丙午年四月」の墨書あり。 冒頭に目次あり。
阿国往復書牒 百拾七番	館守 吉田彦右衛門・ 戸田頼母 壽康菴亮首座	天明6年2月～天明 7年5月	阿国往復書牒、 [117]	WA1-6-36	1冊	27.5×20.5	58	原表紙に「自天明六年丙午四月至天明七年丁未六月」の墨書 あり。冒頭に「往翰目錄」、本文半ばに「復書目錄」あり。 印記：「南陽」(宛藏主印)
阿国往復書牒 百拾八	館守 戸田頼母 梅林菴温首座	天明7年4月～天明 8年4月	阿国往復書牒、 [118]	WA1-6-36	1冊	27.9×20.5	47	原表紙に「自天明七丁未六月至同八月戊申年五月」の墨書あり。 冒頭・本文半ばに目次あり。後半は「回書」。
阿国往復書牒 百拾九	館守 戸田頼母 一華菴宰首座	天明8年4月～寛政 1年1月	阿国往復書牒、 [119]	WA1-6-36	1冊	27.5×20.7	32	原表紙に「自天明八戊申五月至同己酉年三月」の墨書あり。 冒頭・本文半ばに目次あり。後半は「回答」(本文墨書によ る)。
阿国往復書牒 百貳拾	館守 戸田頼母 少林菴梅藏司	天明7年9月～寛政 2年3月	阿国往復書牒、 [120]	WA1-6-36	1冊	27.5×20.3	55	原表紙に「自寛政元己酉三月至同二年庚戌三月」の墨書あり。 冒頭・本文半ばに目次あり。
阿国往復書 百廿一	館守 戸田頼母・多田 左膳 梅林菴温首座	寛政1年6月～寛政 3年3月	阿国往復書牒、 [121]	WA1-6-36	1冊	26.9×20.4	35	原表紙に「自寛政二年庚戌三月至同三年辛亥四月」の墨書あ り。内表紙に「自寛政二年庚戌三月至同三年辛亥三月」の墨 書あり。「往翰」と「回答」から成る。各冒頭に目次あり。
阿国往復書牒 百廿三番	館守 小川縫殿介 少林菴梅藏主	寛政4年3月～寛政 5年1月	阿国往復書牒、 [122]	WA1-6-36	1冊	27.3×20.2	37	原表紙に「自寛政四年壬子四月至于寛政五年癸丑三月」の墨 書あり。冒頭・本文半ばに目次あり。
阿国往復書牒 百廿四番	館守 戸田頼母 壽康菴明藏主	寛政3年9月～寛政 6年3月	阿国往復書牒、 [123]	WA1-6-36	1冊	27.1×19.9	37	原表紙に「自寛政五年癸丑四月至同六年甲寅三月」の墨書あ り。冒頭・本文半ばに目次あり。

阿国往復書譜 百廿五番	館守 戸田頼母 朝陽軒徳藏主	寛政5年12月～寛 政7年1月	阿国往復書譜, [124]	WA1-6-36	1冊	27.8×20.6	41	原表紙に「自寛政六年甲寅四月至同七年乙卯三月」の不時動 考共ニ式冊」の墨書あり。冒頭・本文半ばに目次あり。
阿国往復書譜 百貳拾六	館守 戸田頼母・樋口 左近 一華菴宰首座	寛政5年5月～寛政 8年2月	阿国往復書譜, [125]	WA1-6-36	1冊	25.1×19.4	59	原表紙に「寛政七乙卯四月同至丙辰四月」の墨書あり。内表 紙に、「自寛政七乙卯四月同至丙辰年四月 館守戸田頼母 樋 口左近 館守兼勤 自辰正月十八日至三月廿四日 黒木勝見 山崎 初右衛門」の墨書あり。冒頭・本文半ばに目次あり。
阿国往復書譜 百二十七	館司 戸田頼母 雲居菴禪藏主	寛政7年10月～寛 政9年2月	阿国往復書譜, [126]	WA1-6-36	1冊	26.8×19.7	60	原表紙に「自寛政八年丙辰四月同至于九年丁巳巳四月」の墨書 あり。冒頭・本文半ばに目次あり。
阿国往復書譜 百二十八	館守 戸田頼母 梅首座	寛政9年2月～寛政 10年3月	阿国往復書譜, [127]	WA1-6-36	1冊	25.8×19.7	45	原表紙に「自寛政九年丁巳巳四月同至十年戊午四月」の墨書あ り。冒頭・本文半ばに目次あり。
阿国往復書譜 百二十九	館守 戸田頼母 壽康庵明首座	寛政10年2月～寛 政11年2月	阿国往復書譜, [128]	WA1-6-36	1冊	26.2×18.9	34	原表紙に「自寛政十戊午四月至同十一年己未四月」の墨書あ り。冒頭・本文半ばに目次あり。
阿国往復書譜 百参拾	館守 戸田頼母 朝陽軒徳首座	寛政11年3月～寛 政12年2月	阿国往復書譜, [129]	WA1-6-36	1冊	26.8×19.6	47	原表紙に「自寛政十一己未四月至同十二年庚申四月」の墨書 あり。冒頭・本文半ばに目次あり。
阿国往復書譜 百三拾壹	館守 戸田頼母・大浦兵 左衛門 少林菴梅首座	寛政11年7月～享 和1年8月	阿国往復書譜, [130]	WA1-6-36	1冊	26.6×19.9	53	原表紙に「自寛政十二庚申年閏四月至享和元年辛酉年十二月」 の墨書あり。「往翰」「回書」「回書」(中扉による) から成る。
阿国往復書譜 百三拾二	大浦兵左衛門 壽康庵明首座	享和1年12月～享 和2年8月	阿国往復書譜, [131]	WA1-6-36	1冊	26.4×19.6	42	原表紙に「自享和元年辛酉十二月同至二年壬戌十二月」[共 二冊]の墨書あり。後半は「回翰」(中扉による)。冒頭・[回 翰]頭に目次を付す。
阿国往復書譜 百参拾四	館司 大浦兵左衛門・ 番盛之介 初勤一華菴禪首座	享和3年11月～文 化2年3月	阿国往復書譜, [132]	WA1-6-36	1冊	25.9×19.5	36	原表紙に「自享和四年甲子二月至文化二年乙丑四月」の墨書 あり。後半は「回翰」(中扉による)。
阿国往復書譜 百参拾五	館守 番盛之介 天澤菴梅首座	文化1年9月～文化 3年1月	阿国往復書譜, [133]	WA1-6-36	1冊	26.1×19.7	44	原表紙に「自文化二乙丑年四月同至三丙寅年四月」の墨書あ り。後半は「回翰」(中扉による)。
阿国往復書譜 百参拾六	館守 番盛之介 壽康庵明首座	文化3年2月～文化 4年2月	阿国往復書譜, [134]	WA1-6-36	1冊	25.9×19.6	49	原表紙に「自文化三丙寅年四月同至四年丁卯四月」の墨書あ り。後半は「回翰」(中扉による)。

原題	作成者	内容年	当館書名、 【冊番号】	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
阿国往復書牋 百三十七	館司 番盛之介・鈴木 一之進 朝陽軒徳首座	文化2年3月～文化 5年1月	阿国往復書牋、 [135]	WA1-6-36	1冊	27.0×20.0	33	原表紙に「自文化四年丁卯四月至文化五年戊辰四月」の墨書あり。後半は「回翰」(中扉による)。
阿国往復書牋 百四拾壹	館司田中所左衛門 善 康菴寛首座	文化7年3月～文化 9年5月	阿国往復書牋、 [136]	WA1-6-36	1冊	26.6×19.6	76	原表紙に「自文化八辛未年五月至同九壬申年五月」の墨書あり。寿康菴寛首座は、内表紙では「寿康菴祖寛」とあり。冒頭に目次あり。「年条往翰」「不時往翰」「年条不時回翰」から成る(目次による)。印記:「東向寺章」
阿国往復書牋 百四拾二	館司田中所左衛門 朝 陽軒直首座	文化9年3月～文化 10年2月	阿国往復書牋、 [137]	WA1-6-36	1冊	26.4×19.3	34	原表紙に「自文化九壬申年五月至文化十癸酉年四月」の墨書あり。
阿国往復書牋 百四拾叁番	館司 小河三四郎 一華菴幹首座	文化10年2月～文 化11年2月	阿国往復書牋、 [138]	WA1-6-36	1冊	26.5×19.9	41	原表紙に「自文化十年癸酉四月至同十一年甲戌五月」の墨書あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書牋 百四拾四番	館司 小河三四郎・小 野十郎兵衛 妙喜菴壯藏司	文化11年2月～文 化12年6月	阿国往復書牋、 [139]	WA1-6-36	1冊	27.4×20.5	47	原表紙に「自文化十一年甲戌五月至同十二年乙亥六月」の墨書あり。
阿国往復書牋 百四十五番	館司 小野十郎兵衛 少林菴梅首座	文化12年2月～文 化13年2月	阿国往復書牋、 [140]	WA1-6-36	1冊	26.8×19.7	44	原表紙に「自文化十二年乙亥六月至同十三年丙子四月」の墨書あり。「往翰」「回書」から成る。
阿国往復書牋 百四十六番	館司 小野十郎兵衛・ 平田帯刀 知足菴祐藏主	文化12年11月～文 化13年9月	阿国往復書牋、 [141]	WA1-6-36	1冊	26.8×19.6	48	原表紙に「自文化十三丙子四月至同十四丁丑四月」の墨書あり。冒頭に目次あり。「丙子規外往翰」「年条停止往翰」「規外回翰」(目次による)から成る。印記:「靈山」(祐藏主)
阿国往復書牋 百肆拾七	館司 平田帯刀 再度壽康菴寛首座	文化12年11月～文 政1年1月	阿国往復書牋、 [142]	WA1-6-36	1冊	26.2×19.9	56	原表紙に「自文化十四丁丑四月至同十五戊寅年四月」の墨書あり。内表紙に「自文化十四丁丑年正月至同十五戊寅年三月」の墨書あり。冒頭に目次あり。「年条往翰」「不時往翰」「年条回翰」「不時回翰」(目次による)から成る。
阿国往復書牋 百四十八	館司 平田帯刀 一華菴幹首座	文化14年10月～文 政1年11月	阿国往復書牋、 [143]	WA1-6-36	1冊	26.2×19.3	30	原表紙に「自文化十五年戊寅四月至文政二年己卯三月」の墨書あり。

阿国往復書譜 百四拾九	館守 平田帯刀 妙喜菴柱首座	文政2年1月～文政 2年12月	阿国往復書譜 [144]	WA1-6-36	1冊	27.4×20.4	24	原表紙に「自文政二己卯三月至同三庚辰三月」の墨書あり。 巻頭に「不時 送義判送翰 館守返翰 藤州漂士送還書」の墨 書あり。末尾に「別幅常例仍各々略焉」の墨書あり。
阿国往復書譜 百五拾番	館守 幾度八郎左衛門 天澤菴直首座	文政3年1月～文政 4年1月	阿国往復書譜 [145]	WA1-6-36	1冊	27.1×20.0	38	原表紙に「自文政三庚辰年四月至同辛巳年四月」の墨書あ り。「往翰」「回書」(中扉による) から成る。
阿国往復書譜 百五十一	館司 幾度八郎左衛門 天澤菴直首座	文政4年1月～文政 5年2月	阿国往復書譜 [146]	WA1-6-36	1冊	27.2×19.9	37	原表紙に「自文政四年辛巳四月至文政五年壬午三月」の墨書 あり。
阿国往復書譜 百五拾二番	館守 幾度八郎左衛門・ 原大作 三掌壽康菴祖寛首座	文政4年7月～文政 6年1月	阿国往復書譜 [147]	WA1-6-36	1冊	26.6×19.9	46	原表紙に「從文政五壬午三月至同六癸未三月」の墨書あり。 冒頭に目次あり。「不時往翰」「不時回書」(目次による) か ら成る。
阿国往復書譜 百五十三	館司 原大作 一華菴柱首座	文政6年1月～文政 6年12月	阿国往復書譜 [148]	WA1-6-36	1冊	25.9×20.1	32	原表紙に「自文政六年癸未三月至同七年甲申三月」の墨書あ り。冒頭・本文半ばに目次あり。
阿国往復書譜 百五十四番	館司 原大作・小川外 記 知足菴祐首座	文政6年8月～文政 8年2月	阿国往復書譜 [149]	WA1-6-36	1冊	26.6×20.1	80	原表紙に「自文政七甲申三月至同八年乙酉四月」の墨書あり。 冒頭に目次あり。「癸未条規外往翰」「癸未年条往翰」「同条 規外回翰」「癸未年条回翰」「甲申条往翰」「甲申条回翰」「甲 申条規外往翰」「甲申条規外回翰」(目次による) から成る。 印記:「靈山」(祐首座)
阿国往復書譜 百五十五番	館司 小川外記 天澤菴直首座	文政8年1月～文政 9年4月	阿国往復書譜 [150]	WA1-6-36	1冊	26.8×20.3	47	原表紙に「自文政八乙酉四月七日至同九丙戌四月念六日」の 墨書あり。
阿国往復書譜 百五十六番	館司 小川外記・三浦 大藏 朝陽軒初度願首座	文政8年12月～文 政10年2月	阿国往復書譜 [151]	WA1-6-36	1冊	26.2×20.1	37	原表紙に「自文政九丙戌年四月同至于丁亥年五月」の墨書あ り。冒頭に目次あり。
阿国往復書譜 百五拾七番	館司 三浦内蔵允 雲居菴信藏司	文政9年5月～文政 11年3月	阿国往復書譜 [152]	WA1-6-36	1冊	25.9×19.6	48	原表紙に「自文政十年丁亥五月三日至同十一年戊子四月朔日」 の墨書あり。冒頭・本文半ばに目次を付す。「年条不時往翰」 「年条不時回翰」(目次による) から成る。
阿国往復書譜 百五十八番	館司 三浦内蔵允 一華菴柱首座	文政11年1月～文 政12年2月	阿国往復書譜 [153]	WA1-6-36	1冊	26.3×19.8	29	原表紙に「自文政十一年戊子四月朔日至同十二年己丑四月廿 三日」の墨書あり。冒頭に前半の目次あり。後半は「年条規 外回翰」(中扉による)。

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
阿国往復書牒 百五十九番	館司 三浦内藏允・仁 位久兵衛 沢官護送裁判館司兼勤 小野十郎兵衛 知足菴枯首座	文政11年3月～天 保1年2月	阿国往復書牒, [154]	WA1-6-36	1冊	26.7×19.9	33	原表紙に「自文政十二己丑四月同至十三庚寅四月」の墨書あり。冒頭に目次あり。「規外往翰」「年条往翰」「年条回翰」「不時往翰」「規外回翰」(中扉、本文墨書による)から成る。印記:「靈山」(祐首座)
阿国往復書牒 百六拾	館司 仁位孫一郎 朝陽軒羅首[座]	文政12年5月～天保 2年1月	阿国往復書牒, [155]	WA1-6-36	1冊	26.2×19.8	63	原表紙に「自文政十三庚寅年四月」至于天保二辛卯年三月」の墨書あり。内表紙に「自文政十三庚寅年四月八日至天保二年辛卯三月廿三日」の墨書あり。後半は「回翰」。「回翰」頭に目次を付す。印記あり。
阿国往復書牒 百六拾壹番	館司 仁位孫一郎 壽康菴枯首座	文政10年12月～天 保3年3月	阿国往復書牒, [156]	WA1-6-36	1冊	26.2×19.9	53	原表紙に「自天保二辛卯三月廿三日至同壬辰年四月」の墨書あり。冒頭・本文半ばに目次あり。「辛卯年第一船書并別幅」「庚寅朱年限裁判回翰」(目次による)から成る。
阿国往復書牒 百六十二番	館司 仁位孫一郎 一華菴諸首座	天保2年6月～天保 4年1月	阿国往復書牒, [157]	WA1-6-36	1冊	26.2×20.0	55	原表紙に「自天保三年壬辰四月三日至同四年癸巳四月三日」の墨書あり。冒頭に目次あり。「壬辰年往翰」「壬辰年回翰」(目次、中扉による)から成る。
阿国往復書牒 百六十三番	館司 仁位孫一郎 雲居菴枯首座	天保4年1日～天保 5年3月	阿国往復書牒, [158]	WA1-6-36	1冊	26.0×19.9	44	原表紙に「自天保四年癸巳四月三日至同五年甲午三月廿日」の墨書あり。冒頭に目次あり。「癸巳年往翰」「同回翰」(目次による)から成る。
阿国往復書牒 百六拾四番	館司 仁位孫一郎・樋 口亘理 知足菴保長老	天保4年11月～天保 6年3月	阿国往復書牒, [159]	WA1-6-36	1冊	26.5×19.3	46	原表紙に「自天保五三月念日至同六月十日」の墨書あり。冒頭の中扉に「往翰」「自天保五甲午三月至同六月乙未」「館守仁位孫一郎樋口亘理 知足菴保首座」の墨書あり。「往翰」「回翰」(中扉による)から成る。冒頭に目次あり。
阿国往復書牒 百六十五番	館司 樋口亘理 朝陽軒玄龍	天保5年12月～天保 7年4月	阿国往復書牒, [160]	WA1-6-36	1冊	25.7×19.4	63	原表紙に「自天保六年乙未四月至同七年丙申四月」の墨書あり。冒頭に目次あり。「乙未年不時往翰」「同年不時回翰」(目次による)から成る。

阿国往復書牒 百六十六	館守 樋口亘理・吉川 右近 天澤菴諾首座	天保5年4月～天保 7年11月	阿国往復書牒・ [161]	WA1-6-36	1冊	26.4×19.9	52	原表紙に「自天保七丙申四月至同八丁酉五月」の墨書あり。 冒頭に目次あり。「丙申年不時往翰」「同年不時回翰」(目次 による)から成る。
阿国往復書牒 百六十七	館司 吉川右近 雲居菴禎首座	天保6年1月～天保 9年2月	阿国往復書牒・ [162]	WA1-6-36	1冊	25.3×19.7	46	原表紙に「自天保八丁酉五月至同九年戊戌三月」の墨書あ り。冒頭に目次あり。「丁酉年不時往翰」「同年不時回翰」(目 次による)から成る。
阿国往復書牒 百六十八番	館守 吉川右近 壽康菴禎藏司	天保8年8月～天保 9年12月	阿国往復書牒・ [163]	WA1-6-36	1冊	26.8×19.4	65	原表紙に「自天保九戊戌三月至同十己亥三月」の墨書あり。 冒頭に目次あり。「戊戌条往翰」「同年不時往翰」「戊戌年不 時回翰」「戊戌条回翰」(目次による)から成る。
阿国往復書牒 百六十九番	館守 吉川右近 一華菴禎藏司	天保9年12月～天 保11年2月	阿国往復書牒・ [164]	WA1-6-36	1冊	25.5×19.4	60	原表紙に「自天保十年己亥三月至同十一年庚子四月」の墨書 あり。冒頭に目次あり。「己亥年不時往翰」「同年不時回翰」 「庚子年不時往翰」「同年不時回翰」(目次による)から成る。
阿国往復書牒 百七十番	館司 古川采女 天澤菴諾首座	天保7年5月～天保 12年4月	阿国往復書牒・ [165]	WA1-6-36	1冊	26.4×19.5	65	原表紙に「自天保十一年庚子四月至同十二(二)年辛丑四月」の墨 書あり。
阿国往復書牒 百七拾壹番	館守 古川采女 知足菴禎首座	天保12年1月～天 保12年10月	阿国往復書牒・ [166]	WA1-6-36	1冊	26.0×19.5	36	原表紙に「自天保十二年辛丑四月念九日至同十三年壬寅二月 念三日」の墨書あり。冒頭に目次あり。後半は「回翰」(目 次による)。
阿国往復書牒 百七拾貳番	館守 古川采女 壽康菴禎首座	天保9年8月～天保 14年10月	阿国往復書牒・ [167]	WA1-6-36	1冊	26.7×19.7	69	原表紙に「自天保十三年壬寅二月至同十四年癸卯四月」の墨 書あり。冒頭に目次あり。後半は「回翰」(目次による)。
阿国往復書牒 百七十三番	館司 古川采女 知足菴禎首座	天保9年5月～弘化 1年2月	阿国往復書牒・ [168]	WA1-6-36	1冊	25.9×19.0	102	原表紙に「自天保十四年癸卯四月至同十五年甲辰三月」の墨 書あり。冒頭に目次あり。「癸卯年不時往翰」「回翰」(目次 による)から成る。
阿国往復書牒 百七拾四番	館司 古川采女 知足菴禎首座	弘化1年1月～弘化 2年1月	阿国往復書牒・ [169]	WA1-6-36	1冊	26.6×19.3	53	原表紙に「自天保十五年甲辰三月至弘化二年乙巳三月」の墨 書あり。冒頭に目次あり。後半は「回翰」(目次による)。

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
阿国往復書牋 百七拾六番	館守 古川采女・館守 樋口弾正 知足菴全藏司	弘化3年1月～弘化 3年12月	阿国往復書牋、 [170]	WA1-6-36	1冊	25.5×19.5	22	原表紙に「自弘化三丙午四月至同丁未四月」の墨書あり。冒 頭に目次あり。
阿国往復書牋 百七十七番	館守 樋口弾正 壽康菴椿藏主	天保13年3月～弘 化4年12月	阿国往復書牋、 [171]	WA1-6-36	1冊	26.0×19.6	43	原表紙に「自弘化丁未四月至同戊戌四月」の墨書あり。 冒頭に目次あり。「往翰」「回翰」(目次による) から成る。
阿国往復書牋 百七十八番	館司 樋口弾正 一華菴梵藏司	弘化4年12月～嘉 永1年12月	阿国往復書牋、 [172]	WA1-6-36	1冊	26.5×19.7	46	原表紙に「自弘化五年戊申四月至嘉永二年己酉四月」の墨書 あり。冒頭に目次あり。
阿国往復書牋 百七十九番	館守 樋口弾正・吉田 大藏	弘化3年4月～嘉永 3年3月	阿国往復書牋、 [173]	WA1-6-36	1冊	26.3×19.8	50	原表紙に「自嘉永二年己酉四月至同三年庚戌五月」の墨書あ り。冒頭に目次あり。「往翰」「回翰」(中單による) から成る。
阿国往復書牋 百八拾番	館司 吉田外守 知足菴晴首座 天澤菴龍首座	嘉永2年10月～嘉 永3年12月	阿国往復書牋、 [174]	WA1-6-36	1冊	26.5×19.6	38	原表紙に「自嘉永三年庚戌五月至同四年辛亥二月」の墨書あ り。冒頭に目次あり。
阿国往復書牋 百八拾壹番	館守 吉田外守 一華菴梵首座	嘉永2年6月～嘉永 4年9月	阿国往復書牋、 [175]	WA1-6-36	1冊	27.0×19.7	44	原表紙に「自嘉永四年辛亥二月至同五壬子年間二月」の墨書 あり。冒頭に目次あり。「辛亥年不時往翰」「辛亥年不時回翰」 (目次による) から成る。
阿国往復書牋 百八拾貳番	館守 吉田外守・俵郡 左衛門 雲居菴郁首座	嘉永4年4月～嘉永 5年11月	阿国往復書牋、 [176]	WA1-6-36	1冊	26.7×19.8	32	原表紙に「自嘉永五年壬子閏二月七日至同六年癸丑三月」の 墨書あり。冒頭に目次あり。「往翰」「回翰」(目次による) から成る。
阿国往復書牋 百八拾参番	館司 俵郡左衛門 壽康菴椿藏主	嘉永4年4月～嘉永 6年10月	阿国往復書牋、 [177]	WA1-6-36	1冊	26.3×19.6	43	原表紙に「自嘉永六癸丑年三月至同七甲寅二月」の墨書あり。 内表紙前に目次を付す。「年条往翰」「年条回翰」「規外往翰」 「規外回翰」(目次による) から成る。
阿国往復書牋 百八拾四番	館司 俵郡左衛門 一華[菴]澤[首座]	嘉永6年8月～安政 2年2月	阿国往復書牋、 [178]	WA1-6-36	1冊	26.3×19.6	77	原表紙に「自嘉永七庚寅二月至安政二乙卯四月」の墨書あり。 冒頭に目次あり。「往翰」「回翰」(目次による) から成る。
阿国往復書牋 百八拾五番	館司 俵郡左衛門 天澤菴龍首座	嘉永4年4月～安政 2年12月	阿国往復書牋、 [179]	WA1-6-36	1冊	26.5×19.6	35	原表紙に「自安政二乙卯四月至同年丙辰三月」の墨書あり。 冒頭に目次あり。

阿国往復書牒 百八拾六番	館司 俊郡左衛門 知足菴畔首座	安政2年12月～安 政3年11月	阿国往復書牒, [180]	WA1-6-36	1冊	26.2×19.3	54	原表紙に「自安政三丙辰三月至同丁巳四月」の墨書あり。冒頭に目次あり。「年条往翰」「同回翰」「規外往翰」「規外回答」(目次による) から成る。
阿国往復書牒 百八拾七番	館司 俊郡左衛門 朝陽軒全首座	安政4年1月～安政 5年1月	阿国往復書牒, [181]	WA1-6-36	1冊	26.4×19.3	29	原表紙に「自安政四年丁巳四月至同戊午三月」の墨書あり。
阿国往復書牒 百八拾八番	館司 俊郡左衛門 壽康菴春首座	安政5年1月～安政 6年2月	阿国往復書牒, [182]	WA1-6-36	1冊	26.6×19.8	39	原表紙に「自安政五戊午四月至同己未四月」の墨書あり。後半に中扉2枚あり。中扉に「不時往翰」「不時回書」の墨書あり。
阿国往復書牒 百八拾九番	館司 俊郡左衛門 天澤菴龍首座	安政3年7月～万延 1年1月	阿国往復書牒, [183]	WA1-6-36	1冊	26.2×19.7	49	原表紙に「自安政己未四月至同庚申三月」の墨書あり。冒頭に目次あり。「往翰」「回翰」(目次による) から成る。
阿国往復書牒 百九拾番	館司兼帯 古川采女 天澤菴畔首座	安政6年2月～万延 1年12月	阿国往復書牒, [184]	WA1-6-36	1冊	26.8×19.5	73	原表紙に「自安政七庚申三月至万延二辛酉四月」の墨書あり。冒頭に目次あり。「往翰」「回翰」(目次による) から成る。
阿国往復書牒 百九拾壹番	館司兼帯 古川采女 館司 吉川内記 雲居菴真藏司	安政1年1月～文久 1年12月	阿国往復書牒, [185]	WA1-6-36	1冊	26.9×19.7	67	原表紙に「自万延二辛酉四月至文久二壬戌四月」の墨書あり。冒頭に目次あり。「往翰」「回翰」(目次による) から成る。
阿国往復書牒 百九拾貳番	館司 吉川内記 館司助勤 倉田社右衛門 壽康菴眞首座	万延1年6月～文久 3年1月	阿国往復書牒, [186]	WA1-6-36	1冊	26.3×19.9	50	原表紙に「自文久二壬戌四月至同三癸亥三月」の墨書あり。冒頭に目次あり。「年条往翰」「不時往翰」「不時回翰」(中扉による) から成る。
阿国往復書牒 百九拾参番	館司 番藏殿介 梅林菴秀首座	文久1年4月～元治 1年3月	阿国往復書牒, [187]	WA1-6-36	1冊	26.8×19.8	64	原表紙に「自文久三年癸亥三月至同四年甲子四月」の墨書あり。内表紙に「自文久三年癸亥三月廿五日至同四年甲子四月八日」の墨書あり。冒頭に目次あり。「往翰」「回翰」(目次による) から成る。
阿国往復書牒 百九拾四番	館司 番藏殿介 一華菴眞藏主	文久3年4月～慶応 1年2月	阿国往復書牒, [188]	WA1-6-36	1冊	26.3×19.5	62	原表紙に「自元治元年甲子四月至同二年乙丑四月」の墨書あり。冒頭に目次あり。「往翰」「回翰」(目次による) から成る。
阿国往復書牒 百九拾五番	館司 番藏殿介・原宅 右衛門 雲居菴眞首座	文久3年4月～慶応 1年11月	阿国往復書牒, [189]	WA1-6-36	1冊	27.2×20.1	50	原表紙に「自元治二年乙丑四月至于慶応二年丙寅三月」の墨書あり。冒頭に目次あり。「往翰」「回翰」(目次による) から成る。

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名, [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
阿国往復書牒 百九拾七番	館司 原宅右衛門・再 任 番籠殿介 梅林菴秀座	慶応2年1月～明治 1年2月	阿国往復書牒, [190]	WA1-6-36	1冊	27.5×20.2	76	原表紙に「自慶応三丁卯三月廿七日至同四戊辰四月三日」の 墨書あり。冒頭に目次あり。「往翰」「回翰」(目次による) から成る。
阿国往復書牒 百九拾九	館司 再任番高麗造 長壽院春首座	明治1年9月～明治 3年4月	阿国往復書牒, [191]	WA1-6-36	1冊	27.7×20.0	24	原表紙に「自明治二己巳四月至于同三庚午八月」の墨書あり。 冒頭に目次あり。

4 両国往復書関係

(2) 書式・目録

4 両国往復書関係 (2) 書式・目録 3冊

館守方に備えられた外交文書作成に必要な用語・先例・修辭法をまとめた書式集と、『両国往復書牋』の目録からなる。最も古い『御書翰嫌字覚書』は、正徳4年(1714)以酏庵輪番僧(村馬府中)で外交文書を担当する京都五山の僧侶)の天龍寺妙知院中山玄中(再任)が書出した「東武御諱字・朝鮮国御諱字・封進物目録」と、享保13年(1728)朝鮮方の松浦儀右衛門と越常右衛門へ提出された「日韓往復闕上字図」などの書式覚からなる。『日韓往復書式 往復不時書契目録』は、寛政6年(1794)から翌年にかけて館守戸田頼母(三任)の代に作成された書式・目録である。このうち書式について、戸田頼母は覚書の中で「不時御使者返翰吟味之節、不功之住持在勤之節は、下見・御返翰当日共書式文意等宜候由御座候二付、御使者取帰ニ至後不吟味之所在之、毎々為改撰被差越、御手入相成、甚以如何敷事二付、折節真文佐々木恵吉渡合故、申渡候て一ト通書式仕立差出候」と述べており、東向寺僧の技量不足による不吟味の公文書持ち帰りを防ぐために、朝鮮方真文役の佐々木恵吉に作成させたとしている。また目録は、寛永元年(1624)から承応2年(1653)12月までを著録(寛政7年4月作成)したものと、承応3年(1654)から明治2

年(1869)3月分までを補遺著録したものに別れる。戸田頼母は『館守毎日記』同様、『両国往復書牋』の現存状況と内容を調査し、そのころ倭館に承応3年(1654)以降のものしか置かれていなかったことから、寛永11年(1634)から承応2年までのものを新規に9冊に仕立てて収蔵している。(田代和生)

原題	作成者	内容年	当館書名・ [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
御書翰嫌字覚書	松浦儀右衛門	正徳4年～元文3年	御書翰嫌字覚書	WA1-6-11	1冊	26.6×19.8	47	「御書翰嫌字覚書」の後に「日韓往復閣上字図」(享保13年4月。差出・提綴。宛所：松浦儀右衛門・越常右衛門)、「[覚書]」(享保11年11月1日)、「東武御諱字・朝鮮国御諱字・封進物目録」(正徳4年、中山記)、「心覚」(作成年不詳、享保11年・元文3年)を付す。
①信使往韓控 ②参判使短簡・按 同返翰之式・按 慰官東萊真文・朝 陽官朝訓謄真 文 ③日韓往復書式	①一華庵順吉座 ②東向寺輪住陽主座 ③館守戸田頼母 朝陽軒徳藏司	①宝暦13年(作成) ②天明2年10月(作 成) ③寛政6年11月(作 成)	日韓往復書式 及往復目録	WA1-6-28	1冊	26.5×20.4	①8 ②14 ③11	①原表紙に「宝暦十三癸未年」「九拾五 共弐冊」の墨書あり。 印記あり。 ②原表紙に「天明二壬寅十月」の墨書あり。 ③「寛政六甲寅年 霜月日」「百廿五番 共弐冊」の墨書あり。 末尾に戸田頼母の覚あり。「日韓往復書式及往復目録」(次項)と同文のため略す。 ①～③を合冊したもの。
日韓往復書式 往復不時書契目 録	三任 戸田頼母	寛政6年(「日韓往 復書式」作成) 寛永1年～明治2年 3月(「往復不時書 契目録」著録年代。 寛政7年4月作成。 その後明治2年3月 迄補遺)	日韓往復書式 及往復目録	WA1-6-28	1冊	27.2×20.4	77	原表紙に「一番」の墨書あり。内表紙に「寛政七乙卯年四月 日 往復不時書契目録 東向寺徳藏司 館守方」の墨書あり。 内容は「日韓往復書式」と「往復不時書契目録」から成る。 「日韓往復書式」に戸田頼母の覚あり。「往復不時書契目録」 は、寛永元年より承応2年12月迄を著録する目録(寛政7年4 月作成)、承応3年より明治2年3月分までを補遺した目録に 分かれる。

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
								<p>【戸田頼母覚】</p> <p>覚</p> <p>一、不時御使者返翰吟味之節、不叻之仕持在勤之節者、下見・御返翰当日共書式文意等宜候由御座候二付、御使者取備ニ至後、不吟味之所在之毎々為改躰被差越、御手入相成、甚以如何敷事二付、折簡真文役佐々木恵吉渡合故、申渡候而一ト通書式仕立差出候付、則此節より相渡置候間、尔今随分入念、無見落様可被相勤候、尤右之書式而已を便与被致、文意ニ拙候而者、右書式ニ漏居候文字新ニ認在之時者、果而疑慮可相生、左候而者吟味之御座候与申ものニ而ハ無之事故、手跡者勿論、学問を専可被相励事ニ候、右書付者交代之節大切ニして後仕江可被譲渡候、以上、</p> <p>甲寅十一月 日 館守三任 戸田頼母</p> <p>東向寺住持 徳藏司</p>

4 两国往復書關係

(3) 跡留

4 両国往復書関係 (3) 跡留 15冊

館守が編纂した朝鮮側との真文・短簡・私信などの交換 跡留、『告人参書』など5冊は短簡跡留を項目別に分類し
文書集。当館には、以下の館守による跡留が所蔵される。 て収録している。 (田代和生)

第31代小川又三郎『両国短簡跡留』1冊、元禄15年

(1702)～宝永4年(1707)

第61代平田所左衛門『別記録』1冊、享保11年

(1726)～宝暦8年(1758)

第94代仁位孫一郎『真文跡留』1冊、元禄12年

(1699)～文政11年(1828)

第97代古川采女『真文跡留』3冊、正徳2年(1712)

～弘化3年(1846)

第99代吉田外守『真文跡留』1冊、弘化3年(1846)

～嘉永5年(1852)

第104代番縫殿介(再任)『跡留編輯草稿』など3冊、慶

応3年(1867)・明治2年(1869)・明治4年(1871)

第104代番縫殿介(再任)『告人参書』など5冊、明

治元年(1868)(作成)

このうち小川又三郎の『両国短簡跡留』は、巻頭に元禄
16年(1703)9月25日付で外交文書の作成・保管・管理
にかかわる国元家老の覚書を併録している。また番縫殿介
『跡留編輯草稿』など3冊は年例送使・臨時送使等の書契

原題	作成者	内容年	当館書名、 【冊番号】	当館請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
[西]国短簡跡留	[館司]小川又三郎 等謹	元禄15年2月～宝 永4年7月	两国往復書譜、 [17]	WA1-6-37	1冊	26.4×20.5	31	<p>原表紙に「元禄十六年癸未十二月日」の墨書あり。巻頭に樋口佐左衛門、平田直右衛門の小川又三郎宛の宛を付す。印記：「孤峯古[人]」（等謹）</p> <p>【覽】 覚</p> <p>一、歳桑往復之御書翰并不時之書、弥無懈怠東向寺江相扣置候様ニ可被申渡候、尤文字高下点画随分念入、少茂相違無之様ニ可被申付候事、</p> <p>一、年寄中并館守・裁判・御代官方より東萊・釜山掛判事方へ御用ニ付遣之候短簡、其外真文之書付、并御元方役中より掛判事・商人中へ遣候真文、彼方より参候返答之書物不残帳面ニ招置可申候、尤右之通之書物ハ画国御通交之御書簡扣等ニ書込候様、無用候、別帳ニ記之、一冊之内ニ而茂夫々部分ヲを致し記置候様ニ可被申渡候事、</p> <p>一、御送使僉官中より東萊・釜山或掻墨官等江遣候短簡少ニ而茂御用向之儀有之候ハ、是又右同前ニ帳面可控置旨可被申渡候事、</p> <p>右之通向後無滞東向寺江招置、交代之節段々無懈怠致書写候様ニ後住へ可被申渡候、大切之御書物之儀ニ候間、眾ニ他見不為致、尤自分为控写取候儀、決而無用候、此以後帳目録仕立置、引渡之節、冊数相改、引合相渡し、一冊ニ而も紛失不仕候様可入念旨住持へ堅可被申渡候、以上、</p> <p>未九月廿五日 樋口佐左衛門 印 平田直右衛門 印 小川又三郎殿</p>

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
別記録	東向寺	享保11年10月18日～宝暦8年7月	別記録	WA1-6-33	1冊	26.0×20.2	31	原表紙に「享」保十一丙午三月「後代于此册可書加」の墨書あり。年代は、巻頭の文書が丙午十月十八日付であり原表紙と干支が一致することから享保11年と推定、また、巻末の文書に「館司」が平田所左衛門である旨の注記があり「戊寅七月」とあることから宝暦8年と推定した。
真文跡留	館守 仁位孫一郎	元禄12年11月～ 文政11年9月（「論知」部分）	真文跡留、[1]	WA1-6-20	1冊	25.3×19.0	313	「論知」「送使」「書契」「傳令」「譯官」「米木參角」「監董」「潜商」「左右漂泊」「雜」に部立てされ、中扉が付される。巻頭に部立を記した書付を挟む。小口に「館守方」の墨書あり。「論知」部分は年代を示す干支に朱筆で日本の元号の注記あり。奥書に「内外之諸真文書牘中絶して公幹事考之便少し、仍之天保三壬辰年儒士原田祐助江吟味被仰付同人丁掌連統書牘を成ス事かくのごとし、已後内外緊要之書ハ御書達之通無解怠留メ書可取計事」あり。
真文跡留 巻	館守 古川采女	正徳2年3月～享保20年	真文跡留、[2]	WA1-6-20	1冊	25.2×18.8	193	原表紙に「共五冊」「弘化三丙午年八月 日」の墨書あり。内表紙に「宮」「館守方」の墨書あり。第1丁に「自正徳二年至同四年自享保二年至同二十年」とあり。巻頭に真文書抜作成経緯の寛あり。 【続】 館守方江有之候内外之諸真文・後証与可相成緊要之書、吟味方真文役原田祐助ニ被仰付、天保三壬辰年、跡留一冊編集有之候、折柄同人再渡、今般浜方在勤ニ付、申談右壬辰年以來者素り、貞享二年より代々之日記を考、壬辰年ニ脱漏いたし居候真文、則正徳二年より弘化三年までを書抜キ、跡留共ニ五冊相仕立置候、此後段々御仕継被成度存候事、
真文跡留 貳	館守 古川采女	享保20年閏4月～ 天明7年8月	真文跡留、[3]	WA1-6-20	1冊	25.2×18.6	132	原表紙に「共五冊」「[弘]化三丙午年八月 日」の墨書あり。内表紙に「商」「館守方」の墨書あり。巻頭に「自元文元年至同四年（中略）自天明元年至同七年」とあり。

真文跡留 肆	館守 古川采女	天保1年1月18日～ 弘化3年閏5月	真文跡留、[4]	WA1-6-20	1冊	25.2×188	162	原表紙に「共五冊」「[弘]化三丙午年八月 日」の墨書あり。 内表紙に「敬」「館守方」の墨書あり。巻頭に「自天保元年 至同十四年自弘化元年至同三年」とあり。
真文跡留	館守 吉田外守	弘化3年閏5月～嘉 永5年9月29日	真文跡留、[5]	WA1-6-20	1冊	25.4×188	80	原表紙に「嘉」永五年壬子十月 日」の墨書あり。跡紙下敷 き一枚付属。
跡留編輯草稿	取調御用掛中	慶応3年	宗家記録、[26]	WA1-6-40	1冊	24.7×163	130	「慶応三年丁卯遣朝鮮国歳条書」「慶応三年丁卯遣朝鮮国規外 書」「慶応三年丁卯朝鮮国歳条回翰」「慶応三年丁卯朝鮮国規外 書」(各項目巻頭による) から成る。それぞれに中扉あり。扉 に「慶応三年丁卯 年條往翰 跡留編輯草稿控」「慶応三年丁卯 規外往翰 跡留編輯草稿控」「慶応三年丁卯 年條回翰 跡留編輯 草稿控 御書翰取調御用掛中」「慶応三年丁卯 規外回翰 跡留編 輯草稿控」の墨書あり。「慶応三年丁卯遣朝鮮国歳条書契目録」 2丁、「慶応三年丁卯朝鮮国歳条回翰目録」3丁を付す。
年條規外 往翰・ 年條規外 回翰	御書翰取調御用掛中	明治2年	宗家記録、[28]	WA1-6-40	1冊	24.4×168	86	「年條規外 往翰」「年条規外 回翰」から成る。「年條規外 往 翰」中扉に「明治二己巳年正月起 年條規外 往翰 御書翰取調 御用掛中」の墨書あり。「遣朝鮮国歳条書契」「遣朝鮮国規外 書契」から成る。それぞれ目録1丁をつを付す。「年条規外 回翰」中扉に「明治二年己巳正月起 年条規外回翰 御書翰取 調御用掛中」の墨書あり。「朝鮮国歳条回翰」「明治二年己巳 朝鮮国規外回翰」から成る。それぞれ目録1丁、3丁を付す。
①年條規外 往翰 ②年條規外 回翰	御書翰御用掛中	明治4年	宗家記録、[29]	WA1-6-40	1冊	24.2×165	①57 ②90	①原表紙に「明治四辛未正月起」「三月廿日」の墨書あり。 ②原表紙に「明治四辛未年正月起」の墨書あり。 ①、②を合冊したものか。

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
告人参書	館司再任 番縫殿介	[明治1年12月] (作成)	館司再任番縫殿介取扱雑件、 [1]	WA1-6-6	1冊	27.7×19.5	77	作成年は「館司再任番縫殿介取扱雑件、[5]」による。内容の部立は「告人参」「告訃使」「告喪使」「講事使」「講信使 公賀物品事講信願付 講信使改撰 願内改撰」「講定使」「講聘大差使 講聘札綴期」「議諸君礼物執政書契停除東萊 議国書結語一件東萊 信使帶來礼曹」「館守交代」「迎聘使」「国書改撰」「古館守書」から成る。
人参申飭・礼単入送・副使駕船失火 副使騎船 藍島・都船主代任	館司再任 番縫殿介	[明治1年12月] (作成)	館司再任番縫殿介取扱雑件、 [2]	WA1-6-6	1冊	27.7×19.7	48	作成年は「館司再任番縫殿介取扱雑件、[5]」による。内容の部立は「人参申飭 礼単入送 副使駕船失火 副使騎船 藍島 都船主代任」「[年]限裁判」「復号」「平風公使」「評官特渡」「訳官持渡 流訳官」「訳官持渡大吊問慰書 立諸書」「即蘇」「立諸大差使」から成る。
遺書	館司再任 番縫殿介	[明治1年12月] (作成)	館司再任番縫殿介取扱雑件、 [3]	WA1-6-6	1冊	27.8×19.6	57	作成年は「館司再任番縫殿介取扱雑件、[5]」による。内容の部立は「遺書」「警渡島」「淹留 給返 昇官」「告異様船一款書 告選使」「告誕使 告慶誕使」「[告事使]」「[告襲大差使]」「[告新印事書]」から成る。
副位大差使	館司再任 番縫殿介	[明治1年12月] (作成)	館司再任番縫殿介取扱雑件、 [4]	WA1-6-6	1冊	27.8×19.7	89	作成年は「館司再任番縫殿介取扱雑件、[5]」による。内容の部立は「礼曹答副位使書并別幅同東釜益書并別幅」「修聘大差使」「申禁使」「信使府著 同撰州著 同帰国時回翰」「通信使撰州 同護還」「迎護信使」「信使送聘使」「信使往翰」「講聘札綴期書 延聘大差使」「送虚船」「虚舟書」「新銀回翰」「燧器回翰」「清商事」「清商奉行書」「告番商事」「[送]還漂[物]」「遜位使」から成る。

往翰 大修大差 使書	館守再任 番縫殿介	明治1年12月（作 成）	館守再任番縫 殿介取扱雜件、 [5]	WA1-6-6	1冊	27.8×19.5	122	原表紙に「明治元戊辰年十二月」の墨書あり。内容の部立は 「遣礼曹参判大修使書并別幅」「礼曹答大詔使書并別幅 同東 益書并別幅」「体情送使」「答問三使帰船危難」「陳賀使」「通 信使護行裁判」「迎訳官書」「迎訳官裁判」「渡海護還裁判」 「順付裁判詔官死難之書」「吊慰使 中殿吊慰使 中殿吊慰使 問 慰使」「弔礼使」「将差使 旌義田原監額来将差使」「図書使 参 判図書 無使者図書」から成る。
---------------	-----------	-----------------	--------------------------	---------	----	-----------	-----	---

5 倭館改修記録

5 倭館改修記録 18冊

延宝6年(1678)完成した草梁倭館の改修工事に関する記録。倭館の建築物のうち、西館の客館(西の三大庁)と東館の館守家・裁判家・開市大庁(東の三大庁)の大規模な6棟については、改修工事にかかわる全費用を朝鮮側負担としている。そのため、25年に一度の大改修を「大監董」・部分的な修理を「小監董」と称し、訳官(日本語通事)が監董官となって費用見積から全工程の統轄・監督を行う。ただし倭館は、特に居住空間が和風建築であることから、日本人大工や左官・木引・雑役夫ら対馬藩の普請関係者が渡海し、朝鮮側と合同作業を行わねばならず、普請奉行の任命から改修工事の終了までの全工程が記録に書き留められた。

当館が所蔵するものは、以下の11回分の改修工事に伴う記録で、うち3回分が巨額の費用を伴う大監董である。

- ① 正徳5年(1715) 小監董 『西房内御用記録』『一特送使房内改建記』
- ② 元文5年(1740) 小監董 『第一船下房内改建御用記録』『第一船行廊改建記録』
- ③ 寛延2年(1749) 大監董 『東館修理記録』『僉官屋修補日記』『東西館修造記録』

- ④ 安永3年(1774) 大監董 『西館修補記録』
- ⑤ 天明6年(1786) 小監董 『一特送[使下行廊修理記録]』

- ⑥ 寛政3年(1791) 小監董 『開市大庁改建記録』
- ⑦ 寛政8年(1796) 小監董 『第一船下行廊修理記録』
- ⑧ 享和2年(1802) 大監董 『館守家裁判家修理記録』
- ⑨ 文化12年(1815) 小監董 『一特送使下行廊修理記録』
- ⑩ 文政9年(1826) 小監董 『往覆書状控』

- ⑪ 嘉永4年(1851) 小監董 『參判家改建記録』『朝鮮御用支地御勘定奉行所往覆扣』

- ⑫ 嘉永4年(1851) 小監董 『參判家下行廊外向より監董二付被召仕候毎日記』

このうち③『東館修理記録』や⑥『開市大庁改建記録』に添付された館守家・裁判家・開市大庁の絵図から、門・玄関・縁側・廊下・台所・風呂場・便所、さらに礎石の位置を確認できる。各記録とも普請関係者の出入と建築資材の入手に関する記事が多く、特に資材出費の40%近くを占める屋根瓦の調達にかかわる記事が目立つ。時に倭館内の茶碗籠で焼かれることもある瓦は、魔除けとなる鬼瓦の表

面に宗家の家紋（丸に四ツ目結）入りのものが作られ、日朝双方の職人によって日本式（三枚がけ）のやや急向配な屋根をかけて雨漏りを防ぐなど、日朝建築史を考察するうえで貴重な記録として注目される。

倭館の改修については尹裕淑『近世日朝通交と倭館』（岩田書店、2011年）、木村和代「草梁倭館の修理・改築における資材調達」（『史学』83-2,3、2014年）を参照。

（田代和生）

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
西房内御用記録 全	裁判 樋口久米右衛門	正徳4年10月3日～ 正徳5年4月24日	西房内御用記 録	WA1-6-21	1冊	26.1×20.0	47	原表紙に「[自]正徳四甲午十月三日[至]同五乙未四月廿四日」 と墨書あり。
一特送使房内改 建記	吉田兵左衛門	正徳5年1月10日～ 享保1年1月25日	諸改築記録。 [1]	WA1-6-18	1冊	26.0×19.7	27	原表紙に「[正]徳五乙未正月十日より正徳六丙申年正月廿五日迄」 「裁判樋口久米右衛門御用承之支配仕候処、久米右衛門帰国二付拙子方江承之請事令指図候様二被仰越二付、則此 越之御状より記之」の墨書あり。鬼瓦に関する文書を添付。
第一船下房内改 建御用記録 全	裁判 幾度又右衛門	元文3年10月27日～ 元文4年6月13日	諸改築記録。 [3]	WA1-6-18	1冊	25.8×19.7	33	原表紙に「[自]元文三戊午十月廿七日[至]同四己未六月十三日」 の墨書あり。
第一船行廊改建 記録	龍田伊平太・平山栗右 衛門・永瀬弥次右衛門	元文4年4月9日～ 元文5年10月6日	諸改築記録。 [4]	WA1-6-18	1冊	23.7×19.5	143	原表紙に「元文五庚申年二月始役九月畢役閏七月有之」の墨 書あり。龍田伊平太は普請奉行、永瀬弥次右衛門は手代役、 平山栗右衛門は目附役。末尾に「普請用諸道具」「訓書別差 監董官兩人より之音物并此方より之返礼之覚」「宛行覚」な とを付す。
東館修理記録	[普請奉行] 中村文吉 手代役 高雄卯左衛門・ 菊地治左衛門	寛延2年3月26日～ 宝暦1年1月4日	諸修覆記録。 [2]	WA1-6-17	1冊	26.8×20.1	212	原表紙に「寛延二己巳三月〔 〕」の墨書あり。作成者中 村文吉の肩書は巻頭の記事による。巻末に「館守屋之図」「裁 判屋之図」「市太庁之図」を付す。
金官屋修補日記	船橋甚右衛門・堀部勘 右衛門・小田与七左衛 門・古賀忠右衛門	寛延1年間10月27 日～宝暦1年8月8 日	諸修覆記録。 [3]	WA1-6-17	1冊	27.5×20.3	156	原表紙に「寛延二己巳徳九月同四辛未至六月二」の墨書あり。 透紙に「記録」「館守江」と墨書あり。
東西館修造記録	雲居庵本藏司	宝暦1年4月	諸修覆記録。 [4]	WA1-6-17	1冊	26.5×20.0	8	原表紙に「共二冊」「八十六之内」「寛延四辛未年三月 日」 の墨書あり。内表紙に「記録 館守江」の墨書あり。内容は朝 鮮側監董官、訓書、別差から館守、一代官、別一代官に宛て た己巳年4月15日、己巳4月の文書をまとめたもの。

西館修補記録	普請奉行 陶山重左衛門・松原弥三郎 久和弁右衛門・勝田宅兵衛・谷伝内	安永1年10月21日 ～安永4年間12月19日	諸修葺記録。 [5]	WA1-6-17	1冊	26.8×20.1	221	原表紙に「安」永二癸巳十二月廿二日始役同四乙未十月廿二日畢役」の墨書あり。小口に「明和九西館修理」の墨書あり。久和弁右衛門、平山吉右衛門、藤松源太、勝田宅兵衛は手代役。巻末に「普請方休日」、「役中より監重官訓書別差遣物」などの覚書類を付す。
一特送[使下行 廊修理記録]		天明6年4月5日～ 天明7年4月8日	諸修葺記録。 [6]	WA1-6-17	1冊	23.8×18.1	187	原表紙に「天明六丙午年〔 〕同七丁未〔 〕」の墨書あり。原表紙が大きく破損するため、作成者等不明。なお、巻頭によれば松田健左衛門が普請奉行、山下仁右衛門、古野甲左衛門が手代役に任命されている。巻末に「役所用杖突以下へ御借渡被成候品々」「外向ヨリ音物之覚」「建具覚」などの覚書類を付す。
開市大庁改建記録	西山庄左衛門・吉野又吉・藤文兵衛・和瀧正八・小磯五左衛門	寛政2年4月12日～ 寛政4年1月16日	諸改築記録。 [2]	WA1-6-18	1冊	26.0×19.0	194	原表紙に「寛」政三辛亥年三月始役同四年壬子正月十五日畢役」の墨書あり。吉野又吉は普請奉行、和瀧正八、小磯五左衛門は手代役。巻末に、使用される筆墨・釘・瓦、建具、「此方より音物遣掛并返札」、「外向ヨリ音物」などの覚書を付す。「市大庁瓦葺普請合之書付」(包紙とも)を添付。
第一船下行廊修理記録	立花左衛門・阿比留與助・上原久米之介	寛政7年12月28日 ～寛政9年6月3日	諸修葺記録。 [7]	WA1-6-17	1冊	25.7×19.6	94	原表紙に「寛」政八丙辰年十一月始役〔 〕役」の墨書あり。立花左衛門は普請奉行、阿比留与助、上原久米之介は手代役。巻末に「建具覚」「此方より音物遣掛并返札」などの覚書を付す。巻末に「四塚戸田頼母代受取之」の墨書あり。
館守家裁判家修理記録	小田弥次右衛門・木寺利左衛門・浅井忠右衛門・鈴木勝左衛門・阿比留三右衛門・内野武兵衛・原田鞆左衛門・阿比留與助・小宮浅右衛門・山口新兵衛	寛政12年5月23日 ～享和3年12月16日	諸修葺記録。 [8]	WA1-6-17	1冊	25.4×19.3	163	原表紙に「寛」政十二庚申九月より享和三癸亥十二月迄 九月日」の墨書あり。小田弥次右衛門は普請奉行、阿比留三右衛門、山口新兵衛は手代役。巻末に「手控上・釘・瓦等の覚」「建具引渡覚」「出入船五節之内音物覚」などの覚書を付す。

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
東西館修補雑記	大浦兵左衛門 壽康菴明首座	享和2年8月	諸修葺記録。 [1]	WA1-6-17	1冊	26.3×19.5	9	原表紙に「百三拾二之内」「共二冊」「享和二年壬戌十二月」の墨書あり。内容は壬戌年8月の朝鮮副監董官、訓導、別差から館守・一代官に宛てた文書をまとめたもの。
一特送使下行館 修理記録	普請奉行 小茂田作[兵 衛] 原勝右衛門・志田彦左 衛門	文化8年12月26日 ～文化12年9月14 日	諸修葺記録。 [9]	WA1-6-17	1冊	24.0×18.7	179	原表紙に「文」[化]八辛未年ヨリ同十二乙亥年ニ至 乙亥正月始役同八月畢役」の墨書あり。巻頭の遊紙裏に「館守 小野十郎兵衛 請取之」の墨書あり。原勝右衛門、志田彦左衛門は手代役。巻末に音物の覚書や「建具覚」などを付す。
往覆書状控	小茂田作兵衛・原勝右 衛門・志田彦左衛門	文化12年2月12日～ 文化12年12月29日	諸修葺記録。 [10]	WA1-6-17	1冊	25.2×17.5	76	書状16通から成る。巻頭の書状には「甲戌四月朔日達」と、末尾の書状には「亥四月十二日達」と注あり。
参判家改建記録	普請奉行 倉掛忠五郎 手代役 扇太次右衛門・ 青木牧之允	文政7年1月7日～ 文政11年5月30日	諸改築記録。 [5]	WA1-6-18	1冊	24.0×18.4	266	原表紙に「自文政七甲申年至同() [戊]子年 丙戌九月始役戌子五月畢役」と墨書あり。末尾に「外向講定控」「役中より監董官阿訶江音物、但度毎二錠々和文相添差出」「外向ヨリ音物之覚」「普請方休日」等の覚えを付す。
朝鮮御用支地御 勘定奉行所往覆 扣	田嶋左近右衛門・小野 六郎右衛門・平田宮内 [ほか]	4月12日～文政11 年3月26日	諸改築記録。 [6]	WA1-6-18	1冊	24.4×16.7	79	書状19通から成る。
参判家下行館外 向より監董二付 被召仕候毎日記	御徒目付 三井田好 右衛門	嘉永4年5月28日 ～嘉永4年8月	参判家下行館 外ヨリ監董 二付被召仕候 毎日記	WA1-6-15	1冊	24.3×16.7	15	原表紙に「[嘉]永四辛亥年五月 日」と墨書あり。

6 貿易關係記錄

6 貿易関係記録 27冊 [現在25冊に合冊・分冊]

総て江戸藩邸記録で、日朝貿易や資金援助に関する幕府との交渉記録が多い。日朝貿易は、定品・定量貿易である官営貿易(封進・公貿易)に比較して、月6回開催される朝鮮商人との私貿易のほうが多くの利潤を生む。近世中期まで私貿易における輸出品の大半が幕府の発行する通用銀(丁銀)であったことから、貨幣政策や銀輸出抑制策との対立を招き、その獲得をめぐって江戸藩邸での幕府交渉が重ねられ、その内容が記録に書き留められている。また近世後期は貿易不振に陥ったことから、日朝外交への経済的負担を名目に莫大な借銀を幕府から得ている。江戸藩邸は財政難打開のための交渉の窓口ともなっており、その返済状況を記録したものが多し。当館に所蔵される記録のうち、主なものを内容別にとりあげる。

○輸出銀関係

『朝鮮渡銀位御願之通往古銀御免被蒙仰候記録』3冊

宝永期(1700年代)の銀貨悪鋳時代を乗り切るため、慶長期と同位(純度80%)の貿易銀、すなわち人參代往古銀(特鑄銀)輸出に至るまでの幕府勘定奉行荻原重秀との交渉記録。本記録に引き続き、享保9年(1724)までの「引替記録」(3冊)がある。

『交易料銀減少之儀被仰出候付而御願之筋御聞合之記録』1冊

正徳4年(1714)から同5年にかけて、幕府の政治顧問である新井白石と対馬藩の儒者雨森芳洲による朝鮮への銀輸出をめぐる論争を記録したものの。対馬国元と取り交わした「往復之状控」(1冊)があり、国家的見地から銀輸出抑制の立場をとる白石の主張と、朝鮮貿易を生命線とする対馬藩経済の側からの芳洲独自の理論を読み取ることができる。

○輸出銅関係

『朝鮮渡り銅於上方被相調被差渡度与之儀土屋相模守迄被仰上御願之通御指図被仰出候覚書』1冊・『朝鮮渡銅御願記録』3冊

宝永3年(1706)から慶応3年(1867)までの、朝鮮輸出銅の国内調達をめぐる幕府との交渉記録。銀にかわり輸出の主体となった銅は、長崎貿易とも競合するところから、調達量は減額される傾向にあった。このため交渉内容は、常に「貿易不振」「朝鮮国鑄銭」「両国誠信」にかかわる請願運動に集中しており、対馬藩の幕府対策を窺い知ることができる。

○貿易見積帳

『御商売御利潤等覚書』1冊

(原題「御商売御利潤御鉄物渡并御代物朝鮮より出高積立之覚書」)

貞享元年(1684)から正徳元年(1711)までの私貿易内容を年次別に記録した単式帳簿。この期間の私貿易は、対馬の貿易商人で構成された元方役に委託されており、記録された輸出入品目・数量・価格・利潤・売掛買掛額などの詳細な数字から、当時の長崎貿易をはるかに凌駕する慶長銀の大量輸出、中国産白糸・絹織物、朝鮮人参の輸入実態を把握できる。

『当時公貿易并朝鮮御商売御利潤銀凡考之積帳』1冊

弘化元年(1844)・同2年の官営貿易(封進・公貿易)と私貿易の見積帳。対馬藩は安永4年(1775)、「私貿易断絶」を理由に幕府から多額の借銀を受けるが、実際には幕末・明治期まで銅輸出を中心に継続していたことが本記録で分かる。

○借銀関係

『金銀座記録』1冊 [現在2冊に分冊]

嘉永6年(1853)から安政3年(1856)までの金銀座への借銀返済記録。朝鮮からの金銀逆輸入を条件とする「前貸金」であるため、吹金・砂金・吹銀など実際の

納入額が記録されている。表紙に「宿駅并馬喰町御貸附金共」とあり、内容が宿場助成金・馬喰町貸付金など幕府公金貸付制度にも及ぶ。

近世日朝貿易については田代和生『近世日朝通交貿易史の研究』(創文社、1981年)、同『日朝交易と対馬藩』(創文社、2007年)、幕府拝借銀については鶴田啓「一八世紀後半の幕府・対馬藩関係」(『朝鮮史研究会論文集』23、1986年)を参照。(田代和生)

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
御商売御利潤等 覚書		貞享1年～正徳1年	宗家記録.[27]	WA1-6-40	1冊	25.3×20.7	166	内表紙に「享保元丙申年七月」「貞享元甲子年より正徳元辛卯年迄御商売御利潤并御銀鉄物渡并御代物朝鮮より出高積立之覚書」の墨書あり。
日本ヨリ差渡候 請色朝鮮ヨリ差 越候品々覚書		貞享3年7月28日	宗家記録.[19]	WA1-6-40	1冊	27.9×20.9	16	内表紙に「日本より差渡候諸色朝鮮より差越候品々覚書」の墨書、「貞享三丙寅年七月廿八日朝阿部豊後守様へ田嶋十郎兵衛持参差上候控」「参」の朱書あり。
朝鮮渡り銅於上 方被相請被差渡 度与之儀土屋相 模守様迄被仰上 御願之通御指図 被仰出候覚書 一番		宝永3年10月20日 ～享保10年2月6日	宗家記録.[10]	WA1-6-40	1冊	26.5×17.5	244	原表紙に「年々集書」「宝永三丙戌年より享保十乙巳年二月送」「巳年より水野和泉守様江御願書被差上候也」の墨書あり。「宗家記録.[11]」へ続く。
朝鮮渡銅御願記 録二番	表御書札方	享保10年12月7日 ～天明3年11月6日	宗家記録.[11]	WA1-6-40	1冊	25.4×17.0	248	原表紙に「享保十乙巳年ヨリ天明三癸卯歳ニ至」「交易筆筭四ノ引出し、原表紙見返しに「此御国控明和二酉年迄其比差越、同三戌年以來之分覚政元西三月ニ差越」の墨書あり。「宗家記録.[10]」から続き、「宗家記録.[12]」へ続く。
朝鮮渡銅御願記 録	表御書札方	寛政1年5月10日～ 弘化2年9月26日	宗家記録.[12]	WA1-6-40	1冊	27.0×19.2	365	原表紙に「寛政元己酉年より弘化二乙巳年迄」の墨書あり。小口に「同御願記 寛政元より弘化二迄」の墨書あり。「宗家記録.[11]」から続き、「宗家記録.[13]」へ続く。
朝鮮渡銅御願記 録	表御書札方	弘化4年11月1日～ 慶応3年6月4日	宗家記録.[13]	WA1-6-40	1冊	27.7×20.2	208	原表紙に「弘化四丁未年より」の墨書あり。「宗家記録.[12]」から続く。
朝鮮渡鎔位御願 之通古銀御免 被蒙仰候記録 巻		宝永7年6月1日～ 宝永7年8月11日	宗家記録.[3]	WA1-6-40	1冊	26.2×17.3	135	原表紙に「宝永七庚寅歳」「江戸控」の墨書、「三冊之内」の朱書あり。「宗家記録.[4]」へ続く。

朝鯨渡銀位御願 之通往古銀御免 被蒙仰候記録 式		宝永7年閏8月11 日～宝永7年10月 3日	宗家記録.[4]	WA1-6-40	1冊	25.9×17.3	185	原表紙に「宝永七庚寅歲」「江戸控」の墨書、「三冊之内」の 朱書あり。「宗家記録.[3]」から続き、「宗家記録.[5]」へ続 く。
朝鯨渡銀位御願 之通往古銀御免 被蒙仰候記録 参		宝永7年10月14日 ～正徳1年5月17日	宗家記録.[5]	WA1-6-40	1冊	26.1×17.4	90	原表紙に「宝永七庚寅歲」の墨書あり。内表紙に「江戸控」 の墨書、「三冊之内」の朱書あり。「宗家記録.[4]」から続く。
朝鯨渡銀位御願 之通往古銀御免 被蒙仰御引替記 録		正徳2年9月2日～ 正徳5年9月8日	宗家記録.[6]	WA1-6-40	1冊	25.9×17.0	221	原表紙に「三冊之内」「正徳二壬辰年九月より同乙未年九 月迄」の墨書、「一番」の朱書あり。「巻番」から「廿三番」 までの案件を記録する。冒頭に目次あり。目次は長文のため 省略す。「宗家記録.[7]」へ続く。
朝鯨渡銀位御願 之通往古銀御免 被蒙仰御引替記 録		正徳5年12月24日 ～享保4年11月11 日	宗家記録.[7]	WA1-6-40	1冊	26.5×17.4	191	原表紙に「三冊之内」「正徳五乙未年至享保四己亥年」の墨 書、「二番」の朱書あり。「廿四番」から「四拾五番」までの 案件を記録する。冒頭に目次あり。目次は長文のため省略す。 「宗家記録.[6]」から続き、「宗家記録.[8]」へ続く。
朝鯨渡銀位御願 之通往古銀御免 被蒙仰御引替記 録		享保5年9月20日～ 享保9年8月6日	宗家記録.[8]	WA1-6-40	1冊	27.4×18.2	66	原表紙に「三冊之内」「享保五庚子年より同九迄」の墨書、「三 番」の朱書あり。「四拾六番」から「五拾四番」まで案件を記 録する。冒頭に目次あり。目次は長文のため省略す。「宗家記 録.[7]」から続く。
交易料銀減少之 [横]被仰出候付 而御願之筋御聞 合之記録		正徳4年10月21日 ～享保1年1月14日	宗家記録.[14]	WA1-6-40	1冊	27.0×17.8	158	原表紙に「御交易算筋六番」「二冊之内」「正徳四甲午歳十月 より」の墨書あり。
交易料之銀減少 之儀被仰出候付 而往復之状控		正徳4年9月5日～ [正徳5年]16月25日	宗家記録.[15]	WA1-6-40	1冊	26.8×17.6	86	原表紙に「二冊之内」「正徳四甲午歳」の墨書あり。

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
①御用之人參宗 対馬守へ被仰渡 留 ②艇上同次人參 荒積帳		①宝暦5年7月1日 ～安永7年3月 ②子3月13日、享 保6年8月27日	宗家記録、[16]	WA1-6-40	2冊 (合1 冊)	25.6×180 (①24.2× 17.2 ②25.6× 17.9)	①29 ②9	①内表紙に「正徳五末二月より与有之 御用之人參宗対馬守江 被仰渡留」「東医宝鑑之儀留納貯之儀留有之」の墨書あり。 ②内表紙に「艇上同次人參買本売直段 荒積帳」「享保六丑年」「但御国御年寄中より杉村三郎左衛門 殿方へ被差越候帳面写之」の墨書あり。末尾に「御勘定方」 の墨書あり。 ①、②を合冊したもの。
朝鮮渡り銀御才 賞難成御拝借御 願被成候一件御 国往復頭書状		[享保17年]12月2日 ～[享保18年]12月9 日	宗家記録、[9]	WA1-6-40	3冊	26.5×20.2	39	厩表紙に「享保十七年ヨリ同十八年」の墨書あり。本文に中 野3枚あり。「享保十八年正月十六日 御内用書状」(12月2日 御 書状、正月16日書状から成る)「享保十八年正月十六日 御 内用書状答」(12月7日書状、正月16日書状から成る)「享保 十八年二月九日 御内用書状」(2月9日書状)の墨書あり。
①朝鮮御私貿易 追積帳 ②朝鮮貿易ヲ加 歳入御分配積控 ③唐紅毛商売方 伝達之趣申上候 書付	①稲留氏 ③福田十郎右衛門・坂 根宅助 差添 佐久間甚八	①江戸時代末期 ②明治時代 ③安永1年9月	宗家記録、[18]	WA1-6-40	3冊 (合1 冊)	24.4×17.3	①5 ②6 ③43	①内表紙に「式番」の墨書あり。 ①と②の間に紙片あり。「裁判取戻真文并和解無之事」の墨 書あり。 ③内表紙に「朝鮮交易断絶ニ付唐紅毛商売方対州役人江伝達 仕候趣申上候書付」の墨書あり。 ①～③を合冊したもの。
交易銀御借用之 處御返済清高寺 記録		天明8年8月12日～ [寛政1年]19月27日	宗家記録、[17]	WA1-6-40	1冊	28.8×18.7	52	内表紙に「先年朝鮮交易銀御借用之處当時御返済清高寺之儀 御尋有之就右御答仕候品御聞通拾ヶ年不及御返済且追而御返 済方等被仰達候記録」「天明八戊申年より寛政元己酉年二至」 の墨書あり。内表紙に「松浦様御声掛箱入」の貼紙あり。
御一段二付而之 書立		寛政1年8月14日	宗家記録、[25]	WA1-6-40	1冊	24.6×19.7	59	内表紙に「鳥居幸之進江御渡被遣候 御一段二付而之書立」 「西八月十四日達」の墨書、「諸記録」「夕印」の朱書あり。

朝鮮國公貿易相 諸御勝手向御難 密之趣及御内意 候處御金壹万両 御拝借并年々御 返納金来辰年迄 御差延を茂被蒙 仰候記録	表御書札方	天保11年9月27日 ～天保12年3月22 日	宗家記録、[2]	WA1-6-40	1冊	26.5×19.6	65	原表紙に「天保十一庚子年より同十二辛丑年二至」「諸記録」の墨書、「ソ印」の朱書あり。
当時公貿易相朝 鮮御商売御利潤 銀凡考之積帳		弘化1年～弘化2年	宗家記録、[24]	WA1-6-40	1冊	24.1×16.4	120	
金銀座記録	表御書札方	嘉永6年4月2日～ 嘉永6年12月30日	宗家記録、[1]	WA1-6-40	1冊	27.1×19.5	275	原表紙に「嘉永六癸丑年より安政三丙辰年迄」「金銀座記録」 宿駅井馬喰町御貸附金共」「一番」と墨書あり。「宗家記録、[2]」を平 積みにした際の小口に「嘉永六丑より安政三辰迄金銀座記録」 の墨書あり。
〔金銀座記録〕	〔表御書札方〕	安政1年1月2日～ 安政3年12月30日	宗家記録、[2]	WA1-6-40	1冊	27.2×19.7	247	原表紙、内表紙欠。「宗家記録、[1]」と分冊したもの。「宗家 記録、[1]」「宗家記録、[2]」を平積みにした際の小口に「嘉永 六丑より安政三辰迄金銀座記録」の墨書あり。
朝鮮國和館并対 州改所江差置候 人数扶持合力銀 且八送使差渡候 付諸色入目積		江戸時代中期～後 期	宗家記録、[22]	WA1-6-40	1冊	28.0×20.6	37	巻頭に「朝鮮國和館江差置候人数扶持合力銀并八送使差渡候 付諸色入目之覚」とあり。

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
①公貿易御利調 積帳 ②朝鮮貿易利を加 歳入高凡積 ③覺 ④公私御貿易二 属候諸入費 ⑤公貿易二付取 入精米積 ⑥朝鮮公私貿易 惣差引取調 ⑦朝鮮公私貿易 惣差引取調 ⑧公貿易二付取 入精米積 ⑨公貿易差引 ⑩京都御借金元 利調帳	⑩御役場	⑩明治4年	宗家記録.[20]	WA1-6-40	1冊	24.2×17.2	①5 ②2 ③3 ④4 ⑤2 ⑥2 ⑦2 ⑧2 ⑨3 ⑩14	①原表紙に「不用」の墨書あり。 ③原表紙なし。第1丁紙背を表紙とする。「公貿易精米外別幅 求購物積」の見消あり。表題あるも、ノドのため、判読不能。 ⑤原表紙に「必用」の墨書あり。 ⑩内表紙に「扣」「明治四年辛未」の墨書、「不用」の朱書 あり。 ①—⑩を合冊したものの。

7 『分類紀事大綱』

7 『分類紀事大綱』 41冊 [現在44冊に分冊]

対馬藩朝鮮方の越常右衛門が、日朝交流の変遷を通観するため、事項別に分類して編年体で編纂したものだ。本編は、慶安4年(1651)將軍徳川家光逝去による家綱への代替わりを朝鮮国へ告げる「大慶使」派遣の記事に始まり、以下、その他送使、訳官使、通信使、漂流民、進上物、公私貿易、倭館、要請・通達事項等々、寛永11年(1634)から正徳3年(1713)までの記事を細目111件に分類して収録している。また附録には、30細目に総計100点の記事が収録されており、特に本編から洩れた中世から近世初期のものも多く含まれている。その最古のものは、朝鮮の成化18年(1482)対馬の「皮古三甫羅」(彦三郎)へ官職を授けた時の告身(辞令書)写である。このほか告身は弘治16年(1503)から崇禎元年(1628)までの計7通、さらに16世紀の朝鮮の書契(公文書)・別幅・伝令・短書・覚書・日記など、なかには原本が失われてここで見られないものも多く含まれている。

編纂者の越常右衛門の生年は不明。没年は享保18年(1733)で45歳前後。儒者の雨森芳洲に才能を見いだされて、正徳3年(1713)ごろから対馬高内の旧家を探訪して古文書収集を実施し、さらに藩庁の執務記録『毎日記』

や書状跡留などの記事を抽出するなどして日朝関係に関する史料集「紀事大綱」の編纂に着手した。これを事項別に分類した『分類紀事大綱』へと再編集し、最終的に附録までを含めて藩へ提出したのが享保12年(1727)のことで、実に14年の歳月をかけてこの一大編纂事業を成し遂げている。この間、將軍徳川吉宗の命による朝鮮薬材調査や朝鮮人参生草の入手を実現させ、宗家の陪臣ながらも將軍から時服を賜るなど、享保改革期の国産化政策にもかかわる人物である。

越常右衛門の経歴ならびに『分類紀事大綱』については田代和生『江戸時代朝鮮薬材調査の研究』(慶應義塾大学出版会、1999年)、同『日朝交易と対馬藩』(創文社、2007年)を参照。

なお当館には越常右衛門編『分類紀事大綱』以外に、文化8年(1811)易地聘礼の記事を抜書した『信使易地朝鮮御都合大綱抜書』(1冊)があり、冊数表記はこの1冊を含む。(田代和生)

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名. [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
分類記事大綱 目録	越常右衛門	(備考欄参照)	分類記事大綱. [1]	WA1-6-30	1冊	25.5×19.4	174	<p>原表紙に「[公]儀御代替一件、御養君一件、若君様誕生一件、修聘使一件、迎聘使一件、送聘使一件、若君様御誕生一件」の墨書、「刻拾九号之一、共四拾」の墨書のある貼紙あり。冒頭に「分類記事大綱出来之節、相添差上候口上書」、総目次「分類記事大綱目録」、原表紙墨書と同様の目次あり。目次に「分類記事大綱一」「自慶安四年至正徳三年」の墨書あり。享保6年成立。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公儀御代替一件 (慶安4年11月～正徳3年8月20日) ・御養君一件 (寛永18年12月23日～宝永2年10月30日) ・若君様御誕生一件 (宝永4年8月25日) ・若君様薨去御一件 (天和3年6月20日～宝永4年10月23日) ・修聘使一件 (延宝9年6月24日～宝永7年9月20日) ・迎聘使一件 (天和2年2月26日～正徳1年5月5日) ・送聘使一件 (天和2年11月10日～正徳2年5月26日) <p>【分類記事大綱出来之節相添差上候口上書】</p> <p>分類記事大綱出来之節相添差上候口上書</p> <p>去享保四巳亥年十月信使御留守之節、朝鮮御支配平田牟人殿より私江被仰付候ハ、朝鮮方往古巳来之書状扣・来状・日張等致吟味、御隣交ニ相預り候事書状仕候様ニ与被仰出、則私儀頭取之役被仰付、取立役として高木専右衛門其外執筆役数人被相附候ニ付、寛永十一年より正徳三年迄八拾年之間之御交隣相預り候事実、逐一ニ附紙仕、執筆役之人江相渡、書記し相濟、以上參拾七冊出来仕候故、分類記事大綱与題号書載仕り、今度差上申候、然此度私儀御用ニ付急ニ朝鮮江被差渡候付、右之書物取立、急ニ相仕廻差上候故、事実之脱漏又ハ読合等ニ茂見落し可有之儀ニ奉存候間、願ハ此上紀事大綱取立本役之人江被仰渡、寛々号校考仕文字之誤写等改正被仰付被下候様ニ奉願候、尤差急キ候儀与申、殊ニ紙数も数千丁</p>

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
分類紀事大綱 二	[越常右衛門]	(備考欄参照)	分類紀事大綱 [2]	WA1-6-30	1冊	25.8×19.1	101	<p>之儀ニ御座候故、一行二行之書落し、或ハ五字三字之筆画違候分ハ朱ニ而文字点削仕り置申候、畢竟御内所御考事一通リ之御書物ニ候へハ一々書改候而者、筆紙之費も多ク候故紙面善悪之儀ハ大概ニ吟味仕置候、夫とも見苦敷被思召上候ハ、是又紀事大綱取立本役之人江段々ニ書改被申候様ニ茂被仰付可被下候哉、將又此書之儀按書一通リ之儀ニ候間、事之始末全備難仕候故、此書并諸記録相考老部之御記録をも編集仕度存、先頃已来竹嶋移館之儀、段々下書取立仕置候得とも、不存寄旅行仕候付、其内仕置候、重而備國之節御差図次第、連統仕候様ニ可仕候、此段御序之刻故、申上置候、此等之趣、宜被仰上可被下候、奉頓候、以上、</p> <p>享保六辛丑年 六月三日 越常右衛門 御組頭衆中</p>
								<p>原表紙に「朝鮮国王薨去一件、朝鮮大妃逝去一件、王妃逝去一件、朝鮮太子誕生一件」の墨書、「刻拾九号之一共四十」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮国王薨去一件（慶安2年6月22日～延宝3年5月1日） ・朝鮮大妃逝去一件（延宝2年4月14日～元禄2年8月16日） ・王妃逝去一件（延宝8年11月8日～元禄15年5月26日） ・朝鮮太子誕生一件（貞享5年11月28日～元禄3年4月25日）

分類紀事大綱 三	[越常右衛門]	万治1年～宝永2年	分類紀事大綱。 [3]	WA1-6-30	1冊	26.2×19.5	86	<p>原表紙に「天龍院様御家督一件、靈光院様御家督一件、大行院様御家督一件、天龍院様御隠居一件、天龍院様御再任一件、若殿様御誕生一件、若殿様御嫡子成一件、若殿様御任官一件、光靈院様御印替一件、天龍院様御印替一件、靈光院様御印替一件、大行院様御印替一件、天龍院様御再任後再御隠居一件」の墨書、「刻拾九号之一共四拾」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。目次に「自明暦四年至宝永三年」の墨書あり。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天竜院様御家督一件（明暦4年4月27日～明暦4年8月15日） ・靈光院様御家督一件（元禄5年8月6日～元禄6年7月19日） ・大行院様御家督一件（元禄7年12月19日～元禄15年11月23日） ・天竜院様御隠居一件（元禄5年8月6日～元禄5年9月4日） ・天竜院様御再任一件（元禄7年12月21日～元禄15年5月25日） ・若殿様御誕生一件（寛文4年3月14日～寛文4年6月2日） ・若殿様御嫡子成一件（宝永5年4月13日～宝永5年12月26日） ・若殿様御任官一件（貞享2年2月18日～貞享2年7月12日） ・光雲院様御印替一件（明暦4年7月22日～万治3年3月15日） ・天竜院様御印替一件（宝永2年3月12日） ・靈光院様御印替一件（元禄6年7月8日～元禄7年5月28日） ・大行院様御印替一件（元禄15年閏8月10日～元禄16年5月14日）
-------------	---------	-----------	----------------	----------	----	-----------	----	--

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
分類紀事大綱 四	[越常右衛門]	万治1年～宝永2年	分類紀事大綱 [4]	WA1-6-30	1冊	26.5×19.2	90	原表紙に「光雲院様御逝去一件、養玉院様御逝去一件、天龍院様御逝去一件、彦満様御逝去一件、靈光院様御逝去一件、御新造様御逝去一件、告観使一件、告還使一件」の墨書、「刻拾九号之一共四拾」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。 【内容】 ・光雲院様御逝去一件（明暦3年11月24日～万治3年2月18日） ・養玉院様御逝去一件（寛文4年1月27日） ・天龍院様御逝去一件（元禄15年8月9日～元禄16年2月26日） ・彦満様御逝去一件（寛文5年6月3日） ・養心院様御逝去一件（元禄13年7月19日） ・靈光院様御逝去一件（元禄7年10月30日～元禄10年2月9日） ・御新造様御逝去一件（元禄4年10月11日～元禄4年10月13日） ・告観使一件（寛永15年8月21日～明暦3年9月7日） ・告還使集書（万治3年7月5日～宝永7年3月7日）
分類紀事大綱 五	[越常右衛門]	寛永13年3月21日 ～寛文12年12月14日	分類紀事大綱 [5]	WA1-6-30	1冊	26.5×19.6	132	原表紙に「貳官渡海巻」の墨書、「刻拾九号之一共四十」の墨書のある貼紙あり。冒頭に目次あり。目次に「自寛永十三年至寛文拾貳年」の墨書あり。 【内容】 ・貳官渡海巻
分類紀事大綱 六	[越常右衛門]	延宝3年12月20日 ～元禄15年12月20日	分類紀事大綱 [6]	WA1-6-30	1冊	26.1×19.6	168	原表紙に「貳官渡海二」の墨書、「刻拾九号之一共四拾」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。目次に「自延宝三年至元禄十五年」の墨書あり。 【内容】 ・貳官渡海式

分類紀事大綱 七	[越常右衛門]	元禄16年1月11日 ～宝永1年11月23 日	分類紀事大綱。 [7]	WA1-6-30	1冊	26.2×19.8	148	原表紙に「訳官渡海三」の墨書、「刻拾九号之一共四拾」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。「自元禄十六年至同十七年北宝永ト改元」の墨書あり。 【内容】 ・訳官渡海 参
分類紀事大綱 八	[越常右衛門]	元禄1年10月25日 ～宝永6年12月27 日	分類紀事大綱。 [8]	WA1-6-30	1冊	26.6×19.9	132	原表紙に「訳官渡海四」の墨書、「刻拾九号之一共四十」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。目次に「自宝永元年至同六年」の墨書あり。 【内容】 ・訳官渡海 四
分類紀事大綱 九	[越常右衛門]	宝永7年1月5日～ 正徳3年11月28日	分類紀事大綱。 [9]	WA1-6-30	1冊	25.8×19.2	177	原表紙に「訳官渡海五」の墨書、「刻拾九号之一共四十」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。目次に「自宝永七年至正徳三年」の墨書あり。 【内容】 ・訳官渡海 五
分類紀事大綱 十	[越常右衛門]	(備考欄参照)	分類紀事大綱。 [10]	WA1-6-30	1冊	26.2×19.7	99	原表紙に「寛永十三年信使一件、寛永二十年信使一件、明暦貳年信使一件」[此冊虫付損廃付写改]の墨書、「刻拾九号之一共四拾」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。 【内容】 ・寛永十三年信使一件（寛永13年6月19日～寛永14年7月17日） ・寛永廿年信使一件（寛永20年1月16日～寛永20年6月23日、崇禎15年[寛永19年]の文書を含む） ・明暦貳年信使一件（承応2年8月22日～明暦4年5月21日）

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
分類紀事大綱 十一	[越常右衛門]	寛永18年11月2日～ 寛文9年1月14日	分類紀事大綱、 [11上]	WA1-6-30	1冊	26.4×19.5	74	原表紙に「漂流護送上」の墨書、「刻拾九号之一共四十」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。目次に「自寛永十八年至天和四年」の墨書あり。「分類紀事大綱、[11下]」と分冊したもの。 【内容】 ・漂流護送上
[分類紀事大綱 十一]	[越常右衛門]	寛文9年1月14日～ 貞享1年3月25日	分類紀事大綱、 [11下]	WA1-6-30	1冊	26.4×19.5	82	原表紙、内表紙欠。巻頭に「漂流護送集書」とあり。「分類紀事大綱、[11上]」と分冊したもの。 【内容】 ・漂流護送上
分類紀事大綱 十二	[越常右衛門]	貞享4年6月18日～ 元禄4年4月14日	分類紀事大綱、 [12上]	WA1-6-30	1冊	26.0×19.9	77	原表紙に「漂流護送中」の墨書、「刻拾九号之一共四拾」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。目次に「自貞享元年至元禄拾一年」の墨書あり。「分類紀事大綱、[12下]」と分冊したもの。 【内容】 ・漂流護送中
[分類紀事大綱 十二]	[越常右衛門]	元禄4年1月10日～ 元禄11年10月12 日	分類紀事大綱、 [12下]	WA1-6-30	1冊	26.2×19.9	97	原表紙、内表紙欠。巻頭に「漂流護送集書」とあり。「分類紀事大綱、[12上]」と分冊したもの。 【内容】 ・漂流護送中
分類紀事大綱 十三	[越常右衛門]	元禄11年1月12日 ～正徳3年10月13 日	分類紀事大綱、 [13]	WA1-6-30	1冊	25.7×19.2	216	原表紙に「漂流護送下」の墨書、「刻拾九号之二共四十」の墨書のある貼紙あり。巻頭に「漂流護送集書」とあり。 【内容】 ・漂流護送下

分類紀事大綱 十四	[越常右衛門]	寛永14年7月17日 ～正徳3年12月28 日	分類紀事大綱。 [14]	WA1-6-30	1冊	26.6×19.7	146	原表紙に「日本漂流一件」の墨書、「刻拾九号之二共四拾」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。目次に「自寛永十四年至正徳参年」とあり。 【内容】 ・日本漂流一件
分類紀事大綱 十五	[越常右衛門]	(備考欄参照)	分類紀事大綱。 [15]	WA1-6-30	1冊	26.5×19.8	60	原表紙に「虚船送一件、柑橋漂到一件」の墨書、「刻拾九号之二共四十」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。目次に「自延宝八年至宝永式年」の墨書あり。 【内容】 ・虚船送一件(延宝8年2月15日～正徳3年12月10日) ・柑橋漂到一件(宝永1年12月28日～宝永2年10月15日)
分類紀事大綱 十六	[越常右衛門]	(備考欄参照)	分類紀事大綱。 [16]	WA1-6-30	1冊	26.5×19.9	107	原表紙に「館守交代、以町庵印籠」の墨書、「刻拾九号之二共四十」の墨書のある貼紙あり。巻頭に「分類紀事大綱十六 館守交代以町庵印籠自寛永十四年至正徳式年」とあり。 【内容】 ・館守交代(寛永14年10月29日～正徳3年1月8日) ・以町庵印籠(承応3年5月25日～正徳2年6月12日)
分類紀事大綱 十七	[越常右衛門]	寛永18年12月25日 ～元禄14年12月17 日	分類紀事大綱。 [17]	WA1-6-30	1冊	26.5×19.6	122	原表紙に「裁判交代一件上」の墨書、「刻拾九号之二共四十」の墨書のある貼紙あり。巻頭に「分類紀事大綱十七 裁判交代一件上自寛永十八年至元禄十四年」とあり。 【内容】 ・裁判交代一件上
分類紀事大綱 十八	[越常右衛門]	元禄15年10月22日 ～正徳3年12月28 日	分類紀事大綱。 [18]	WA1-6-30	1冊	26.5×19.9	136	原表紙に「裁判交代集書下」の墨書、「刻拾九号之二共四十」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。目次に「自元禄十五年至正徳参年」の墨書あり。 【内容】 ・裁判交代集書下

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
分類紀事大綱 十九	[越常右衛門]	正保4年8月13日～ 正徳3年6月4日	分類紀事大綱、 [19]	WA1-6-30	1冊	26.5×19.5	93	原表紙に「陶工被差渡候一件」の墨書、「刻拾九号之二共四 十」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次 あり。目次に「自正保四年至正徳参年」の墨書あり。 【内容】 ・陶工被差渡一件
分類紀事大綱 二十	[越常右衛門]	寛永18年4月27日 ～正徳3年11月27 日	分類紀事大綱、 [20]	WA1-6-30	1冊	26.4×19.7	143	原表紙に「児名送使一件」の墨書、「刻拾九号之二共四十」 の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。 目次に「自寛永十八年至正徳三年」の墨書あり。 【内容】 ・児名送使一件
分類紀事大綱 廿一	[越常右衛門]	正保3年7月1日～ 元禄13年12月8日	分類紀事大綱、 [21上]	WA1-6-30	1冊	26.5×19.7	70	原表紙に「和館普請一件、和館焼失一件」の墨書、「刻拾九 号之二共四十」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と 同様の目次あり。目次に「自正保三年至正徳三年」の墨書あ り。「分類紀事大綱、[21下]」と分冊したもの。 【内容】 ・和館普請一件
分類紀事大綱 廿一]	[越常右衛門]	(備考欄参照)	分類紀事大綱、 [21下]	WA1-6-30	1冊	26.4×19.7	67	原表紙、内表紙欠。巻頭に「和館普請集書」とあり。「分類 紀事大綱、[21上]」と分冊したもの。 【内容】 ・和館普請一件 (元禄14年1月2日～正徳3年12月25日) ・和館焼失一件 (寛文7年4月11日～正徳3年11月23日)
分類紀事大綱 廿二	[越常右衛門]	慶安3年12月7日～ 正徳3年12月21日	分類紀事大綱、 [22]	WA1-6-30	1冊	26.0×20.2	198	原表紙に「公作米未収年限」の墨書、「刻拾九号之二共四十」 の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。 目次に「自慶安三年至正徳三年」の墨書あり。 【内容】 ・公作米未収年限

分類紀事大綱 廿三	[越常右衛門]	万治3年3月18日～ 延宝7年10月11日	分類紀事大綱 [23]	WA1-6-30	1冊	25.9×20.1	224	原表紙に「移館一件全」の墨書、「刻拾九号之二共四十」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。目次に「自万治三年至延宝七年」の墨書あり。 【内容】 ・移館一件
分類紀事大綱 廿四	[越常右衛門]	(備考欄参照)	分類紀事大綱 [24]	WA1-6-30	1冊	26.0×19.4	51	原表紙に「看品一件、公木一件、御買米一件、御売掛一件、周急一件、義田一件」の墨書、「刻拾五号之二共四十」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。目次に「自明暦三年至正徳参年」の墨書あり。 【内容】 ・看品一件 (明暦3年8月10日～元禄3年2月16日) ・公木一件 (正徳3年8月28日) ・御買米一件 (寛永18年7月1日～慶安1年8月24日) ・売掛一件 (慶安3年11月15日～承応1年10月7日) ・周急一件 (慶安1年10月18日～寛文4年12月14日) ・義田一件 (宝永2年1月9日～正徳3年閏5月6日)
分類紀事大綱 廿五	[越常右衛門]	(備考欄参照)	分類紀事大綱 [25]	WA1-6-30	1冊	25.9×19.8	95	原表紙に「歳条書簡改正集書、吹嘘一件、公儀御諱字一件、御書翰結語一件」の墨書、「刻拾九号ノ二共四十」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。 【内容】 ・歳条書簡改正集書 (寛文5年6月20日～正徳3年12月25日) ・吹嘘一件 (寛永13年6月9日～貞享2年3月1日) ・公儀御諱字一件 (正徳2年5月29日～正徳3年5月21日) ・御書翰結語一件 (宝永6年11月18日～正徳1年7月27日)

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
分類紀事大綱 廿六	[越常右衛門]	(備考欄参照)	分類紀事大綱 [26]	WA1-6-30	1冊	25.8×19.7	118	原表紙に「朝鮮より所望物集書、朝鮮江御詠物御調物集書、朝鮮人不時進上物集書、朝鮮人江不時被下物集書、詠官御物拝借一件」の墨書、「刻拾九号之三共四十」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。目次には、「朝鮮江御詠物御調物集書」は「朝鮮御詠物御調物集書」と、「朝鮮人不時進上物集書」は「朝鮮より不時進上物集書」とある。目次に「自万治参年至正徳[三]年」の墨書あり。「朝鮮人不時進上物集書」中扉には「朝鮮人より不時進上物集書」とあり。 【内容】 ・朝鮮より所望物集書（万治3年3月15日～宝永5年12月29日） ・朝鮮御詠物御調物集書（寛永12年5月10日～正徳2年5月26日） ・朝鮮より不時進上物集書（寛永18年12月21日～元禄10年3月18日） ・朝鮮人江不時被下物集書（寛永18年9月21日～正徳3年11月2日） ・詠官御物拝借一件（万治3年2月18日～延宝4年1月17日）
分類紀事大綱 廿七	[越常右衛門]	(備考欄参照)	分類紀事大綱 [27]	WA1-6-30	1冊	25.9×19.8	129	原表紙に「人參貿易一件、銀貨一件、御商売一件」の墨書、「刻拾九号之三共四拾」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。目次に「自貞享四年至正徳三年」とあり。 【内容】 ・人參貿易一件（貞享4年12月21日～宝永1年2月1日） ・銀貨一件（元禄11年7月26日～正徳2年10月15日） ・御商買一件（寛永11年7月25日～正徳3年12月10日）

分類紀事大綱 廿八	[越常右衛門]	(備考欄参照)	分類紀事大綱。 [28]	WA1-6-30	1冊	25.9×19.7	82	原表紙に「馬上才御請被成候一件、醫師御請被成候一件、王類一件、日光江連上之宝具一件、被虜一件、硫黄朝鮮江被遣候一件」の墨書、「刻拾九号之三共四十」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。「硫黄朝鮮江被遣候一件」中に「吉長老より之書契」の綴じ込みあり。 【内容】 ・馬上御請被成候一件（寛永11年12月28日～寛永12年9月21日） ・医師御請被成候一件（明暦2年12月12日～延宝7年7月26日） ・王類一件（寛永19年7月1日～承応4年6月8日） ・日光江連上之宝具一件（寛永20年2月26日） ・被虜一件（寛永14年2月10日～寛永20年9月18日） ・硫黄朝鮮江被遣候一件（明暦2年5月15日～万治3年7月14日）
分類紀事大綱 廿九	[越常右衛門]	延宝4年2月26日～ 正徳3年2月9日	分類紀事大綱。 [29]	WA1-6-30	1冊	26.0×20.2	95	原表紙に「僉官停止一件全」の墨書、「刻拾九号之三共四拾」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。目次に「自延宝四年至正徳參年」の墨書あり。 【内容】 ・僉官停止一件
分類紀事大綱 三十	[越常右衛門]	(備考欄参照)	分類紀事大綱。 [30]	WA1-6-30	1冊	25.6×20.3	156	原表紙に「偽船一件、朝鮮人潜商集書、日本人朝鮮人謀書、日本人闖出一件、日本人朝鮮人喧嘩一件」の墨書、「刻拾九号之三共四十」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。目次に「自承応貳年至〔 〕」の墨書あり。 【内容】 ・偽船一件（承応2年8月25日～寛文10年6月28日） ・朝鮮人潜商集書（寛永18年8月1日～宝永7年4月3日） ・日本人朝鮮人謀書（天和3年8月1日～貞享2年12月27日） ・日本人闖出一件（慶安4年4月6日～宝永7年8月5日） ・日本人朝鮮人喧嘩一件（慶安1年9月25日～正徳3年3月30日）

原 題	作 成 者	内 容 年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備 考
分類紀事大綱 三十一	[越常右衛門]	(備考欄参照)	分類紀事大綱 [31]	WA1-6-30	1冊	25.9×20.2	110	原表紙に「文軒一件、朝鮮入盗人一件、脇指紛失一件、鉄炮紛失一件」の墨書、「刻拾九号之三共四十」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。 【内容】 ・ 文軒一件 (寛文11年9月23日～正徳2年2月30日) ・ 朝鮮入盗人一件 (寛文7年6月15日～正徳3年10月28日) ・ 脇差紛失一件 (天和2年5月18日～宝永3年8月29日) ・ 鉄炮紛失一件 (延宝9年8月16日～天和1年12月1日)
分類紀事大綱 三十二	[越常右衛門]	(備考欄参照)	分類紀事大綱 [32]	WA1-6-30	1冊	25.8×19.3	115	原表紙に「東萊宴席ニ不罷出一件、僉官日数之内帰国一件、歳条船中戻之一件、副特送使音物一件、朝鮮往還之船他州江漂着并長崎除キ物一件、五日次物替一件、朝市一件、陸物一件、渡海根一件、送使乗[越]一件、下乗米一件」の墨書、「刻拾九号之三共四十」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。目次には「東萊宴席ニ不罷出一件」は「東萊宴席ニ不罷出一件」とあり。 【内容】 ・ 東萊宴席ニ不罷出一件 (元禄14年6月16日～宝永7年12月6日) ・ 僉官日数之内帰国一件 (元禄13年5月8日) ・ 歳条船中戻之一件 (明暦3年8月10日～明暦4年5月2日) ・ 副特送使音物一件 (宝永6年6月23日) ・ 朝鮮往還之船他州江漂着并長崎除キ物一件 (宝永6年9月1日) ・ 朝市一件 (宝永7年4月18日) ・ 五日次物替一件 (正徳2年5月8日～正徳2年11月12日) ・ 陸物一件 (貞享1年9月1日～宝永7年4月18日) ・ 渡海根一件 (延宝4年12月16日～宝永5年10月20日)

分類紀事大綱三 十三	[越常右衛門]	(備考欄参照)	分類紀事大綱 [33]	WA1-6-30	1冊	26.0×19.7	129	<p>・ 送使乗越一件 (元禄13年5月15日～宝永1年11月20日)</p> <p>・ 下乗米一件 (正徳3年3月18日～正徳3年11月23日)</p> <p>原表紙に「御一儀一件、御一儀之後以町庵送使副特送使被差渡候一件、権現堂御馳走一件、和館制札一件、以町庵死去之儀朝鮮江被仰遣候一件、参判使高勢八右衛門一件、呼崎石垣架一件、朝鮮二而日本船繫所之一件、牧島小屋掛一件、水戸公御尋之一件、阿蘭陀人朝鮮江漂着之一件」、耶蘇宗門制禁之儀朝鮮江被仰遣候一件、唐兵乱一件、外太守道造一件」 「此冊虫付二而写改」の墨書、「刻拾九号之三 共四拾」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。目次には「阿蘭陀人朝鮮江漂着之一件」と「耶蘇宗門制禁之儀朝鮮江被仰遣候一件」との間に「南蛮船制禁一件」あり。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 御一儀一件 (寛永11年11月30日～寛永13年3月21日) ・ 御一儀後以町庵送使副特送使差渡候一件 (寛永15年12月1日～寛文15年12月4日) ・ 権現堂御馳走一件 (承応4年4月8日～延宝6年7月18日) ・ 和館制札一件 (天和2年12月22日～元禄15年5月) ・ 以町庵死去之儀朝鮮江被仰遣候一件 (正保4年10月23日) ・ 参判使高勢八右衛門一件 (元禄4年10月25日～元禄5年2月25日) ・ 呼崎石垣架一件 (宝永2年10月6日～宝永3年5月28日) ・ 朝鮮二而日本船繫所之一件 (寛文1年6月23日～寛文1年8月3日) ・ 牧嶋小屋掛ケ一件 (寛永18年7月25日) ・ 水戸公御尋之一件 (元禄3年11月13日～元禄4年1月8日) ・ 阿蘭陀人朝鮮江漂着之一件 (寛文6年9月1日～寛文8年6月27日) ・ 唐船朝鮮江漂着之一件 (慶安2年7月25日～寛文10年9月21日)
---------------	---------	---------	----------------	----------	----	-----------	-----	---

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
分類紀事大綱 [三拾四]	[越常右衛門]	(備考欄参照)	分類紀事大綱 [34]	WA1-6-30	1冊	25.2×20.3	156	<ul style="list-style-type: none"> ・南蛮船禁制一件(慶安1年4月8日～慶安2年6月24日) ・耶麻宗門制禁之儀朝鮮江被仰遣候一件(貞享4年2月15日～元禄1年12月6日) ・唐兵乱一件(寛永14年4月2日～元禄16年7月2日) ・外太庁遣作り一件(正徳3年10月16日～正徳3年12月19日)
分類紀事大綱 三十五	[越常右衛門]	(年代不詳)	分類紀事大綱 [35]	WA1-6-30	1冊	26.1×19.3	142	<p>原表紙に「遣使接待定式」「此冊隣候へとも、新海東在之候故不相改」の墨書、「刻拾九号之三共四拾」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。目次に「第一船、小送使二船参船前、同四船前、以酌巻送使、一特送使、万松院送使」「接待定式」とあり。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送使接待定式(年代不詳)
分類紀事大綱 三十六	[越常右衛門]	(年代不詳)	分類紀事大綱 [36]	WA1-6-30	1冊	25.5×19.3	109	<p>原表紙に「遣使接待定式」「此冊隣候へとも、新海東在之候故不相改」の墨書、「刻拾九号之三共四拾」の墨書のある貼紙あり。冒頭に原表紙墨書と同様の目次あり。目次に「義真様御送使、副特送使、小送使中船六艘前、同小船七艘前、式番参番送使式殿」とあり。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送使接待定式(年代不詳)

分類記事大綱 附録	[越常右衛門]	(備考欄参照)	分類記事大綱 [37]	WA1-6-30	1冊	25.7×19.9	141	<p>原表紙に「元禄年黄表紙附録」の墨書あり。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唐坊新五郎勤役之節、町人飯東喜兵衛白水与兵衛人參港商仕相手之朝鮮人共二両国被行御制法候一件日朝抜書（元禄11年5月17日～元禄11年8月21日）付：口上覚（差出：唐坊新五郎〔ほか〕、宛所：大浦忠左衛門〔ほか〕、[元禄11年]8月29日付） ・東菜江申談候口上之覚（元禄11年]10月10日、文書頭「戌寅十月十八日封進要席仕東菜江申渡候口上之覚」、差出：唐坊新五郎〔ほか〕、宛所：大浦忠左衛門〔ほか〕） ・[代官中書状写]（差出：小川市左衛門〔ほか〕、宛所：樋口佐左衛門〔ほか〕、[年代不詳]2月9日） ・朝鮮通事中願二付雨森東五郎方より韓僉知吳正へ申渡候口上書写（[正徳5年]12月25日） ・朝鮮国人参買亮被差許書付[元禄5年] ・新蔵判樋口孫左衛門方迄長留藤右衛門金子九右衛門を以洪判官理り申出候口上之趣（[享保3年]3月13日） ・新裁判より崔同知洪判官江被申渡候口上之趣（[享保3年]3月14日） ・[別代官長留藤右衛門口上覚]（文書頭「乍恐口上」、差出：長留藤右衛門、宛所：叡四郎左衛門、[享保5年]10月1日） ・[雨森東五郎裁判役二付]謹上（差出：雨森東五郎、宛所：樋口佐左衛門〔ほか〕、[年代不詳]8月9日） ・東菜へ接待論談之趣并宴席等相調候書付（殯使寺崎与四右衛門・和滝正藏、[年代不詳]9月26日） ・口上覚書（小川又三郎、[年代不詳]6月） ・禽獸草木各相知候品并不相知品書付（[享保3年]） ・禽獸草木之名朝鮮ニ而相唱候覚書（菟、[享保3年]）
--------------	---------	---------	----------------	----------	----	-----------	-----	--

原題	作成者	内容年	当館書名、 [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備考
分類紀事大綱 附録	[越常右衛門]	(備考欄参照)	分類紀事大綱。 [38]	WA1-6-30	1冊	26.0×19.9	103	<ul style="list-style-type: none"> ・[義田二付通事短書] (宝永1年) 伊奈郡草使桜本源兵衛所持之書物式通 (隆慶1年 [永禄10年]、万曆19年 [天正19年]) ・伊奈郷小野十右衛門所持之冊符二通 (万曆25年 [慶長2年]、天啓3年 [元和9年]) ・尾崎村給人早田源右衛門差出候書付三通 (実際は4通、成化18年 [文明14年]、天文19年 [ほか]) ・[告身・書契写] (4通、嘉靖34年 [弘治1年]～隆慶3年 [永禄12年]) ・御用長持之内ニ有之真文 (7通、万曆18年 [天正18年]～明暦3年) <p>原表紙に「元禄年黄表紙附録」の墨書あり。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被虜之者被送還候度数并人数年号付 (慶長11年～寛永20年) ・節日儀式 (年代不詳、末尾に「右ハ御用長持ニ有之分」とあり) ・[告日・書契・短書等写二十二通] (嘉靖18年 [天文8年]～正徳2年) ・[通信使禁条・約条・伝令等写十八通] (明暦1年～享保4年、文書頭は「明暦信使之節一行之法度書」とあり) ・[義田及請負二付覚書二通] (年代不詳) ・深見弾右衛門古紙之写 (寛永14年) ・[義田二付覚書] (年代不詳) ・御印箱ニ入有之御書物八通 (天啓7年 [寛永4年]～寛文6年) ・佐藤式右衛門東萊江相談申入候趣覚書 (承応4年) ・[僉官等短書写三通] (延宝1年～正徳2年) ・[和館諸請負覚書] (年代不詳) ・[東萊府使・訳官等短書写六通] (天和2年～正徳4年)

紀事大綱 附録	[越常右衛門]	享保3年3月～享保3年12月	分類紀事大綱 [39]	WA1-6-30	1冊	25.3×19.7	34	原表紙に「享保三戊戌戌年 鄭尚選漂流一件」の墨書、「刻拾九号之三 共四拾」の墨書のある貼紙あり。内表紙に「朝鮮国注書官鄭敏選漂流記録」の墨書あり。 【内容】 ・鄭尚選漂流一件（享保3年）
紀事大綱 附録	[越常右衛門]	享保6年6月2日～享保7年12月	分類紀事大綱 [40]	WA1-6-30	1冊	25.8×19.4	52	原表紙に「享保六辛丑年 崔李潜商事」の墨書、「刻拾九号之三 共四拾」の墨書のある貼紙あり。冒頭に「紀事大綱附録之序」を付す。 【内容】 ・崔李潜商事（享保6年） 【紀事大綱附録之序】 紀事大綱附録之序 享保六年辛丑之夏、渡海訳官催知事・李判官等一行龍渡候所ニ、府内滞留之内、潜商之一件相頭候ニ付、此方より御尋之趣、又者朝鮮人方より差出候真文等凡朝鮮方御改新江致因係候事、令集録候、尤訳官帰国之節、御関所御改之儀ニ付、新法被仰出候間、是亦致書載候、併搜檢之一件者御改為見分被指下候、杉村伊右衛門方より指上候御改新法記録ニ委しく相見へ居申[候]故、以来御用之節右之記録可被相考候、其外狂人御詮議之一件者大目付記録書載有之候付、略之候、
信使易地朝鮮御掛合大綱抜書		文化2年5月19日～文化7年1月	信使易地朝鮮御掛合大綱抜書	WA1-6-19	1冊	26.4×19.7	44	内表紙に「信使易地朝鮮御掛合大綱抜書」の墨書あり。文化7年1月の前の記事は文化6年9月のもの。

8 そのほか

8 そのほか 3冊

『御代替記』2冊 正徳2年(1712)～同4年(1714)

6代將軍徳川家宣薨去と、7代將軍徳川家継の代替わりの記録。対馬藩江戸家老の平田直右衛門「口上覚」によると、將軍の代替わり以外に、宗対馬守の参府時節の伺いと、吊礼のための訳官使来日などが幕府へ報告されている。

『朝鮮御用録』1冊 嘉永7年(1854)～安政4年(1857)

朝鮮御用筋につき幕府への報告覚書。13代將軍徳川家定の將軍宣下に関する参判使派遣と通信使対馬聘礼の伺い、太平天国軍の南京占領の報告、朝鮮国への異国船来泊の報告など、幕末期の東アジア情勢を併記している。

『朝鮮方了簡書』1冊(『朝鮮御用録』に合冊) 慶応4年(1868)

明治維新について、朝鮮国へ通達(布告)する際の朝鮮方の意見書。「朝鮮国之儀は漢土之正朔を奉し候国柄ニ而、申サハ藩国之姿ニ有之、名分之上ニおゐる素り皇国と匹敵之国柄ニ無之候」とあり、王政復古に伴う今後の日朝外交のありかたについて、東アジア外交秩序とからめた議論が提起されている。末尾に「閏四月三日 朝鮮方頭役佐役中」とあり、提出日は江戸城明渡し(4月)

の翌月、閏4月3日である。これと前後して、新政府による藩主宗義達への外国事務局輔の賦与(3月23日)、日朝外交の沿革に関する藩主具申書の提出(閏4月6日)、といった宗家の世襲的特権の存続をかけた重要な出来事があり、新時代に対処するための意見書として注目される。

幕末・維新期の日朝関係については田保橋潔『近代日鮮関係の研究』上(朝鮮総督府中枢院、1940年)、石川寛「明治維新と朝鮮・対馬関係」(『明治維新とアジア』吉川弘文館、2001年)、石田徹『近代移行期の日朝関係』(淡水社、2013年)を参照。(田代和生)

原題	作成者	内容年	当館書名. [冊番号]	当館 請求記号	冊数	大きさ	丁数	備	考
御代替記 家宣 様薨御 家継様 江御代讓上		正徳2年9月28日～ 正徳2年12月4日	御代替記. [上]	WA1-6-39	1冊	26.5×17.5	135	原題は題簽による。原題の「家宣様薨御 家継様江御代讓」は 題簽尾題。	
御代替記 下		正徳3年7月1日～ 正徳4年6月1日	御代替記. [下]	WA1-6-39	1冊	26.5×17.3	246	原題は題簽による。	
①朝鮮御用録 ②朝鮮方了簡書		①安政1年1月17日 ～安政4年12月日 ②[明治1年]閏4月 3日	宗家記録. [23]	WA1-6-40	1冊	24.3×17.0	85	①原表紙に「老号」「嘉永六癸丑年ヨリ安政四丁巳年マテ」 の朱書あり。 ②末尾に「閏四月三日」「朝鮮方頭役佐役中」とあり。 ①、②を合冊したもの。	

当館で所蔵する「宗家文書」（国指定重要文化財「対馬宗家倭館関係資料」）は、対馬藩主の宗家に伝存した資料である。現在、「宗家文書」と通称されているが、日誌類や、文書の写しを編纂した資料を主体とするため、過去には「宗家記録」と呼ばれていたこともある。

田代和生氏の解説に詳述されているとおり、現在当館が「宗家文書」としてとり扱っているものには、釜山の倭館に伝わったもの（「倭館記録」。別表1～38）と、対馬藩の江戸藩邸に伝わったもの（「江戸藩邸記録」。別表39、40）の2系統がある。前者は、大正2年刊行の『帝国図書館和漢図書書名目録』第3編（帝国図書館編刊、当館請求記号〈029.1-Te143t〉。以下〈 〉内は当館請求記号）に、後者は昭和12年刊行の『帝国図書館和漢図書書名目録』第4編（帝国図書館編刊、〈509-33〉）に著録され閲覧に供せられていた。しかし、それぞれ「宗家記録 写本〔宗家カ朝鮮外交ヲ掌リシ頃在釜山派出員ノ作りシ記録ナリ〕一四九六（冊）八二八^{（三の談）}一至三六^{1）}」（以上第3編分）、「御代替記 写本〔正徳中徳川家代替ノ時ノ宗家ノ記録也〕二（冊）八二三 三九」「宗家記録 写本 三一（冊）八二三 四〇」（以上第4編分。いずれの場合も、「八二三」以降は函号〔当時の請求記号〕を指す）と記されるのみで、細目は掲載されていなかった。そのため各冊の細目は、かつては帝国図書館で作った手書きのものに、その後も近年まで長崎県史編集室が謄写版で作成した『国会図書館所蔵文書目録・慶応大学図書館宗家記録雑集目録抄』（長崎県史編集室刊、[196-]、〈GB2-G15〉）に頼る状況にあった。

現在では、NDL-OPAC（国立国会図書館蔵書検索・申込システム）の内容細目欄に分冊番号や年代等を入力したことで、容易に細目を確認できるようになった。だがそれでも、たとえば次に記す（1）～（3）のような問題が残されたままになっていた。

- （1）『館守毎日記』を「毎日記」と「館守日記」という別資料として扱っていたこと

『館守毎日記』は、館守によって「毎日記」とタイトルが付けられたものと、「館守日記」とタイトルが付けられたものがある。いわば、別書名に類する名称の違いなのだが、異なる資料として扱ってきたため、欠落した期間が存在するかなのような誤解を与えかねなかった。

- （2）記主単位ではなく、完全な年代順に配架していること

館守の代替わり前後は日誌が重複して存在するが、「毎日記」「館守日

記」とも、記主単位ではなく記載年代を優先して排列されてきたため、冊番号順に請求しても、記主単位で調査することができなかった。同様の事例は、「裁判記録」などにもみられる。

(3) 大部の資料が多く、NDL-OPACに記載できない情報があったこと

「館守日記」(373冊)、「毎日記」(490冊)、「裁判記録」(239冊)のような大部の資料は、NDL-OPACの機能では十分な注記を付けられないという問題もあった。資料各冊の大きさや丁数は勿論のことであるが、「右日記本書雨漏ニ相成、難用立候付、此節書改置候、尤朽損し字性難相分り所者、闕字ニいたし置候事、文化元甲子年十一月」(『毎日記』第130冊)等の識語から書写年が判明するものや、渋が塗られた表紙上書と共紙で作られた表紙の上書が異なることから分冊・合冊等の経緯が推測できるものなどもNDL-OPACで示すことができずにいた。

このように「宗家文書」は、大げさな言い方をすれば、もとの秩序とは異なるかたちに組織化され取り扱われてきたことや、NDL-OPACの機能では大部の資料に十分な情報を掲載できないことにより、目的とする資料にたどりつけないことがあった。一方で、上述の取扱いのなかには、明治27年に東京図書館に移管される前の外務省時代から行われていたものもあり、現時点で安易に書誌に変更を加えれば、さらなる混乱を招く懸念もあった。そこで本目録では、従来の書名・請求記号に変更を加えずに当館所蔵の宗家文書を分類しなおすことで、これまでの問題の解消をはかった。当館請求記号・書名と本目録分類との対照は別表のとおりである。

本目録が、「宗家文書」の利用に役立つことを祈念するものである。

末筆ですが、本目録の編集にあたり、慶應義塾大学の田代和生名誉教授に多大なご助力をいただきました。また、当館所蔵の「宗家文書」の解説及び各資料の解題をご執筆いただきました。記して深く感謝申し上げます。

(担当 おおめまよしき 大沼宜規 記)

1) 現在、「倭館記録」はWA1-6-1 (IH823-1)、WA1-6-38 (IH823-38) までの請求記号が付されているが、これらの合冊前の冊数を合計すると1496冊になることから、当時は「八二三 一」から「八二三 三六」までの函号が付されていたものと考えられる。

別表 当館請求記号・書名と本目録分類との対照表

	当館請求記号	当館書名	本目録の分類
1	WA1-6-1	告還使記録	3 送使記録(3) 告還使
2	WA1-6-2	告訃使記録	3 送使記録(6) 告訃使
3	WA1-6-3	告喪使記録	3 送使記録(5) 告喪使
4	WA1-6-4	旧事編集	1 館守毎日記関係(2) 『旧事編集』
5	WA1-6-5	給仮使記録	3 送使記録(7) 退休使・給仮使・体情使
6	WA1-6-6	館守再任番縫殿介取扱雑件	4 両国往復書関係(3) 跡留
7	WA1-6-7	館守吉田七左衛門死去ニ付新館守到着関係毎日記	1 館守毎日記関係(1) 館守毎日記
8	WA1-6-8	館守日記	1 館守毎日記関係(1) 館守毎日記
9	WA1-6-9	公作米御用記録	2 裁判記録関係
10	WA1-6-10	御支配並与頭往復状扣	2 裁判記録関係
11	WA1-6-11	御書翰嫌字覚書	4 両国往復書関係(2) 書式・目録
12	WA1-6-12	御兎名御函書御請取之式	3 送使記録(1) 兎名送使
13	WA1-6-13	御兎名送使記録	3 送使記録(1) 兎名送使
14	WA1-6-14	裁判記録	2 裁判記録関係
15	WA1-6-15	参判家下行廊外向ヨリ監董ニ付被召仕候毎日記	5 倭館改修記録
16	WA1-6-16	重松此面日記	2 裁判記録関係
17	WA1-6-17	諸修覆記録	5 倭館改修記録
18	WA1-6-18	諸改築記録	5 倭館改修記録
19	WA1-6-19	信使易地朝鮮御掛合大綱拔書	7 『分類紀事大綱』
20	WA1-6-20	真文跡留	4 両国往復書関係(3) 跡留
21	WA1-6-21	西房内御用記録	5 倭館改修記録
22	WA1-6-22	惣目録	1 館守毎日記関係(3) 『惣目録』
23	WA1-6-23	退休告襲参判使記録	3 送使記録(7) 退休使・給仮使・体情使
24	WA1-6-24	体情使記録	3 送使記録(7) 退休使・給仮使・体情使
25	WA1-6-25	吊慰記録	3 送使記録(4) 吊礼使

26	WA1-6-26	吊礼使記録	3 送使記録 (4) 吊礼使
27	WA1-6-27	二駕船欠戻記録	2 裁判記録関係
28	WA1-6-28	日韓往復書式及往復目録	4 両国往復書関係 (2) 書式・目録
29	WA1-6-29	破船漂民護送使及漂着記録	3 送使記録 (2) 漂着使
30	WA1-6-30	分類紀事大綱	7 『分類紀事大綱』
31	WA1-6-31	分類事考	1 館守毎日記関係 (4) 『分類事考』
32	WA1-6-32	平胤送使記録	3 送使記録 (1) 兎名送使
33	WA1-6-33	別記録	4 両国往復書関係 (3) 跡留
34	WA1-6-34	毎日記	1 館守毎日記関係 (1) 館守毎日記
35	WA1-6-35	訳官記録	2 裁判記録関係
36	WA1-6-36	両国往復書牒	4 両国往復書関係 (1) 『両国往復書牒』
37	WA1-6-37	両国往復書牒	4 両国往復書関係 (1) 『両国往復書牒』
			4 両国往復書関係 (3) 跡留
38	WA1-6-38	往復書状控	2 裁判記録関係
39	WA1-6-39	御代替記	8 そのほか
40	WA1-6-40	宗家記録	4 両国往復書関係 (3) 跡留
			6 貿易関係記録
			8 そのほか